保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書(別添)
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読になったあとは大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間
当社は、このビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打切後最低8年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

ご不明な点や修理に関するご相談
修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または「日立家電お客様ご相談窓口一覧表」(162〜163ページ)の窓口にお問い合わせください。

転居されるとき
ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立家電品取扱店をご紹介させていただきます。
なお、本機は50Hz(ヘルツ)、60Hz(ヘルツ)の切り換えが自動的に行われますので、切り換えなしでどちらの地域でも使用できます。

修理を依頼されるとき(出張修理)
本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」(155 〜 161ページ)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
なお、ビデオカセットレコーダー本体の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(録画内容などの補償)の責については、ご容赦ください。保証期間中は、保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

品名	ビデオカセットレコーダー
形名	DT-DR20000形
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

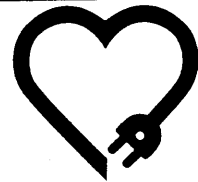
● **修理料金のしくみ**

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　長年ご使用の本機の点検を！
ビデオカセットレコーダーはカラーテレビやビデオカメラからの画面を磁気テープに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。
特に、ビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためには、およそ1000時間を目途に点検(清掃、注油、一部部品交換)されることをおすすめします。
くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

愛情点検

● 長年ご使用のビデオの点検をぜひ！

● ビデオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

このようなことはありませんか。
- ●電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- ●画像が乱れたり、きれいに映らない。
- ●その他の異常や故障がある。

▶ 故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を……。点検・修理のついての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

お客様メモ
後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名　　　　　電話(　　)　　—

ご購入年月日　平成　年　月　日

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

株式会社 日立製作所

〒105-8430　東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111

この取扱説明書は、地球環境に優しい再生紙を使用しております。

Printed in Japan 01-F(Y)

DT-DR20000形　日立ビデオカセットレコーダー　取扱説明書　HITACHI

取扱説明書

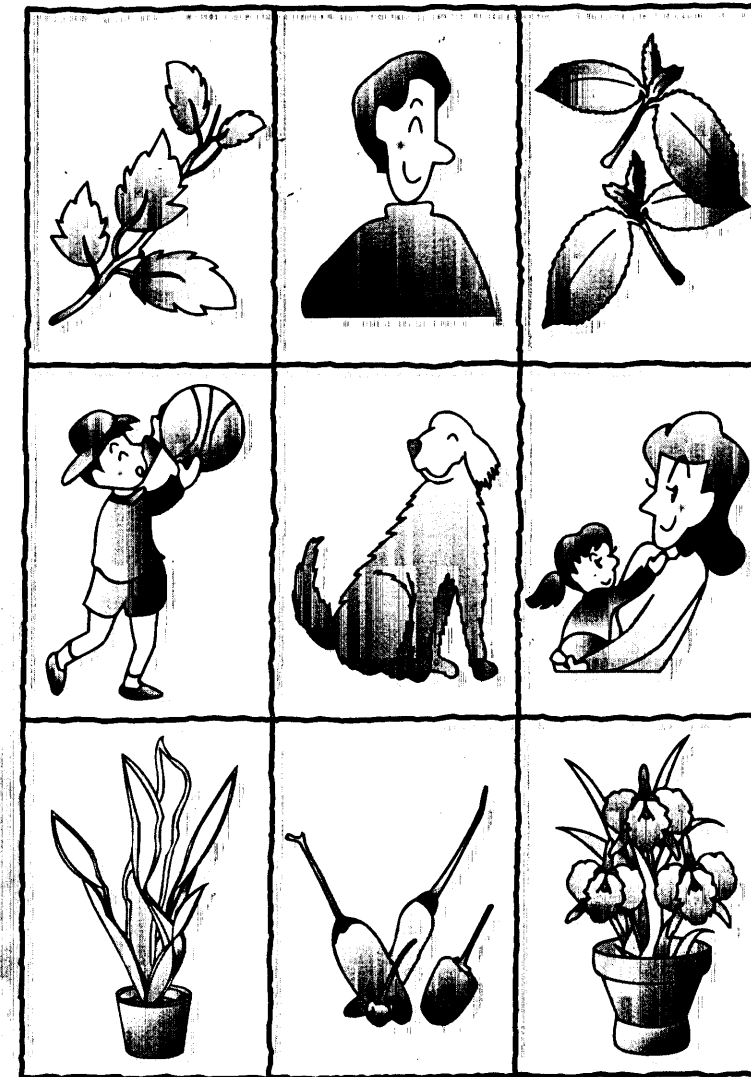
HITACHI

このたびは、日立ビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、接続説明書(BSデジタルチューナー接続用)、保証書とともに大切に保存してください。

日立ビデオカセットレコーダー

i Hi-Fi(ハイ ファイ)　D VHS MTP NTSC　S-VHS　G-CODE®　GR GHOST REDUCTION

i.LINK対応
BSチューナー内蔵

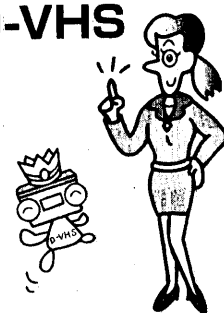
DT-DR20000形

このビデオは、D-VHS方式のビデオです。
D-VHS、S-VHS、VHS マークのついたビデオテープ以外は使用できません。
GR GHOST REDUCTION マークは、放送信号に含まれるGCR信号を利用して、ゴーストを軽減する機能を内蔵した機器であることを示すものです。

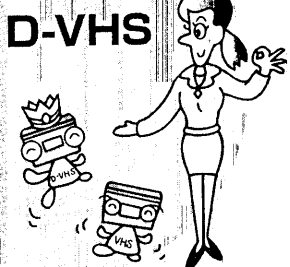
Gコードは、ジェムスター社の登録商標です。
Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

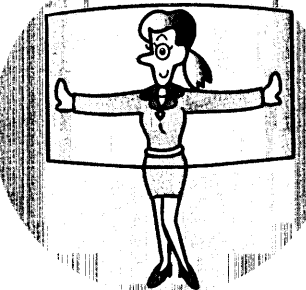
はじめに
見る いろいろな再生
録る いろいろな録画
タイマー録画
i.LINKを使う
便利な使いかた
設置・準備
ご参考

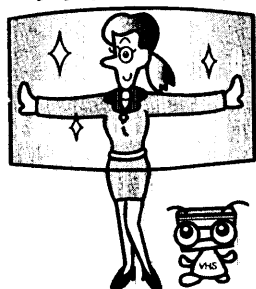
このビデオの特長

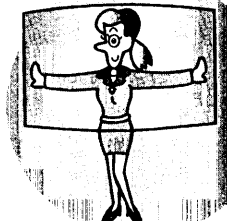
BSデジタルハイビジョン放送録画対応（HSモード搭載）

（25、27ページ）
i.LINK端子を装備したBSデジタルチューナーとの接続でBSデジタルハイビジョン放送をダイレクトに録画できます。また、i.LINK接続によりBSデジタルチューナーからのEPG予約録画が可能です。
*再生時にもi.LINK端子を装備したBSデジタルチューナーが必要です。
*EPG予約については、BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。
*１回のみデジタルコピーが可能な番組を録画した場合、BSデジタルチューナーを使って再生してもハイビジョン画質で見ることはできません。

MPEG2エンコーダー／デコーダー内蔵D-VHS（STD/LS2/LS3モード搭載）（25ページ）

MPEG2エンコーダーによりテレビ放送や外部入力を高画質なデジタル信号に変換し、D-VHSテープにデジタル録画／再生します。D-VHSテープ（DF-480）を使うと、STDモードで8時間、LS2モードで16時間、LS3モードで24時間の録画再生ができます。
*D-VHSは、日本ビクター株式会社の登録商標です。
*BSデジタル放送をi.LINKで録画したテープの再生時にはi.LINK端子を装備したBSデジタルチューナーが必要です。

i.LINK*（アイリンク）対応（28、79ページ）

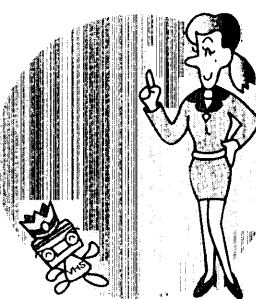
i.LINK端子を装備した機器と接続することにより、映像や音声をデジタル信号のまま、相互にやりとりすることができます。
*i.LINKはソニー株式会社の商標です。

D1/D2/D3/D4映像出力（34、126ページ）

D映像入力端子付き高画質テレビに対応した、D1/D2/D3/D4映像出力端子を装備しています。

3次元Y/C分離 3次元デジタルNR デジタルTBC（43ページ）

S-VHS/VHS録画、再生時も、デジタル処理技術により、高画質の映像を再現します。

ゴーストリダクション（96ページ）

地上波のゴースト妨害を低減することにより、安定した映像が楽しめます。

Gコード®予約（63ページ）

Gコードシステム内蔵により、新聞などに掲載されているGコード予約番号（8桁の数字）を入力するだけで、簡単にタイマー予約できます。

S-VHS、S-VHS ET（31、32ページ）

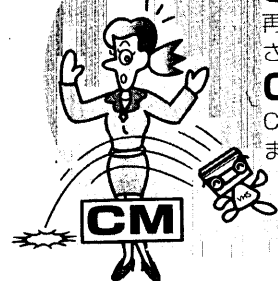
S-VHSに対応しています。S-VHSテープをお使いになると、S-VHS録画、再生ができます。また、S-VHS ETモードにすると、HG（ハイグレード）タイプのVHSテープにS-VHSの画質で録画・再生できます。

CMとばしワザ（44ページ）

再生中にCMの部分だけ自動的に早送りされます。

CMオートカット（51ページ）

CMを自動的にカットしながら録画できます。

CM

テープナビ（100ページ） タイムナビ（117ページ）

録画した日にち、開始時刻、チャンネル、録画時間、録画モードなどの情報がビデオに自動的に登録されます。見たい番組の頭出しや時刻を指定しての場面探しが快適にできます。また、番組に合うお好みのタイトル（番組名）も設定できます。

この説明書の見かた

記載されているメニュー画面表示について

実際のメニュー画面には各項目の説明が出ますが、この説明書では記載していません。

付属品を確かめましょう

安全にお使いいただくためのご注意

ご使用になる前によくお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な注意事項を記載しています。
注意事項は、取り扱いを誤った場合に発生が想定される危害や損害の程度を、次のとおり「警告」「注意」の2つに分類しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

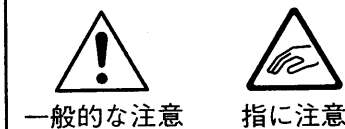
表示について

警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容を示しています。

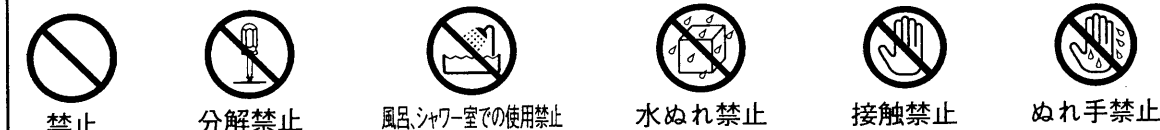
注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される」内容を示しています。

※1 重傷 ………失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 傷害 ………治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3 物的損害 …家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

図記号の意味

注意(警告を含む)が必要なことを示す記号

一般的な注意

指に注意

してはいけない行為を示す記号

禁止

分解禁止

風呂、シャワー室での使用禁止

水ぬれ禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

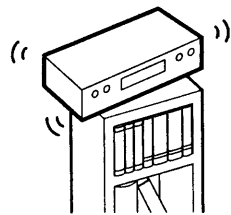
必ず実行していただくことを示す記号

電源プラグを抜く

⚠警告

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

頭や足の上などにビデオが落下すると、けがの原因となります。

禁止

ビデオの上に、花びん、植木鉢、コップなど水の入った容器、または小さな金属物を置かない

水がこぼれたり金属物が落ちて内部に入ると、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

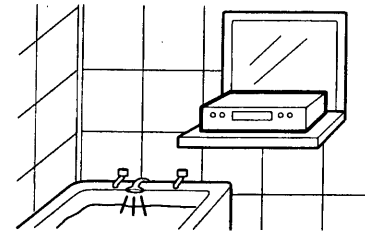
風呂、シャワー室では使用しない

(風呂、シャワー室で使用すると)火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

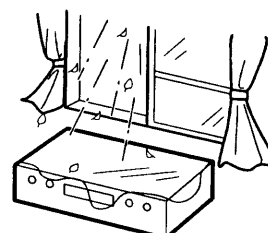
指定(交流100ボルト)以外の電源電圧で使用しない

過電圧により、発熱して、火災・感電の原因となります。

禁止

水にぬらさない

内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 屋外や窓辺で使用するときは、ビデオをぬらさないようにご注意ください。

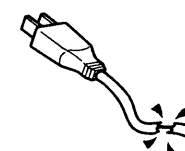
水ぬれ禁止

- 内部に水などが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、<u>電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。</u>

電源プラグを抜く

電源コードを破損させない

電源コードの破損につながるので、取り扱いの際は、次の点を守ること

- **傷つけない**
- **ねじらない**
- **無理に曲げない**
- **重い物や角が鋭利なものをのせない**
- **加熱しない**
- **引っ張らない**
- **加工しない**
- **束ねない**
- **敷物などでおおわない**

禁止

破損したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 電源コードの芯線が露出したり、断線したときは、<u>電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に交換をご依頼ください。</u>

電源プラグを抜く

電源プラグや電源プラグの刃にゴミやほこりを付着させない

そのまま使用すると、発熱・火災の原因となります。

- ほこりが付着しているときは、電源プラグを抜いて、ほこりを取り除いてください。

禁止

落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

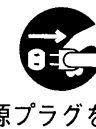
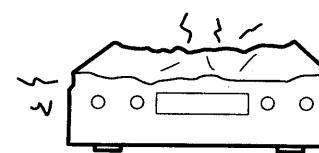
- 落としたり、キャビネットを破損したときは、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合があります。ビデオ本体の電源スイッチを切り、<u>電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。</u>

電源プラグを抜く

内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしない

ビデオテープ挿入口・ビデオの通風孔などから内部に入ったり、入ったまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

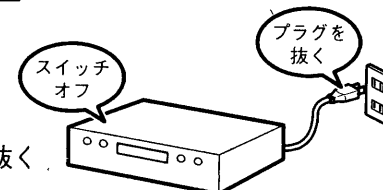
禁止

- 内部に金属物や燃えやすいものが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、<u>電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。</u>

電源プラグを抜く

煙が出ている、変なにおいがするなど異常なときは、本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

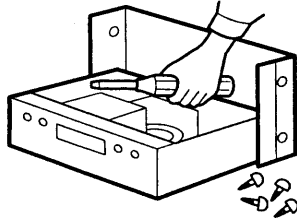
- 煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。
<u>お客様による修理は、危険ですから絶対おやめください。</u>

電源プラグを抜く

⚠警告

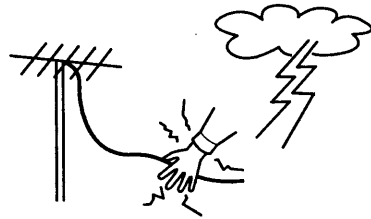
ビデオのカバー、裏ぶたを外さない 分解・修理・改造をしない

分解、修理、改造などで内部の電源部にさわると、火災・感電の原因となります。

● 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

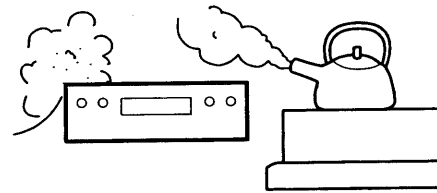
分解禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

アンテナ線や電源プラグに触れると感電の原因となります。

接触禁止

⚠注意

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、振動が激しい場所に置かない

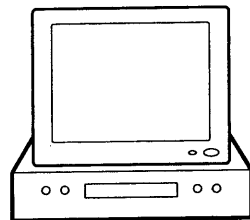
内部にほこりや水分が入ると、火災・感電の原因となることがあります。また振動により、内部部品が破損すると、発熱し、火災・故障の原因となることがあります。

禁止

ビデオの上に、重い物を置かない ビデオの上に乗らない

倒れたり、壊れたり、落下などしてけがの原因となることがあります。

また、重みでキャビネットが変形し、内部部品が破損して発熱し、火災・故障の原因となることがあります。

● 特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

通風孔をふさがない

ビデオ背面のファンモーターの通風孔をふさがないように、設置の際は次の点を守ること

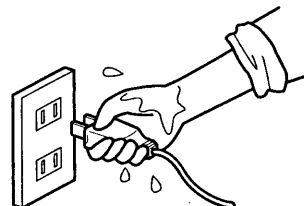
- **横倒し、逆さまにしない**
- **押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まない**
- **じゅうたんや布団の上に置かない**
- **テーブルクロスを掛けない**
- **ビデオの後面を壁に押しつけない**

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

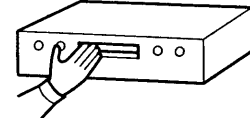
ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれていると、感電する原因となることがあります。

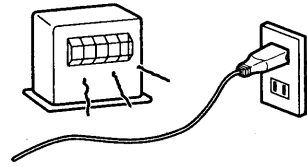
ぬれ手禁止

テープ挿入口に手を入れない

内部にふれたり、はさまれたりして、けがの原因となることがあります。

特に小さなお子様にご注意ください。

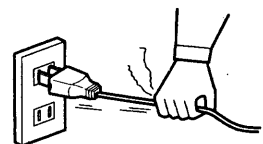
指に注意

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源コードを持って抜かない

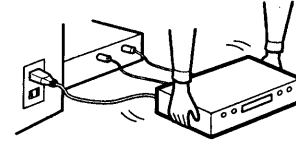
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 電源コードを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

禁止

アンテナ線、電源コード、その他のコードを接続したまま移動させない

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● テープ保護のため、ビデオテープは取り出しておいてください。

禁止

指定以外の乾電池は使わない

指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

〈乾電池の液漏れについて〉

● 液漏れしたときは、よくふき取ってから、新しい乾電池を入れてください。

● 液が手や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

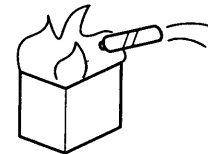
● 液が目に入ったときは、失明などの事故の原因となります。
こすらずに、すぐきれいな水で洗い流してから、ただちに医師の治療をうけてください。

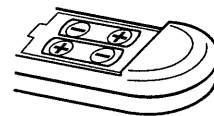
禁止

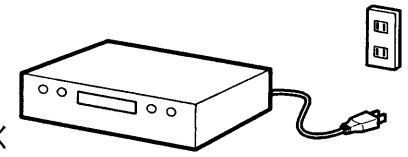
乾電池を取り扱う際は、次の点を守ること

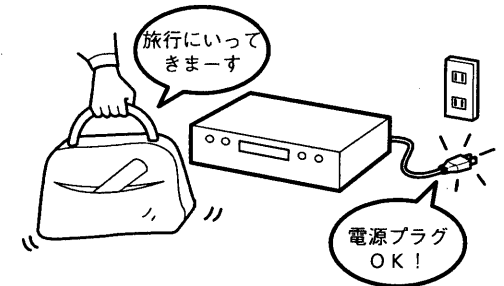
- **火の中に入れない** ● **加熱しない**
- **充電・分解しない** ● **ショートさせない**
- **鍵などの金属物と接触させない**

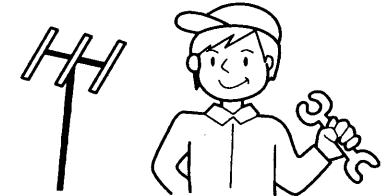
発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。

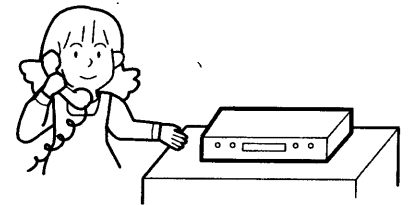
禁止

乾電池は、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖）の向きに注意し、機器の指示通り正しく入れる

間違えると、乾電池の発熱・破裂、液漏れなどにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お手入れの際は、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く

電源コードが接続されていると、感電の原因となることがあります。

長期間使わないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

アンテナ工事には、技術が必要です 販売店にご相談ください

アンテナが倒れたり、落下した場合、けがや感電の原因となることがあります。

5年に1度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください

ビデオの内部にほこりがたまったまま使用すると、火災・故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うことをおすすめします。なお、費用については、ご相談の際にお確かめください。

使用上のご注意

D-VHSの録画・再生について

- D-VHS方式で録画したテープは、D-VHS方式に対応していないS-VHSビデオやVHSビデオでは再生できません。
- D-VHS方式で録画・再生した場合、S-VHS、VHS方式で録画・再生した場合よりも、テープのきずや瞬間的に発生するヘッドよごれなどによる画面の乱れが大きくなり、ブロックノイズや灰色の画面が発生したり静止画になることがあります。また、テープの頭の部分のようにくり返し録画、再生した部分でもこの様な現象が発生しやすくなります。
  D-VHSテープの取り扱いには十分注意し、テープにきずなどをつけないようにしてください。
- D-VHSで録画したテープを再生するとき、再生画が出るまで数十秒かかる場合があります。また、S-VHSやVHSで録画した部分から、D-VHSで録画した部分に切り換わるときも、再生画が出るまで数十秒かかる場合があります。
- D-VHS方式で録画する場合は、D-VHSテープをお使いください。D-VHSテープ以外のテープをお使いになると、正しく録画できません。再生したときにブロックノイズや灰色の画面が発生したり、静止画になることがあります。
- D-VHS方式で音声だけを録音することはできません。S-VHSまたはVHS方式で録音してください(56ページ参照)。
- D-VHS方式で録画したテープをサーチ再生すると、間欠的な映像になります。サーチ再生中、ブロックノイズが出たり静止画や灰色の画面になることがありますが、故障ではありません。
- 本機以外でD-VHS録画したテープを再生したときは、サーチ画が出ないことがあります。

大切な録画をするときは試し録りを！

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し録りし、正常に録画、録音されていることを確認してください。

著作権保護技術について

- この製品には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては、許可を受けています。また、リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。
- 著作権保護（コピーガード）されたソフトテープやテレビ放送番組などの録画、あるいはコピーが制限されます。保護内容によっては録画開始後停止して、録画ができません。

ファンモーターについて

- 本機は、電源を入れるとビデオ本体内の温度を下げるために、ファンモーターの動作音がしますが、故障ではありません。

アンテナの立てかたについて

- 妨害電波の影響を避けるため、自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所にお立てください。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。また風でブラブラしないようにしっかりと固定してください。
- 金属の多い場所に配線することも避けてください。
- アンテナ線に同軸ケーブルを使用すると、雑音の少ない良好な画像が得られます。

アンテナの点検について

- アンテナを定期的に点検、交換することが、いつまでも美しい画像をご覧になるための秘けつです。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは寿命が短くなりますので早めに点検してください。

テレビの映りが悪いときは

- ビデオを接続したとき、電波の弱い地域ではテレビの映りが悪くなることがあります。このときはブースター（市販品）をご使用ください。

ビデオの設置場所について

テレビの近くに置かない

- テレビラックやオーディオラックなどをご使用のときは、ビデオをラックの下の段に設置してご使用になることをおすすめします。（本機をラックの上の段やテレビの上にのせてご使用になると、テレビとビデオの位置が近すぎるために、再生中またはテレビ番組を見ているとき、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。）

ラジオの近くに置かない

- ビデオの近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に"ブー"というハム音が出ることがあります。ビデオから離してご使用ください。

直射日光が当たるところや熱器具の近くに置かない

- キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

強力な磁気のあるところに置かない

- テープが磁気の影響を受けて、大切な記録が損なわれたり、故障の原因となることがあります。

接続機器の取り扱いについて

- ビデオに接続して使用する機器の取扱説明書とその「使用上の注意」もよくご覧ください。

ビデオ後面の「BSデジタルチューナ接続端子（中継用）」について

- この端子は、BSデジタルチューナーの出力信号を中継して出力4端子から出力するためのものです。この端子に入力した信号を録画することはできません。
- 接続のしかたについては135ページを、使いかたについては57～59ページをご参照ください。
- 135ページの接続をしている場合、BSデジタル放送以外のチャンネルを録画しているときでも、ワープボタンを押すとBSデジタル放送を見ることができます。

ヘッド汚れにご注意！

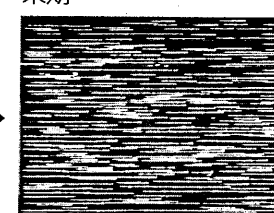
ビデオヘッドが汚れて、画像や音が出なくなることがあります。

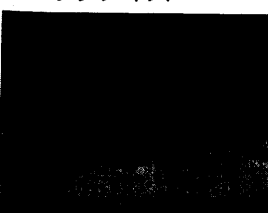
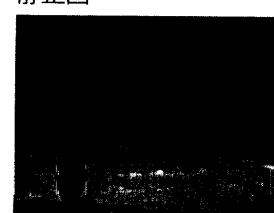
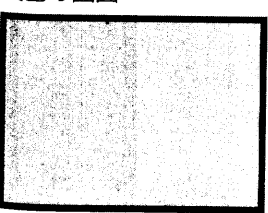
●ヘッドの清掃

テレビ番組はきれいに映るのにビデオで再生するとザラザラした画面（S-VHS、VHS再生）、あるいはブロックノイズ、静止画、灰色の画面（D-VHS再生）になる。

S-VHS、VHS再生

初期

末期

D-VHS再生

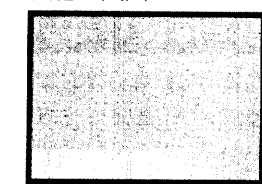
ブロックノイズ

静止画

灰色の画面

ビデオを使っているとこんな症状が出ることがあります。これはビデオヘッドが汚れたためですからビデオヘッドの清掃が必要です。
本機ではおそうじヘッドの採用により、ヘッドが汚れにくくなっております。しかし、汚れた場合は別売りや市販のヘッドクリーニングテープをご使用ください。

- ヘッドクリーニングテープを使っても汚れがとれないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ヘッドクリーニングテープをお使いになるときは、お使いになるクリーニングテープの説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- 市販のクリーニングテープをお使いになるときは、誤動作を防ぐため、テープナビを「切り」にしてからクリーニングテープを入れてください（103ページ参照）。
  また、ビデオヘッドを清掃する目安として、ビデオの表示窓に「CL」を表示します（19ページ参照）。

●ヘッドの摩耗

S-VHS、VHS再生

D-VHS再生

灰色の画面

ビデオを長い間使用するとビデオヘッドはレコード針と同様に摩耗し、画像が鮮明に映らなかったり（S-VHS、VHS再生）、灰色の画面が出ます（D-VHS再生）。このような場合ビデオヘッドの交換が必要です。ビデオヘッドの交換はお買い上げの販売店にご相談ください。
詳しくは同梱されている「きれいな映像を楽しむために!!」をご覧ください。

お手入れについて

- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。
  また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。

結露にご注意！

※ビデオの内部に水滴がつくことを結露といいます。

- 結露したまま使用するとテープが切れたり、ビデオヘッドを傷つけることがあります。
- 結露が生じてしまったら、水滴を急激に蒸発させることはできません。電源プラグを差し込んで、約2時間お待ちください。
- 結露は次のようなときにおきやすいのでご注意ください。
  - 寒い場所から急に暖かい場所に移したとき。
  - 暖房をはじめたばかりの部屋や、エアコンなど直接冷風のあたるところ。
  - 夏季に冷房のきいた部屋から急に湿度、温度の高い部屋に移したとき。
  - 湿気の多いところや湯気のたちこめているところ。
- 結露がおこりそうなときは、電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを"入"にしておくと、結露が生じにくくなります。

外国では使わない

- このビデオは日本国内用です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
- <This video cassette recoder can not be used in foreign countries as designed for Japan only.>

標準モード専用のビデオでの再生について

- 本機の「3倍」モードで録画したテープは「標準」モード専用のビデオでは再生できません。

録画内容の補償について

- ビデオ、ビデオカメラおよびビデオテープを使用中、万一これらの不具合により録画されなかったり、再生できなくなった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

テープナビ・タイムナビの録画データの保持について

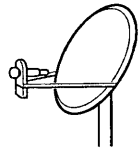
- 本機のメモリーが故障して録画データが消えた場合、データを復元することはできません。

著作権について

- あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上権利者に無断で使用できません。

衛星放送について

衛星放送は、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合には全く受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナやBSコンバータの故障ではありません。

衛星放送を受信するには、専用アンテナが必要です。設置場所によっては、受信できない場合がありますので、販売店にご相談ください。アンテナの接続については、129ページの「BSアンテナをつなぐ」をご覧ください。

おしらせ

本機の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052　東京都港区赤坂5丁目3番6号
赤坂メディアビル
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）
FAX　03-5570-2560

なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

もくじ

ページ

はじめに

このビデオの特長 …… 2
この説明書の見かた …… 3
安全にお使いいただくためのご注意 …… 4
使用上のご注意 …… 8
各部のなまえ …… 14
　リモコン（ふたを閉じたところ） …… 14
　リモコンに乾電池を入れる …… 14
　リモコン（ふたを開けたところ） …… 15
　リモコンの操作範囲 …… 15
　ビデオ（正面） …… 16
　ビデオ（後面） …… 17
　ビデオの表示窓 …… 18
　テープ走行状態表示 …… 18
表示窓のガイド表示 …… 19
リモコンの使いかた …… 20
フェライトコアの取り付けかた …… 21
テープを入れる・取り出す …… 22
　入れかた …… 22
　取り出しかた …… 22
　テープの「つめ」について（誤消去防止） …… 22
　操作音を入り／切りする …… 22
　テープの種類と録画時間 …… 23
メニュー項目を選ぶ …… 24
D-VHSについて …… 25
D-VHSのご注意 …… 26
BSデジタル放送のデジタル高画質（ハイビジョン画質）録画・再生について …… 27
i.LINKについて …… 28
　i.LINKとは …… 28
　必要なi.LINKケーブル …… 28
　i.LINKでの接続について …… 28
　接続についてのご注意 …… 29
　本機と接続して動作するi.LINK対応機器 …… 29
　i.LINKを使ってD-VHS録画するとき …… 29
　i.LINKを使ってBSデジタル放送をD-VHS録画したテープの再生について …… 29
　LINC（リンク）とは …… 30
S-VHS、S-VHS ETモードについて …… 31
Dモニターについて …… 33
D1/D2/D3/D4映像出力について …… 34
テープを見る準備 …… 35
電力の消費をおさえる …… 36

見る　いろいろな再生

テープを見る（再生） …… 38
　テープを早送りまたは巻戻ししたいとき …… 38
　再生画をきれいにする（トラッキング調節） …… 39
　聞きたい音声を選ぶ …… 39
いろいろな再生のしかた …… 40
　ある場面を止めて見る（静止画） …… 40
　画像を見ながら見たい場面を探す（サーチ） …… 40
　ゆっくりした速さで見る（スロー） …… 40
　英語の字幕を見る（Closed Caption（クローズド キャプション）） …… 41
　字幕を止めて見るとき …… 41
　録画した番組の頭出しをする（VISS（ビス）） …… 42
　映像をクッキリさせる …… 42
　映像設定について …… 43
CMをとばして見る（CMとばしワザ） …… 44
　CMとばしワザのしくみ …… 44
　CMオートについて …… 44
　ステレオCMスキップについて …… 44

ページ

いろいろな再生

CMとばしワザでCMをとばす ··· 45
CMIと表示したとき(CMIモード) ··· 45
CM2と表示したとき(CM2モード) ··· 45
CMI/CM2表示を消したとき ··· 45
次のCMの終わりまでとばすには ··· 46
とばした部分を見たいときは ··· 46

録る

いろいろな録画

テレビ番組を録画する ··· 47
テープアナライザATRSについて ··· 49
いろいろな録画のしかた ··· 50
録画しながら別の番組を見る ··· 50
選んだ時間だけ録画する(クイックタイマー) ··· 50
CMをカットしながら録画する(オートカット) ··· 51
ダビングする ··· 54
ビデオカメラや他のビデオから本機へダビングする ··· 54
本機からビデオカメラや他のビデオへダビングする ··· 55
ステレオから音声を録音する(オーディオ録音) ··· 56
BSデジタルチューナーを使う ··· 57
BS放送を録画する ··· 60
デジタル衛星放送を録画する ··· 62

タイマー録画

Gコード予約する ··· 63
Gコードシステムについて ··· 63
Gコード予約する ··· 63
開始時刻、終了時刻を修正するには ··· 65
毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画するには ··· 65
チャンネルを修正する ··· 66
リモコン予約する ··· 68
予約の確認・取り消しをする ··· 71
予約の確認・取り消しをする ··· 71
予約の実行結果を確認・取り消しする ··· 71
予約した番組の設定を変える ··· 72
予約した番組の内容を修正する ··· 72
予約した番組のタイトルを設定する ··· 73
予約した番組のジャンルマークを設定する ··· 75
予約した番組のCMをカットする ··· 76
タイマー予約・録画のご注意 ··· 77
タイマー予約実行結果の表示 ··· 78

i.LINKを使う

i.LINK対応機器をつなぐ ··· 79
i.LINK対応機器を使うための設定 ··· 80
映像出力・入力、i.LINKケーブルの設定 ··· 80
接続設定画面の説明 ··· 80
サーチデータの設定 ··· 81
伝送レートの設定 ··· 81
つないだ機器を確認する、機器に名前をつける ··· 82
操作したい機器をLINCする ··· 83
i.LINK対応機器を使う ··· 84
LINCした機器から録画する ··· 84
操作パネルの見かた ··· 85
デジタルダビングする ··· 86
オートダビングについて ··· 86
オートダビングする ··· 87
編集ダビングについて ··· 88
編集ダビングする ··· 88
デジタルダビングのご注意 ··· 90

ページ

便利な使いかた

画面表示を見る ··· 91
残り時間・経過時間を表示する ··· 92
テープの残り時間を表示する ··· 92
経過時間を表示する ··· 92
BS放送の独立音声を聞く ··· 93
ビデオの機能を画面で選ぶ(お好みセレクト) ··· 94
ゴースト妨害を低減する(ゴーストリダクション) ··· 96
D-VHSの映像を調整する ··· 99
テープナビを使う ··· 100
録画データを登録する ··· 100
テープナビ画面の見かた ··· 101
タイムナビ画面の見かた ··· 101
テープの録画データを見る ··· 102
テープナビ機能を入り/切りする ··· 103
録画データを使って番組の頭出しをする ··· 104
登録内容を取り消す ··· 106
登録内容を確かめる ··· 107
登録されている録画データを検索する ··· 108
録画データの検索方法 ··· 108
番組のタイトル(番組名)を設定する ··· 109
番組のジャンルマークを設定する ··· 113
テープナビのご注意 ··· 114
大切な録画を消さないようにする(番組ロック) ··· 115
タイムナビで見たい場面を探す ··· 117
指定した時刻の頭出しをする ··· 117
CMの終わるところを探す ··· 119
5分前、5分後のところを探す ··· 120
番組の頭と終わるところを探す ··· 120
リモコンで2台のビデオを操作する ··· 121
リモコンで他社のテレビを操作する ··· 122

設置・準備

ご自分で設置するときにお読みください ··· 124〜154
接続のしかたや受信チャンネルの合わせかた、時計の合わせかたが説明してあります。
設置・準備編のもくじは124ページをご覧ください。
受信チャンネルを合わせる ··· 146
1. 地域受信チャンネルで受信チャンネルを合わせる ··· 146
2. オートチャンネル設定で受信チャンネルを合わせる ··· 150
時計を合わせる ··· 153

ご参考

故障かな・・・と思ったら ··· 155
日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表 ··· 162
仕様 ··· 164
別売品のご紹介 ··· 164
用語の解説 ··· 165
索引 ··· 167
漢字一覧表 ··· 169
保証とアフターサービス ··· 裏表紙

各部のなまえ

（　）の中のページに詳しい使いかたがあります。

リモコン（ふたを閉じたところ）

⚠ 注意

- 指定以外の乾電池は使わないでください。
  指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 乾電池を取り扱う際は、次の点を守ってください。
  - 火の中に入れない　• 加熱しない　• 充電・分解しない　• ショートさせない
  - 鍵などの金属物と接触させない

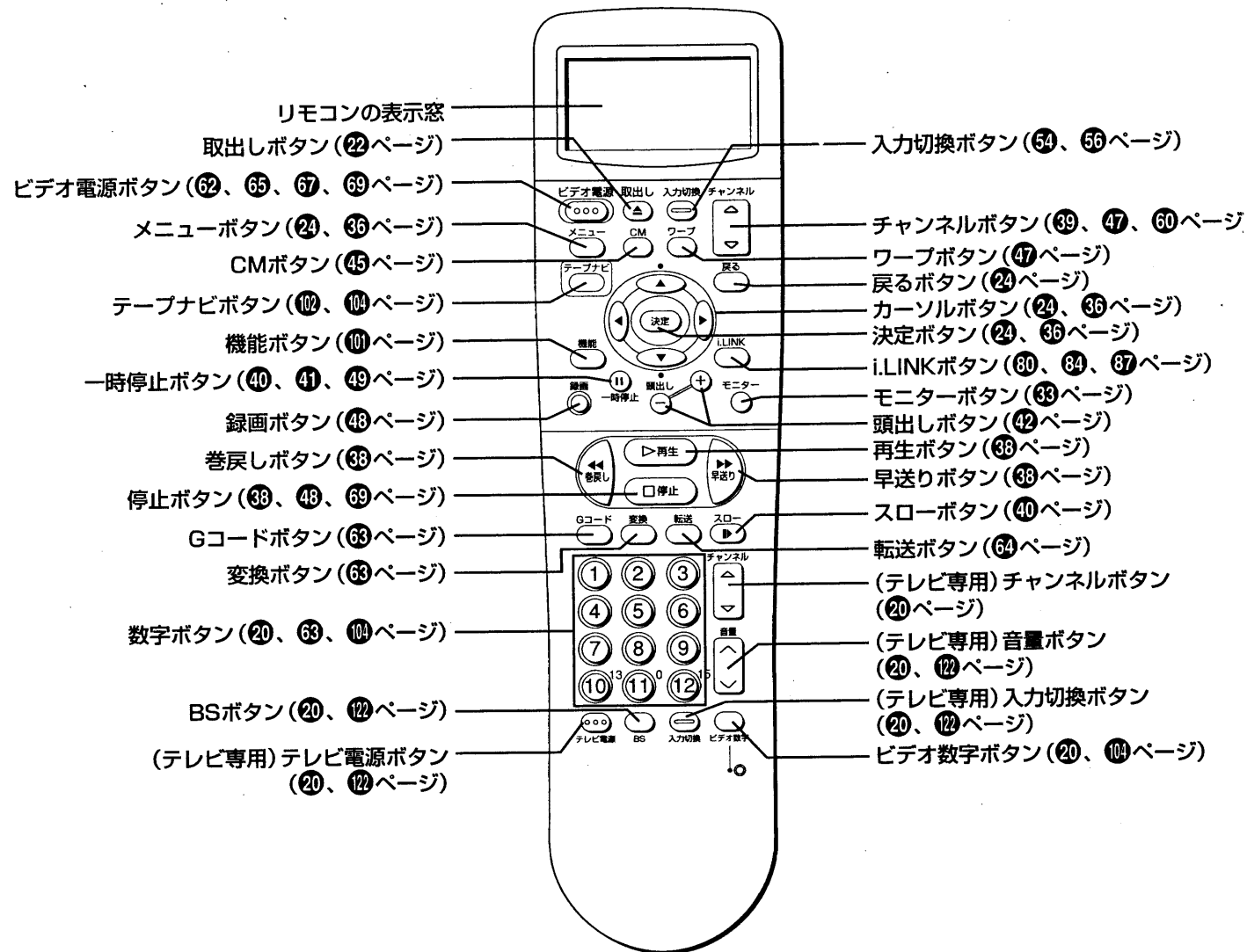
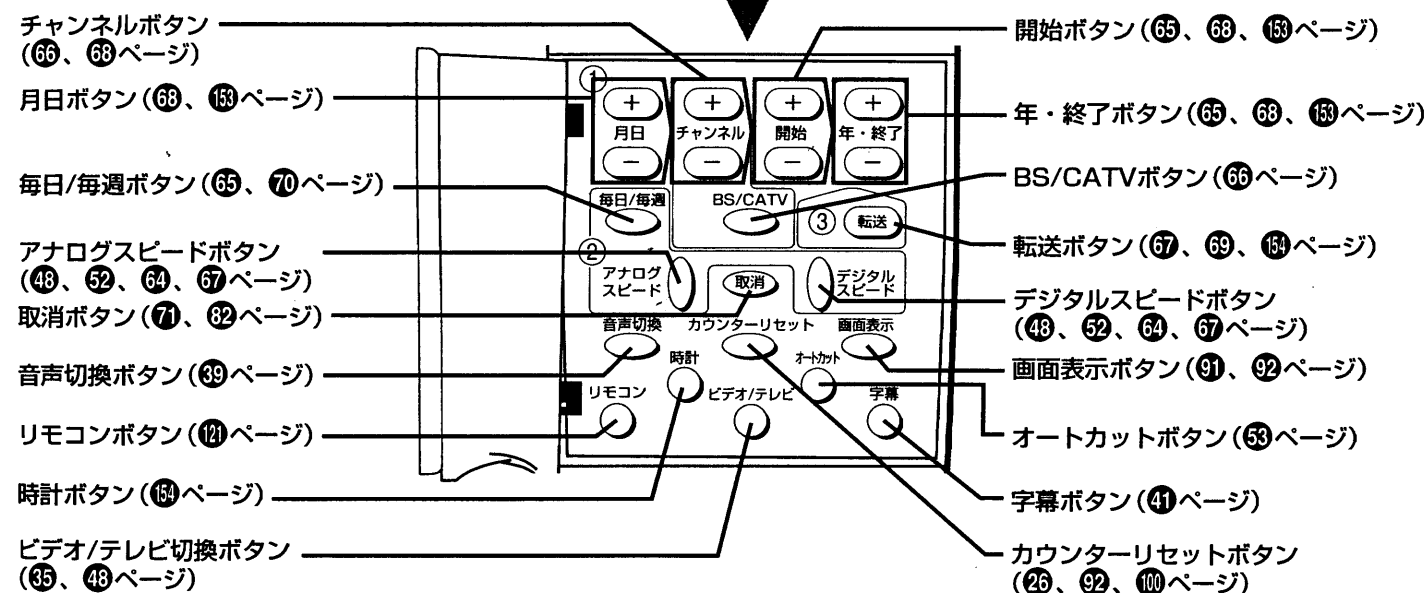
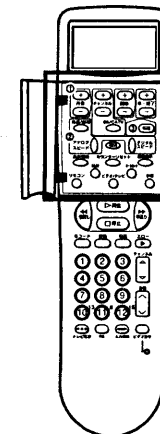
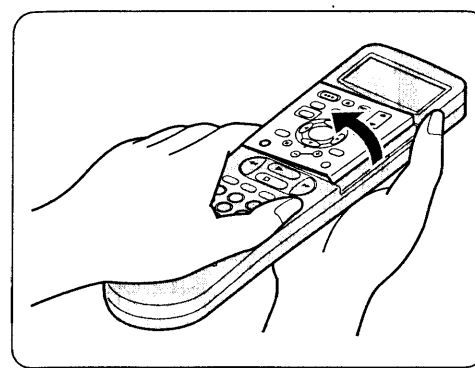
  これらの点を守らないと発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。

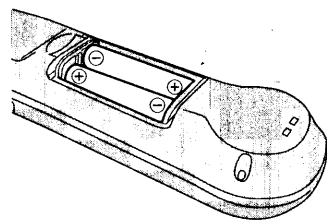
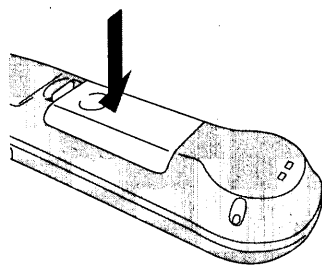
リモコンに乾電池を入れる

ビデオは主にリモコンで操作します。ご使用前に付属の乾電池を入れてください。

1 つまみを押しながら、ふたを開ける

2 乾電池（単3形）2本の⊕⊖を正しく入れる

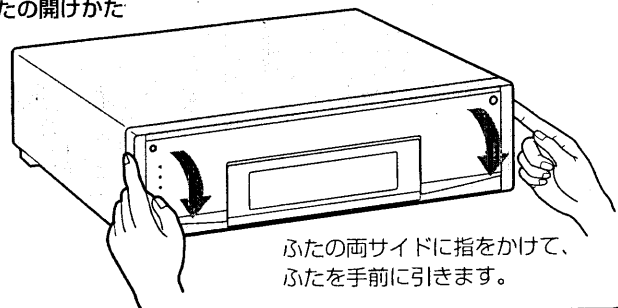
3 ふたを閉じる

リモコン（ふたを開けたところ）

リモコンの操作範囲

- ビデオとリモコンの間に障害物がないときに、次の範囲で操作できます。
- ふたを閉じた状態でも、同じように操作できます。

おしらせ

乾電池が消耗したとき
①から⑥の症状が出ます。
このときは、新しい乾電池に交換してください。
① リモコン操作後、表示窓に ▭ マークが出る
② リモコンの到達距離が短くなったり、リモコンでビデオを操作できない
③ 表示窓の時計表示が" ーー：ーー "になった
④ 表示が薄くなったり、異常な表示が出る
⑤ 時計が動かない
⑥ 表示がすべて消えた

▭ マークについて
乾電池の特質上、一度点灯してもまた消灯する場合があります。

乾電池を交換するとき
古い乾電池を取りはずし、**電源ボタンを10秒間押してから**、新しい乾電池を入れてください。その後、リモコンの時計を合わせ直してください（リモコンの時計合わせは153ページ参照）。

ビデオ（正面）

ふたの開けかた
ふたの両サイドに指をかけて、
ふたを手前に引きます。

ふたの中

電源ボタン
(62ページ)
カウンターリセット
(テープ選択）ボタン
(26、92、100ページ)
停止ボタン
(50ページ)
早送りボタン
(38ページ)
選択ボタン（105ページ）
リモコン切換ボタン
(121ページ)
巻戻しボタン
(38ページ)
再生ボタン
(38、55、144ページ)
取出しボタン
(22ページ)
SA予約ボタン
(62ページ)
一時停止ボタン
(40ページ)
テープナビボタン
(102、104ページ)
テープスピード切換ボタン
(48、52ページ)
チャンネル／トラッキングボタン
(39、47、60、141ページ)
録画（クイックタイマー）ボタン
(48、50、54、56ページ)

テープインランプ
(22ページ)
S映像入力2／出力2端子
(21、54、55ページ)
D-VHSインジケーター
(25、38、48ページ)
テープナビランプ
(47ページ)
電源ランプ
(22ページ)
入力／出力切換スイッチ
(21、54、55ページ)
SA予約ランプ
(62ページ)
CMランプ
(45ページ)
音声入力2／出力2端子（54、55ページ）
映像入力2／出力2端子（21、54、55ページ）
オートカットランプ（63ページ）
タイマーランプ（65ページ）
録画ランプ（48ページ）

ビデオ（後面）

BSデジタルチューナ接続用
音声端子（135ページ）
D1/D2/D3/D4映像
出力4端子
(131、139、135ページ)
音声出力4端子
(131、132、135ページ)
BSアンテナ
入力・出力端子
(129ページ)
BSデジタルチューナ接続用
D1/D2/D3/D4映像端子
(135ページ)
キードAFC端子
(133ページ)
電源コード
AV-BUSⅢ端子
(139ページ)
i.LINK端子
(86、88ページ)
UHF/VHFアンテナ入力・出力
端子（126、138ページ）
音声出力1端子（56、
79、126、130、134ページ）
音声出力3端子
映像出力1端子（79、126、
130、134ページ）
映像出力3端子
S映像出力1端子
(79、126、130ページ)
S映像出力3端子
音声入力1端子（56、138ページ）
S映像入力1端子
(138ページ)
S映像入力3/BSデジタル
チューナ入力/MUSE-NTSCコ
ンバータ入力端子（132、135ページ）
映像入力1端子（138ページ）
映像入力3/BSデコーダ入力端子
(130、131、133ページ)
音声入力3/BSデジタルチューナ入力
/BSデコーダ入力端子（130、131、133、135ページ）
ビットストリーム
入力・出力端子
(130、131、133ページ)
検波入力・出力端子
(130、131、133ページ)
ファンモーター通風孔
(6ページ)

ビデオの表示窓

L1 または L2 または L3* または d

＊ BSデジタル連動設定を「入り」にしたとき、またはBSデジタル連動設定を「切り」にして入力3設定を「外部入力」にしたとき、切り換わります。

テープ走行状態表示

再生すると点灯

早送りすると点灯、早送り再生すると点滅

巻戻しすると点灯、巻戻し再生すると点滅

録画一時停止中およびオートカット中点灯

一時停止中点灯

スロー再生すると点灯

- 電源を切ると、表示窓は暗くなります。
- 表示窓は上記以外にもいろいろなメッセージを表示します（19ページ参照）。

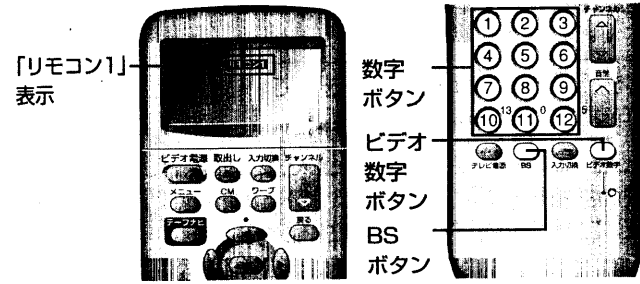
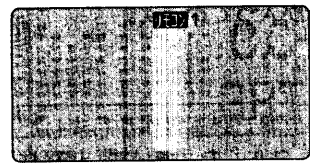
表示窓のガイド表示

ビデオの表示窓に次のような表示が出て、ビデオの状態をお知らせします。

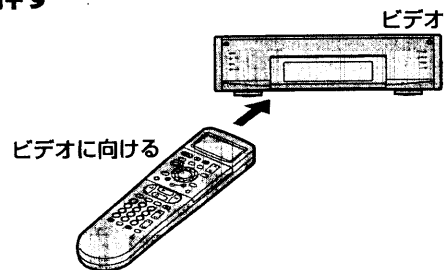
表　示	表示が出るとき	意味と処置	参照ページ
--:-- （約3秒点滅）	タイマー予約転送時	• ビデオの時計が「－－：－－」になっています。時計を合わせ直してから再度予約してください。	77
Err （約3秒点灯）	タイマー予約転送時	• リモコンをビデオに向けないで転送しています。ビデオに向けてください。	77
FULL （約3秒点灯）	タイマー予約転送時	• すでに32の番組が予約されています。不要な予約を取り消してから再度予約してください。	77
PROG （約3秒点灯）	タイマー予約転送時	• 予約を受け付けました	64 67 69
Loch （約3秒点滅）	録画ボタンを押したとき、またはタイマー予約後に電源を切ったとき	• 番組ロックしたテープが入っています。	116
Loch （ずっと点滅）	録画が途中で終了したとき	• 番組ロックした番組の位置で録画操作をしました。 • 録画中の番組が、ロックされた番組位置までくると、自動的に録画を終了します。テープを交換してください。	116
TAPE （約3秒点滅）	再生、録画、早送り、巻戻しボタンを押したとき	• テープが入っていません。テープを入れてください。	—
TAb （約3秒点滅）	録画、ダビング時に録画ボタンを押したとき	• つめの折れたテープが入っています。 つめの折れたテープは自動的に出てきます。つめの折れていないテープを入れてください。	48
R-2 （または、R-1、R-3、R-OFF）（約3秒点滅）	リモコンのボタンを押したとき	• ビデオのリモコン切換ボタンの設定が、リモコンの表示窓の設定と違っています。ビデオのリモコンボタンを押して、リモコンの表示窓の設定（リモコン1、リモコン2、またはリモコン3）と合わせてください。	121
CL （約3秒点滅）	電源を入れたとき	• 録画・再生を約200時間行なうごとに表示されます。 ビデオのヘッドが汚れている可能性がありますので、ヘッドを清掃することをおすすめします。CL表示を消すには、電源を切り、ビデオ本体のチャンネル▲ボタンを押してください。なお、CL表示は表示後約5時間録画または再生すると自動的に消えます。	9

リモコンの使いかた

付属のリモコンは、ビデオ（本機）とテレビを操作できます。
1985年以降に発売された日立製ワイヤレスリモコン対応テレビのほとんどを操作できます。
また、日立製以外の10社のテレビも操作できます（詳しくは⑫ページを参照）。

ビデオを操作する

1 リモコンの表示窓に「リモコン1」が出ていることを確かめる

- 「リモコン2」や「リモコン3」が出ているときは、リモコンのふたをあけてリモコンボタンを押して「リモコン1」を出してください。

おしらせ
- 工場出荷時は、リモコンの表示窓に「リモコン1」が表示されているときビデオの操作ができるよう、設定してあります。設定を変えて使うには、⑬ページをご覧ください。

2 リモコンをビデオに向けて、ボタンを押す

- ビデオとリモコンの設定が合っていないと、ビデオの表示窓にビデオのリモコンコードが数秒間点滅します。
  このときは、ビデオのリモコン切換ボタンをつまようじなどで押して、表示窓に「R-1」を出してください（⑬ページ参照）。

おしらせ
- ビデオ数字ボタンを押すと、リモコンの右下に赤いランプが点灯します。このときは、数字ボタンやBSボタンで直接チャンネルを選ぶことができます。
  （例）10チャンネルは・・・・・・ ① ⑪[0]ボタンを押す
  BS7チャンネルは・・・ BS ⑪[0] ⑦ ボタンを押す
- ビデオ数字ボタンを押したあと何も操作しないと、約1分後に赤ランプは消灯します。

テレビを操作する

リモコンをテレビに向けて、テレビ専用ボタンを押す

テレビ専用ボタン
- ・テレビ電源ボタン
- ・入力切換ボタン
- ・チャンネルボタン
  チャンネルは数字ボタンで直接選ぶこともできます。
  （例）10チャンネル ・・・・・ ⑩[13] ボタンを押す
- ・音量ボタン

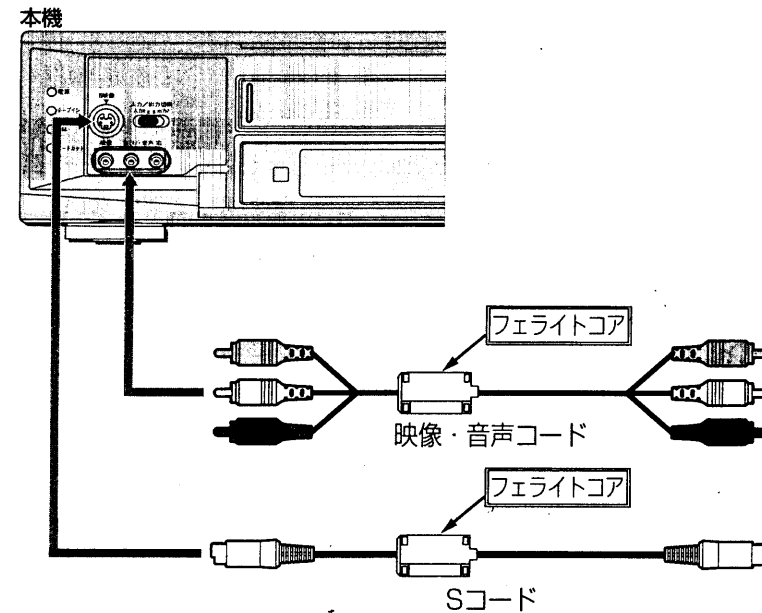
BSボタン（BSチャンネルを選びます）

数字ボタン
リモコンのふたを閉じて操作してください。
BSボタンを押すと、リモコン表示部に「BS」の表示が出ます。この表示が出ている間に、「数字」ボタンを押してチャンネルを選んでください。

BS 1ch：	BS → ①	BS 9ch：	BS → ⑨
BS 3ch：	BS → ③	BS11ch：	BS → ⑪[0]
BS 5ch：	BS → ⑤	BS13ch：	BS → ⑩[13]
BS 7ch：	BS → ⑦	BS15ch：	BS → ⑫[15]

フェライトコアの取り付けかた

ビデオ前面の「映像入力2／出力2端子」「音声入力2／出力2端子」または「S映像入力2／出力2端子」に映像・音声コードまたはSコードを接続する場合は、下記のようにフェライトコア（付属品）を取り付けてください。
フェライトコアは、ラジオやテレビなどへの電波妨害を低減するためのものです。
使いかたについては、54、55ページをご覧ください。

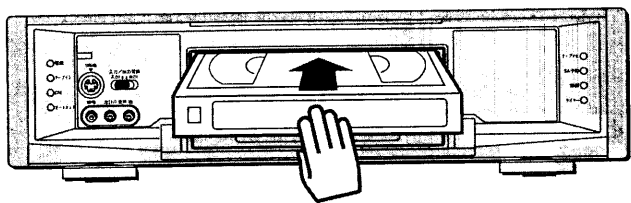
フェライトコアの取り付け位置

フェライトコアの取り付け方法

テープを入れる・取り出す

電源コードをコンセントにつないでおけば、電源の入/切に関係なく、テープの出し入れができます。

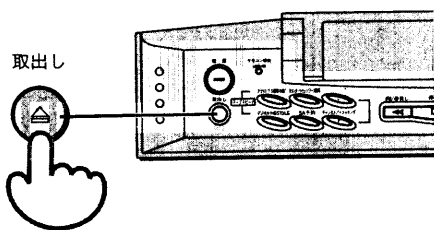
警告
ビデオテープ挿入口から内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

入れかた

テープの中央部を押しながら入れる

- 電源が自動的に入ります。ビデオ前面の電源ランプとテープインランプが点灯します。
- ビデオの表示窓は、経過時間表示になります。
- 「つめ」の折れたテープを入れると自動的に再生を始めます。

おしらせ
テープを入れると
- ビデオ前面のテープインランプが点灯します。テープインランプは、テープが入っていれば電源を切っても点灯します。
- ビデオの表示窓が自動的に経過時間表示になります。時計や残り時間表示にするには、リモコンの画面表示ボタンを押します。

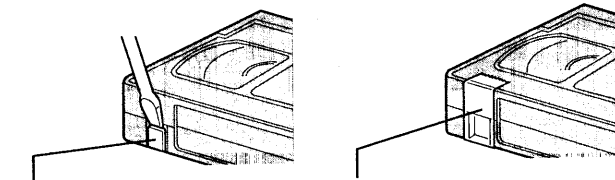
取り出しかた

テープが止まっているとき、取出しボタンを押す

- 電源を入れなくてもテープを取り出せます。
- テープを取り出すと、ビデオの表示窓が自動的に時計表示になります。
- リモコンの取出しボタンでも取り出せます。

おしらせ
- 取り出し口からテープを引き出せなくなったときは、一度テープを入れてから、もう一度取出しボタンを押してください。

テープの「つめ」について(誤消去防止)

■ 録画を誤って消さないために

■ ふたたび録画するとき

- 「つめ」の折れたテープを入れたまま録画ボタンを押したり、タイマー予約後にビデオの電源を切ったりすると、自動的にテープが出てきます。

操作音を入り/切りする

1. メニューボタンを押す
2. カーソルボタンで「機能設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す
3. カーソルボタンで「操作音」を選び、決定ボタンを押す
4. カーソルボタンで「切り」を選び、決定ボタンを押す
   音が出なくなります。
   (ただし、タイマー予約や時刻の転送時は音が出ます。)
   「操作音」を「入り」にすると、音が出るように設定されます。

おしらせ
ファンモーター音について
- 本機は、電源を入れるとビデオ本体内の温度を下げるために、ファンモーターの動作音がしますが、故障ではありません。

テープの種類と録画時間

VHS S-VHS テープ

- 録画モードを「標準」にするとテープの表示と同じ時間、「3倍」にするとその3倍の時間、録画できます。

テープの種類	T-30		T-60		T-90		T-120		T-140		T-160		T-180		T-210	
モード	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍
録画時間	30分	1時間30分	1時間	3時間	1時間30分	4時間30分	2時間	6時間	2時間20分	7時間	2時間40分	8時間	3時間	9時間	3時間30分	10時間30分

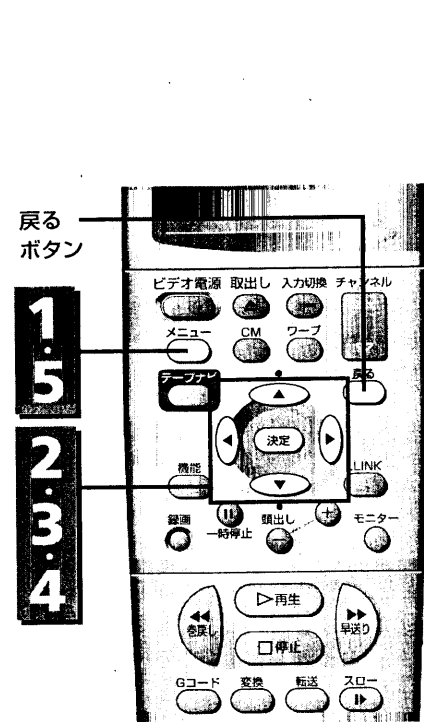
D-VHS テープ

- D-VHSテープにD-VHS方式で録画する場合の録画モードは、「HS」「STD」「LS2」「LS3」です。
  また、S-VHS、VHS方式で録画することもできます。その場合の録画モードは「標準」と「3倍」です。

テープの種類	DF-300						DF-240					
モード	HS	STD	LS2	LS3	標準	3倍	HS	STD	LS2	LS3	標準	3倍
録画時間	2時間30分	5時間	10時間	15時間	2時間30分	7時間30分	2時間	4時間	8時間	12時間	2時間	6時間
テープの種類	DF-360						DF-420					
モード	HS	STD	LS2	LS3	標準	3倍	HS	STD	LS2	LS3	標準	3倍
録画時間	3時間	6時間	12時間	18時間	3時間	9時間	3時間30分	7時間	14時間	21時間	3時間30分	10時間30分
テープの種類	DF-480											
モード	HS	STD	LS2	LS3	標準	3倍						
録画時間	4時間	8時間	16時間	24時間	4時間	12時間						

上記には、当社で販売していないテープも含まれています。「別売品のご紹介」(164ページ)を参照してください。
D-VHSテープ以外のテープをお使いになると、D-VHS方式で正しく録画できません。再生したときにブロックノイズや灰色の画面が発生したり、静止画になることがあります。

メニュー項目を選ぶ

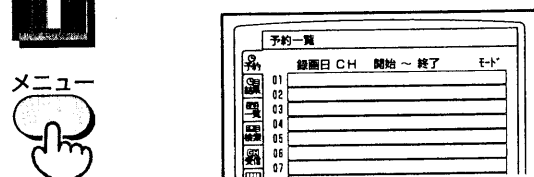
ビデオの動作や機能をメニュー画面で選ぶことができます。

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする（またはビデオチャンネル1または2を選ぶ）

ビデオで
- ビデオの電源を入れる

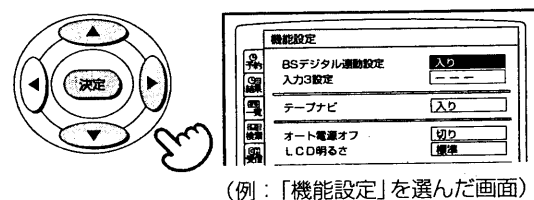
戻るボタン

1・5

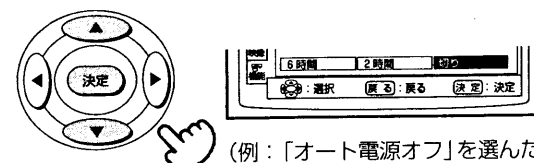
2・3・4

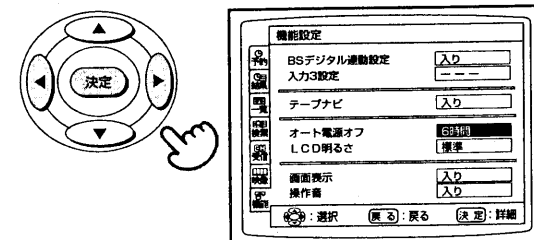
1 メニューボタンを押す

- 時刻が設定されていないと予約一覧画面に「時刻が設定されていません」と表示されます。時刻の設定をしてください。（⑬ページ参照）

2 カーソルボタンを押して設定したいメニュー画面を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

（例：「機能設定」を選んだ画面）

- 選んだメニュー画面が出ます。

おしらせ
- 別のメニュー画面を選びたいときは、リモコンの◀ボタンか戻るボタンを押してください。

3 カーソルボタンを押して設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

（例：「オート電源オフ」を選んだ画面）

4 カーソルボタンを押して設定内容を選び、決定ボタンを押して設定する

（例：「オート電源オフ」の「6時間」を選んだ画面）

5 メニューボタンを押す

- 元の画面に戻ります。

おしらせ

- 設定画面の詳しい説明は、以下のページを参照してください。

機能設定（⑮ページ）
- BSデジタル連動設定
- 入力3設定
- テープナビ
- オート電源オフ
- LCD明るさ
- 画面表示
- 操作音

映像設定（㊸ページ）
- S－VHS
- 3次元Y／C分離
- 3次元デジタルNR
- デジタルTBC
- テープアナライザATRS
- MPEG画質調整

- 受信している映像によっては、メニュー画面の一部が乱れることがあります。
- お使いのワイドテレビによっては、メニュー画面が通常より大きくなり、文字が見えなくなることがあります。
- 録画中はメニューボタンを押しても動作しません。
- メニュー表示中は、音声は出ません。

D-VHSについて

D-VHS方式は、従来のS-VHS・VHS方式に比べ、より美しく鮮明な画像と音声が楽しめます。D-VHS方式の高解像度、高画質を十分にお楽しみいただくためには、D映像入力端子・S映像入力端子やS1映像入力端子付きのテレビと接続することをお勧めします。

- D-VHS方式で録画・再生した場合、S-VHS・VHS方式で録画、再生した場合よりも、テープのきずや瞬間的に発生するヘッドのよごれなどによる画面の乱れが大きく、ブロックノイズや灰色の画面（❾ページ参照）が発生したり、静止画になることがあります。また、テープの頭の部分のように、くり返し録画、再生した部分ではこの様な現象が発生しやすくなります。
  D-VHSテープの取り扱いには十分注意し、テープにきずなどをつけないようにしてください。
- D-VHS方式で録画したテープは、S-VHS・VHS方式のビデオでは再生できません。
- D-VHSテープ以外のテープをお使いになると、D-VHS方式で正しく録画できません。再生したときにブロックノイズや灰色の画面が発生したり、静止画になることがあります。

記録方式

S-VHS	録画モード	記録方式
オート	HS/STD/LS2/LS3	D-VHS
入	標準/3倍	S-VHS

- 工場出荷時は「S-VHS」の設定は「オート」になっています。
- D-VHSのビデオテープを入れると、ビデオ前面のD-VHSインジケータは青色に点灯します。

記録したテープの再生

- D-VHSビデオは、D-VHS方式のほかにS-VHS方式やVHS方式でも録画/再生できます。今まで録画したS-VHSテープやVHSテープも再生できます。
- テープを再生するときは、記録方式を自動的に判別し、記録方式に合わせて再生します。

D-VHS録画の手順

1 D-VHSテープを入れる

2 録画したいチャンネルを選ぶ

3 リモコンのふたを開けてデジタルスピードボタンを押し、D-VHS方式の録画モードに設定する

4 録画ボタンを押す
詳しくは「テレビ番組を録画する」（㊼ページ）を参照してください

おしらせ

D-VHS（D-Video Home System）は、高画質なデジタル信号の記録方式として開発されたフォーマットです。D-VHSではS-VHSテープをベースにしたD-VHSテープを使用し、デジタル信号をそのまま記録するビットストリーム記録方式を採用しています。ビットストリーム記録では、デジタル衛星放送などで採用されているMPEG2などの圧縮信号をそのままD-VHSテープ上に記録し、入力された信号と同じ形で再生します。

記録レートについて

D-VHSビデオは、録画するテープスピードに応じて記録レートが変わります。高画質で録画する場合は高い記録レート、長時間録画するためには低い記録レートにする必要があります。また、i.LINKを使って録画する場合、サーチ再生するためのサーチデータもいっしょに録画するかどうかによっても、記録レートが変わります。

本機のチューナーを使って録画する場合
本機のチューナーで受信した番組や入力1端子/入力2端子/入力3端子に接続した機器からの映像/音声を録画するときのテープスピードと記録レートの関係を次の表に示します。

テープスピード	HS	STD	LS2	LS3
記録レート	14.4Mbps*	12.0Mbps	6.0Mbps	4.0Mbps
使いかた	高画質 ⟷			長時間

お好みの画質、録画したい時間によって、どのテープスピードで録画するか選んでください。

i.LINKを使って録画する場合
i.LINKケーブルで接続した機器からの映像/音声を本機で録画する場合は、テープスピードによって録画できる最大の記録レート**が決まっています。その関係を次の表に示します。

テープスピード		HS	STD	LS2	LS3
サーチデータ	入り	24.0Mbps	12.0Mbps	6.0Mbps	4.0Mbps
	切り	28.2Mbps	14.1Mbps	7.0Mbps	4.7Mbps

D-VHSビデオからデジタルダビングする場合は、本機のテープスピードを再生機のスピードに合わせてください。
BSデジタル放送のハイビジョン番組を録画するときテープスピードは自動的に「HS」モードに切り換わります。
BSデジタル放送のハイビジョンやマルチビュー番組以外の番組や、デジタルCS放送の番組を録画するときは、「STD」モードがおすすめです。（番組によっては「LS2」、「LS3」でも録画できるものもあります。）
サーチデータの「入り」「切り」については㉛ページを参照ください。
BSデジタル放送の番組や、デジタルCS放送の番組でも、入力1端子/入力2端子/入力3端子からの映像/音声を録画するときは「本機のチューナーを使って録画する場合」を参考にしてテープスピードを決めてください。

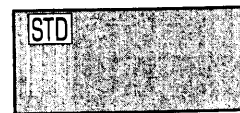
* **Mbpsとは**
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。14.4Mbpsならば1秒間に14.4メガビットのデータを録画することが出来ます。

** **記録レートと伝送レート**
どちらも映像や音声のデータ量ですが、記録レートはテープに録画するデータ量で、伝送レートはi.LINKケーブルで接続した機器から送られてきたり本機が送り出すデータ量のことです。

D-VHSのご注意

■D-VHS録画について

- D-VHS方式で録画するときの録画モードには「HS/STD/LS2/LS3」があります。録画したいチャンネルを受信し、D-VHSテープを入れてから、リモコンのデジタルスピードボタンで、録画モードを設定してください。

ビデオの表示窓

■D-VHS方式で録画できる映像について

- 本機内蔵のテレビチューナー（ケーブルテレビ、BS放送を含む）で受信した番組はほとんど録画できますが、受信状況が悪い場合（ノイズ、ゴーストが多い）、正しく録画できないことがあります。
- 外部入力に接続した機器からの映像の内容が以下のような場合は、正しく録画できない場合があります。
  - ・メニュー画面
  - ・ゲーム機器の映像
  - ・特殊再生映像
  - ・特殊処理された映像
  - ・ノイズの多いテープの再生映像
  - ・傷のついたテープの再生映像
  - ・繰り返し使われたレンタルテープの再生映像
  - ・中古販売されているソフトテープの再生映像
  - ・ダビングされたテープの再生映像
  - ・CDV（コンパクトディスクビデオ）の映像

  これらの映像や画面を録画、再生すると、まったく映像が出なかったり、灰色の画面やブロックノイズ、静止画が出ることがあります。このようなときには、Dモニターに切り換えると、D-VHS方式で録画、再生した場合にどのような映像になるか確認できます（㉝ページ参照）。
- 新しいD-VHSテープを入れると、テープの種類がDF-300になります。DF-300以外のD-VHSテープを入れたときは、テープの長さに合わせて表示を選んでください（92ページ参照）。

カウンターリセット

- D-VHS方式でタイマー録画すると、はじめの数秒間は、灰色の画面やブロックノイズおよび静止画（❾ページの画面参照）が出ることがあります。

■D-VHSテープにS-VHS録画するには

S-VHS方式で（標準/3倍）録画したい場合には、メニュー画面の「映像設定」で「S-VHS」の「オート」または「入り」を選んでから、リモコンのアナログスピードボタンを押して、標準か3倍を選んでください（㉕、㉛ページ参照）。

■D-VHSテープにVHS録画するには

VHS方式で（標準/3倍）録画したい場合には、メニュー画面の「映像設定」で「S-VHS」の「切り」を選んでから、リモコンのアナログスピードボタンを押して、標準か3倍を選んでください（㉕、㉛ページ参照）。

■D-VHSテープでのS-VHS、VHS再生について

D-VHSテープにS-VHSやVHSで録画した部分を再生すると、画面が出た直後に画面が乱れたり、ノイズが出ることがあります。

■D-VHS再生について

- D-VHS方式で録画したD-VHSテープを入れて、再生ボタンを押すと、自動的にD-VHS方式で再生します。
- 再生画面が出た直後に、ブロックノイズが出ることがあります。
- D-VHSで録画したテープを再生するとき、再生画が出るまで数十秒かかる場合があります。また、S-VHSやVHSで録画した部分から、D-VHSで録画した部分に切り換わるときも、再生画が出るまで数十秒かかる場合があります。
- D-VHS再生を始めると画面がきれいになるように自動的に調節します（オートトラッキング）。再生を始めてからしばらくたっても画面がきれいにならないときは、トラッキング（チャンネル▼、▲）ボタンを押して、ビデオの表示窓に出る数値が最大になるように設定してください。トラッキング中はブロックノイズや静止画、灰色の画面が出る場合があります。

ビデオの表示窓

左図の数字39は表示の例です。ご使用のVTRやテープによってこの値はかわります。

- D-VHS方式で録画したテープを再生するとき、再生画が出るまでに数十秒かかることがあります。また、S-VHS方式またはVHS方式で録画した部分からD-VHS方式で録画した部分に切り換わるときも、再生画が出るまでに数十秒かかることがあります。
- つなぎ撮り部分（録画を停止（一時停止）し、再び録画をはじめた部分）や、録画モードが切り換わる部分では、ブロックノイズや静止画・灰色の画面が出ます（㊾、51ページ参照）。

■ヘッドクリーニングの時期について

D-VHS再生時にビデオ前面のD-VHSインジケータが点滅し、再生画が出なくなった場合は、ビデオヘッドが汚れているおそれがあります。このときには❾ページを参照して、ヘッドクリーニングテープで清掃してください。

■D-VHSのいろいろな再生について

- D-VHS再生では、静止画、サーチ、スロー再生は以下のようになります。

押すボタン	画面
一時停止、スロー	静止画*1
早送り、巻戻し	サーチ画*2

*1 静止画が出るとき、はじめの約3秒ほど画像が上下に揺れることがありますが、自動的に止まります。このとき、チャンネル（トラッキング）ボタンで調節はできません。また、画像により、静止画が揺れたり、ブロックノイズや灰色の画面が出ることがあります。

*2 i.LINK機能設定メニューのサーチデータを「切り」に設定していて、i.LINK端子からの入力を録画したテープを再生したときは、サーチ画は出ません。また、本機以外でD-VHS録画をしたテープを再生したときは、サーチ画が出ないことがあります。早送りボタン、巻戻しボタンを押してからサーチ画が出るまで数秒から十数秒かかります。また、サーチ中にS-VHS、VHS方式で録画した部分からD-VHS方式で録画した部分に移ったときも、サーチ画が出るまで数秒から十数秒かかります。

- CMとばしワザでCMをとばしてから再生に戻るとき、また静止画、サーチ、スロー再生から再生に戻るときに、一度灰色の画面が出てから、ブロックノイズが出ることがあります。
  また、切り換わってから1〜2回灰色の画面が出ることがあります。

BSデジタル放送のデジタル高画質（ハイビジョン画質）録画・再生について

1回のみデジタルコピーが可能な番組*（デジタル1COPY アイコンの表示される番組）を録画した場合、BSデジタルチューナーを使って再生してもハイビジョン画質で見ることはできません。**

- 著作権者の要望により、高画質でのコピーを防ぐためです（BSデジタル放送の規格に準拠しているためで、不具合ではありません）。
- ビデオテープにはハイビジョン画質で録画されています。

	BSデジタルチューナーを使うとき		BSデジタル内蔵テレビを使うとき	
	録画	再生	録画	再生
フリー録画番組	1125i	1125i	1125i	1125i
1回のみデジタルコピーが可能な番組	1125i	**525i**	1125i	1125i ***
デジタル録画禁止番組	不可		不可	

（1125i = ハイビジョン画質、525i = 標準画質）

- 将来750p、525pで放送が実施された場合も、1回のみデジタルコピーが可能な番組は標準画質（525i）になる可能性があります。

＊1回のみデジタルコピーが可能な番組とは

著作権者の要望により、D-VHSビデオなどのデジタル録画機器で1回のみデジタル録画できますが、録画したものをデジタル再生してほかの録画機器に再度高画質で録画（コピー）することを禁止している番組のことです。このような番組はコピーの制限をする信号が同時に送られてきます。

**デジタル1COPY のアイコンは、日立製のデジタルチューナーおよび日立製のデジタルチューナー内蔵テレビの表示例です。

***BSデジタルチューナー内蔵テレビでは、ハイビジョン画質で出力される端子がなく、著作権保護されているため、ハイビジョン画質で見ることができます。

i.LINKについて

i.LINKの規格や特長について説明します。i.LINKを使って操作する前にお読みください。なお、i.LINKを使った接続や操作には、機器によって異なるものがあります。本機でできる操作については「i.LINKを使う」(79〜90ページ)をご覧ください。

重要

- **本機に搭載されているi.LINK端子(MPEG(TS))と、DVカメラやDVビデオデッキに付いているDV端子とはお使いになるケーブルや端子の形状は同じですが、扱うデジタルデータの圧縮方式が異なるため、相互にデジタルデータをやりとりすることやダビングはできません。DV端子を備えた機器はDV圧縮データを、本機を含めD-VHSはMPEG 2圧縮TS(トランスポート・ストリーム)データをやりとりします。また、同じMPEG 2圧縮データを扱う機器であってもTSデータ以外のデータをやりとりする機器と接続すると、デジタルデータのやりとりやダビングはできません。**

i.LINKとは

i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。
i.LINK対応機器を接続して、さまざまな操作やデータのやりとりができます。また将来、さらに多様な機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけではなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。このため、機器を接続する順序を気にする必要はありません。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

おしらせ

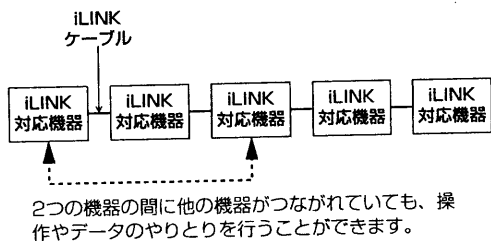
- i.LINKは、IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers) 1394−1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ「i」はソニー株式会社の商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。
この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。
このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像/音声/データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。
また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像/音声/データのやりとりができない場合があります。

必要なi.LINKケーブル

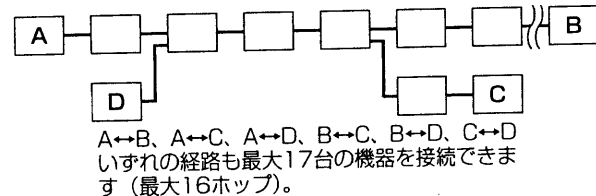
i.LINK対応機器との接続には、付属のi.LINKケーブル、または市販のi.LINKケーブルをお使いください。
市販のDVケーブルは、お使いになれません。

i.LINKでの接続について

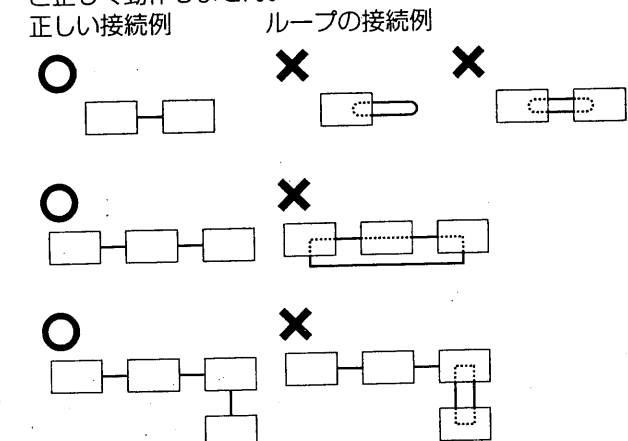
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブルで数珠つなぎにして接続します。

2つの機器の間に他の機器がつながれていても、操作やデータのやりとりを行うことができます。

途中から分岐してつなぐこともできます

- i.LINK端子を3つ以上持つ機器の場合、途中から分岐してつなぐこともできます。
- i.LINK対応機器は、本機を含めて63台まで接続できます。ただし、一番長い経路の接続は17台までです。(i.LINKケーブルは、一番長い経路に対して連続して16本まで使用することができます。)
ひとつの経路に対して使用したi.LINKケーブルの数を「ホップ」と呼びます。例えば、下図のA↔Cの経路は6ホップ、A↔Dの経路は3ホップとなります。

A↔B、A↔C、A↔D、B↔C、B↔D、C↔D いずれの経路も最大17台の機器を接続できます(最大16ホップ)。

接続が輪にならないようにご注意ください

デジタル信号は、接続したすべてのi.LINKケーブルに流れます。信号を出力した機器に同じ信号が戻らないよう、接続が輪にならないようにつないでください。接続が輪(環状)になることを「ループ」と呼びます。ループがあると正しく動作しません。

正しい接続例　ループの接続例

接続についてのご注意

- 一部のi.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継しない機器があります。i.LINKでの接続の際は、接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- i.LINK対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度がi.LINK端子の周辺に表記されています。i.LINKの最大データ転送速度は、約100/200/400Mbpsが定義されており、それぞれS100、S200、S400と表記されます。最大データ転送速度が異なる機器を接続した場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が表記と異なることがあります。
- 本機とi.LINK対応機器を接続してお使いの場合は、使用していない他の機器のi.LINKケーブルの抜き差しや、電源のオン/オフはできるだけ行わないでください。誤動作の可能性があります。

本機と接続して動作するi.LINK対応機器

重要

- **CSデジタルチューナーをi.LINKで接続して本機でサーチ再生したとき、CSチューナーの映像出力からはサーチ画が出ません。**

本機では、下記のi.LINK対応D-VHSビデオデッキと接続したときの動作を確認しています。(平成12年9月現在)

D-VHSビデオデッキ
- DT-DR20000(日立製)
- DT-DR5000(日立製)
- HM-DR10000(日本ビクター製)
- HM-DR1(日本ビクター製)
- SLD-DC1(ソニー製)

下記のデジタル衛星放送用チューナーと接続したときの動作については、デジタル衛星放送用チューナーの番組を本機で録画できること、またその録画したテープを再生したときにデジタル衛星放送用チューナーからもテレビで見ることができることを確認しています。(平成12年9月現在)。なお、本機の操作パネルからデジタル衛星放送用チューナーを操作することはできません。詳しくは85ページをご覧ください。

デジタル衛星放送用チューナー
- BSデジタルハイビジョンチューナー
  - BS-DH2000(日立製)
  - TU-BHD100(松下製)
  - TT-D2000(東芝製)
- デジタルCSチューナー
  - TU-VCS1(日本ビクター製)
  - DST-MS9(ソニー製)

本機とi.LINK対応機器との接続については「i.LINK対応機器をつなぐ」(79ページ)をご覧ください。

おしらせ

- 上記以外のi.LINK対応機器(デジタルビデオデッキ、デジタルビデオカメラ、パソコン、MDデッキなど)をつないで操作することはできません。

(平成12年9月現在)

i.LINKを使ってD-VHS録画するとき

次のような場合デジタルテープスピード(HS/STD/LS2/LS3)が自動的に変わります。ただし、アナログテープスピード(標準/3倍)で録画している場合は、選択したテープスピードで録画されます。

- i.LINKに対応したBSデジタルチューナーと接続してBSデジタル放送を録画しているとき、番組がハイビジョンに切り換わると、デジタルテープスピードがHSモードに自動的に切り換わります。タイマー予約でHSモード以外のデジタルテープスピード(STD/LS2/LS3)を選んでいても、自動的にHSモードに切り換わります。(BSデジタル放送の録画のしかたについては57ページからの「BSデジタルチューナーを使う」をご参照ください。)
- i.LINKで接続した機器から送られてくる映像・音声データの伝送レートが、本機で設定したデジタルテープスピードで決まる記録レートを超えた場合は、i.LINKで接続した機器の伝送レートよりも本機の記録レートのほうが大きくなるデジタルテープスピードに自動的に切り換わります。
  - LS3モードで録画できないとき → LS2モードに切り換わる
  - LS2モードで録画できないとき → STDモードに切り換わる
  - STDモードで録画できないとき → HSモードに切り換わる

  タイマー録画のときも同様に切り換わります。
  (記録レートや伝送レートについては25ページ、i.LINKの使い方については79ページからの「i.LINKを使う」をご参照ください。)
  i.LINKで接続した機器から送られてくる映像・音声データの伝送レートが、本機で設定したデジタルテープスピードで決まる記録レートより小さい場合は、そのまま本機で設定したテープスピードで録画します。

i.LINKを使ってBSデジタル放送をD-VHS録画したテープの再生について

- BSデジタルチューナーからi.LINKを使ってBSデジタル放送をD-VHS方式で録画したテープを再生する場合は、必ずBSデジタルチューナーをi.LINKケーブルでつないで再生してください。(使い方は57〜59ページ、接続は135〜137ページをご参照ください。)
BSデジタルチューナーとつながずに再生したときは、灰色の画面または静止画になり、音声が出ません。

おしらせ

- i.LINK接続した機器のメーカー名や機種名が表示されないときや正しく接続できないときは、i.LINKケーブルを抜いてからもう一度差し込んでください。ただし、接続した機器によってはメーカー名や機種名を表示できないときがあります。

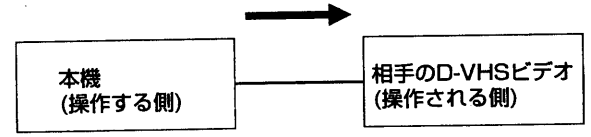
LINC(リンク)とは

「LINCする」とは、相手の機器を1台選ぶことを意味します。本機は、ケーブルで接続しただけではi.LINK対応機器からの映像や音声を見たり録画したりすることができません。操作する前に、必ず見たり、録画したい相手の機器をLINCしてください。

- **i.LINK対応機器の録画中に、i.LINKで接続している他の機器の電源を切ったり、別の機器をi.LINKで接続したりしないでください。録画中のデータが途切れることがあります。**
- **LINCしている機器が録画中のときは、LINCする機器を変更できません。**

本機(i.LINK対応機器を操作する側)は、i.LINKケーブルで接続されている機器のうち1台だけからの映像や音声を見たり録画したりすることができます。本機と相手の機器との間で次のようなやりとりが行われます。

例)D-VHSビデオをLINCするとき

①「これから操作してもいいですか?」と本機が相手のD-VHSビデオに信号を送る

②「了解です」と相手のD-VHSビデオが本機に信号を送る

この呼びかけ・返答のやりとりが行われ、i.LINK対応機器のLINCが完了して、初めてi.LINK対応機器を操作することができます。
詳しくは「操作したい機器をLINCする」(83ページ)をご覧ください。

おしらせ

- 本機では、他の機器を一度LINCすると、LINCの設定を変えない限りその機器をいつも自動的にLINCします。他の機器をLINCして電源を切っても、もう一度電源を入れるとその機器をLINCした状態になっています。
- 本機と機器AをLINCしているときに、i.LINKで接続されている他の機器Bと機器AをLINCさせたいときには、先に本機と機器AとのLINCを解除してください。

本機 —①LINCを解除— 機器A —②LINCさせる— 機器B

- LINCとは、Logical Interface Connection(ロジカル・インターフェース・コネクション:「論理的な接続を行う」の意)の略です。

おしらせ

- i.LINKケーブル経由では、i.LINKで接続している機器からのメニュー画面などは送られません。相手の機器のメニュー画面などを見る場合は、テレビの入力切換を相手の機器に切り換えてください。
- テープナビ機能を「入り」に設定しているときに、D-VHSモードで記録したテープを入れると、i.LINK出力の映像・音声は途切れます。また「ナビ検索中」の表示が出て、お知らせします。

S-VHS、S-VHS ETモードについて

S-VHS方式は、従来のVHS方式に比べ、より美しく鮮明な画像が楽しめます。
S-VHS方式の高解像度、高画質を十分にお楽しみいただくためには、S映像入力端子やS1映像入力端子付きのテレビと接続することをお勧めします。
S-VHSテープをお使いになると、良い画質で録画・再生できます。また、長期間保存するためには、S-VHSテープをお使いください。
また、このビデオはS-VHS ETモードで録画・再生できます。S-VHS ETモードは、VHSテープにS-VHSの画質(解像度400本以上)で録画・再生する機能です。S-VHS ETモードの高画質を十分にお楽しみいただくためには、「HG(ハイグレード)」のテープをお使いになることをおすすめします。

タイマー予約時に「デジタルスピード(HS/STD/LS2/LS3モード)」を設定しても、VHSテープを入れていると、アナログスピード(標準/3倍モード)で録画されます。

使用するテープと記録方式

「映像設定」の画面で「S-VHS」を「オート」に合わせていると、使用するテープの種類に合った記録方式で録画されます。
「切り」に合わせると、テープの種類に関係なくVHS方式で録画されます。
S-VHS ETモードで録画するには、VHSテープ(「HG」グレードのテープをおすすめします)を入れて、「映像設定」の「S-VHS」を「入り」に合わせてください。

メニュー(映像設定) S-VHS	使用するテープ	録画モード	記録方式	点灯する表示
オート	D-VHS S-VHS	標準/3倍	S-VHS	SVHS 表示
	VHS	標準/3倍	VHS	点灯しない
入	D-VHS S-VHS	標準/3倍	S-VHS	SVHS 表示
	VHS	標準/3倍	S-VHS ET	SVHS ET表示
切	D-VHS S-VHS VHS	標準/3倍	VHS	点灯しない

ビデオの表示窓

SVHS 表示は、S-VHS方式で録画中と再生中に自動的に表示されます。

SVHS ET表示は、S-VHS ET方式で録画中と再生中に自動的に表示されます。

おしらせ

- VHSテープの何も録画されていない部分を再生したとき SVHS 表示および SVHS ETを表示することがあります。
- 「映像設定」の「S-VHS」を「オート」に合わせていると、テープを取り出しても「SVHS」または「SVHS ET」が表示されつづける場合があります。ビデオの電源を切ると SVHS または SVHS ET表示は消えます。
- 他のビデオの5倍モードで録画したテープは、本機では再生できません。表示窓にはLS2またはLS3と表示され、テレビ画面は静止画または灰色か黒色の画面になります。

「S-VHS」の切り換え

1 メニューボタンを押して、カーソルボタンで「映像設定」画面を出す

2 「S-VHS」の設定を録画したい記録方式に切り換えて、決定ボタンを押す

3 メニューボタンを押す

記録したテープの再生

テープを再生するときは、記録方式を自動的に判別し、記録方式に合わせて再生します。

記録方式	再生できるビデオ
S-VHS S-VHS ET	• D-VHSビデオ* • S-VHSビデオ • S-VHS ET付きビデオ • SQPB**付きビデオ
VHS	• D-VHSビデオ • S-VHSビデオ • S-VHS ET付きビデオ • SQPB**付きビデオ • VHSビデオ

* S-VHS、SQPBまたはS-VHS ET対応機種

**SQPBは、S-VHS Quasi（クワジ） Playback（S-VHS簡易再生）の略です。

S-VHS ETモードについて

- このビデオのS-VHS ETモードで録画したテープは、本機または、S-VHS ETモード付きビデオでの再生をおすすめします。
- VHSテープの種類によっては十分な画質が得られない場合がありますので、初めて使う場合は、あらかじめ試し録りをして画質を確認してください。
- S-VHS ETモードで録画したテープは、他のS-VHS ETモード付きビデオ、S-VHSビデオ、SQPB付きビデオで再生できますが、ごく一部のS-VHSビデオとSQPB無しビデオでは再生できませんのでご注意ください。

再生できない日立製S-VHSビデオ：VT-Z50
VT-Z70
VT-S610
VT-BS2
7B-DF100

- より高画質を望まれる場合や、他のビデオでの再生、長期間の保存を目的とした録画では、S-VHS記録方式をお勧めします。
- 特殊再生（静止画再生やスロー再生）を行うと、画面にノイズが出たり、画質が劣化することがあります。これらの操作の多用は、避けてください。
- S-VHS ETモードで録画するVHS「HG」テープには、同梱の「Super VHS ET」シールをカセットラベルに貼っていただくと、わかりやすくて便利です。（シールがなくなったときには、カセットラベルに記入するなどしてください。）

Dモニターについて

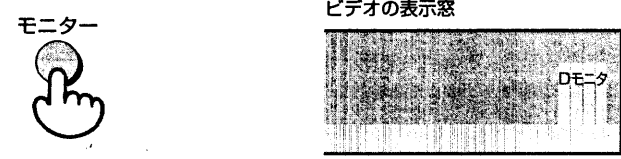
本機に内蔵のテレビチューナー（ケーブルテレビ、BS放送を含む）や外部入力の映像をテレビに映すときに、そのままの映像・音声（Aモニター）と本機でデジタル処理した映像・音声（Dモニター）を切り換えることができます（通常はAモニターになっています）。

- D1/D2/D3/D4映像出力端子からは常にデジタル処理された映像と音声が出力されます。
- D-VHS方式で録画されたテープを再生すると、デジタル処理された映像が出力されます（ビデオの表示窓に「Dモニタ」と出ます）。

Dモニター	D-VHS方式で録画、再生した場合にどのような映像になるか確認できます。 ビデオの表示窓に「Dモニタ」と出ます。
Aモニター	デジタル処理されていない映像を見ることができます。（通常はこちらになっています） ビデオの表示窓の「Dモニタ」表示が消えます。

モニターボタン

Dモニターに切り換える

停止中リモコンのモニターボタンを押す

モニター

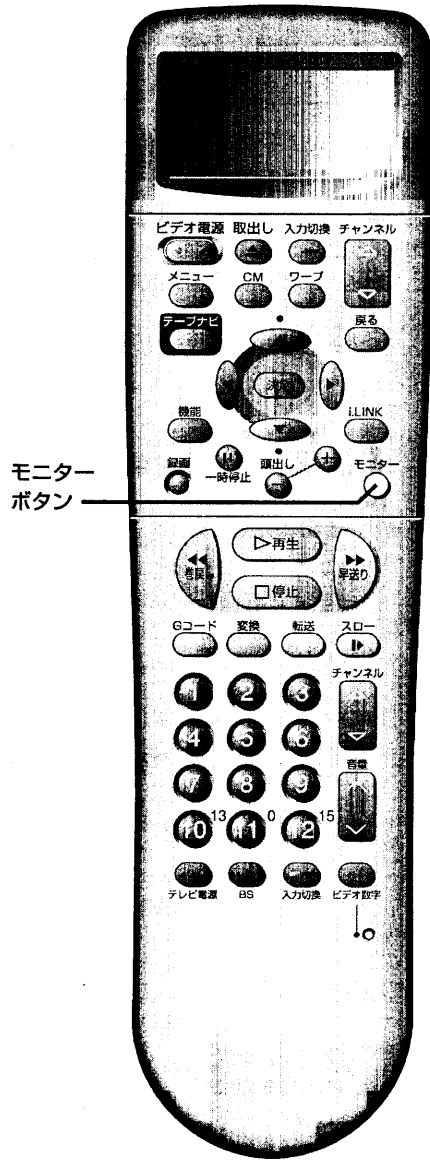
ビデオの表示窓

- ボタンを押している間だけテレビの映像がDモニターに切り換わります。ビデオの表示窓に「Dモニタ」と出ます。
- モニターボタンを離すと、テレビの映像がAモニターに戻ります。

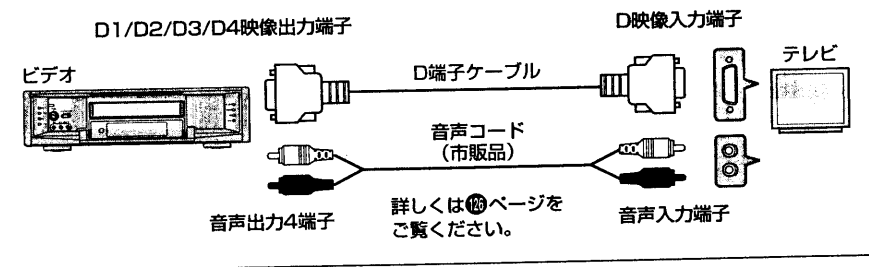
おしらせ

- DモニターとAモニターを切り換えたとき、一瞬画面が乱れたり、音声が途切れたりします。

おしらせ

- **外部入力端子に接続した機器から以下のような映像をDモニターで見ると、灰色の画面やブロックノイズ、静止画が出ることがあります。**
  - メニュー画面
  - ゲーム機器の映像
  - 特殊再生映像
  - 特殊処理された映像
  - ノイズの多いテープの再生映像
  - 傷のついたテープの再生映像
  - 繰り返し使われたレンタルテープの再生映像
  - 中古販売されているソフトテープの再生映像
  - ダビングされたテープの再生映像
  - CDV（コンパクトディスクビデオ）の映像
- **標準／3倍で録画したテープを再生しているときは、Dモニターに切り換えることはできません。**
- **D-VHS方式で録画されたテープを再生をしているときや、入力切換で「d」を選んだときや、メニューやi.LINK、テープナビ画面を表示したときは、自動的にDモニターになります。**

D1/D2/D3/D4映像出力について

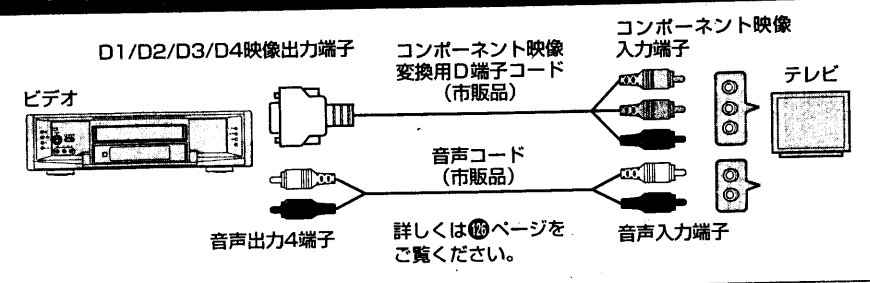
テレビがD映像入力端子を持っている場合、本機のD1/D2/D3/D4映像出力端子とD端子ケーブルで接続することにより、クロスカラーや色にじみの少ない高画質映像が映し出されます。
D1/D2/D3/D4映像出力端子からは、輝度信号(Y)と青系の色差信号(CB)と赤系の色差信号(CR)の3種類の映像信号(これをコンポーネント映像信号といいます)が、独立して出力されます。
本機のD-VHS方式は、コンポーネント映像信号に対応したデジタル映像信号を録画再生していますので、D映像端子と接続することにより、D-VHS再生をより高画質で楽しむことができます。
また、BSデジタルチューナーが出力するコンポーネント映像信号を中継して、本機のD1/D2/D3/D4映像出力端子から出力する機能もありますので、テレビとの接続を入れ替えることなくBSデジタルチューナーの高画質映像を楽しむことができます(57ページ参照)。

D映像入力端子つきテレビとつなぐとき

D1/D2/D3/D4映像出力のご注意

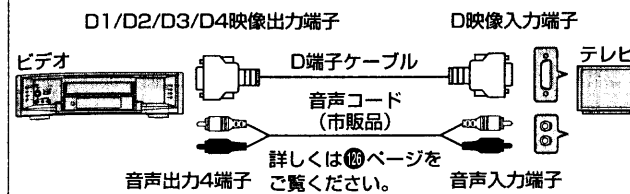
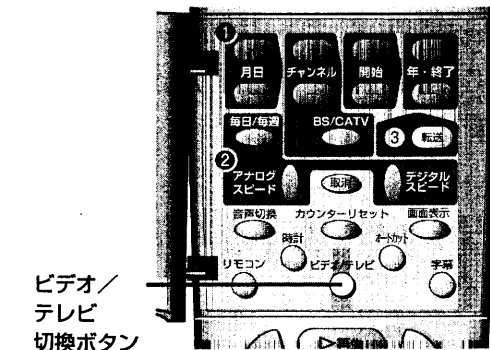
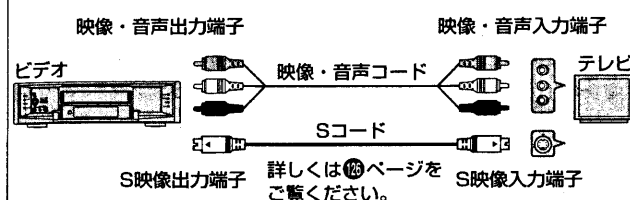
- 本機が出力する映像はD1映像のみです。BSデジタルチューナーからBSデジタル接続用D1/D2/D3/D4映像端子に入力された映像信号を中継して出力したときに、D1のほかにD2またはD3またはD4の映像を出力します(57ページ参照)。
- 「映像設定」の「デジタルTBC」を「入り」にしているとき、D-VHS録画したテープを入れると映像や音声が途切れたり乱れたりすることがありますが、故障ではありません。
- D1/D2/D3/D4映像出力端子からは映像信号のみ出力されます。音声コードはかならず音声出力4端子に接続してください(126ページ参照)。他の音声出力端子に接続すると、映像と音声がずれます。
- D1/D2/D3/D4映像出力端子からは、常にデジタル映像信号(Dモニターの映像)を出力しています。
- D1/D2/D3/D4映像出力端子からは、チャンネルやビデオの動作状態を示す画面表示、テープの経過時間、テープの残り時間、時計を示す表示、オートカット機能、コピープロテクトに関連した画面表示が出力されません。ビデオの表示窓やランプの表示を参考にしてください。メニュー画面やテープナビ画面などは表示されます。
- 画像によってはノイズが強調されたり画質が劣化して見えたり、サーチ画が乱れたりする場合があります。このようなときにはテレビをS入力やビデオ入力に切り換えてご覧ください。
- 画像の明るさ、色の濃さ、色相等はテレビで調整してください。
- 「映像設定」の「デジタルTBC」を「切り」にしてアナログ記録テープやレンタルテープを再生すると画面が乱れたりすることがあります。このようなときは「デジタルTBC」を「入り」にしてご覧ください(43ページ参照)。
- 音声出力4端子接続用の音声コードは市販のものをご利用ください。
- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 外部入力に音声だけを接続したとき、この音声は音声出力4端子から出力されません。このようなときは、音声出力1、2または3端子に接続した機器から音声を聞いてください。

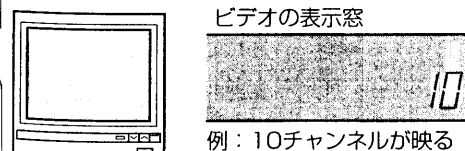
おしらせ

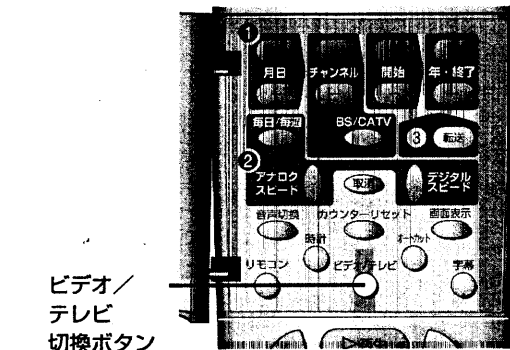
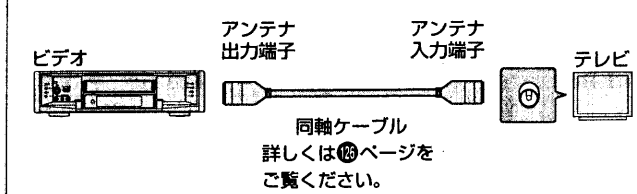
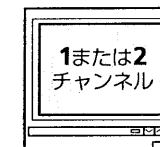
- 本機が出力するD1映像は、コンポーネント映像入力端子(Y、CB、CR)を持っているテレビでも、コンポーネント映像変換用D端子コード(市販品)を使用することで、高画質映像を楽しむことができます。なお、ハイビジョン用テレビなどテレビの種類によってはY、PB、PRと表示されている端子があります。それらの端子に接続しても映る場合があります。テレビの取扱説明書をよくお読みください。
- BSデジタルチューナーが出力するコンポーネント映像信号を中継して、本機のD1/D2/D3/D4映像出力端子から出力するときはテレビが持っている端子の種類に合わせてBSデジタルチューナーの出力設定をしてください(57ページ参照)。

コンポーネント映像入力端子つきテレビとつなぐとき

テープを見る準備

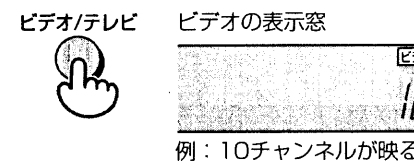
ビデオテープの再生画面や録画中の番組をテレビで見るには、テレビの準備が必要です。
テレビとビデオの接続を確かめてから、次のように設定してください。

D映像入力端子つきテレビにつないでいるとき

映像・音声入力端子つきテレビにつないでいるとき

テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする

例：10チャンネルが映る

- テレビには、ビデオの表示窓に表示されているチャンネルの番組が映ります。

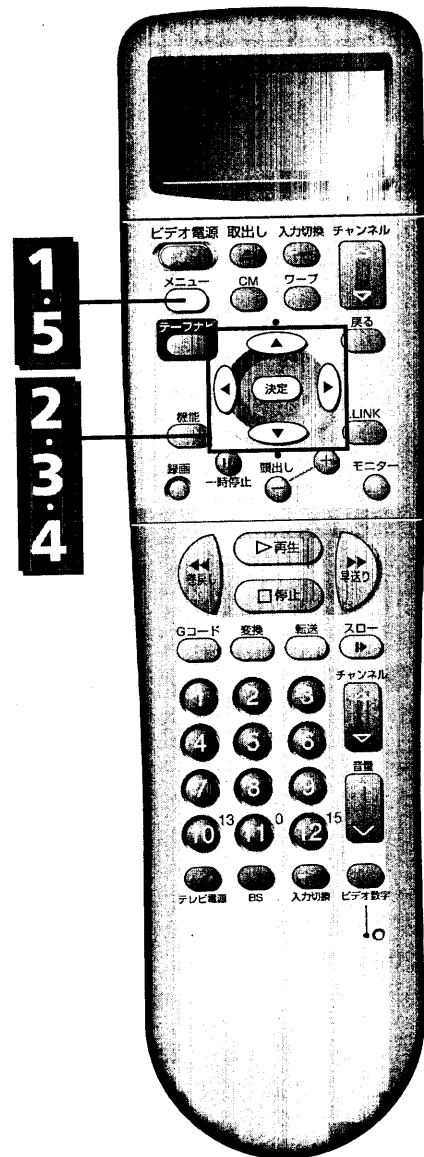
アンテナ端子だけのテレビにつないでいるとき

1 テレビの電源を入れ、テレビをビデオチャンネル(1または2)に合わせる

- 14ページで選んだビデオ専用チャンネルに合わせてください。

2 ビデオ/テレビ切換ボタンを押す

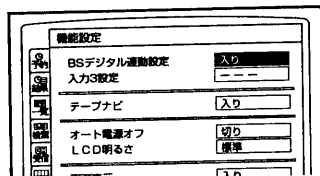
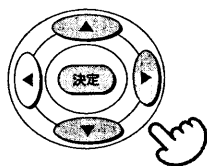
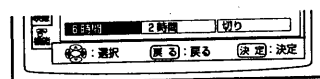
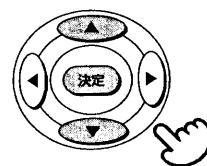
例：10チャンネルが映る

- ビデオの表示窓に「ビデオ」を出します。
- テレビには、ビデオの表示窓に表示されているチャンネルの番組が映ります。

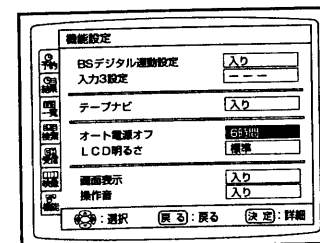
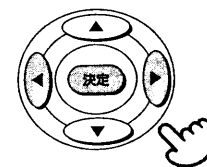
電力の消費をおさえる

ビデオ本体を指定した時間で自動的に切ったり、表示窓の明るさを調節することで電力の消費をおさえる機能があります。

オート電源オフ機能	一度設定すると設定時間が記憶されますので、日頃の省エネに向いています。 また、ビデオを操作しないときにだけ機能が働きますので、長時間操作しないとき(外出時など)の電源切り忘れ防止に役立ちます。
LCD明るさ調節機能	LCD明るさを「暗」にすると表示窓が暗くなり、電力の消費をおさえます。

ビデオの電源を自動的に切る(オート電源オフ)

1 メニューボタンを押す

2 ▼、▲ボタンで「機能設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで「オート電源オフ」を選び、決定ボタンを押す

4 ◀、▶ボタンで電源を切るまでの時間を選び、決定ボタンを押す

- 「2時間」を選ぶと2時間後、「6時間」を選ぶと6時間後に自動的に電源が切れます。
- 「切り」を選んだときは、電源は切れません(95ページ参照)。

5 メニューボタンを押す

おしらせ

オート電源オフを設定していて操作をしないと
- 3分後にビデオの表示窓が自動的に暗くなります。
- 表示窓が暗くなっているときにビデオを操作すると、表示窓が点灯します。

表示窓を暗くするには
- 3で「LCD明るさ」を選んで決定ボタンを押し、4で「暗」を選んで決定ボタンを押してください(95ページ参照)。
- 「LCD明るさ」を「暗」にすると、常に表示窓は暗くなります。

操作編

テープを見る（再生）

録画したテープを見ることを、「再生」といいます。

重要

- 冬など寒い時期は、テープを十分に部屋の温度になじませてから再生してください。テープが冷えたまま再生すると、テープが結露し、テープが切れたりビデオヘッドを傷つけることがあります。
- テープを再生中、録画モードが切り換わる部分では、画像が乱れたり静止画や灰色の画面になります。

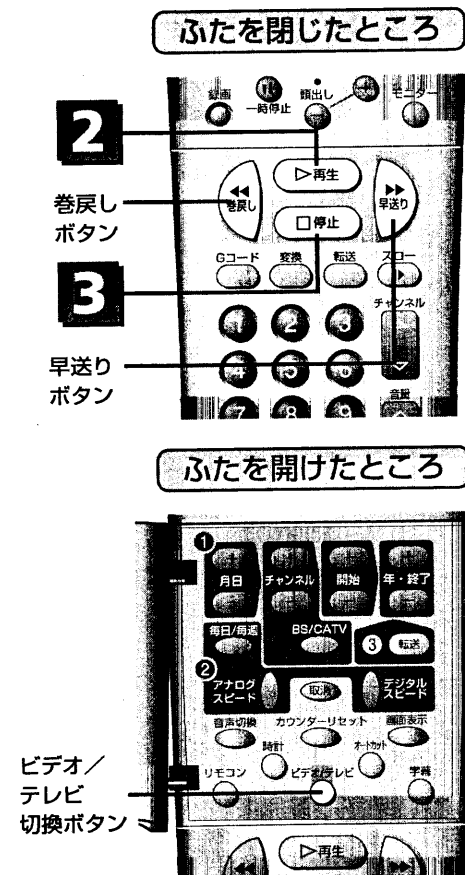
ふたを閉じたところ

ふたを開けたところ

おしらせ

コピーガード表示について
- コピーガード処理されたテープを再生すると、ビデオの表示窓に「コピーガード」と出ます。

ビデオの表示窓

- BSデジタルチューナーからi.LINKを使ってBSデジタル放送をD-VHS方式で録画したテープを再生する場合は、必ずBSデジタルチューナーをi.LINKケーブルでつないで再生してください。（使い方は57～59ページ、接続は135～137ページをご参照ください。）
  BSデジタルチューナーとつながずに再生したときは、灰色の画面または静止画になり、音声が出ません。

テレビで
- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする（またはビデオチャンネル1または2を選ぶ）

1 録画したテープを入れる

- 自動的に電源が入ります。
- レンタルテープなど「つめ」の折り取られているテープを入れると、自動的に再生を始め、テレビ画面に「再生」が数秒間出ます。

2 再生ボタンを押す

- D-VHS方式で録画したテープを再生すると、ビデオ前面のD-VHSインジケータが青色に点灯します。
- D-VHSの再生については、27ページを参照してください。

3 再生を止めたいときは、停止ボタンを押す

おしらせ

ビデオの電源を入れたまま、テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選ぶには
- ビデオ／テレビ切換ボタンを押して、ビデオの表示窓の「ビデオ」表示を消してください。

テープを早送りまたは巻戻ししたいとき

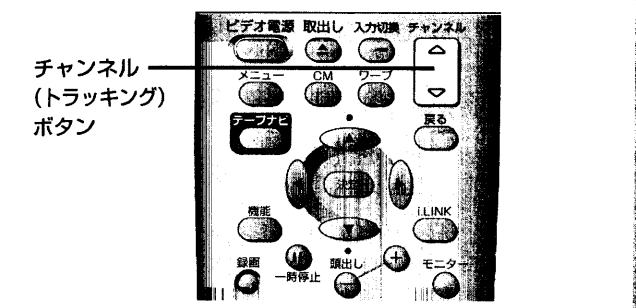
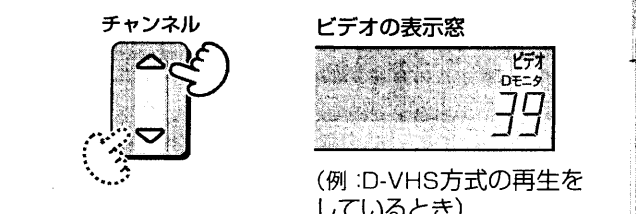
停止ボタンを押したあと、早送りまたは巻戻しボタンを押す

再生画をきれいにする（トラッキング調節）

再生を始めると画面がきれいになるように自動的に調節します（オートトラッキング）。
再生中にリモコンの再生ボタンを押しても、オートトラッキングが働きます。再生を始めてからしばらくたっても画面がきれいにならないときは、下記の方法で調節してください。

再生中にチャンネル（トラッキング）ボタンを押す

ビデオの表示窓

（例：D-VHS方式の再生をしているとき）

- 画面がもっともきれいになるところに調整してください。
- ビデオのチャンネル／トラッキングボタンでも調整できます。
- D-VHS方式で録画したテープの再生では、ビデオの表示窓の数値が最大になるように調整してください。

おしらせ

- テープによっては、再生を始めてオートトラッキングが働いたとき、一時的に画像や音質が悪くなる（ノイズが入る）ことがあります。
- D-VHS方式で録画したテープの場合は、ブロックノイズ、静止画、灰色の画面になることがあります。

次のようなテープでは、再生を始めても正常に自動調節できないことがあります。
- 傷がついたテープ
- 録画状態の悪いテープ
- このビデオ以外で録画したテープ

おしらせ

- D-VHSで録画したテープを再生するとき、再生画が出るまで数十秒かかる場合があります。また、S-VHSやVHSで録画した部分から、D-VHSで録画した部分に切り換わるときも、再生画が出るまで数十秒かかる場合があります。

こんな機能があります！
- テープを最後まで再生すると、テープの最初まで自動的に巻戻します。（オートリワインド）
- テープを巻戻し中に電源を切ると、テープを最初まで巻戻したあと、自動的に電源が切れます。（オートリワインドシャットオフ）

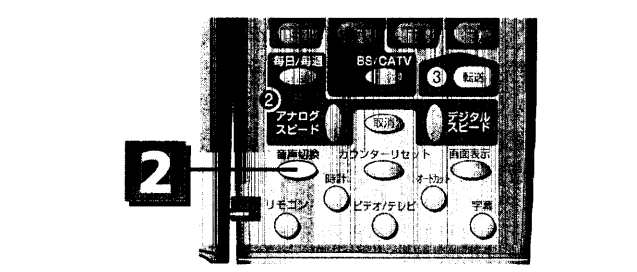
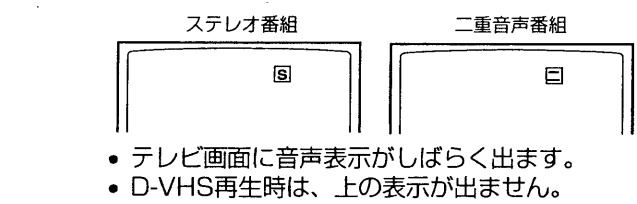
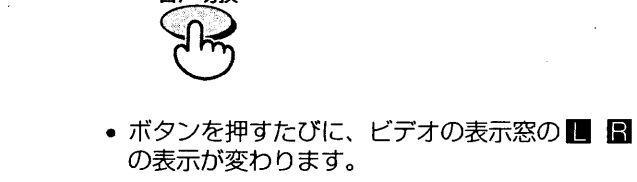
聞きたい音声を選ぶ

1 テープを再生する、またはテレビ番組を見る

- テレビ画面に音声表示がしばらく出ます。
- D-VHS再生時は、上の表示が出ません。

2 音声切換ボタンを押して音声を選ぶ

音声切換

- ボタンを押すたびに、ビデオの表示窓の L R の表示が変わります。

表示	聞きたい音声	
	二重音声番組	ステレオ番組
L R	主音声と副音声（例：「こんにちは」と「Hello」）	ステレオ
L	主音声だけ（例：「こんにちは」だけ）	左の音声（Lチャンネル）
R	副音声だけ（例：「Hello」だけ）	右の音声（Rチャンネル）
表示なし*	主音声だけ（例：「こんにちは」だけ）	モノラル（ノーマルサウンド）

＊再生中、D-VHSインジケータが青色に点灯しているときは、音声切換で「表示なし」を選べません。

おしらせ

- 映像・音声入力端子のないテレビとつないで二重音声番組を見るときは、L R のどちらかを選んでください。L R を出すと左右の音声が混じって聞こえます。

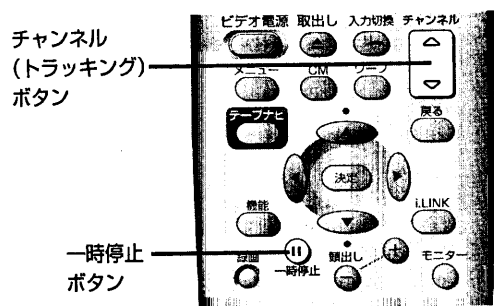
再生オートについて
- 一度音声を選ぶと、次に選び直すまでは前に選んだ音声が聞こえます。日立製の再生オート機能付きビデオで録画したテープを再生すると機能します。
- D-VHS方式で録画したテープでは、再生オートは機能しません。

いろいろな再生のしかた

テープに録画した場面を止めて見たり、速く見たり、ゆっくり見たりすることができます。
D-VHSのいろいろな再生については、「D-VHSのいろいろな再生について」(27ページ)を参照してください。

重要

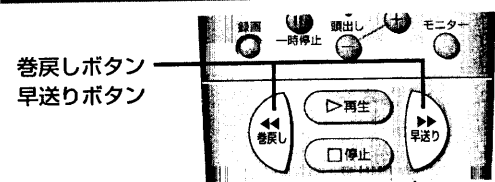
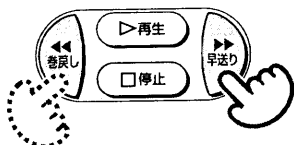
- 静止画、サーチ、CMとばしワザ、スロー再生中は音声が出ません。
- スロー再生や静止画再生中にノイズを調節してもノイズが消えないことがあります。
- サーチ、スロー再生中、テープの録画モードが切り換わるところでは、一時的に画像が乱れます。
- 静止画、サーチ、スロー再生中はノイズや乱れ、ブロックノイズが出ることがありますが、故障ではありません。
- D-VHS方式で録画したテープをサーチ再生すると映像が間欠的に変化しますが、故障ではありません。

ある場面を止めて見る(静止画)

再生中に、一時停止ボタンを押す

- 一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと再生に戻ります。
- 静止画が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止します。

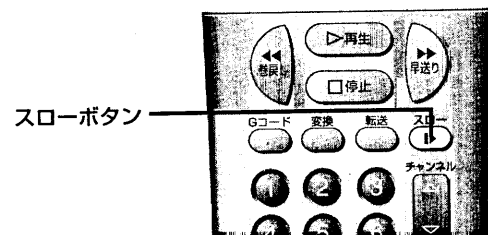
おしらせ

静止画が上下に揺れるとき
- チャンネル(トラッキング)ボタンを押して、揺れを最小にするように調節してください。
- テレビとの組合せによっては、揺れを抑えられないことがあります。

画像を見ながら見たい場面を探す(サーチ)

再生中に、早送りまたは巻戻しボタンを押す

- 見たい場面が出たら、再生ボタンを押します。
- CMとばしワザを設定していると、CM部分の終わりで再生に戻ります(45ページ参照)。

おしらせ

- D-VHS方式で録画したテープをサーチ再生すると、映像が出るまでに数秒から十数秒かかります。
- 本機以外のD-VHS方式で録画したテープを再生したときは、サーチ画が出ないことがあります。
- S-VHS/VHS方式で録画したテープをサーチ再生すると、画面に数本のノイズが出ます。
- サーチ再生中、テープの録画モードが切り換わる部分では画面が乱れたり、静止画や灰色の画面になりますが故障ではありません。また、早送りサーチ再生から巻戻しサーチ再生、巻戻しサーチ再生から早送りサーチ再生に切り換えたときにも同様の画面になりますが、故障ではありません。

ゆっくりした速さで見る(スロー)

再生中に、スローボタンを押す

- 再生ボタンを押すと再生に戻ります。
- スロー再生が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止します。
- D-VHS方式で録画したテープは、スロー再生できません。(静止画または灰色の画面になります)

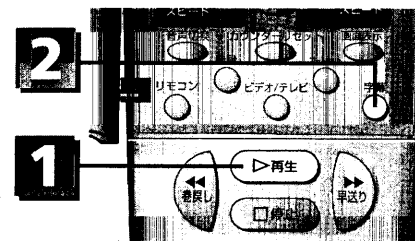
おしらせ

スロー再生中や静止画再生中にノイズが出るときは
- スロー再生にしてから、チャンネル(トラッキング)ボタンでノイズが少なくなるように調節してください。
スロー再生時のノイズを少なくすると静止画再生時のノイズも少なくなります。

重要

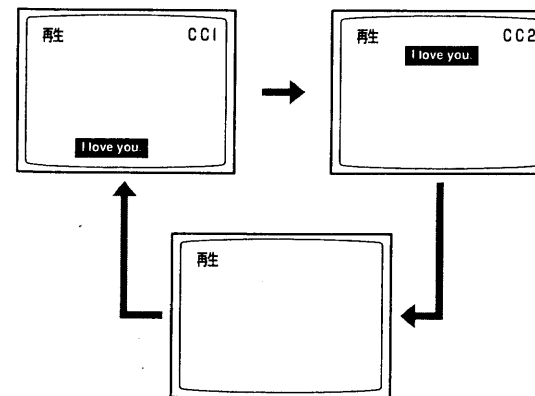
- 字幕を表示できるのは、□*または CC マークの付いたテープなどのクローズド・キャプション信号の入ったテープだけです。これ以外のテープでは表示できません。
  ＊□はナショナル・キャプショニング・インスティチュート・インク社のサービスマークおよび商標です。
- D-VHS方式で録画したクローズド・キャプション信号の入ったテープを再生した場合、正しく字幕が表示されるのは、本機で録画したテープだけです。

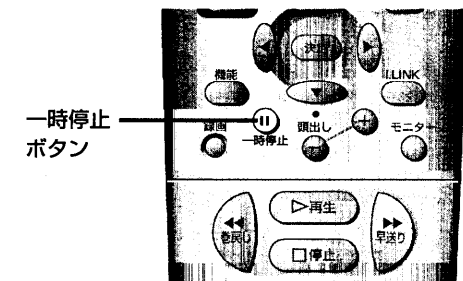
英語の字幕を見る(Closed Caption)

クローズド・キャプション信号の入ったビデオテープを再生したとき、英語の字幕を表示させることができます。

1 クローズド・キャプション信号の入ったテープを再生する

2 字幕ボタンを押す

字幕

- ボタンを押すたびに、下のように字幕表示が切り換わります。

- 字幕表示が「CCI」「CC2」のとき、ビデオの表示窓に「C.C」と表示されます。

字幕を止めて見るとき

一時停止ボタンを押す

- 一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと、再生に戻ります。

おしらせ

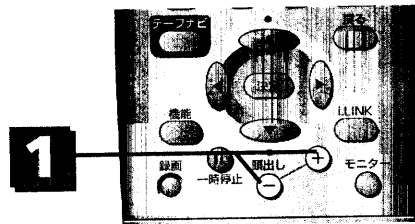
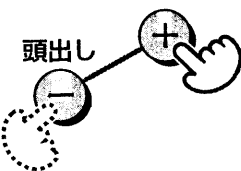
字幕が出ないとき
- 早送り再生、巻戻し再生、スロー再生中は字幕が消えます。
- テープに傷がついていたり、録画状態の悪いテープでは字幕を正しく表示できないことがあります。
- D1/D2/D3/D4映像出力端子から出力する映像には字幕は表示されません。字幕を見るときは、テレビをS入力かビデオ入力に切り換えてご覧ください。

字幕が上下に揺れるとき
- チャンネル(トラッキング)ボタンで字幕および字幕表示と画像の揺れを最小に調節してください。
- テレビとの組み合わせによっては揺れを抑えられないことがあります。

□または CC マークの付いたテープ以外で字幕表示ができるもの
- クローズド・キャプション信号の入ったテープをダビングしたテープ
- クローズド・キャプション信号の入った番組を録画したテープ
- 外部入力につないだ、クローズド・キャプション信号の入ったレーザーディスクなど(ただし、デジタルメモリー機能付きのレーザーディスクプレーヤーをお使いのときは字幕を表示できないことがあります)。

- 3次元デジタルNRを「標準」または「弱」にして再生を始めたとき、3次元デジタルNRが働くため画面がガタつくことがありますが、故障ではありません。
- テープをダビングするときは、3次元デジタルNRを「切り」にしてください(55ページ参照)。
- 3次元デジタルNRとデジタルTBCは、D-VHS再生では機能しません。

録画した番組の頭出しをする(VISS)

テープに記録されている頭出し信号(VISS信号)を使って、見たい番組の頭出しができます。

1 停止状態のとき、頭出しボタンを押す

- 頭出し⊕ボタンを押すと、番組の頭(VISS信号の部分)まで早送りします。頭出し⊖ボタンを押すと、番組の頭(VISS信号の部分)まで巻戻しします。
- 頭出し⊕ボタンまたは⊖ボタンを連続して数回押すと、押した回数と同じだけ先または手前の番組の頭まで早送りまたは巻戻しします。ただし、頭出し⊖ボタンを押した場合は、今見ている番組の頭が1つ手前の番組となります。

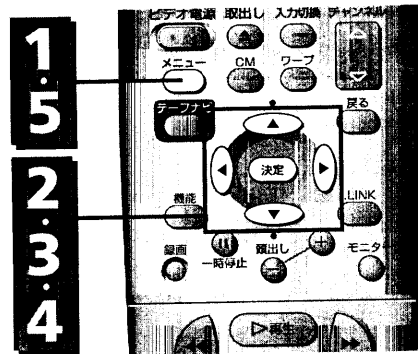
おしらせ

VISS*(頭出し)信号について
- 本機は、録画するたびに、自動的に頭の部分にVISS信号を記録します。
- VISS信号は、録画ボタンを押すと記録されますが、録画一時停止から録画に戻したときは記録されません。ただし音声だけ録音するときやチャンネルを変えたときは、記録されます。

次のような場合、VISS信号が検知されず、頭出しができないことがあります。
- 録画時間が10分以内の番組
- VISS信号が記録されている付近で操作したとき
- 本機以外のVISS機能のないビデオで録画したテープ

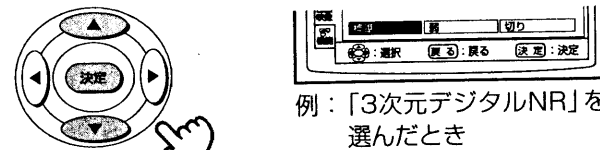
*VISSはVHS Index Search Systemの略です。

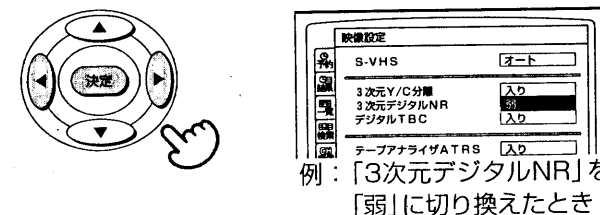
映像をクッキリさせる

このビデオには高画質な録画、再生映像をお楽しみいただくために、以下の機能があります。次のように設定してください。

1 メニューボタンを押す

2 ▼、▲ボタンで「映像設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

例：「3次元デジタルNR」を選んだとき

4 ◀、▶ボタンで設定内容を選び、決定ボタンを押して設定を切り換える

例：「3次元デジタルNR」を「弱」に切り換えたとき

5 メニューボタンを押す

- 元の画面に戻ります。

映像設定について

S-VHS オート または 入り または 切り

オート	使用するテープの種類に合った記録方式*で録画されます。 ふつうは オート に合わせます。 *テープの種類と記録方式については、25、31ページを参照ください。
入り	VHSテープ(「HG」グレードのテープをおすすめします。)に、S-VHS ETモードで録画することができます。
切り	テープの種類に関係なく、VHS方式で録画されます。

3次元Y/C分離 入り または 切り

入り	3次元Y/C分離回路が、放送局から送られてくる輝度信号(Y)と色信号(C)を分離し、両信号の混じり合いによって起こるクロスカラーやドット妨害を大幅に改善します。 ふつうは 入り に合わせます。
切り	電波の状況や接続したテレビによって、動きの速い場面で残像が出るとき3次元Y/C分離回路を切ると、残像が軽減されます。

3次元デジタルNR* 標準 または 弱 または 切り

標準	テープの再生時、3次元デジタルNR(YNR、CNR)が働き、映像を劣化させる輝度ノイズと色ノイズを取り除きます。 ふつうは 標準 に合わせます。
弱	動きの速い場面で残像が出たり、輪郭がぼやけるとき 弱 にすると症状が軽減されます。
切り	3次元デジタルNRはよりきれいな映像をお楽しみいただくための映像処理を行っています。そのためダビングなどを行うとき、またはテレビの組み合わせによっては画質が落ちてしまう場合があります。 このようなときは 切り にしてください。

*NRはNoise Reductionの略です。

デジタルTBC(タイム・ベース・コレクタ) 入り または 切り

入り	他のビデオで録画したテープを再生する場合やダビングを繰り返し行った場合などに起こるテープの伸びや走行ムラを原因とする画像の揺れや歪みを抑えます。 記録状態によっては、揺れや歪みを抑えられない場合があります。 ふつうは 入り に合わせます。
切り	お使いになるカセットによっては、再生画像が縦方向に揺れる場合があります。このようなときは 切り にしてください。

テープアナライザATRS 入り または 切り

入り	録画時にテープの特性を自動的に測定し、テープに合った状態で録画します。 • 詳しくは49ページ「テープアナライザ*ATRSについて」をご覧ください。
切り	テープアナライザATRS機能は働きません。

MPEG画質調整 色の濃さ と 色相

- 99ページを参照してください。

CMをとばして見る（CMとばしワザ）

再生中、CM（コマーシャル）だけを早送り再生でとばして見ることができます。

重要

衛星放送番組中のCMや、外部入力につないだ機器から録画した番組中のCMは、とばすことができません。

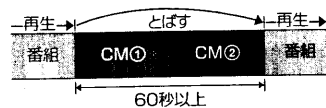
CM1モード	CMオートでCMをとばします。
CM2モード	CMオートとステレオCMスキップの両方でCMをとばします。

CMとばしワザのしくみ

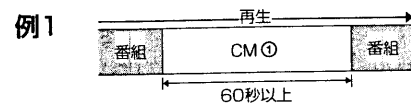
CMとばしワザは、CMオートとステレオCMスキップの2つの方法でCM（コマーシャル）をとばす機能です。
テレビ放送は、ふつう、番組と番組の間に複数のCMが続きます。CMオートは、録画するときに番組とCMの切り換わる点を検出し、再生時にCM部分をとばします。
ステレオCMスキップは、ステレオ放送とモノラル／二重音声の違いを検出し、ステレオ放送の部分のみをとばします。CMはほとんどの場合ステレオ放送なので、とばすことができます。

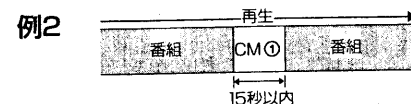
CMオートについて

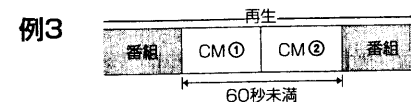
CMオートは、複数のCMが集まった合計60秒以上の部分を「CM部分」と判断してとばします。CMオートでCMをとばせるのは、このビデオでテープナビを「入り」に設定して録画した番組だけです。

■CMオートで正しくとばされる例

- CMが2本、合わせて60秒以上続くと正しくとばされます。

■CMオートで正しくとばされない例

例1

- 1本が60秒以上のCMはとばされません。（テレビショッピングなど）

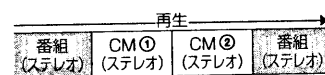
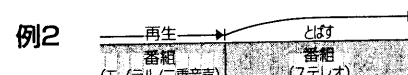
例2

- 1本が15秒以内のCMはとばされません。

例3

- 2本以上続いても60秒未満のCM部分はとばされません。

ステレオCMスキップについて

ステレオCMスキップは、ステレオ放送部分を「CM部分」と判断してとばします。他の日立製のステレオ（オート）CMスキップ機能付きビデオで録画したテープでも使えますが、CMの前後の本番組がステレオ放送のときはCM部分がとばされません。

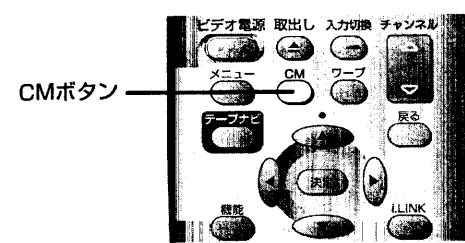
■ステレオCMスキップで正しくとばされる例

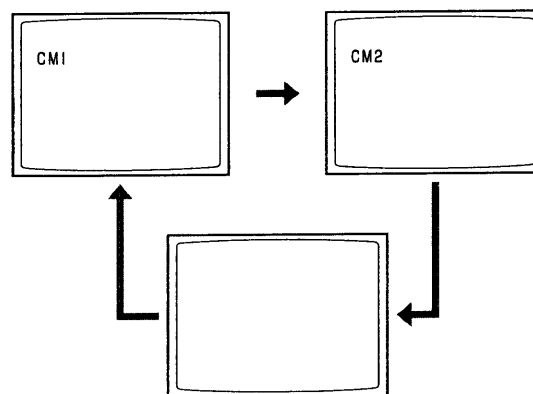
■ステレオCMスキップでとばされない例

■ステレオCMスキップで正しくとばされない例

おしらせ

CMオートのご注意
- 録画開始部分や終了部分では、正しくとばせないことがあります。
- 番組によっては、CMオートが正しく動作しないことがあります。
特にD-VHS録画したテープでは、番組内容によりCMオートが正しく動作しないことがあります。
- CMによっては、CMの途中からとばしたり、CMの途中で再生に戻ることがあります。
- 番組予告がとばされることがあります。
- 番組および電波の状態によっては、番組の一部がとばされることがあります。
- 録画中に電源コードが抜かれたり、停電が起きたりすると、CMオートは正しく動作しません。
- D-VHS方式で録画したテープでは、CMをとばしているあいだブロックノイズが出たり、静止画や灰色の画面になる場合があります。

重要

- CMオート（CM1モード）でCMをとばせるのは、このビデオでテープナビを「入り」にして録画した番組だけです。CMオート（CM1モード）でCMをとばすには、録画前にテープナビが「入り」に設定されていることを確認してください（103ページ参照）。また、再生時にビデオ前面のテープナビランプが点灯していることを確認してください。

CMとばしワザでCMをとばす

停止中にリモコンのCMボタンを押す

- ボタンを押すたびに下のように画面表示が切り換わります。
- CM1/CM2表示はボタンを押してから約8秒後に消えます。

＊D1/D2/D3/D4/映像出力端子からは、上の表示は出ません。

CM1と表示したとき（CM1モード）

- ビデオ前面のCMランプが点灯します。
- CMオートでCMをとばします。
- CMが始まるとスキップ（早送り再生）されて、そのCM部分が終わると再生に戻ります。

おしらせ

以下の場合には、CM1モードでCMをとばせません。このようなときには、CM2モードをお使いください。
- 本機以外のビデオで録画したとき
- テープナビ「切り」で再生しているとき
- テープナビ「切り」で録画したとき

CM2と表示したとき（CM2モード）

- ビデオ前面のCMランプが点灯します。
- CMオートとステレオCMスキップの両方でCMをとばします。
- CMが始まるとスキップ（早送り再生）されて、そのCM部分が終わると再生に戻ります。

おしらせ

- D-VHS再生では、ステレオCMスキップでステレオ放送部分（CM部分）をとばすことはできません。CM1モードでもCM2モードのどちらを表示しても、CMオートのみでCMをとばします。
- 再生したテープがステレオ放送のときは、再生したあとすぐにスキップ（早送り再生）することがあります。

CM1/CM2表示を消したとき

- ビデオ前面のCMランプが消えます。
- CMとばしワザが解除され、CMをとばしません。

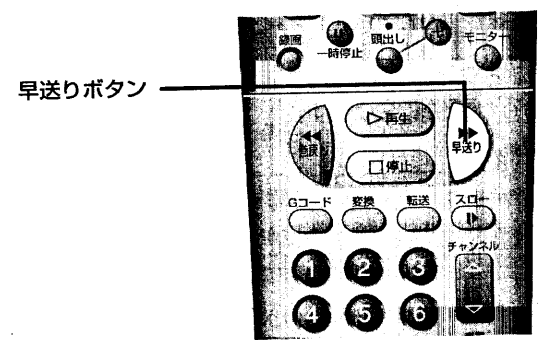
テレビ番組を録画する

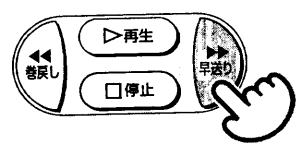
テレビで見ている番組をテープに録画します。

重要

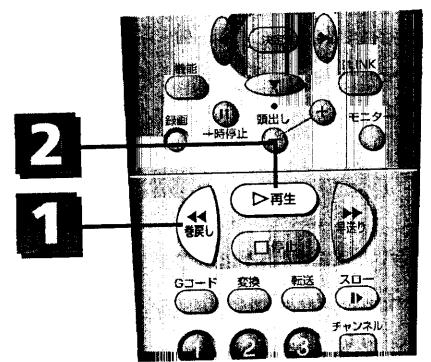
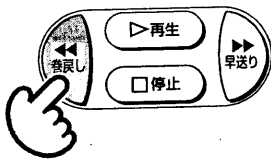
- 本機で録画したテープを入れると、ビデオ前面のテープナビランプが数秒間点滅してから点灯します。点滅している間は録画ボタンや他の操作ボタンを押さないでください。
- S-VHS方式で録画するときは、S-VHSテープを入れたあと、ビデオの表示窓に S-VHS が出ていることを確かめてください。出ていないときは㉜ページをご覧になり、「映像設定」の画面で「S-VHS」を「オート」に合わせてください。
- 録画中はメニュー画面は出ません。
- 録画中はリモコンのモニターボタンは働きません。

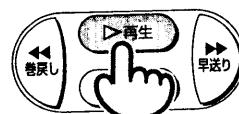
次のCMの終わりまでとばすには

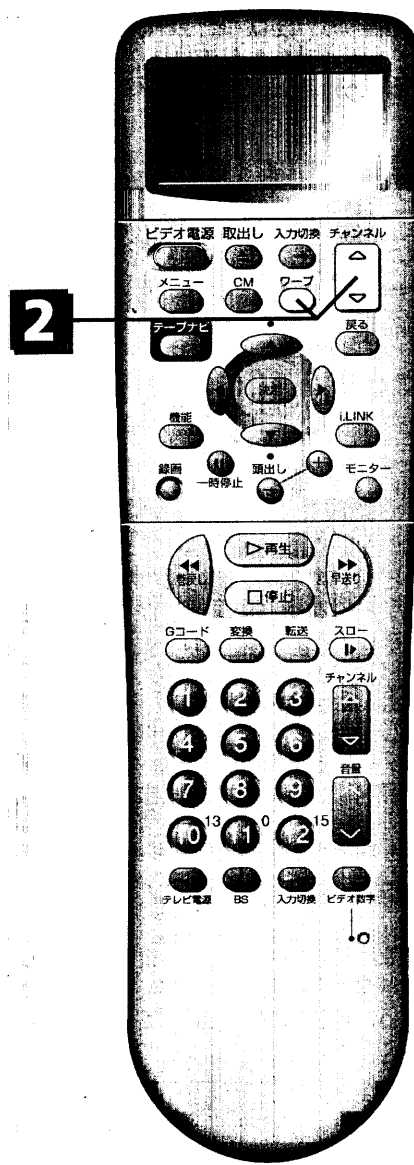
ビデオ前面のCMランプが点灯しているときは、番組の途中から次のCM部分の終わりまで、またCMの途中からそのCM部分の終わりまでをとばすことができます。

早送りボタン

再生中に早送りボタンを押す

- 早送り再生が始まります。
- CM部分の終わりまでとばすと再生に戻ります。

とばした部分を見たいときは

CMオートでCMをとばしたときは、とばした部分に戻って再生できます。

1 巻戻しボタンを押す

- 巻戻し再生でとばした部分の頭まで巻戻します。

2 再生ボタンを押す

おしらせ

- D-VHS方式で録画したテープでは、巻戻しを始めてからしばらく静止画になる場合があります。

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする（またはビデオチャンネル1または2を選ぶ）

1 「つめ」の折れていないテープを入れる

つめ

- 自動的に電源が入ります。
- D-VHS方式で録画するときは、D-VHSテープを入れてください。

2 録画したいチャンネルを選ぶ

チャンネル

BS放送を選ぶとき

先にワープボタンを押してください。

ワープ

チャンネル

デジタル衛星放送を選ぶとき

- ㉒ページを参照してください。

おしらせ

コピーガード表示について

- 録画したいチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されると録画できません。
- 放送のないチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されることがありますが、故障ではありません。

ビデオの表示窓

- コピーガードされている番組を録画しようとした場合、テレビ画面に「コピープロテクトされています」と表示され、録画できません。

テレビ画面

＊D1/D2/D3/D4映像出力端子からは、この表示は出ません。

録る

ふたを開けたところ

ビデオ／テレビ切換ボタン

ふたを閉じたところ

3 リモコンのふたを開け、録画モードを選ぶ

- VHS、S-VHS方式で録画するときは、アナログスピードボタンを押して、録画モードを選んでください。
- D-VHS方式の録画に切り換えるには、デジタルスピードボタンを押して録画モードを選んでください（VHSテープでは、デジタルスピードボタンで録画モードを選ぶことはできません）。
- D-VHS方式の録画モードを選ぶには、デジタルスピードボタンを押してください。VHS、S-VHS方式の録画に切り換えるには、アナログスピードボタンを押してください。
- デジタルスピードを選ぶと、ビデオ前面のD-VHSインジケータが青色に点灯します。
- 画質や音質を重視するときは、D-VHSテープでは「HS」または「STD」、S-VHS、VHSテープでは「標準」がおすすめです。
- BSデジタル放送のハイビジョン番組を録画するときは、D-VHSテープを使用して録画モードを「HS」にしてください。

4 録画ボタンを押す

録画

- ビデオ前面の録画ランプが点灯し、テープを少し巻戻してから録画が始まります。
- 「つめ」の折れたテープが入っていると、ビデオの表示窓に「TAb」が点滅し、自動的にテープが出てきます。
- テレビを見ないときは、テレビの電源を切っても録画されます。

5 録画をやめるときは、停止ボタンを押す

- 録画した内容を見るときは、巻戻しボタンを押してテープを巻戻してから、再生ボタンを押してください。

おしらせ

テレビチャンネル1または2を選んでいるとき
- 録画したいチャンネルがテレビに出ないときは、ビデオ／テレビ切換ボタンを押してビデオの表示窓に「ビデオ」を表示させてください。

ビデオ/テレビ

ビデオの表示窓

オート機能について
- テープの最後まで録画すると自動的に巻戻されます（オートリワインド）。

音声について
- ステレオ放送はステレオで、二重音声放送は主音声（日本語）と副音声（英語など）が自動的に録音されます。
- 録音中は、録音される音声には影響なく、音声切換ボタンで聞きたい音声を選ぶことができます（㊴ページ参照）。

オートカット機能について
- CMをカットしながら番組を録画することができます（㊿ページ参照）。

録画中に不要な場面をとばすには

一時停止ボタン

1 録画中に一時停止ボタンを押す

- テープ走行が一時止まります。

おしらせ

- 録画一時停止を約5分間続けるとテープとヘッド保護のため、自動的に停止します。

2 録画したい場面になったら、もう1回一時停止ボタンを押す

- 録画が再開します。

おしらせ

- D-VHS方式で録画しているときにつなぎ撮り部分（録画を一時停止し、再び録画をはじめた部分）では、ブロックノイズや静止画・灰色の画面が出ます（㉖ページ参照）。

録画中に別の番組に切り換えるには

1 録画中に一時停止ボタンを押す

- テープ走行が一時止まります。

2 チャンネルボタンを押してチャンネルを選ぶ

チャンネル

3 一時停止ボタンをもう1回押す

- 録画が再開します。

おしらせ

テープアナライザ・ATRSについて
このビデオは、録画時にテープの特性を自動的に測定し、テープに合った状態で録画できます。このビデオで初めて録画するテープでは、録画、またはタイマー録画をするときに自動的に測定し、そのデータを記憶します。
ただし、D-VHS方式で録画しているときは、テープアナライザATRSは働きません。

ビデオの表示窓

- テープアナライザATRSが「入り」のときは、「ATRS」がビデオの表示窓に出ます。
- 「テープアナライザATRS」を「入り」を選んで録画を開始すると、一瞬音声が途切れることがありますが、故障ではありません。

*ATRSは、Auto Tape Recording Systemの略です。

■テープアナライザATRSを切りたいときは
工場出荷時は「テープアナライザATRS」は「入り」になっています。設定を切り換えたいときは、メニュー画面の「映像設定」の「テープアナライザATRS」を「切り」にしてください。「切り」にすると、テープアナライザATRSは働かなくなります。

■テープナビ「切り」を選んで録画すると
テープアナライザATRSは働きますが、データは記憶されません。テープを取り出すと、データは取り消されます。

■デジタルテープスピードで録画すると
デジタルスピード（D-VHS方式）で録画したときは、「テープアナライザATRS」の「入り」「切り」に関係なくテープアナライザATRSは働きません。また、ビデオの表示窓に「ATRS」の表示も出ません。

いろいろな録画

いろいろな録画のしかた

録画しながら別の番組を見たり、録画する時間を選んで、自動的に録画を終わらせることができます。

- 録画しながら別の番組を見るとき、BS放送の番組を選ぶことはできません。ただし、BSチューナー内蔵テレビと接続すれば、BS放送の番組も選べます。
- ビデオの時計を合わせておかないと、クイックタイマーの録画時間は選べません。(時計の合わせかたは⑮ページ参照)
- クイックタイマーの設定は、リモコンの録画ボタンでは操作できません。ビデオの録画(クイックタイマー)ボタンで操作してください。

録画しながら別の番組を見る

1 録画を始める

- ㊼、㊽ページの 1 ～ 4 の操作をして録画を始めてください。

2 ビデオ/テレビ切換ボタンを押して、ビデオの表示窓の「ビデオ」表示を消す

- ビデオのチャンネル切換ボタンを押して「RF-OFF」を選んだときは、この操作が不要です(⑭ページ参照)。

3 テレビの入力切換を「テレビ」にして、見たいチャンネルを選ぶ

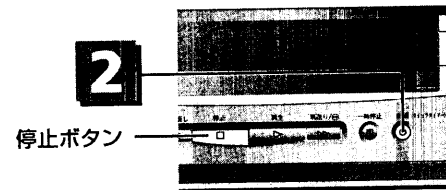
- テレビのチャンネルボタンで選んだ番組が画面に出ます。ビデオで録画しているチャンネルは、そのまま録画されます。

4 録画をやめるときは、停止ボタンを押す

- 録画した内容を見るには、巻戻しボタンを押してテープを巻戻し、テレビの入力切換を「ビデオ」(またはビデオチャンネル1または2)にしてから再生ボタンを押してください。

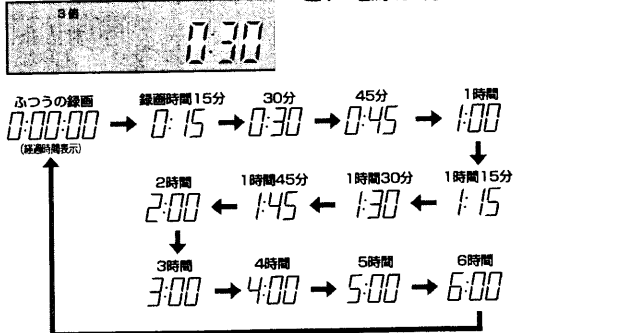
おしらせ

テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選ぶとき
- ビデオの表示窓の「ビデオ」表示を消すと、ビデオの電源を入れたまま、テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選ぶことができます。

選んだ時間だけ録画する(クイックタイマー)

1 録画を始める

- ㊼、㊽ページの 1 ～ 4 の操作をして録画を始めてください。

2 ビデオの録画(クイックタイマー)ボタンを押して、録画したい時間を合わせる

- ボタンを押すたびに、表示窓の録画時間が変わります。
- ビデオ前面のタイマーランプが点灯します。
- 合わせた時間だけ録画したあと、電源が切れます。

ビデオの表示窓

途中で録画をやめるには

停止ボタンを押す

停止

- 録画した内容を見るときは、巻戻しボタンを押してテープを巻戻してから、再生ボタンを押してください。

おしらせ

- クイックタイマー録画中にビデオの録画(クイックタイマー)ボタンを押すと、録画時間を変更できます。
- クイックタイマー録画中は、ビデオの表示窓に録画の残り時間が出ます。

CMをカットしながら録画する(オートカット)

録画の途中で、CM(コマーシャル)の部分だけカットすることができます。

重要

- 番組がステレオ放送のときは、番組もCMもカットされ、何も録画することができません。ステレオ放送の番組はオートカット機能を使わないでください。
- 外部入力(L1、L2、L3*、d)で見ている番組および衛星放送チャンネルは、オートカット機能が働きません。

*BSデジタル連動設定を「入り」にしたとき、またはBSデジタル連動設定を「切り」にして入力3設定を「外部入力」にしたとき、切り換わります。

オートカット機能とは

テレビ放送の音声には、二重音声放送・モノラル放送・ステレオ放送があります。
この音声の違いを利用して、二重音声放送とモノラル放送を録画し、**ステレオ放送を自動的にカットすること**をオートカット機能といいます。
CMはほとんどの場合ステレオ放送なので、CMを自動的にカットしながら録画することができます。

オートカット機能についてのご注意

- 「オートカット機能を使ったら、録画できなかった」などの誤りを防ぐために、録画する番組の音声(放送)を確認してからオートカット機能を使うことをおすすめします。
- NHK総合テレビ、NHK教育テレビを録画するときはオートカット機能を使わないでください。オートカット機能を使うと録画されない番組があります。
- 文字多重放送(字と表示)は、番組が二重音声放送やモノラル放送のときは録画されますが、ステレオ放送のときは録画できません。
- 番組表によっては、ステレオ放送の番組でもS(ステレオ放送)の表示がないことがあります。ご注意ください。
- 電波の弱い地域では、オートカット機能が正しく働かないことがあります。

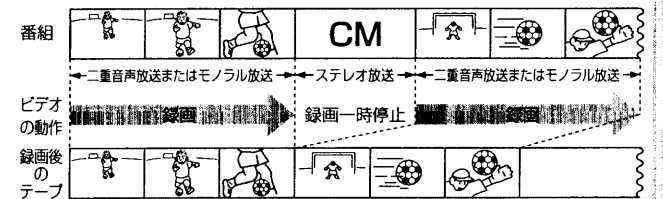
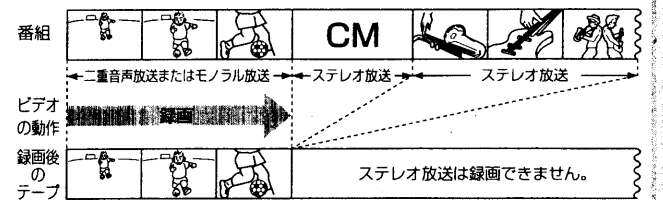
おしらせ

- D-VHS方式で録画しているときにつなぎ撮り部分(録画を一時停止し、再び録画をはじめた部分)では、ブロックノイズや静止画・灰色の画面が出ます(㉖ページ参照)。

番組の音声を知る方法

番組の音声は、新聞などでご確認ください。
(ただし、実際の放送と異なる場合もありますので、ご注意ください。)

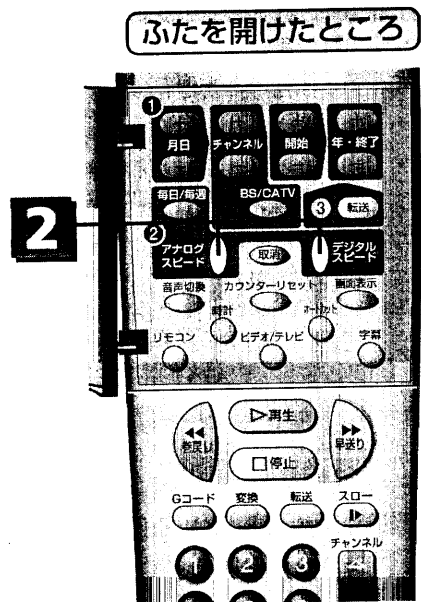
番組表の例

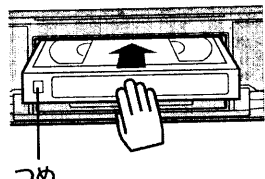
■ オートカット機能で正しく録画される例

■ オートカット機能で正しく録画できない例

- オートカット機能を使って録画しているときは、一時停止ボタンを押しても録画一時停止にすることはできません。
- オートカット機能でCMをカットした部分には、わずかにCMが録画されることがあります。
- CMカット「録画一時停止✂」の状態が6分以上続くと、ビデオ内部でテープ保護動作が働くため、録画を再開した部分の画が少し乱れることがあります。

ふたを開けたところ

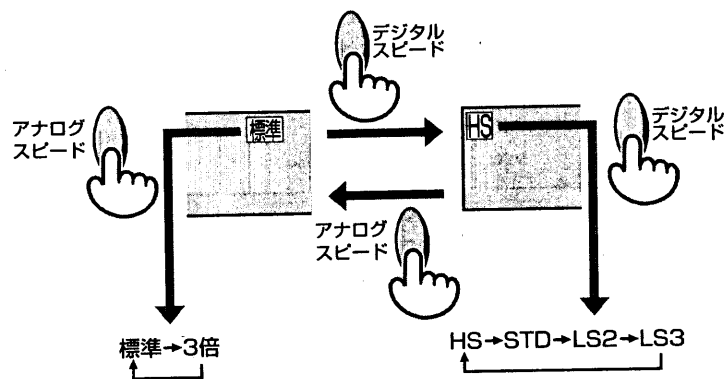
2

ふたを閉じたところ

3

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする（またはビデオチャンネル1または2を選ぶ）

1 「つめ」の折れていないテープを入れる

- 自動的に電源が入ります。

2 リモコンのふたを開け、録画モードを選ぶ

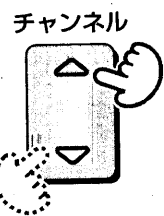
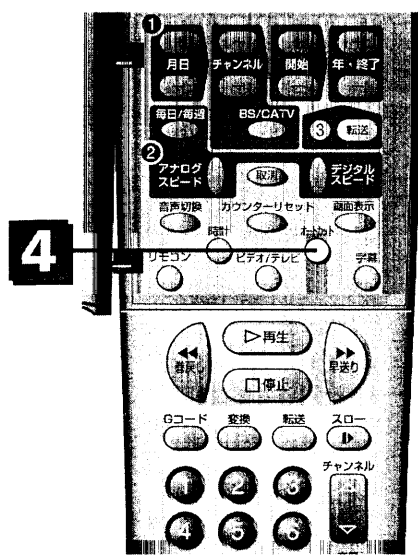
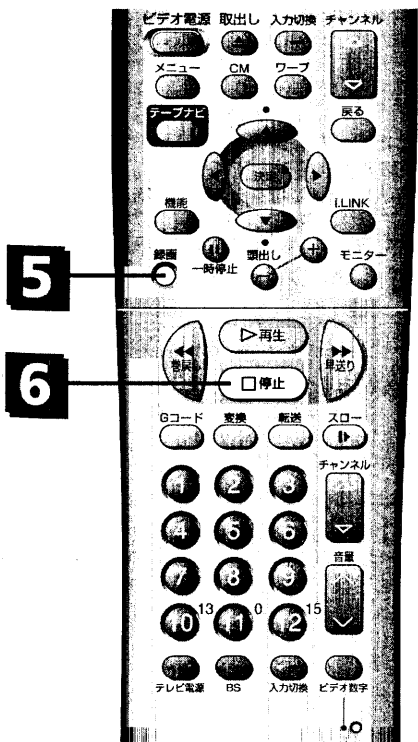
- VHS、S-VHS方式で録画するときは、アナログスピードボタンを押して、録画モードを選んでください。D-VHS方式の録画に切り換えるには、デジタルスピードボタンを押してください（VHSテープでは、デジタルスピードボタンで録画モードを選ぶことはできません）。
- D-VHSモードで録画するときは、デジタルスピードボタンを押して、録画モードを選んでください。VHS、S-VHSの録画に切り換えるには、アナログスピードボタンを押してください。
- デジタルスピードにするとビデオ前面のD-VHSインジケータが青色に点灯します。
- 画質や音質を重視するときは、D-VHSテープでは「HS」または「STD」、S-VHS、VHSテープでは「標準」がおすすめです。

3 録画したいチャンネルを選ぶ

ふたを開けたところ

4

ふたを閉じたところ

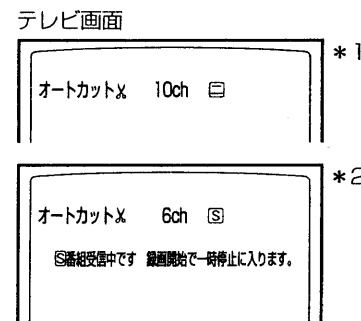
5

6

4 オートカットボタンを押して「オートカット✂」を出す

オートカット

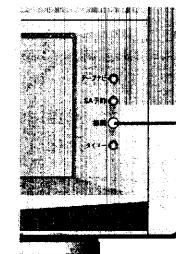
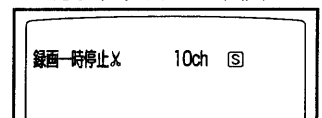
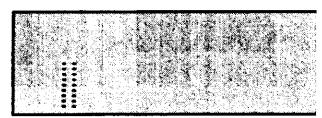
テレビ画面

＊1 オートカット✂ 10ch

＊2 オートカット✂ 6ch 〔S〕 番組受信中です 録画開始で一時停止に入ります。

- ビデオ前面のオートカットランプが約8秒点灯します。
- ステレオ番組を見ているときは＊2の表示が出て、オートカット機能が使えないことを知らせます。

＊ D1/D2/D3/D4映像出力をつないだときの画面表示については、㉞ページを参照してください。

5 「オートカット✂」表示中（8秒以内）に録画ボタンを押す

録画

CMカット中のテレビ画面

CMカット中のビデオの表示窓

- ビデオ前面の録画ランプが点灯し、テープを少し巻戻してから録画が始まります。
- 「つめ」の折れたテープが入っていると、自動的にテープが出てきます。
- ステレオ放送のCMを自動的にカットしながら録画します。
- ステレオ放送のCMをカットしているとき、「録画一時停止✂」が出ます。

＊ D1/D2/D3/D4映像出力をつないだときの画面表示については、㉞ページを参照してください。

6 録画をやめるときや、別の番組に切り換えるときは停止ボタンを押す

- 録画が終了すると、オートカット機能は解除されます。
- 別の番組に切り換えたあとオートカット機能を使って録画するときは、3～5を行ってください。

おしらせ

オートカット機能を解除するとき

- 停止ボタンを押してください。録画が終了し、オートカット機能が解除されます。
- CMカット中に「録画一時停止✂」が表示されているときは、一時停止ボタンを押すとオートカット機能を解除できます。

ダビングする

このビデオと他のビデオ(またはビデオカメラ)を接続して、テープを複製することができます。

重要

- 再生側のビデオに画面表示機能がある場合は、画面表示を消してください。消してないと、画面表示まで録画されます。
- 外部入力「L1」、「L2」、「L3*」、「d」を飛ばして設定していると、チャンネルボタンを押しても「L1」、「L2」、「L3*」、「d」を表示できません。⑮ページの「チャンネルを飛ばす/元に戻す」をご覧になって「L1」、「L2」、「L3*」、「d」を元に戻してください。

* BSデジタル連動設定を「入り」にしたとき、またはBSデジタル連動設定を「切り」にして入力3設定を「外部入力」にしたとき、切り換わります。

ビデオカメラや他のビデオから本機へダビングする

接続

は信号の流れを表します

＊再生側ビデオがモノラルのときは、左(白)のみ、接続してください。
＊＊再生側の機器にS映像端子があるとき接続してください。
＊＊＊フェライトコアの取り付け方法については、㉑ページをご覧ください。

ダビングする

1 (本機で)ビデオ前面のふたを開け、入力/出力切換スイッチを「入力2」に切り換える

2 (本機で)リモコンの入力切換ボタンを押して「L2」を表示させる

- ボタンを押すごとにチャンネル番号→L1→L2→L3*→d→チャンネル番号と切り換わります。

* BSデジタル連動設定を「入り」にしたとき、またはBSデジタル連動設定を「切り」にして入力3設定を「外部入力」にしたとき、切り換わります。

ビデオの表示窓

3 (再生側で)再生を始める

4 (本機で)録画(クイックタイマー)ボタンを押す

おしらせ

- 画質や音質を重視するときは、本機の録画モードをD-VHSテープの場合「HS」または「STD」に、その他のテープでは「標準」にすることをおすすめします。
- 本機にテレビをつなぐと、ダビングの画像を確かめることができます。
- 再生側ビデオは本機の後面の入力1端子につなぐこともできます。このときは入力切換ボタンで「L1」を選びます。
- Sコードを接続したときは、S映像入力が映像入力より優先します。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

入力3設定については、㊿ページを参照してください。

コピーガード表示について

- 録画したい外部入力を選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されると録画できません。
- 放送のないチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されることがありますが、故障ではありません。
- コピーガードされている番組を録画しようとした場合、テレビ画面に「コピープロテクトされています」と表示され、録画できません(㊼ページ参照)。

重要

本機を再生側ビデオにしてダビングするときは、3次元デジタルNRを「切り」にしてください(㊷ページ参照)。3次元デジタルNRを「切り」にしないでお使いになると、接続する機器によっては、画面が乱れたり色が抜けることがあります。

本機からビデオカメラや他のビデオへダビングする

接続

は信号の流れを表します

＊録画側ビデオがモノラルのときは、左(白)のみ、接続してください。
＊＊録画側の機器にS映像端子があるとき接続してください。
＊＊＊フェライトコアの取り付け方法については、㉑ページをご覧ください。

ダビングする

1 (録画側で)入力切換で「外部入力」を選ぶ

2 (本機で)ビデオ前面のふたを開け、入力/出力切換スイッチを「出力2」に切り換える

入力/出力切換
入力2 出力2

3 (本機で)画面表示を「切り」にする

- 設定のしかたは、㊶ページ「画面表示を入り/切りする」をご覧ください。

4 (本機で)3次元デジタルNRを「切り」にする

- 設定のしかたは、㊷ページ「映像をクッキリさせる」をご覧ください。

5 (本機で)再生ボタンを押す

6 (録画側で)録画を始める

おしらせ

- 画質や音質を重視するときは、録画側ビデオの録画モードをD-VHSビデオの場合「HS」または「STD」に、S-VHS、VHSビデオでは「標準」にすることをおすすめします。
- 録画側ビデオにテレビをつなぐと、ダビングの画像を確かめることができます。
- 本機で記録したテープを他のビデオでダビングすると、テープナビのデータも同時に記録されます。このため、これらのテープでテープナビ操作をすると、記録されている内容とテープナビ画面の表示が一致しないことがあります。

コピーガード表示について

- 録画したい外部入力を選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されると録画できません。
- 放送のないチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されることがありますが、故障ではありません。
- コピーガードされている番組を録画しようとした場合、テレビ画面に「コピープロテクトされています」と表示され、録画できません(㊼ページ参照)。

ステレオから音声を録音する（オーディオ録音）

ビデオをステレオのテープデッキの代わりに使って、音声を録音することができます。

- D-VHS方式（デジタルスピード）では、音声だけを録音することはできません。オーディオ録音するときは、S-VHSまたはVHS方式（アナログスピード）で録音してください。
- 音声だけ外部入力に接続したとき、接続した音声を音声出力4端子から聞くことはできません。音声出力1、2または3端子に接続して聞いてください。

接続

オーディオ録音する

1 （本機で）リモコンの入力切換ボタンを押して「L1」を表示させる

入力切換

ビデオの表示窓

- ボタンを押すごとにチャンネル番号→L1→L2→L3*→d→チャンネル番号と切り換わります。

* BSデジタル連動設定を「入り」にしたとき、またはBSデジタル連動設定を「切り」にして入力3設定を「外部入力」にしたとき、切り換わります。

2 （本機で）録画（クイックタイマー）ボタンを押す

録画（クイックタイマー）

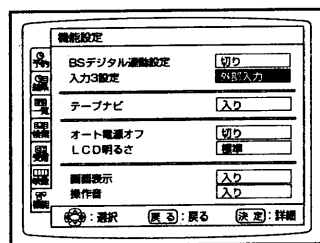
- 録音が始まります。
  Hi-Fi サウンドとノーマルサウンドの両方が録音されます。

おしらせ

録音した音声を聞くとき
- ステレオの入力切換を「音声入力」にして、テープを再生します。
- リモコンの音声切換ボタンでHi-Fiサウンドとノーマルサウンドを選ぶことができます（39ページ参照）。
- 音声だけを録音するときは、テープナビ機能は働きません。

音声出力2端子について
- 音声出力2端子から出力される音声は、音声出力1端子から出力される音声と同じです。

BSデジタル連動設定、入力3設定について

工場出荷時は「BSデジタル連動設定」が「入り」に設定されていて、L3にはBSデジタルチューナーの出力を接続するようになっています。このとき「入力3設定」は「－－－」表示になっています。「BSデジタル連動設定」の詳細は57ページを参照ください。
L3にステレオをつないで録音するときや、BSデコーダまたはMUSE-NTSCコンバータとつなぐときは「BSデジタル連動設定」を「切り」にしてから「入力3設定」を切り換えてください。

（例：「入力3設定」を「外部入力」にしたとき）

■設定の切り換えかた
1. メニューボタンを押す
2. 「機能設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す
3. 「BSデジタル連動設定」を選び、決定ボタンを押す
4. 「切り」を選び、決定ボタンを押す
5. 「入力3設定」を選び、決定ボタンを押す
6. L3にステレオをつないで録音するときは「外部入力」を選び、BSデコーダまたはMUSE-NTSCコンバータとつなぐときは「BSデコーダ」を選んで決定ボタンを押す
7. メニューボタンを押して終了する

BSデジタルチューナーを使う

**このビデオにBSデジタルチューナーを接続すると、BSデジタル放送の録画・再生ができます。
お持ちのBSデジタルチューナーやテレビの種類によって、設定や接続、操作方法がかわります。
BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続する場合は、テレビの取扱説明書および接続説明書の12～15ページをご覧ください。**

BSデジタルチューナーとテレビをつなぐ

お持ちのBSデジタルチューナーとテレビの種類を確認してから接続してください。

テレビ ＼ BSデジタルチューナー	D映像入力端子またはコンポーネント映像入力端子を持っている	D映像入力端子もコンポーネント映像入力端子も持っていない
i.LINK対応している	「i.LINK対応のBSデジタルチューナーとD映像入力端子付テレビをつなぐ」（135ページ）を参照 または接続説明書4～8ページを参照	「BSデジタルチューナーとD映像入力端子のないテレビをつなぐ」（137ページ）を参照 または接続説明書9ページを参照
i.LINK対応していない	「i.LINK対応していないBSデジタルチューナーをつなぐ」（136ページ）を参照 または接続説明書10ページを参照	「BSデジタルチューナーとD映像入力端子のないテレビをつなぐ」（137ページ）を参照 または接続説明書11ページを参照

BSデジタルチューナーのD映像出力端子の出力設定をする

D映像入力端子またはコンポーネント映像入力端子を持っているテレビと接続した場合は、テレビが持っている端子の種類に合わせてBSデジタルチューナーのD映像出力端子の出力設定をする必要があります。
BSデジタルチューナーの設定については、BSデジタルチューナーの取扱説明書にしたがって行なってください。

おしらせ

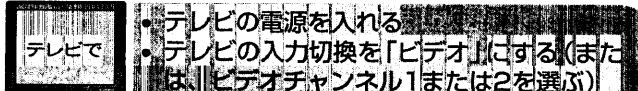
テレビが持っている端子の種類とBSデジタルチューナーのD映像出力端子の出力設定について

テレビが持っている端子	BSデジタルチューナー設定	BSデジタルチューナーの出力映像
コンポーネント映像入力端子 Y、CB、CR および D1映像入力端子	D1出力、525i固定	525i（480i）方式コンポーネント映像
コンポーネント映像入力端子 Y、PB、PR	1125i固定	1125i（1080i）方式コンポーネント映像
D2映像入力端子	D2出力	525i（480i）、525p（480p）方式コンポーネント映像
D3映像入力端子	D3出力	525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）方式コンポーネント映像
D4映像入力端子	D4出力	525i（480i）、525p（480p）、750p（720p）、1125i（1080i）方式コンポーネント映像

ハイビジョン映像を録画したテープの再生について
1回のみデジタルコピーが可能な番組を録画した場合、BSデジタルチューナーを使って再生してもハイビジョン画質で見ることはできません。

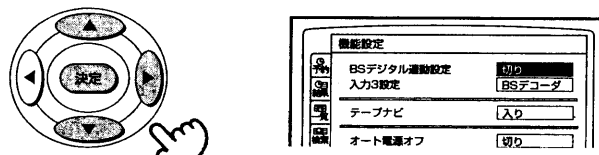
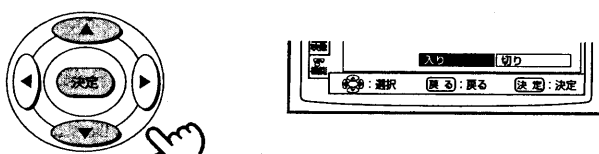
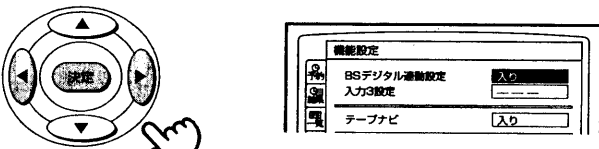
- このビデオに接続したBSデジタルチューナーの種類に合わせて、正しく「入り」「切り」を設定してください。機器の接続もよく確認してください。

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする（または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ）

ビデオで
- ビデオの電源を入れる

BSデジタル連動設定

1 メニューボタンを押す

- リモコンのワープボタンを押して、BSデジタルチューナーの番組に切り換える機能の設定です。

2 ▲、▼ボタンで「機能設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

3 ▲、▼ボタンで「BSデジタル連動設定」を選び、決定ボタンを押す

4 ◀、▶ボタンで設定を切り換えて、決定ボタンを押す

- i.LINK対応のBSデジタルチューナーと接続している（135、137ページの接続をしている）ときは、「入り」を選んでください（工場出荷時は「入り」になっています）。
- その他の場合は、「切り」を選んでください。
- メニューボタンを押すと、元の画面に戻ります。

おしらせ
- i.LINK対応のBSデジタルチューナーとBSデコーダやMUSE-NTSCコンバータと同時に接続するときは、BSデジタル連動設定は「切り」にして、入力3設定は「BSデコーダ」を選んでください。
- BSデジタル連動設定を「切り」にしているときは、リモコンのワープボタンを押してもBSデジタルチューナーの番組に切り換えることはできません。このときは、BSデジタルチューナーにLINCしてからビデオの入力を「d」にして、番組を切り換えてください（LINCの方法については83ページをご覧ください）。

- 録画するときは、つめの折れていないテープを入れてください。
- i.LINKを使ってハイビジョン番組をD-VHS方式で録画するときは、録画開始後にデジタルテープスピードが「HS」モードに自動的に切り換わります。また、タイマー予約で「HS」モード以外のデジタルテープスピード(STD/LS2/LS3)を選んでいても、自動的に「HS」モードに切り換わります。

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を、このビデオを接続したD映像入力端子またはコンポーネント映像入力にする

ビデオで
- ビデオの電源を入れる

i.LINKに対応しているBSデジタルチューナーを接続しているときBSデジタル放送を見る・録画する

1 BSデジタルチューナーの電源を入れ、チャンネルを選ぶ

2 ワープボタンを押して、BSデジタルチューナーの番組に切り換える

(例:BSデジタル115チャンネルを選んだとき)

- ビデオの表示窓にはBSデジタルチューナーのチャンネルが表示されます。
- ワープボタンを押すごとにBSデジタルチャンネル→UHF/VHFチャンネル→BSアナログチャンネル→BSデジタルチャンネルと切り換わります。

＊BSデジタル連動設定は「入り」にしてください。
＊i.LINKケーブルを接続していない場合は、BSデジタルチューナーのチャンネルが表示されるかわりに「L3」と表示されます。
＊BSデジタルチューナーにLINCしてリモコンの入力切換ボタンを押してビデオの入力を「d」にしても、BSデジタルチューナーの番組に切り換えることができます(LINCの方法については、㉝ページをご覧ください)。

3 録画するときは、ビデオの録画(クイックタイマー)ボタンを押す

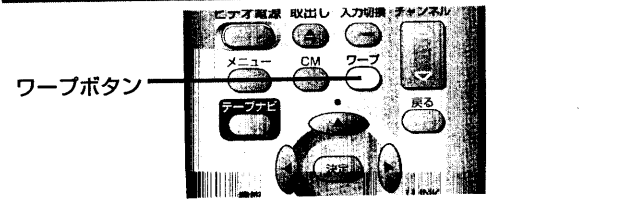
＊BSデジタル連動設定を「入り」にしてワープボタンを使ったときは、VHSテープを入れて録画ボタンを押すとチャンネル表示は「L3」に切り換わり、アナログスピード(標準/3倍)で録画されます。

おしらせ

コピーガード表示について
- 録画したいチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されると録画できません。
- 放送のないチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されることがありますが、故障ではありません。
- コピーガードされている番組を録画しようとした場合、テレビ画面に「コピープロテクトされています」と表示され、録画できません(㊼ページ参照)。

テレビで
- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を、このビデオを接続したD映像入力端子またはコンポーネント映像入力にする

- このビデオで録画したテープを入れる
- ビデオの電源が自動的に入ります

i.LINKに対応しているBSデジタルチューナーを接続しているとき録画したBSデジタル放送を見る(再生)

1 BSデジタルチューナーの電源を入れる

2 ワープボタンを押して、BSデジタルチューナーの番組に切り換える

- ビデオの表示窓にはBSデジタルチューナーのチャンネルが表示されます。

3 BSデジタルチューナーの機器操作メニューで、このビデオを操作する

- 再生、停止、早送り、巻戻しなどの操作ができます。
- 機器設定メニューで、このビデオが選ばれていることを確認ください。
- BSデジタルチューナーからのビデオの操作方法については、BSデジタルチューナーの取扱説明書をよくお読みください。

＊ビデオのボタンでも操作できます。

おしらせ

- BSデジタル放送のタイマー録画についてはBSデジタルチューナーで行なってください。ビデオの予約でBSデジタル放送のタイマー録画を行なうときは、かならずBSデジタルチューナーをLINCしてから予約してください(LINCについては㉝ページを、予約については㊳ページをご覧ください)。
BSデジタルチューナーの取扱説明書もよくお読みください。
- BSデジタルチューナーからi.LINKを使ってBSデジタル放送をD-VHS方式で録画したテープを再生する場合は、必ずBSデジタルチューナーをi.LINKケーブルでつないで再生してください。接続は⑬〜⑰ページをご参照ください。
BSデジタルチューナとつながずに再生したときは、灰色の画面または静止画になり、音声が出ません。
- i.LINK接続した機器のメーカー名や機種名が表示されないときや正しく接続できないときは、i.LINKケーブルを抜いてからもう一度差し込んでください。ただし、接続した機器によってはメーカー名や機種名を表示できないときがあります。

i.LINKに対応していないBSデジタルチューナーを接続しているとき

BSデジタル放送を見る・録画する

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

ビデオで
- ビデオの電源を入れる

1 リモコンの入力切換ボタンを押して「L1」を表示させる

2 BSデジタルチューナーの電源を入れ、チャンネルを選ぶ

3 録画するときはビデオの録画(クイックタイマー)ボタンを押す

録画したBSデジタル放送を見る(再生)

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

- このビデオで録画したテープを入れる
- ビデオの電源が自動的に入ります

1 ビデオの再生ボタンを押す

おしらせ

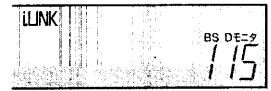
- i.LINKに対応していないBSデジタルチューナーを接続してBSデジタル放送をタイマー録画するときは、「デジタル衛星放送を録画する」を参照ください(㊷ページ参照)。

i.LINK対応のBSデジタルチューナーとD映像入力端子もコンポーネント映像入力端子も持っていないテレビを接続しているとき

BSデジタル放送を見る・録画する

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

ビデオで
- ビデオの電源を入れる

1 BSデジタルチューナーの電源を入れ、チャンネルを選ぶ

2 ワープボタンを押して、BSデジタルチューナーの番組に切り換える

iLINK BS Dモニタ 115

(例:BSデジタル115チャンネルを選んだとき)

- ビデオの表示窓にはBSデジタルチューナーのチャンネルが表示されます。
- ワープボタンを押すごとにBSデジタルチャンネル→UHF/VHFチャンネル→BSアナログチャンネル→BSデジタルチャンネルと切り換わります。

＊BSデジタル連動設定は「入り」にしてください。
＊i.LINKケーブルを接続していない場合は、BSデジタルチューナーのチャンネルが表示されるかわりに「L3」と表示されます。
＊BSデジタルチューナーにLINCしてリモコンの入力切換ボタンでビデオの入力を「d」に選んでも、BSデジタルチューナーの番組に切り換えることができます(LINCの方法については㉝ページをご覧ください)。

3 録画するときは、ビデオの録画(クイックタイマー)ボタンを押す

＊BSデジタル連動設定を「入り」にしてワープボタンを使ったときは、VHSテープを入れて録画ボタンを押すとチャンネル表示は「L3」に切り換わります。

おしらせ

- 2の操作をすると、テレビ画面が灰色または静止画になりますが、録画は正常に行なわれます。
- BSデジタル放送を見るときは、テレビの入力切換をBSデジタルチューナーを接続した入力に切り換えてください。
- BSデジタル放送のタイマー録画についてはBSデジタルチューナーで行なってください。ビデオの予約でBSデジタル放送のタイマー録画を行なうときは、かならずBSデジタルチューナーをLINCしてから予約してください(LINCについては㉝ページを、予約については㊳ページをご覧ください)。
BSデジタルチューナーの取扱説明書もよくお読みください。
- i.LINK接続した機器のメーカー名や機種名が表示されないときや正しく接続できないときは、i.LINKケーブルを抜いてからもう一度差し込んでください。ただし、接続した機器によってはメーカー名や機種名を表示できないときがあります。

録画したBSデジタル放送を見る(再生)

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を、BSデジタルチューナーを接続した入力にする

ビデオで
- このビデオで録画したテープを入れる
- ビデオの電源が自動的に入ります

1 BSデジタルチューナーの電源を入れる

2 BSデジタルチューナーの機器操作メニューでこのビデオを操作する

- 再生、停止、早送り、巻戻しなどの操作ができます。
- 機器設定メニューで、このビデオが選ばれていることを確認してください。
- BSデジタルチューナーからのビデオの操作方法については、BSデジタルチューナーの取扱説明書をお読みください。

＊ビデオのボタンでも操作できます。

BS放送を録画する

BS放送を録画する前に、BSデジタルチューナー、BSデコーダやMUSE-NTSCコンバータなどとの接続と設定を確認してください(接続は⑫⑨～⑬④ページ、設定は⑭⓪～⑭③ページを参照)。

BSデコーダやMUSE-NTSCコンバータと接続するときは、かならず「機能設定」の「BSデジタル連動設定」を「切り」にして、「入力3設定」が「BSデコーダ」になっていることを確認してください(㊱、㊲ページ参照)。

MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビをお使いのときは、テレビとの接続を確認してください。

WOWOW(BS5チャンネル)を見る・録画する

1 ビデオの電源を入れ、BS5チャンネルを選ぶ

2 BSデコーダの電源を入れる

- BS5チャンネルが映ります。

3 録画するときは録画ボタンを押す

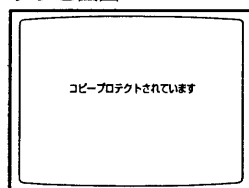
録画

おしらせ

コピーガード表示について
- 録画したいチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されると録画できません。
- 放送のないチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されることがありますが、故障ではありません。

ビデオの表示窓

- コピーガードされている番組を録画しようとした場合、テレビ画面に「コピープロテクトされています」と表示され、録画できません。

テレビ画面

＊D1/D2/D3/D4映像出力端子からは、この表示は出ません。

BS5チャンネルをタイマー録画する

1 ㊸～⑦⓪ページの操作でBS5チャンネルをタイマー予約する

2 BSデコーダの電源を入れたままにする

St.GIGA(セント ギガ)を聞く

St.GIGAは、SDAB(衛星デジタル音楽放送(株))の有料独立音声放送です。St.GIGAを聞くにはSDABとの受信契約が必要です。

1 BS5チャンネルを選ぶ

2 BSデコーダの電源を入れる

3 BSデコーダの音声選択ボタンで「独立音声」を選ぶ

BS放送を録画しながらWOWOW(BS5チャンネル)を見る

たとえば… BS7チャンネルを録画しながら、WOWOW(BS5チャンネル)を見る(BSチューナー内蔵テレビをお使いの方のみ)

1 BS7チャンネルを選ぶ

2 録画ボタンを押す

3 BSデコーダの電源を入れる

4 BSチューナー内蔵テレビでBS5チャンネルを選ぶ

- BS5チャンネルが映ります。

おしらせ

- ビデオの電源を入れずにBS5チャンネルをご覧になるときは、**3**、**4**の操作をしてください。

おしらせ

- BSデコーダの取扱説明書もよくお読みください。

ハイビジョン放送を見る・録画する

MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビをお使いのとき

1 テレビでBS9チャンネルを選ぶ

2 ビデオでBS9チャンネルを選ぶ

- ハイビジョン放送の画面がテレビに出ます。
- テレビでBS9チャンネル以外の番組を選んでいると画像が乱れる場合がありますが、故障ではありません。

3 録画するときは、録画ボタンを押す

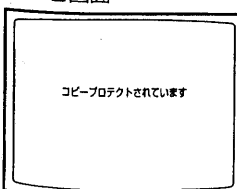
- MUSE-NTSCコンバータの取扱説明書もよくお読みください。

おしらせ

コピーガード表示について
- 録画したいチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されると録画できません。
- 放送のないチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されることがありますが、故障ではありません。

ビデオの表示窓

- コピーガードされている番組を録画しようとした場合、テレビ画面に「コピープロテクトされています」と表示され、録画できません。

テレビ画面

＊D1/D2/D3/D4映像出力端子からは、この表示は出ません。

ハイビジョン放送を見る・録画する

MUSE-NTSCコンバータをお使いのとき

1 テレビの入力切換を「ビデオ」にする(またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)

2 ビデオでBS9チャンネルを選ぶ

3 MUSE-NTSCコンバータで画面モードを選ぶ(⑬③ページ参照)

4 録画するときは、録画ボタンを押す

- テープに記録される画像はMUSE-NTSCコンバータで選んだ画面となります。
- MUSE-NTSCコンバータの取扱説明書もよくお読みください。

おしらせ

- MUSE-NTSCコンバータの取扱説明書もよくお読みください。
- MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビまたはMUSE-NTSCコンバータをビデオに接続するときは、かならずS映像入力3端子および音声入力3端子へ接続してBS9チャンネルを選んでください(⑬②～⑬④ページ参照)。S映像入力3端子および音声入力3端子以外の入力端子に接続すると、画面が乱れることがあります。
- ハイビジョン放送(BS9チャンネル)を見るための設定もご覧ください(⑭③ページ)。

デジタル衛星放送を録画する

デジタル衛星放送用チューナーをつなぐと、デジタル衛星放送を録画することができます。デジタル衛星放送を録画する前に、デジタル衛星放送用チューナーとの接続を確認してください(⑬～⑬ページ参照)。
i.LINK対応のデジタル衛星放送用チューナーをi.LINKケーブルでつないで録画する場合は、「i.LINKを使う」(⑲～⑳ページ)をご覧ください。

重要
- デジタル衛星放送用チューナーには、デジタルCSチューナーやBSデジタルチューナーがあります。
- デジタル衛星放送用チューナーを本機の外部入力1「L1」に接続しておいてください。
- タイマー録画するときは、つめの折れていないテープを入れてください。
- お使いのデジタル衛星放送用チューナーによっては、デジタル衛星放送をタイマー録画できないことがあります。

デジタル衛星放送を見る・録画する

1 ビデオの電源を入れ、入力切換ボタンを押して「L1」を表示させる

2 デジタル衛星放送用チューナーの電源を入れ、チャンネルを選ぶ
- デジタル衛星放送のチャンネルが映ります。

3 録画するときは録画ボタンを押す

おしらせ
コピーガード表示について
- 録画したいチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されると録画できません。
- 放送のないチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されることがありますが、故障ではありません。
- コピーガードされている番組を録画しようとした場合、テレビ画面に「コピープロテクトされています」と表示され、録画できません(㊼ページ参照)。

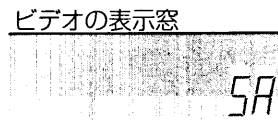
デジタル衛星放送をタイマー録画する

1 デジタル衛星放送用チューナーでタイマー予約の設定をして、予約の待機状態にする

2 ビデオの電源を入れ、ビデオ本体前面のふたを開け、SA予約ボタンを約2秒間押す

- ビデオ前面のSA予約ランプが点灯します。

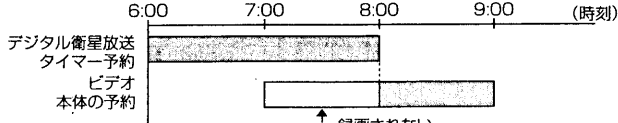
3 ビデオの電源を切る

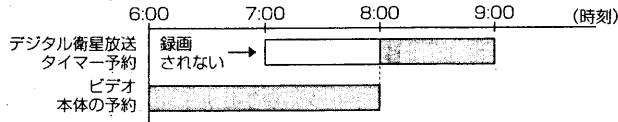
- ビデオ前面のタイマーランプが点灯します。
- 開始時刻になると、デジタル衛星放送用チューナーが予約していた番組を受信し、ビデオの電源が入り、録画が始まります。
- ビデオの表示窓に出ている録画モードで、録画されます。
- ビデオの表示窓に「SA」と出ます。

- 終了時刻になると、デジタル衛星放送用チューナーの電源が切れて、ビデオの録画が停止し、電源が切れます。

おしらせ
- **ビデオをデジタル衛星放送の予約の待機状態にしているときには、デジタル衛星放送用チューナーの電源を入れないでください。デジタル衛星放送用チューナーの電源を入れると、自動的にビデオの録画が始まってしまいます。もし誤ってデジタル衛星放送用チューナーの電源を入れてしまった場合は、ビデオ本体前面のSA予約ボタンを約2秒間押して、デジタル衛星放送の予約を解除してください。**
- **デジタル衛星放送の予約を解除したいときは**
ビデオ本体前面のSA予約ボタンを約2秒間押してください。または、テープを取り出してもデジタル衛星放送タイマー予約が解除されます。
- **デジタル衛星放送の予約と他の予約が重なったときは**
先の予約が優先して録画されます。
- **デジタル衛星放送用チューナーの電源の入るタイミングにより、ビデオの録画開始が遅れて、番組の最初の部分が録画されません。**
- **デジタル衛星放送用チューナーの取扱説明書もよくお読みください。**
- **日立製デジタルCSチューナー(CS-SP80S以降のモデル)と組み合わせると**
番組の頭からタイマー録画した場合に、テープナビデータにデジタル衛星放送のチャンネルとジャンルが自動的に登録されます。ただし、番組によってはジャンルが登録されない場合もあります。

〔デジタル衛星放送タイマー予約のしくみ〕

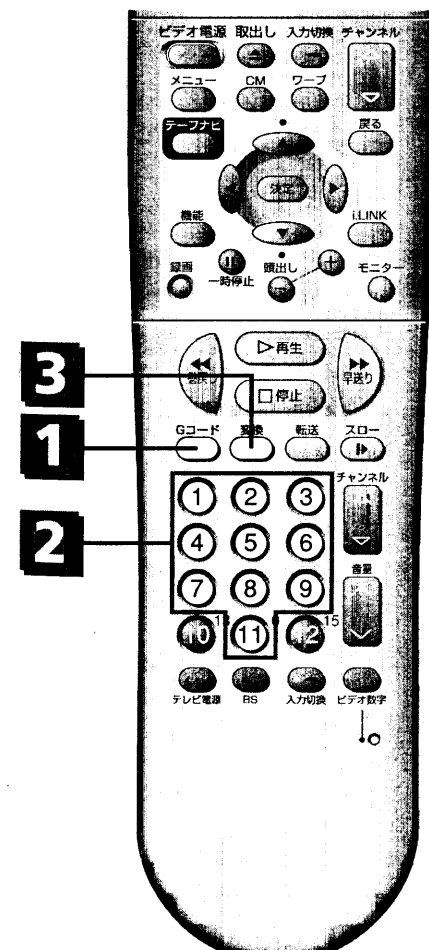
〔予約の優先順位〕
例1：デジタル衛星放送タイマー予約が優先されます。デジタル衛星放送タイマー予約が最後まで録画されたあと、ビデオ本体の予約が途中から録画されます。

6:00 7:00 8:00 9:00 (時刻)
デジタル衛星放送タイマー予約
ビデオ本体の予約
録画されない

例2：ビデオ本体の予約が優先されます。ビデオ本体の予約が最後まで録画されたあと、デジタル衛星放送タイマー予約が途中から録画されます。

6:00 7:00 8:00 9:00 (時刻)
デジタル衛星放送タイマー予約　録画されない
ビデオ本体の予約

Gコード®予約する

タイマー録画予約をしておくと、指定した時刻に自動的に録画が始まり、自動的に終了します。タイマー予約のしかたは「Gコード予約」と「リモコン予約」の2通りあります。本機は32番組まで予約できます。
Gコード予約は、新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されているGコード予約番号をリモコンに入力するだけで、簡単に録画予約ができます。現在より1カ月先までの番組を予約することができます。
Gコード予約番号がわからない場合などは、リモコン予約をしてください(⑱ページ参照)。

重要
- ビデオとリモコンの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。予約の前に時計が正しく合っているか確認してください(時計の合わせかたは⑬ページ参照)。
- 操作を約1分中断すると時計表示に戻ります。
Gコードボタンを押してやり直してください。

おしらせ
- 付属のリモコンは当社製ビデオ専用です。当社製以外のGコード対応の機器には使えません。

Gコードシステムについて

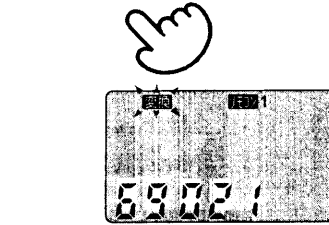
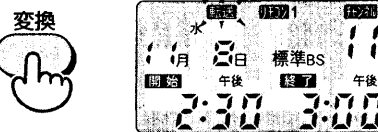
- このビデオは、現在掲載されているGコード予約番号、および将来このコードを応用したサービス(Gコード・インフォ)にも対応しています。
- Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

Gコード予約番号の掲載例

Gコード予約する

1 Gコードボタンを押す

- 表示窓で「－」が点滅します。

2 Gコード予約番号を入力する
例えば、Gコード予約番号「69021」を入力します。
⑥ ⑨ ⑪ ② ①
- 数字を間違えたときは、1 からやり直してください。

3 変換ボタンを押す

- リモコンの表示窓に予約内容が出ます。
- 「Error(エラー)」が出たら、テレビ欄などのGコード予約番号をもう一度確かめて、やり直してください。

タイマー録画

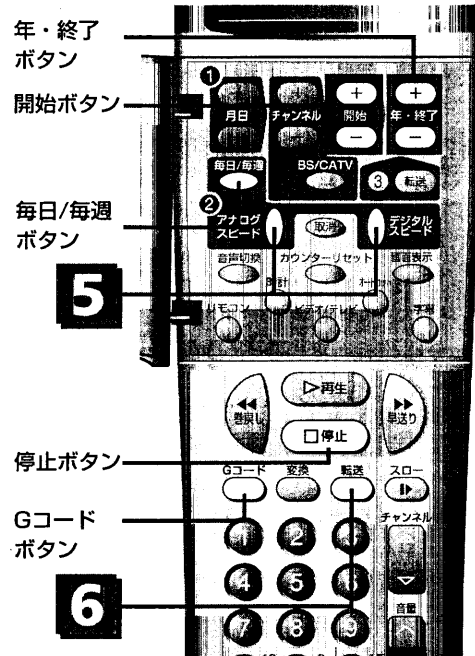
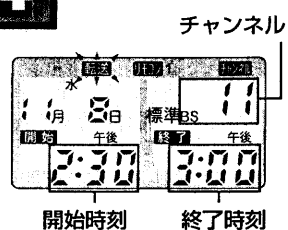
重要

タイマー録画の開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。電源を切ってください。

ふたを開けたところ

年・終了ボタン
開始ボタン
毎日/毎週ボタン
停止ボタン
Gコードボタン

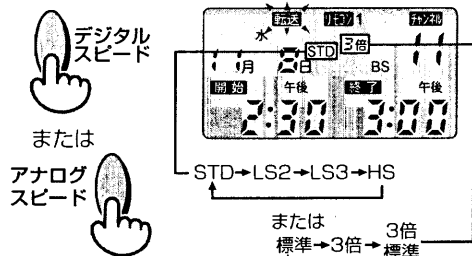
ふたを閉じたところ

メニューボタン

4 表示窓の予約内容を確認する

チャンネル

開始時刻　終了時刻

次のようなときは65、66ページを見て、予約内容を修正してください。

- 録画したいチャンネルが違っているとき→66ページ
- 開始時刻、終了時刻を修正したいとき→65ページ
- 毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画したいとき→65ページ

5 録画モードを合わせる

デジタルスピード

または

アナログスピード

STD→LS2→LS3→HS

または 標準→3倍→3倍標準

- ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- D-VHS方式で録画するときは、デジタルスピードボタンを押してください。
- 「3倍標準」にすると、テープの残りに応じて録画モードが切り換わります（77ページ「録画モードを「3倍標準（オート）」に合わせたとき」参照）。
- 「3倍標準」にすると、テレビ画面に表示される予約内容には「オート」と表示されます。

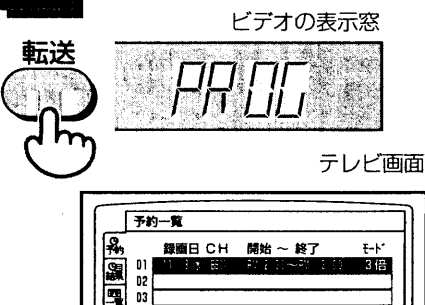
おしらせ

「デジタルスピード」で予約を設定しても、VHSテープが入っているときは、D-VHS方式で録画されません。

6 転送ボタンを押す

転送

ビデオの表示窓

PROG

テレビ画面

- 「ピッ」と音がして、ビデオの表示窓に「PROG」が出ます。
- テレビ画面に予約内容が出ます。青色に表示されている予約が、今回転送した予約内容です。（録画中は表示されません）
- 予約内容の表示画面を消すには、メニューボタンを押してください。
- 続けて別の番組を予約するときは、1 ～ 6 を繰り返してください。

おしらせ

途中でGコード予約をやめるとき
- リモコンのふたが開いている場合は、ふたを閉じてください。
- リモコンのふたが閉じている場合は、Gコードボタンを押してください。

予約内容について
- 番組により、録画時間が実際より長め、または短めに設定されることがあります。
- 放送が終了した番組のGコード予約番号を入力すると、まったく違った予約内容か、または「Error（エラー）」が表示されます。
- リモコンのふたが開いているときにGコードボタンを押すと、Gコードボタンを押すたびに、Gコード予約 ⇄ リモコン予約の切り換えができます。

7 ビデオの電源を切る

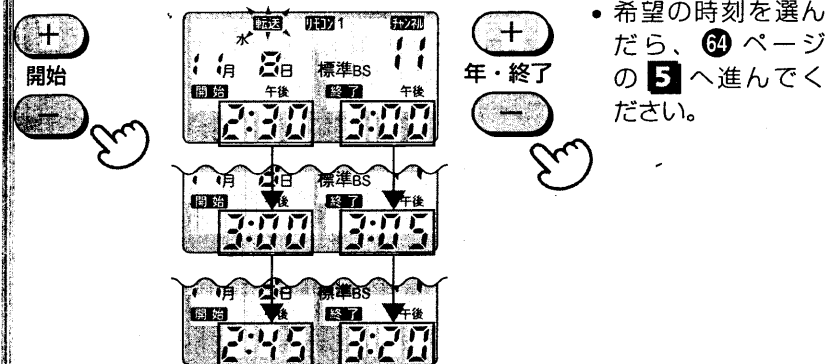
ビデオ電源

- ビデオ前面のタイマーランプが点灯します。
- テープが入っていないと、タイマーランプが点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

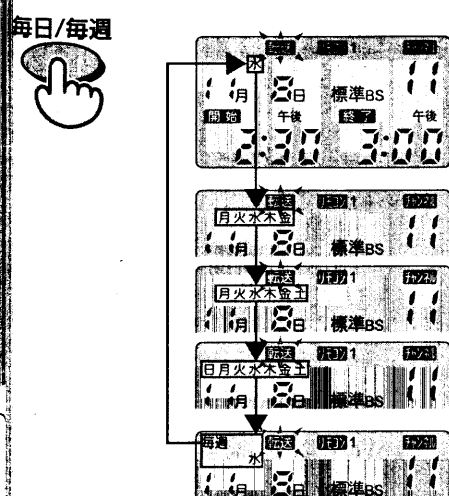
開始時刻、終了時刻を修正するには

64ページの手順 4 のあとで、開始ボタンと年・終了ボタンの⊕ボタンと⊖ボタンを押して希望の時刻を選ぶ

開始　年・終了

- 希望の時刻を選んだら、64ページの 5 へ進んでください。

毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画するには

64ページの手順 4 のあとで、毎日/毎週ボタンを押して希望の曜日を選ぶ

毎日/毎週

- ボタンを押すたびに、左のように切り換わります。
- 希望の曜日を選んだら、64ページの 5 へ進んでください。
- 曜日表示の見かた

水………この日だけの1回録画
月～金…月曜日から金曜日
月～土　月曜日から土曜日
日～土　日曜日から土曜日まで毎日同じ時間に録画
毎週水…毎週同じ曜日のこの時間に録画

おしらせ

- 「0」で始まるGコード予約番号（Gコード・インフォ）の場合、修正できる内容はチャンネルと録画モードだけです。開始時刻、終了時刻、曜日は修正できません。
- BSチャンネルまたはCATVチャンネルに切り換える場合は、チャンネルを修正する前にBS/CATVボタンを押してください。

おしらせ

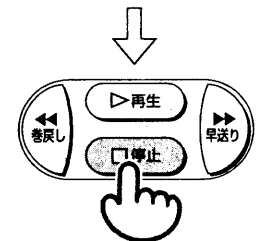
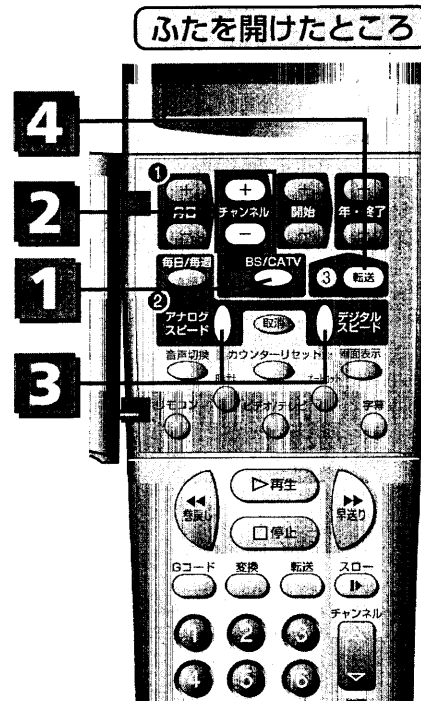
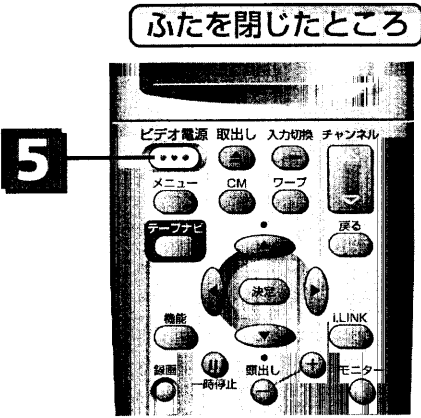
タイマー録画予約をしたあと、ビデオを使いたいとき
- ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。
使い終わったあとは、ビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき
- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。
「つめ」の折れていないテープを入れてから、もう一度電源を切ってください。

予約した番組の設定を変えたいとき
- 予約した番組にオートカットを設定したり、テープナビのタイトルやジャンルマークを設定することができます。
予約内容修正について（72ページ参照）
オートカット設定について（76ページ参照）
タイトル設定について（73ページ参照）
ジャンルマーク設定について（75ページ参照）

タイマー録画を途中でやめるとき
- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。

ビデオ電源

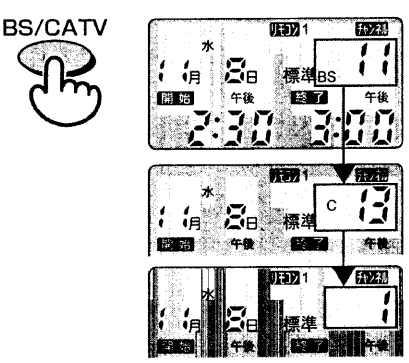
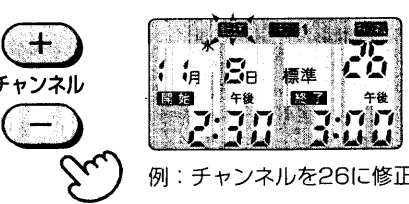
10秒以内に

毎日、または毎週予約を転送して、ビデオの表示窓にエラーが出たときは
- 77ページを参照して修正してください。

おしらせ

- 「0」で始まるGコード予約番号（Gコード・インフォ）の場合、修正できる内容はチャンネルと録画モードだけです。開始時刻、終了時刻、曜日は修正できません。
- BSチャンネルまたはCATVチャンネルに切り換える場合は、チャンネルを修正する前にBS/CATVボタンを押してください。

チャンネルを修正する

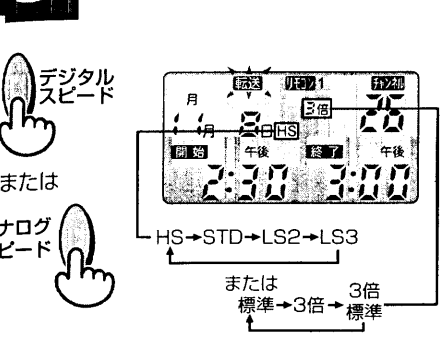
Gコード予約番号を入力して変換ボタンを押したとき、リモコンの表示窓に出る予約内容のチャンネルが違っていることがあります。これは、各地のテレビ局の番組編成によるものです（たとえば26チャンネルの番組をGコード予約したら、BS11チャンネルが表示されたなど）。また、一部の地域では、異なる放送局の番組に同じGコード予約番号が掲載されている場合があります（たとえば、静岡県の一部の地域で、テレビ静岡と中京テレビの番組が同じGコード予約番号で掲載されることがあります）。

例えば 64ページの 4 で、26チャンネルを予約したはずなのにBS11チャンネルが表示されたとき（BS11チャンネルから26チャンネルに修正したい）

1 BS/CATVボタンを押して、BS、C表示を消す

2 チャンネルボタンを押してチャンネルを修正する

例：チャンネルを26に修正

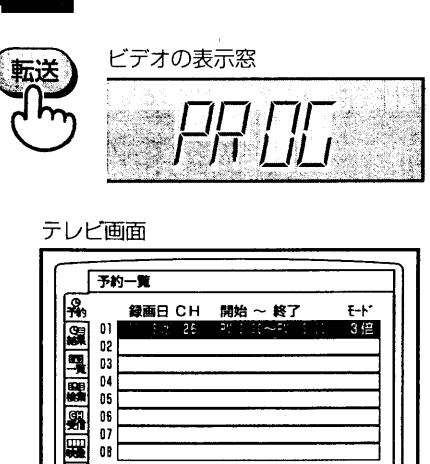
- 修正したチャンネルはリモコンに記憶されます。予約のたびにチャンネルを合わせ直す必要はありません。
- 外部機器からタイマー録画するときも、チャンネルボタンを押して「L1」、「L2」、「L3*」を出してください。
- LINCしたi.LINK対応機器からタイマー録画するときは、チャンネルボタンを押して「d」を出してください。

＊BSデジタル連動設定を「入り」にしたとき、またはBSデジタル連動設定を「切り」にして入力3設定を「外部入力」にしたとき、切り換わります。

3 録画モードを合わせる

- ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- D-VHS方式で録画するときは、デジタルスピードボタンを押してください。
- 「3倍標準」にすると、テープの残りに応じて録画モードが切り換わります（詳しくは77ページ「録画モードを「3倍標準（オート）」に合わせたとき」）。

おしらせ

「デジタルスピード」で予約を設定しても、VHSテープが入っているときは、D-VHS方式で録画されません。

4 転送ボタンを押す

テレビ画面

- 「ピッ」と音がして、ビデオの表示窓に「PROG」が出ます。
- テレビ画面に予約内容が出ます。青色に表示されている予約が、今回転送した予約です。（録画中は表示されません）
- 予約内容の表示画面を消すには、メニューボタンを押してください。
- 続けて別の番組を予約するときは、63、64ページの 1 ～ 6 を繰り返してください。

5 ビデオの電源を切る

- ビデオ前面のタイマーランプが点灯します。
- テープが入っていないと、タイマーランプが点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

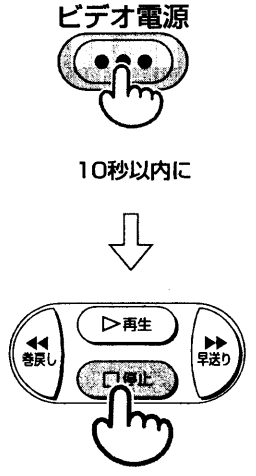
おしらせ

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき
- ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。
  使い終わったあとは、ビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき
- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。
  「つめ」の折れていないテープを入れてから、もう一度電源を切ってください。

予約した番組の設定を変えたいとき
- 予約した番組にオートカットを設定したり、テープナビのタイトルやジャンルマークを設定することができます。
  予約内容修正について（72ページ参照）
  オートカット設定について（76ページ参照）
  タイトル設定について（73ページ参照）
  ジャンルマーク設定について（75ページ参照）

タイマー録画を途中でやめるとき
- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。

10秒以内に

リモコン予約する

録画したいチャンネル、開始・終了時刻、開始日などをリモコンで予約します。
Gコード予約番号がわからない場合などにご利用ください。現在より1年先までの番組を予約することができます。

- ビデオとリモコンの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。
  予約の前に時計が正しく合っているか確認してください(時計の合わせかたは⑱ページ参照)。
- 操作を約1分中断すると時計表示に戻ります。一度ふたを閉じて最初からやり直してください。
- デジタル衛星放送のタイマー録画については、㉒ページを参照してください。
- i.LINK対応機器からタイマー録画するときは、あらかじめLINCしてください(㉝、㉞ページ参照)。

重 要

タイマー録画の開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。電源を切ってください。

例 4チャンネルを、午後9時00分から午後10時55分まで、11月6日に、3倍モードで録画するとき

「つめ」の折れていないテープを入れる

ふたを開けたところ

ふたを閉じたところ

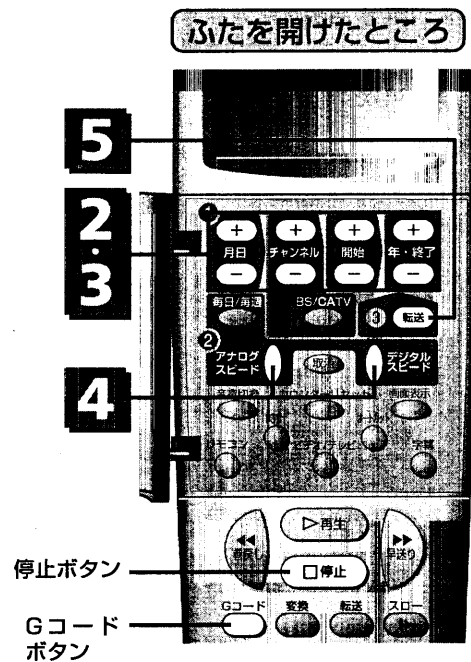
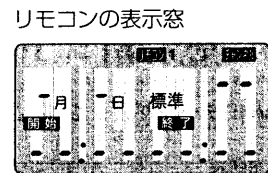
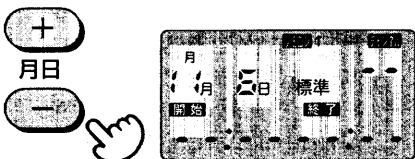
停止ボタン

Gコードボタン

1 リモコンのふたを開ける

リモコンの表示窓

2 録画したい日にちを合わせる

- 日にちを合わせると曜日は自動的に表示されます。
- ⊕ボタンか⊖ボタンを長押しすると、月が変わります。

3 チャンネル、開始時刻、終了時刻の順に合わせる

チャンネル → 開始 → 年・終了

- チャンネルボタンの⊕ボタンか⊖ボタンを長押しすると、10の位が変わります。
- 外部機器からタイマー録画するときは、チャンネルボタンを押してチャンネル番号の代わりに「L1」、「L2」、「L3*」を表示させてください。
- LINCしたi.LINK対応機器からタイマー録画するときは、チャンネルボタンを押して「d」を出してください。
- 昼の12時は「午後0:00」、夜の12時は「午前0:00」に合わせてください。
- 開始ボタンと年・終了ボタンの⊕ボタンか⊖ボタンを長押しすると、30分単位で変わります。

* BSデジタル連動設定を「入り」にしたとき、またはBSデジタル連動設定を「切り」にして入力3設定を「外部入力」にしたとき、「L3」を使うことができます。

おしらせ

予約している途中で修正するとき
- 修正したい項目の⊕ボタンか⊖ボタンを押すと修正できます。

途中で予約をやめるとき
- リモコンのふたを閉じてください。
- リモコンのふたが開いているときにGコードボタンを押すと、Gコードボタンを押すたびに、Gコード予約 ⇄ リモコン予約の切り換えができます。

4 録画モードを合わせる

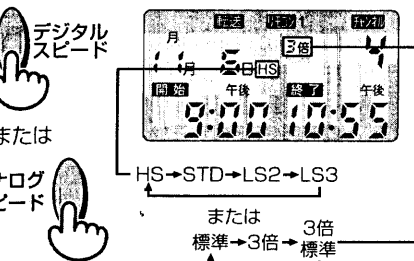
デジタルスピード

または

アナログスピード

HS→STD→LS2→LS3

または

標準→3倍→3倍標準

- ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- D-VHS方式で録画するときは、デジタルスピードボタンを押してください。
- 「3倍標準」にすると、テープの残りに応じて録画モードが自動的に切り換わります(㉗ページ「録画モードを「3倍標準(オート)」に合わせたとき」参照)。

おしらせ

「デジタルスピード」で予約を設定しても、VHSテープが入っているときは、D-VHS方式で録画されません。

5 リモコンをビデオに向けて転送ボタンを押す

ビデオの表示窓

テレビ画面

- 「ピッ」と音がして、ビデオの表示窓に「PROG」が出ます。
- テレビ画面に予約内容が出ます。青色に表示されている予約が、今回転送した予約です。(録画中は表示されません)
- 予約内容の表示画面を消すには、メニューボタンを押してください。
- 続けて別の番組を予約するときは、1 ～ 5 を繰り返してください。

6 ビデオの電源を切る

ビデオ電源

- ビデオ前面のタイマーランプが点灯します。
- テープが入っていないと、タイマーランプが点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

おしらせ

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき
- ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。
  使い終わったあとは、ビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき
- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。
  「つめ」の折れていないテープを入れてから、もう一度電源を切ってください。

予約した番組の設定を変えたいとき
- 予約した番組にオートカットを設定したり、テープナビのタイトルやジャンルマークを設定することができます。
  予約内容修正について(㉒ページ参照)。
  オートカット設定について(㉖ページ参照)。
  タイトル設定について(㉓ページ参照)。
  ジャンルマーク設定について(㉕ページ参照)。

タイマー録画を途中でやめるとき
- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。

ビデオ電源

10秒以内に

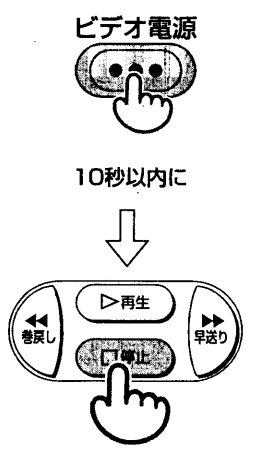
毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画するには

68ページの手順 3 のあとで、毎日/毎週ボタンを押して希望の曜日を選ぶ

毎日/毎週

- ボタンを押すごとに左のように切り換わります。
- 曜日表示の見かた
  月………この日だけの1回録画
  月～金…月曜日から金曜日
  月～土…月曜日から土曜日
  日～土…日曜日から土曜日まで毎日同じ時間に録画
  毎週月…毎週同じ曜日のこの時間に録画
- リモコンに表示されている曜日以外の毎週同じ曜日に録画するには、68ページの手順 3 で希望の曜日になるように、日にちを合わせてください。
- 希望の曜日を選んだら 4 へ進んでください。

毎日、または毎週予約するときのご注意

現在の時刻より前の時刻の番組を予約する場合は、68ページの手順 2 の日にちを合わせるときに、日にちを次に録画される曜日の日にちに合わせてから、毎日/毎週ボタンを押してください。
例えば、11月3日(金)の午前11時に翌週月～金の午前9：00～10：00の番組を予約するには、手順 2 で日にちを11月6日(月)に合わせてから、毎日/毎週ボタンを押してください。

予約の確認・取り消しをする

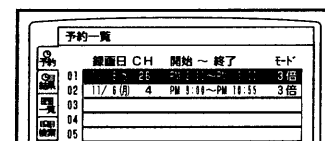
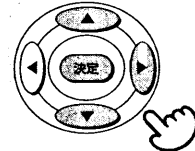
Gコード予約した内容もリモコン予約した内容も、次の方法で確かめたり、取り消したりできます。
また、予約録画の実行結果も確認したり、取り消したりできます。

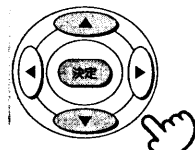
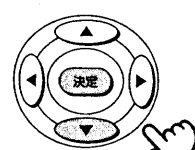
- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

- ビデオの電源を入れる

予約の確認・取り消しをする

1 メニューボタンを押す

2 ▼、▲ボタンで「予約一覧」を選び、►ボタンか決定ボタンを押す

- 予約内容が一覧表示されます。

3 予約を取り消したいときは、▼、▲ボタンで取り消したい内容を選び、決定ボタンを押す

4 ▼ボタンで「予約削除」を選び、決定ボタンを押す

- 「予約削除」の確認画面が出ます。削除する場合は「はい」を選んで、決定ボタンを押してください。
- 3 の操作で決定ボタンのかわりにリモコンの取消ボタンを押しても「予約削除」の確認画面が出ます。
- 予約内容が消えます。
- 続けて別の予約も取り消したいときは、3、4 を繰り返してください。

5 確認・取り消しが終わったら、メニューボタンを押す

- 元の画面に戻ります。

予約の実行結果を確認・取り消しする

1 メニューボタンを押す

メニュー

2 ▼、▲ボタンで「予約実行結果」を選び、►ボタンか決定ボタンを押す

- 予約実行結果が一覧表示されます。詳しくは78ページを参照してください。

おしらせ
- 実行結果は32まで表示されます。33以上になると古い順に消去されます。

3 実行結果を取り消したいときは、▼、▲ボタンで取り消したい内容を選び、決定ボタンを押す

4 「実行結果削除」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す

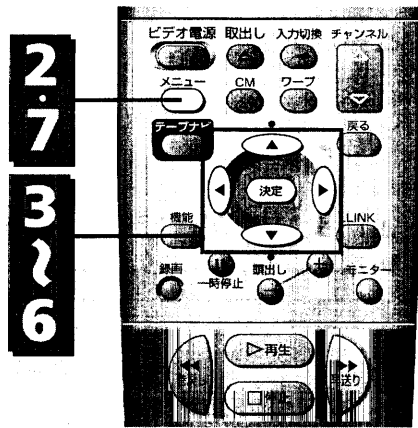
- 「実行結果削除」の確認画面が出ます。
  削除する場合は決定ボタンを押してください。
- 実行結果が消えます。
- 続けて別の実行結果も取り消したいときは、3、4 を繰り返してください。

5 確認が終わったら、メニューボタンを押す

- 元の画面に戻ります。

予約した番組の設定を変える

予約した番組にオートカットを設定したり、テープナビのタイトル(番組名)、ジャンルマークを設定したりすることができます。

予約した番組の内容を修正する

1 タイマー録画予約する

- 63～70ページの操作をしてタイマー録画予約をしてください。

2 メニューボタンを押す

- 予約内容が一覧表示されます。

3 ▼、▲ボタンで「予約一覧」を選び、►ボタンか決定ボタンを押す

4 ▼、▲ボタンで変更したい予約番組を選び、決定ボタンを押す

5 ▼、▲ボタンで「予約内容変更」を選び決定ボタンを押す

6 ◄、►ボタンで変更したい項目を選び、▼、▲ボタンで変更して、決定ボタンを押す

7 メニューボタンを押す

- 元の画面に戻ります。

おしらせ

- タイマー録画予約の開始時刻になったとき、または開始時刻から終了時刻のあいだは、録画内容を修正することはできません。

予約した番組にあらかじめタイトルを設定できます。設定したタイトルは、予約実行後テープナビに登録されます。

予約した番組のタイトルを設定する

1 タイマー録画予約する

- 63～70ページの操作をしてタイマー録画予約をしてください。

2 メニューボタンを押す

メニュー

3 ▼、▲ボタンで「予約一覧」を選び、►ボタンか決定ボタンを押す

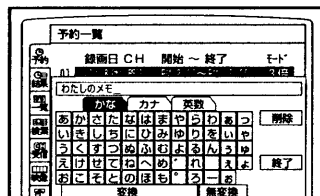
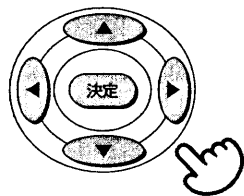
- 予約内容が一覧表示されます。

4 ▼、▲ボタンでタイトルを設定したい予約番組を選び、決定ボタンを押す

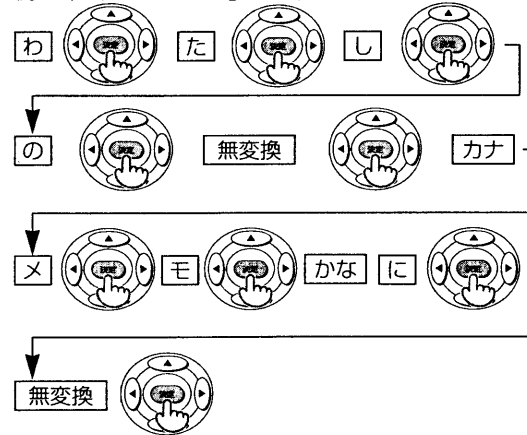
5 ▼、▲ボタンで「タイトル設定」を選び、決定ボタンを押す

- タイトル作成画面が出ます。

タイマー録画

6 カーソルボタンで文字を選び、決定ボタンを押す

- 1文字ずつ選び、決定ボタンを押します。
- 漢字、英数字の選びかたとひらがな、カタカナの詳しい選びかたについては、⑪～⑫ページを参照してください。
- 設定した文字を1文字ずつ消したいときは、削除を選んで決定ボタンを押してください。また、リモコンの取消ボタンを押しても消すことができます。

おしらせ

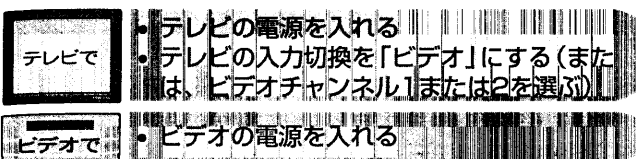
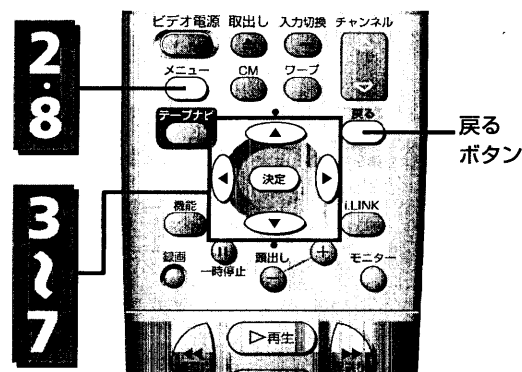
例：「わたしのメモに」と入力するには

の順に選んで押してください。
文字を選ぶときには、カーソルボタンを押してください。

7 すべての文字の選択が終わったら「終了」を選び、決定ボタンを押す

- 設定したタイトルが画面に出ます。
- 続けて別の予約した番組もタイトルを設定したいときは、3～7を繰り返してください。

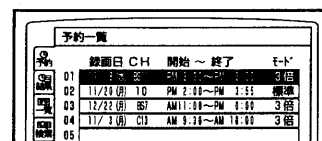
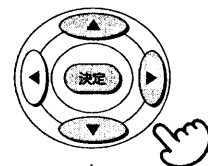
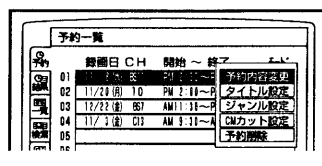
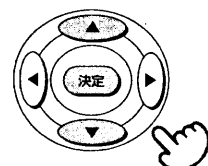
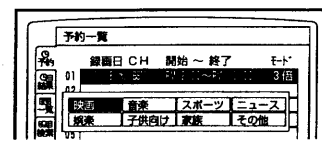
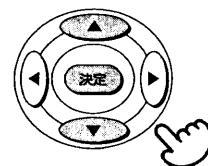
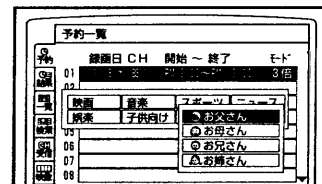
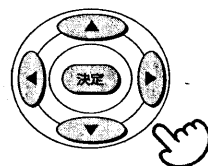
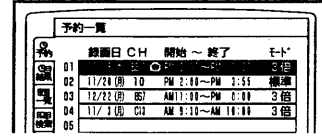
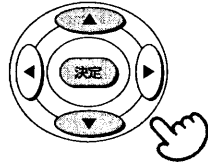
8 メニューボタンを押す

- 元の画面に戻ります。

予約した番組にあらかじめジャンルマークを設定できます。設定したジャンルマークは、予約実行後、テープナビに登録されます。

予約した番組のジャンルマークを設定する

1 タイマー録画予約する

- ㊸～㊹ページの操作をしてタイマー録画予約をしてください。

2 メニューボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで「予約一覧」を選び、►ボタンか決定ボタンを押す

4 ▼、▲ボタンでジャンルマークを設定したい予約番組を選び、決定ボタンを押す

5 ▼、▲ボタンで「ジャンル設定」を選び、決定ボタンを押す

6 カーソルボタンでジャンルマークの分類を選び、決定ボタンを押す

7 ▼、▲ボタンで設定したいジャンルマークを選び、決定ボタンを押す

- 決定ボタンを押すとジャンルマークが設定されます。
- 他のジャンルマークを選ぶときは、リモコンの戻るボタンを押して6の操作から行ってください。
- 続けて別の予約した番組もジャンルマークを設定したいときは、3～7を繰り返してください。

8 メニューボタンを押す

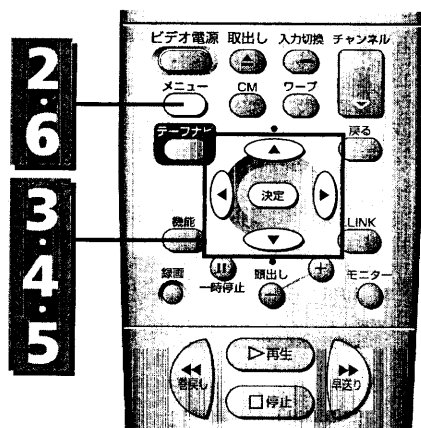
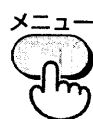
- 元の画面に戻ります。

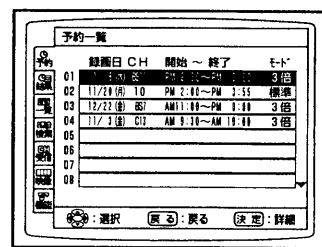
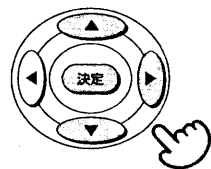
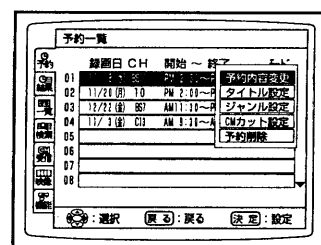
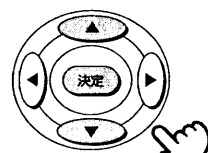
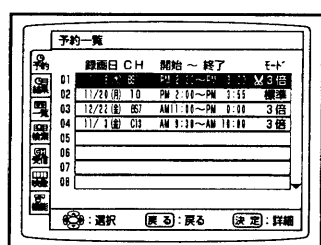
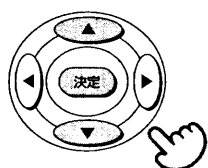
重要

予約した番組がステレオ放送のときは、番組もCMもカットされ何も録画されません。ステレオ放送の番組を予約するときは、オートカット機能を使わないでください。

テレビで
- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

ビデオで
- ビデオの電源を入れる

予約した番組のCMをカットする

1 タイマー録画予約する
- 63～70ページの操作をしてタイマー録画予約をしてください。

2 メニューボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで「予約一覧」を選び、►ボタンか決定ボタンを押す

4 ▼、▲ボタンでCMをカットしたい予約番組を選び、決定ボタンを押す

5 ▼、▲ボタンで「CMカット設定」を選び、決定ボタンを押す

- ✂マークが出て、CMカットが設定されます。

おしらせ
- CMカット機能を解除するには、3～5の操作をして✂マークを消してください。

6 メニューボタンを押す

メニュー

- 元の画面に戻ります。

おしらせ
- 予約した番組の設定を変えたあとは、ビデオの電源を切ってください。タイマー予約開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。

タイマー予約・録画のご注意

Gコード予約とリモコン予約に共通の内容です。

重要

タイマー予約した番組がコピーガード処理されている場合は、予約設定できても録画されません。

■予約番組数

本機で予約できる番組数は32番組です。

■予約を転送したとき、ビデオの表示窓に「－－：－－」や「Err」、「FULL」が出たら

「－－：－－」(約3秒点滅)：ビデオの時計が「－－：－－」になっています。時計を合わせてから予約してください。

「Err」(約3秒点灯)：リモコンとビデオの間に障害物があるか、リモコンをビデオに向けないで転送しています。ビデオのリモコン受光部に向けて転送してください。
同じ予約内容を転送したときも、この表示が出ます。

「FULL」(約3秒点灯)：すでに32の番組が予約されていますので、予約を追加できません。不要な予約を取り消してから、もう一度予約を転送してください(71ページ参照)。

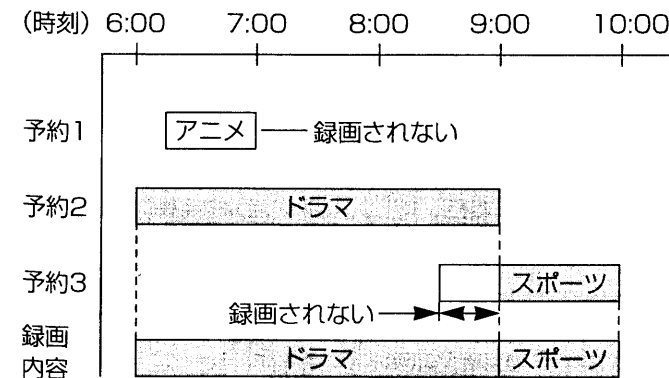
■タイマー録画中のボタン操作

一時停止や、録画モードの変更などのボタン操作はできません。

■60分以上の停電があったとき

ビデオの表示窓が「－－：－－」に変わり、時計と予約内容が消えてしまいます。時計合わせと予約をやり直してください(時計合わせは153ページ、予約は63～70ページ参照)。

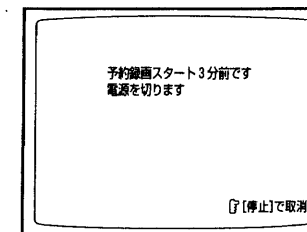
■予約内容が重なったとき

先に始まった番組が最後まで録画されたあと、次の番組が途中から録画されます。

■タイマー録画中にテープがなくなったとき

自動的にビデオの電源が切れ、テープがビデオから出てきます。

■日立製の他のビデオのリモコンを使うとき

時計表示窓付きリモコンは、リモコンの予約内容をそのまま本機に転送することができます。

■タイマー録画予約後、電源を切り忘れたとき

電源が「入」になっていると、タイマー録画開始3分前にテレビ画面に上の警告表示が現れ、ビデオの電源が自動的に切れます。
テレビ番組を続けて見る場合は、上の画面が表示中に停止ボタンを押してください。

■録画モードを「3倍/標準(オート)」に合わせたとき

テープの残り時間に応じて自動的に録画モードが切り換わります。
- 「標準」で録画を始めて、途中でテープがなくなりそうになると録画モードを自動的に「3倍」に切り換えます。
- 最初から「3倍」で録画を始めても、テープの残り時間が足りないときは、最後まで録画されません。
- 録画モードの切り換わった部分を再生すると、画像が乱れます。
- 2つ以上の番組を「3倍/標準」でタイマー録画予約すると、テープの残り時間と番組の録画時間によっては、2つ目以降の番組が録画されないことがあります。
  たとえば、T－120のテープの巻始めから、1つ目の2時間番組を「3倍/標準」でタイマー録画予約すると「標準」で2時間(最後の約5分は「3倍」)録画されます。このため、2つ目以降の番組は録画されません。

■BS放送をタイマー録画するとき

BS放送のTV(テレビ)／独立音声の切り換えは、必ずタイマー録画が始まる前に番組に合わせて切り換えておいてください(93ページ参照)。

■ケーブルテレビのBS放送番組をGコード予約するとき

リモコンの表示窓に「BS」表示が自動的に出ます。このときは、BS/CATVボタンを押して「C」表示を出してからケーブルチャンネルに合わせてください。

タイマー予約実行結果の表示

予約録画が正しく実行されたことのほかに、タイマー予約に関する情報を次のようにお知らせします。

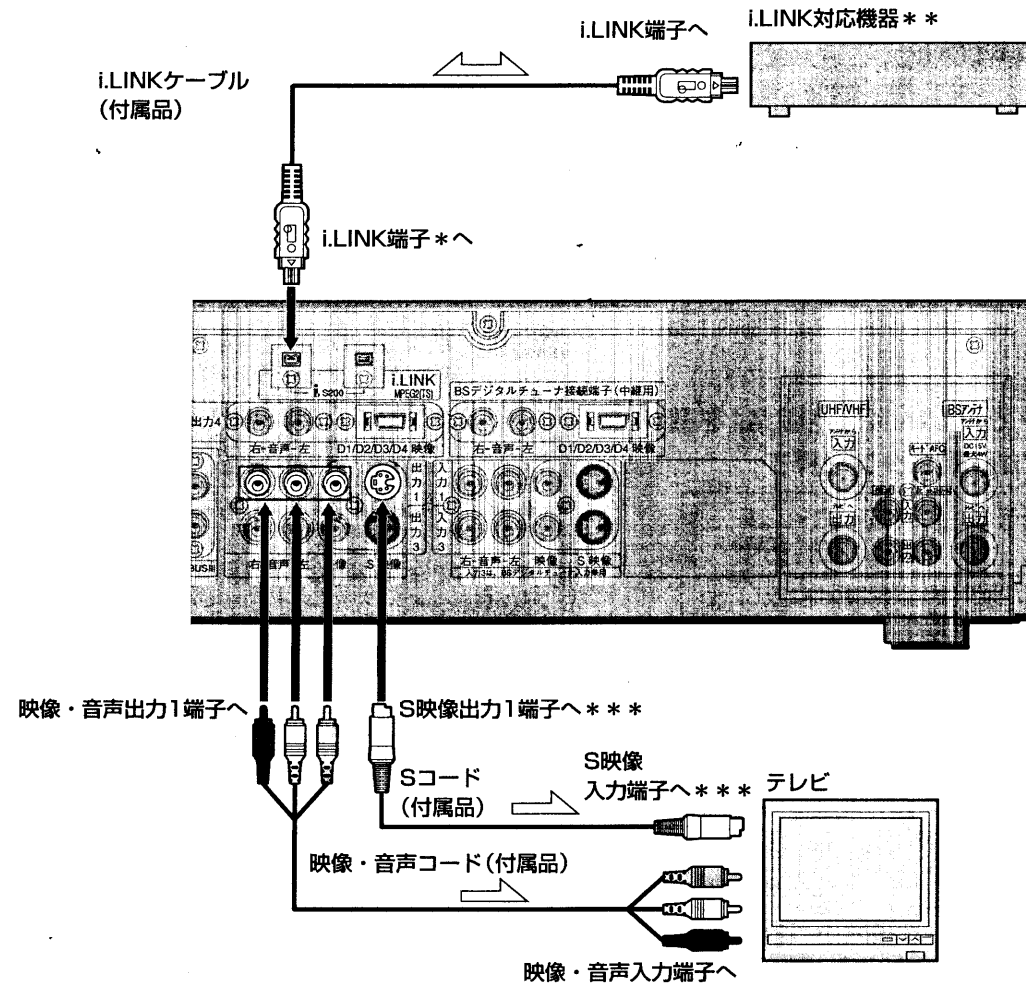
表示	実行結果	お知らせ
録画完了	予約どおり、録画されました。	—
ジャスト録画	予約どおり、録画されました。テープの残り時間に合わせて録画モードが切り換わっています。	録画モードが「3倍標準（オート）」で予約されていたので、途中でテープがなくならないように、録画モードが「標準」から「3倍」に切り換わっている場合があります。（77ページ参照）
強制終了	テープの残量がなくなったため、録画が途中で終了しました。	事前にテープの残量を確認することができます。（92ページ参照） タイマー録画を途中で止めたときや番組ロックされた位置で録画が終了したときも、この表示が出ます。（65、114ページ参照）
電源入りで途中実行	開始時刻になっても電源が入っていたので、電源を切ったところから録画されています。	開始時刻にビデオの電源が入っていると、予約が実行されません。開始時刻前にビデオの電源を切っておいてください。
予約重複で途中実行	別の予約録画が終了した時点から録画されています。	開始時刻が早い予約から先に実行されます。（77ページ参照）
コピーガード処理実行	コピーガード処理された番組だったので、録画されませんでした。	コピーガード処理されている番組は、予約できますが録画できません。
電源入りで未実行	開始時刻になっても電源が入っていたので、録画されませんでした。	開始時刻にビデオの電源が入っていると、予約が実行されません。開始時刻前にビデオの電源を切っておいてください。
テープなしで未実行	テープが入っていなかったので、録画されませんでした。	開始時刻にビデオテープが入っていないと録画されません。開始時刻前にビデオテープを入れて、ビデオの電源を切っておいてください。 また先に実行された予約録画でテープの残量がなくなると、テープがビデオから出てきます。
予約重複で未実行	別の予約録画が実行されていたので、録画されませんでした。	開始時刻が早い予約から先に実行されます。（77ページ参照）
予約取消し	開始時刻前に、予約が取消されました。	—
予約エラー	何らかの理由で予約データに異常が発生したので、録画されていません。	再度時計設定と予約設定をしても同じ表示が出る場合は、故障の可能性がありますので、お買上げの販売店にご連絡ください。
オートカット実行	CMカット設定をした予約録画が実行されました。	CMのほか、番組がステレオ放送の場合は番組もカットされます。
停電で一部カット	予約録画中に停電がありました。	番組の一部が途切れています。
録画モード変更	VHSテープが入っていたので、デジタルテープスピード（HS、STD、LS2またはLS3）で予約した番組が、アナログテープスピードで録画されました。	D-VHS方式で録画したいときは、D-VHSテープを入れてください。

複数の実行結果内容が重なって発生した場合は、いずれか1つの実行結果しか表示されません。

i.LINK対応機器をつなぐ

本機背面のi.LINK端子とi.LINK対応機器のi.LINK端子を、i.LINKケーブルでつなぎます。
i.LINK対応機器をつなぐと、i.LINK対応機器からの映像や音声を録画したり、本機の映像や音声をi.LINK対応機器で録画することができます。
本機を含めて最大63台までの機器をつなぐことができます。

重要

- i.LINK対応機器をつなぐ前に、「i.LINKでの接続について」（28ページ）を必ずお読みください。
- i.LINKの端子には上下の向きがあります。端子とケーブルの向きを合わせて、正しく奥まで差し込んでください。正しく接続されていないと、映像や音声のデータをやりとりすることができません。
- i.LINKケーブルおよびi.LINK端子は精密にできておりますので、強い力を加えないようにしてください。
- i.LINKケーブルは、できる限り200Mbps以上に対応したものをお使いください。100Mbps対応のケーブルをお使いになる場合は、i.LINKケーブル設定を100Mbpsに切り換えてください（80ページ参照）。
- 市販のDVケーブルは、お使いになれません。

は信号の流れを表します。

＊ 2個のi.LINK端子のどちらにつないでもかまいません。
＊＊ i.LINK対応機器にはD-VHSビデオの他に、BSデジタルチューナーやデジタルCSチューナーなどもあります。
＊＊＊ テレビにS映像入力端子があるときだけつなぎます。

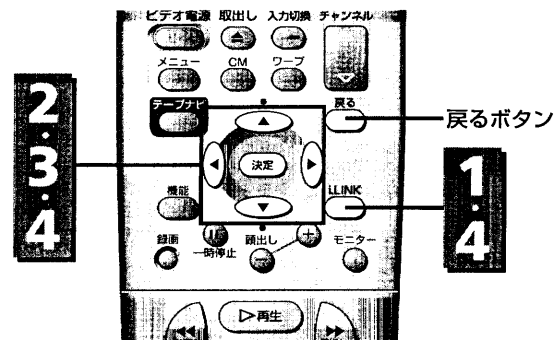
i.LINK対応機器を使うための設定

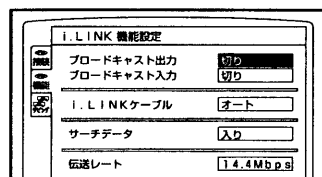
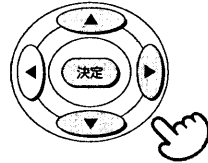
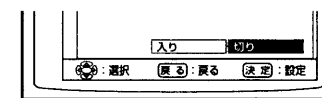
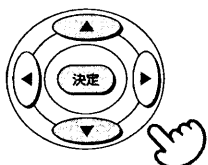
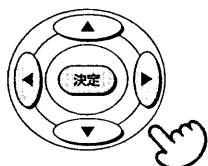
i.LINKケーブルでつないだi.LINK対応機器と本機の間で映像や音声をやりとりする前に、i.LINK接続のための設定を行ってください。

i.LINK対応機器がi.LINKケーブルで正しく接続されているか確かめてください。

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする（またはビデオチャンネル1または2を選ぶ）

- ビデオの電源を入れる

映像出力・入力、i.LINKケーブルの設定

1 i.LINKボタンを押す

2 ▼、▲ボタンで「i.LINK機能設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで合わせたい項目を選び、決定ボタンを押す

4 ◀、▶ボタンで設定を選び、決定ボタンを押す

- i.LINKボタンを押すと、元の画面に戻ります。
- 戻るボタンを押しても、元の画面に戻ります。

i.LINK機能設定画面の説明

ブロードキャスト出力 入り または 切り

入り	ブロードキャスト出力します。（ブロードキャスト出力したいときは、こちらに設定します。）
切り	ブロードキャスト出力しません。（通常はこちらを使います。）

ブロードキャスト入力 入り または 切り

入り	ブロードキャスト入力をしたいときはこちらに設定し、他の機器とのLINCを解除してください（83ページ参照）。
切り	ブロードキャスト入力しません。

i.LINKケーブル オート または 100Mbps

オート	映像情報の通信速度を自動で設定します。（通常はこちらで使います。）
100 Mbps	映像情報の通信速度を100Mbpsにします。（100Mbps対応のケーブルを使っているときは、こちらに設定してください。）

「サーチデータ」と「伝送レート」の設定については、81ページをご覧ください。

おしらせ

ブロードキャスト 出力とは

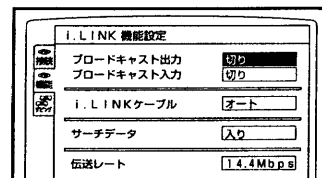
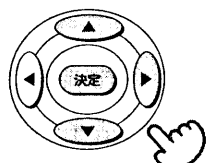
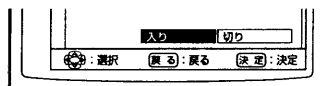
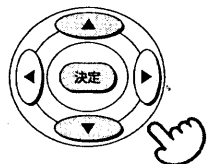
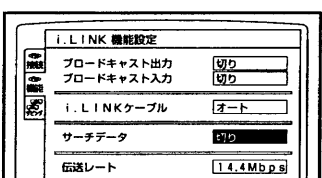
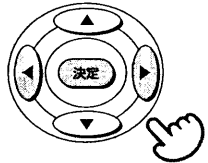
- ブロードキャスト出力とは、特に出力先の相手を決めずにi.LINKケーブル上に映像や音声のデータを出力することです。本機の場合ブロードキャスト出力を 入り に設定すると、選んだチャンネルの番組や再生映像をi.LINK端子から出力します。（ただし、入力切換で「d」入力を選んだときや、本機が他の機器からLINCされているときには出力されません。）ブロードキャスト出力しているときは、i.LINK接続している複数の機器が同時にその映像や音声を見たり、録画したりすることができます。
  しかし、ブロードキャスト出力をしているとi.LINKケーブル上に常にデータが流れていることになるので、通常はブロードキャスト出力を 切り に設定します。
- ブロードキャスト出力を 切り に設定すると、i.LINK接続している他の機器から要求があったとき（LINCされているとき）に、映像や音声のデータを出力します。

ブロードキャスト 入力とは

- ブロードキャスト出力している機器の映像や音声のデータをi.LINK端子から入力することができます。入力切換で「d」入力を選んでください。
- 他の機器とLINCしているときは、ブロードキャスト入力を 入り にしてもLINCしている機器の映像や音声が入力されます。ブロードキャスト入力したい場合は、他の機器とのLINCを解除してください。

サーチデータの設定

1 i.LINKボタンを押す

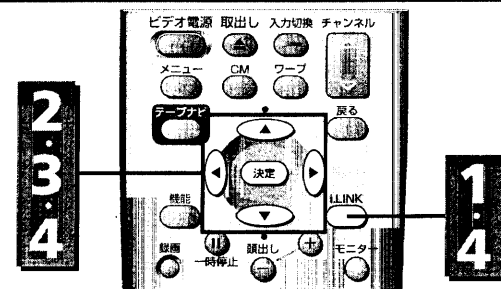
2 ▼、▲ボタンで「i.LINK機能設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで「サーチデータ」を選び、決定ボタンを押す

4 ◀、▶ボタンで設定を変えて、決定ボタンを押す

- i.LINK接続した機器からの映像・音声をD-VHS録画するとき、サーチデータを一緒に録画するかどうか選びます。

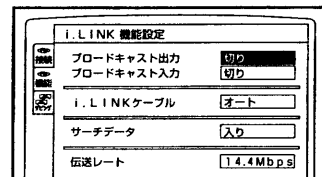
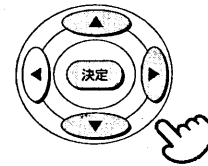
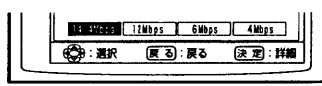
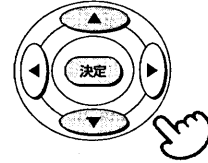
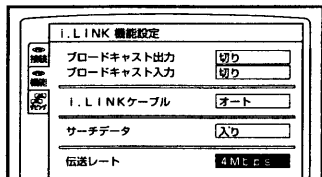
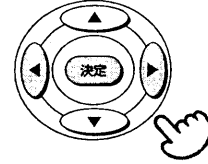
サーチデータ 入り または 切り

入り	D-VHS録画時に、早送り／巻戻し再生用サーチデータも一緒に録画します。ふつうは 入り に合わせます。
切り	他のD-VHSビデオデッキより本機へダビングして正常に録画されないとき「切り」に合わせます。ただし、早送り／巻戻し再生はできません。

おしらせ

- i.LINK接続した機器によっては、サーチデータ「入り」にしてもサーチデータが正常に記録されず、サーチができない場合があります。
- i.LINKを使わないで録画する場合は、サーチデータの入り／切りに関係なくサーチデータも一緒に録画します。

伝送レートの設定

1 i.LINKボタンを押す

2 ▼、▲ボタンで「i.LINK機能設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで「伝送レート」を選び、決定ボタンを押す

4 ◀、▶ボタンで設定を変えて、決定ボタンを押す

- 伝送レートを選びます。
- 本機のi.LINK端子から出力する映像・音声の伝送レートが切り換わります。
- i.LINKボタンを押すと、元の画面に戻ります。

おしらせ

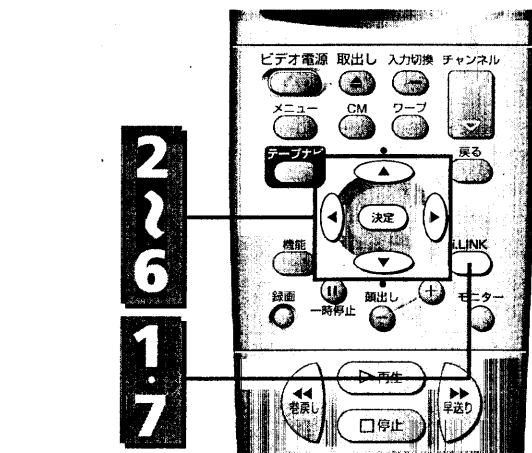
伝送レートとは

- VHSやS-VHS、S-VHS ETで録画したテープを再生した映像・音声や本機内蔵のチューナー、L1、L2、L3入力の映像・音声をデジタル処理したときのデータ量を表す数値です。数値が大きいほど良好な画質が得られ、数値が小さいと特に動きのある場面でMPEG2方式特有の違和感のある映像になります。

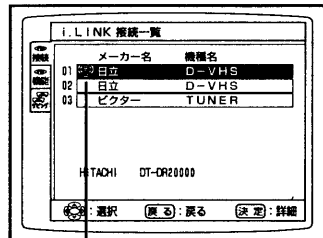
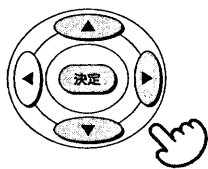
設定のご注意

- i.LINK接続した他のD-VHSビデオで上記の映像・音声を録画する場合、相手の録画モードに合わせて伝送レートを設定してください。

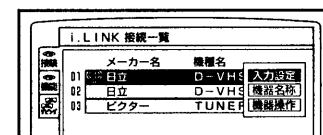
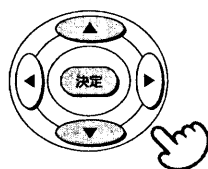
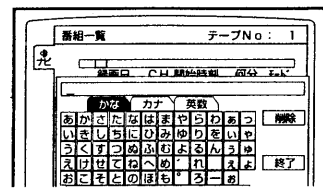
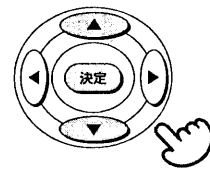
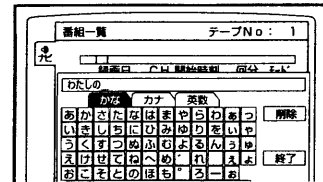
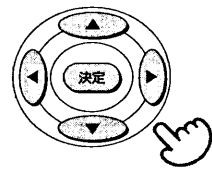
録画モード	HS	STD	LS2	LS3
伝送レート	14.4Mbps	12Mbps	6Mbps	4Mbps

つないだ機器を確認する、機器に名前をつける

1 **i.LINKボタンを押す**

i.LINK

2 **▼、▲ボタンで「i.LINK接続一覧」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す**

LINCマーク

- つながれた機器が確認できます。(相手の機器によっては、メーカー名や機種名などが表示されない場合があります。)
- LINCマークはLINCしている機器を示します。(他の機器からLINCされたときは表示されません。)
- 最大62台まで表示されます。

3 **▼、▲ボタンで名前をつけたい機器を選び、決定ボタンを押す**

4 **▼、▲ボタンで「機器名称」を選び、決定ボタンを押す**

5 **カーソルボタンで文字を選び、決定ボタンを押す**

- 1文字づつ選び、決定ボタンを押します。
  漢字変換のしかたは⑪ページを、カタカナと英数字の選びかたは⑫ページを参照ください。
- 設定した文字を1文字ずつ消したいときは、削除を選んで決定ボタンを押してください。またリモコンの取消ボタンを押しても消すことができます。
- 登録できる名前の長さは、全角19文字までです。

6 **すべての文字の選択が終わったら、「終了」を選んで決定ボタンを押す**

- 登録された名前が画面に出ます。

7 **i.LINKボタンを押す**

i.LINK

- 元の画面に戻ります。

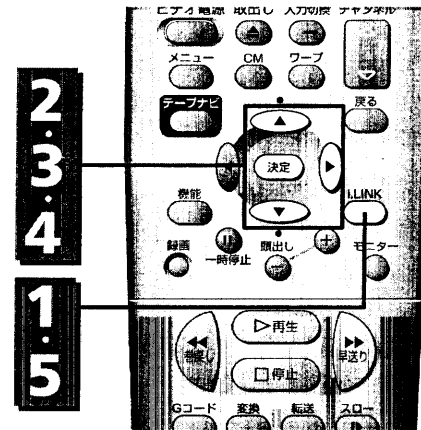
おしらせ

- i.LINK接続した機器によっては、メーカー名や機種名が表示されない場合があります。
- i.LINK接続した機器のメーカー名や機種名が表示されないときや正しく接続できないときは、i.LINKケーブルを抜いてからもう一度差し込んでください。ただし、接続した機器によってはメーカー名や機種名を表示できないときがあります。

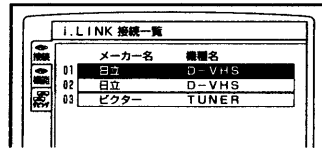
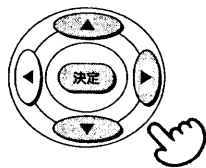
重要

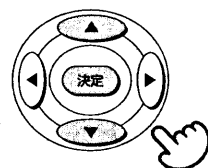
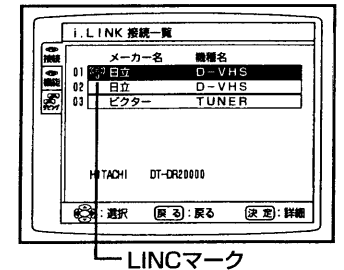
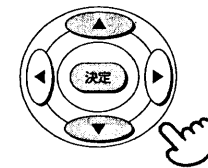
LINCする前に、「LINC(リンク)とは」(㉘ページ)を必ずお読みください。

操作したい機器をLINCする

i.LINKケーブルでつないだi.LINK対応機器を本機で操作したり、映像や音声をやりとりするには、必ず操作したい機器をLINCしてください。

1 **i. LINKボタンを押す**

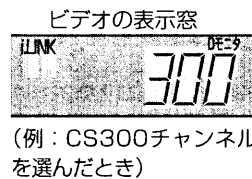
i.LINK

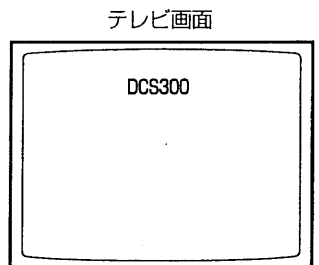
2 **▼、▲ボタンで「i.LINK接続一覧」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す**

- **LINCしている機器には LINCマークがついています。どの機器をLINCしているか確認できます。**
- つながれた機器が認証順に表示されます。

3 **▼、▲ボタンでLINCしたい機器を選び、決定ボタンを押す**

4 **▼、▲ボタンで「入力設定」を選び、決定ボタンを押す**

LINCマーク

- LINCマークがつきます。
- LINCを解除するには、もう一度**3**、**4**の操作をしてLINCマークを消してください。

5 **i.LINKボタンを押す**

i.LINK

ビデオの表示窓　　テレビ画面

(例：CS300チャンネルを選んだとき)

- テレビの映像がLINCした機器からの映像に切り換わります。
- ビデオの表示窓に「i.LINK」が表示されます。

おしらせ

- ビデオの表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネル表示は、接続された機器からの映像信号により変わります。下表を参照ください。

映像信号	ビデオの表示窓	テレビ画面
CSデジタルチューナーの信号	XXX	DCS XXX
BSデジタルチューナーの信号	BS XXX	DBS XXX
CS/BS以外の信号	d	D

(XXXは3ケタのチャンネル番号です)

- 「CSデジタルチューナー」または「BSデジタルチューナー」を接続した場合、信号によっては3ケタのチャンネル番号が表示されないことがあります。

i.LINK対応機器を使う

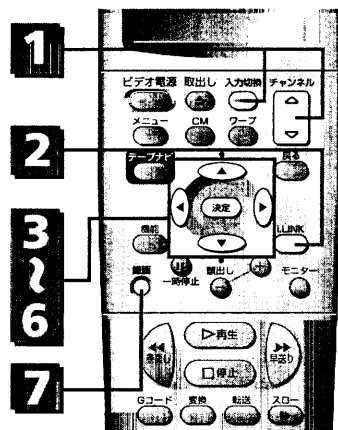
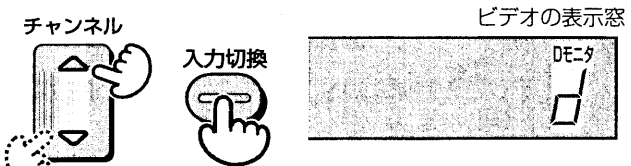
本機の操作パネルを使って、i.LINKケーブルでつないだi.LINK対応機器を操作できます。

重要
- 録画する前に、相手のi.LINK対応機器をLINCしていることを確認してください(83ページ参照)。
- コピーガードがかかっている映像や音声は、録画できません(47ページ参照)。

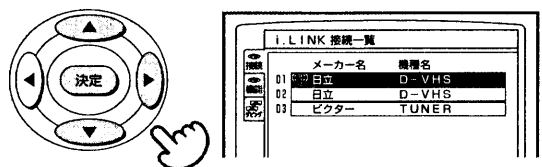
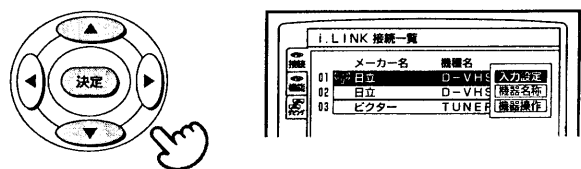
テレビで
- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

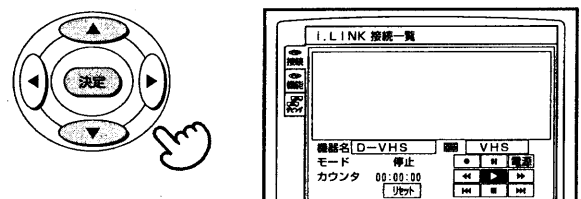
ビデオで
- ビデオの電源を入れる
- 「つめ」の折れていないテープを入れる

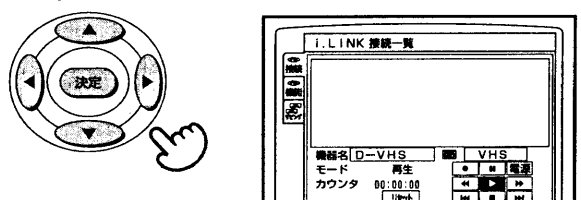
LINCした機器から録画する

i.LINK接続した相手のビデオを本機の操作パネルで再生させて、本機で録画するとき

1 チャンネルボタンまたは入力切換ボタンを押して「d」を表示させる

- LINCした機器からの映像が出ます。

2 i.LINKボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで「i.LINK接続一覧」を選び、►ボタンか決定ボタンを押す

4 ▼、▲ボタンで操作したい機器を選び、決定ボタンを押す

- マークのついたLINCしているビデオを選んでください。

5 ▼、▲ボタンで「機器操作」を選び、決定ボタンを押す

- 操作パネルが出ます。

6 カーソルボタンで操作パネルの「►」を選び、決定ボタンを押す

- 相手のビデオで再生が始まります。
- 操作パネルの見かたは85ページをご覧ください。

7 録画するときは、録画ボタンを押す

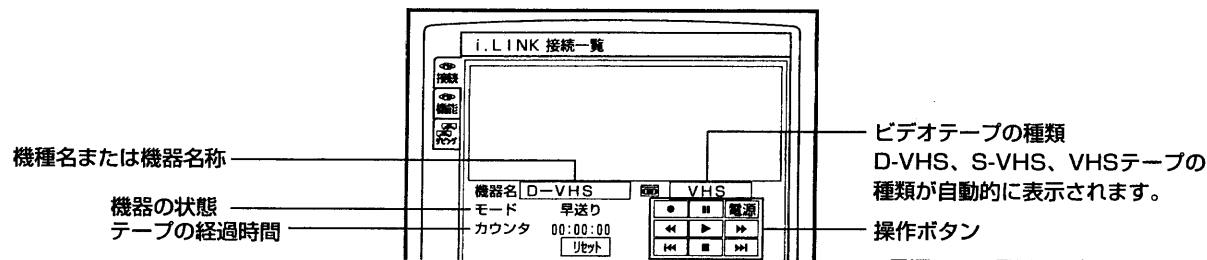
- 元の画面に戻り、本機で録画が始まります。
- 録画する番組によってテープスピードを選ぶ必要があります。25ページを参照ください。

おしらせ
- 6の操作のあとにi.LINKボタンを押すと元の画面に戻ります。

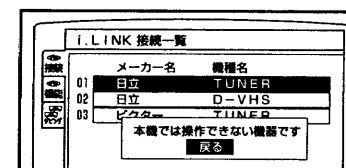
操作パネルの見かた

操作ボタンはリモコンのカーソルキーで選び決定ボタンを押すと、操作が始まります。

- 操作する機器がビデオの場合

機種名または機器名称
機器の状態
テープの経過時間

ビデオテープの種類
D-VHS、S-VHS、VHSテープの種類が自動的に表示されます。

操作ボタン
- 電源　：電源入／切
- ●　：録画
- ‖　：一時停止
- ►　：再生
- ■　：停止
- ►►　：早送り
- ◄◄　：巻戻し
- ►►|　：頭出し(早送り)
- |◄◄　：頭出し(巻戻し)
- リセット：カウンターリセット

•操作できない機器の場合は、操作ボタンを選んだときにテレビの画面上に「本機では操作できない機器です」と表示が出ます。

おしらせ
- 操作パネル表示中にi.LINKボタン、テープナビボタン、メニューボタンを押すと操作パネルは消えます。もう一度、操作パネルを表示させるには左のページの 2 〜 5 の操作をしてください。

おしらせ
•i.LINKで接続した機器から送られてくる映像・音声データの伝送レートが、本機で設定したデジタルテープスピードで決まる記録レートを超えた場合は、i.LINKで接続した機器の伝送レートよりも本機の記録レートのほうが大きくなるデジタルテープスピードに自動的に切り換わります。
　・LS3モードで録画できないとき → LS2モードに切り換わる
　・LS2モードで録画できないとき → STDモードに切り換わる
　・STDモードで録画できないとき → HSモードに切り換わる
タイマー録画のときも同様に切り換わります。
(記録レートや伝送レートについては25ページ、i.LINKの使い方については79ページからの「i.LINKを使う」をご参照ください。)
i.LINKで接続した機器から送られてくる映像・音声データの伝送レートが、本機で設定したデジタルテープスピードで決まる記録レートより小さい場合は、そのまま本機で設定したテープスピードで録画します。

デジタルダビングする

i.LINKケーブルでi.LINK対応D-VHSビデオをつなぐと、デジタルダビング(D-VHS録画)できます。
デジタルダビングには、テープ1本すべてを自動的にダビングするオートダビングと、本機のテープナビのデータを利用して番組単位で順番を並べ換えてダビングする編集ダビングの2通りあります。
i.LINK接続したD-VHSビデオが日立製テープナビ機能付きビデオの場合、テープナビのデータも記録されます。
どちらも本機で再生して、相手のD-VHSビデオで録画します。

重要

- i.LINK対応機器がi.LINKケーブルで正しく接続されているか確かめてください。
- ダビング中はi.LINKケーブルを抜かないでください。
- 本機の編集ダビング機能を使ってデジタルダビングするとき、本機は再生している番組のテープスピードに応じて相手機器(録画側)のテープスピードを切り換えます。
  デジタルスピードで録画した番組を再生しているときは、同じテープスピードで録画するように相手機器をコントロールします。アナログテープスピードで録画した番組を再生しているときは、81ページの「伝送レートの設定」で選んだ伝送レートに応じたテープスピードで録画するように相手機器をコントロールします。(81ページお知らせの「設定のご注意」を参照してください。)
  ただし、相手機器がHSモードに対応していないときは、伝送レートの設定を12Mbps以下に設定してください。
  また、ダビング中に相手機器のテープスピードは切り換えないでください。

オートダビングについて

テープ1本まるごとダビングする場合に便利な機能です。
本機(再生側)からオートダビングメニューを操作するだけで、以下の順番で自動的にダビングします。
①相手機(録画側)をデジタル入力に切り換える
②本機(再生側)の再生を開始する
③相手機(録画側)の録画を②に合わせて開始する
④テープの再生が終わると、ダビングが終了する

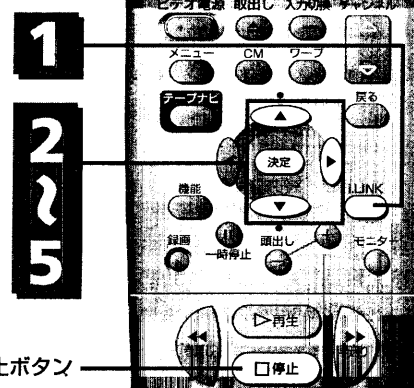
本機からi.LINK対応D-VHSビデオへオートダビングする

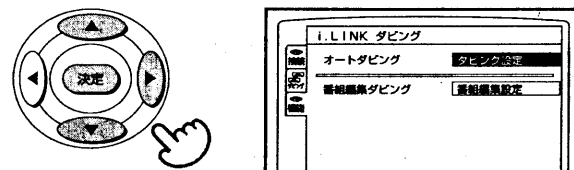
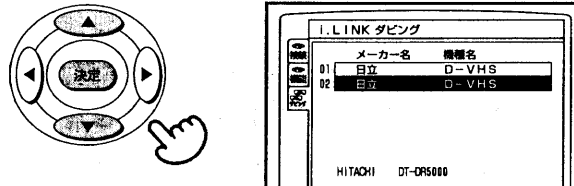
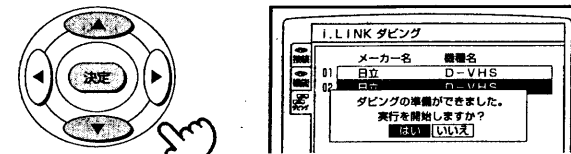
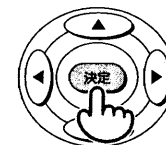
接続

は信号の流れを表します。

テレビなどとの接続は、123ページからの設置・準備編をご覧ください。
＊ 2個のi.LINK端子のどちらにつないでもかまいません。

- 相手のテレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオの電源を入れる
- 「つめ」の折れていないテープを入れる

オートダビングする

1 **i.LINKボタンを押す**

2 **▼、▲ボタンで「i.LINKダビング」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す**

3 **▼、▲ボタンで「オートダビング」を選び、決定ボタンを押す**

4 **▼、▲ボタンで相手のビデオを選び、決定ボタンを押す**

5 **オートダビングの準備ができたら、「はい」が選ばれていることを確認して決定ボタンを押す**

- オートダビングが始まります。
- 相手のビデオの電源が切れていても、自動的に電源を入れて、ダビングを始めます。

おしらせ

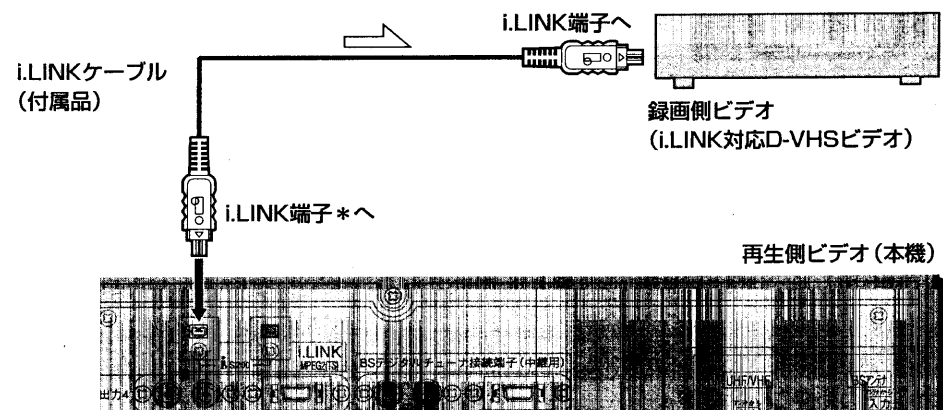
- ダビングを途中でやめるときは、90ページをご覧ください。

- i.LINK対応機器がi.LINKケーブルで正しく接続されているか確かめてください。
- ダビング中はi.LINKケーブルを抜かないでください。
- 編集ダビングするときは、本機で録画したテープを入れてください。また、本機のテープナビを「入り」にしてください。
- 編集ダビングは、テープナビ画面が出るテープでのみ操作できます。
- 編集ダビングした場合、選ばれた番組の録画の開始位置および終了位置が数秒ずれることがあります。

編集ダビングについて

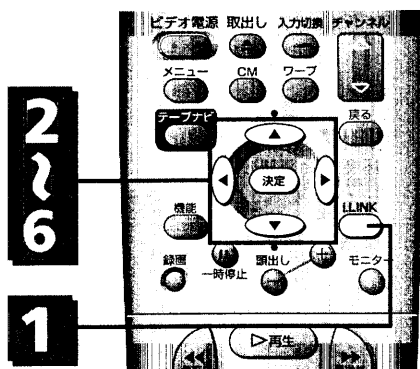
本機で録画したテープのテープナビに登録されている番組から必要な番組を選び出したり、番組の順番を入れ換えたりしてダビングできます。
本機（再生側）の編集ダビングメニューの中で表示される番組一覧からお好みの番組を選んでダビングを始めると、以下の順番で自動的に編集してダビングします。
①相手機（録画側）をデジタル入力に切り換える
②本機（再生側）が、選ばれた番組を頭出し再生する
③相手機（録画側）の録画／録画一時停止をコントロールして、選ばれた番組を録画する
④上の②③を繰り返す
⑤選ばれた番組すべてを録画すると、ダビングが終了する

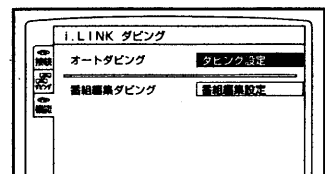
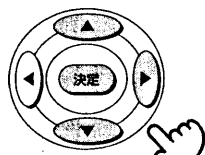
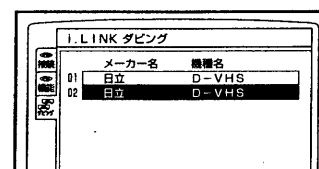
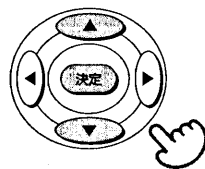
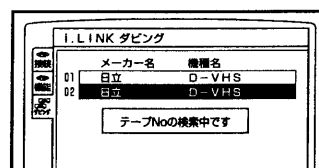
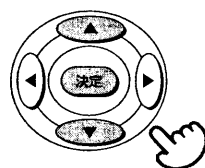
本機からi.LINK対応D-VHSビデオへ編集ダビングする

接続

は信号の流れを表します。
テレビなどとの接続は、⑱ページからの設置・準備編をご覧ください。
＊ 2個のi.LINK端子のどちらにつないでもかまいません。

- 相手のテレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする（または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ）

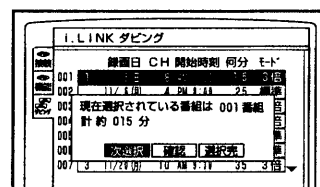
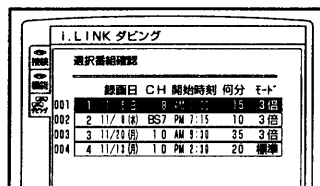
- ビデオの電源を入れる
- 「つめ」の折れていないテープを入れる

編集ダビングする

1 i.LINKボタンを押す

2 ▼、▲ボタンで「i.LINKダビング」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで「番組編集ダビング」を選び、決定ボタンを押す

4 ▼、▲ボタンでダビングしたい機器を選び、決定ボタンを押す

- 本機に入っているテープのテープナビデータが表示されます。

5 ダビングしたい番組を選ぶ

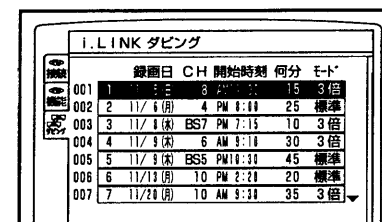
番組を選んで順番を並べ換える

- ▼、▲ボタンでダビングしたい順に番組を選び、決定ボタンを押す

続いて別の番組を選びたいときは 次選択 を選んで、決定ボタンを押してください。
決定ボタンを押した順に、番組に番号が付けられます。
選んだ番組を確認したいときは、 確認 を選んで、決定ボタンを押してください。

ダビングしたい番組を選び終わったら、 選択完 を選んで、決定ボタンを押してください。

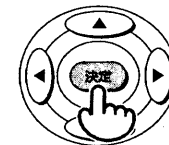
おしらせ

- ダビングする番組を取り消したいときは、番組を選び決定ボタンを押してください。順番の数字が消えます。
- コピーガードされた番組には「⊠」が付き、選択できません。
- テープナビ「切り」で録画したテープや他のビデオで録画したテープをダビングするときは、オートダビング（86ページ参照）または、「i.LINK対応機器を使う」（84ページ参照）の方法で録画してください。

すべての番組を選ぶ

- 機能ボタンを押して 全選択 を選び、決定ボタンを押す
すべての番組が選ばれ、テープに録画された順に順番が付けられますので、 選択完 を選んで決定ボタンを押してください。

おしらせ

- 全解除 を選び、決定ボタンを押すと、すべての番組の選択が解除されて、順番の数字が消えます。

6 編集ダビングの準備ができたら、「はい」が選ばれていることを確認して決定ボタンを押す

- 編集ダビングが始まります。
- ダビングの途中で番組の頭出しをしているときには、下のような表示が出ます。

デジタルダビングのご注意

■ダビングしたテープの開始、終了部分が途切れる場合があります。途切れないようにダビングするには、「LINCした機器から録画する」(84ページ参照)の方法で録画してください。

■ダビングを途中で止めるには
停止ボタンを押すと下の画面が出ます。
「はい」を選んで決定ボタンを押してください。

ダビングを中断しますか?
はい　いいえ

■テープナビデータについて
日立製テープナビ機能付きD-VHSビデオを接続してダビングしたときは、テープナビデータも同時に記録されます。
テープナビ機能付きビデオでは、ダビングしたテープのテープナビデータを使って操作できます。

■ダビングが終了すると、LINCは解除されます。

■オートダビング中にコピーガード信号を検出すると、相手のビデオによってはオートダビングが中断したり、ビデオの映像・音声入力端子からの録画に切り換わり、i.LINK端子からの映像や音声が録画されなくなることがあります。相手の機器の取扱説明書もよくお読みください。

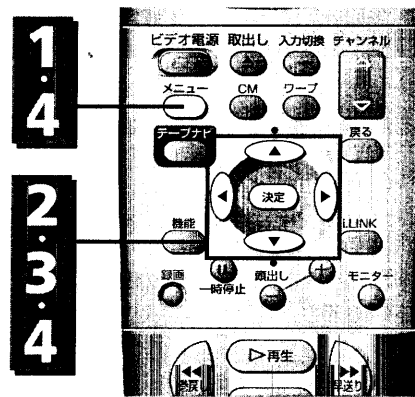
画面表示を見る

テレビ画面にビデオの動作状態や、チャンネル、時計、テープの走行経過時間などを表示することができます。

テレビ画面表示

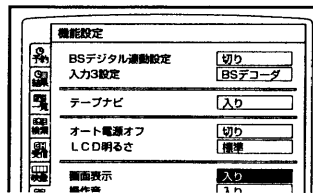
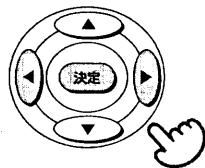
「機能設定」で「画面表示」を「入り」に設定していると、ビデオを操作するたびに下の表示がテレビの画面に約8秒間出ます。

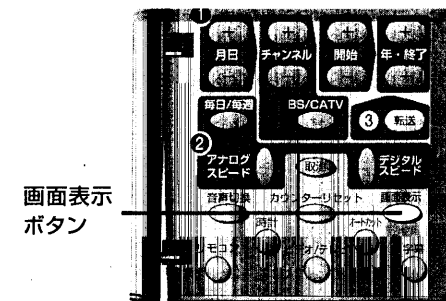
おしらせ
- D1/D2/D3/D4映像出力端子からは、この表示は出ません。

画面表示を入り／切りする

1 メニューボタンを押す

2 ▼、▲ボタンで「機能設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで「画面表示」を選び、決定ボタンを押す

4 ◀、▶ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

- 「切り」にするとビデオを操作しても、テレビ画面に動作表示などは出ません。
  ただし、画面表示ボタンやメニューボタンを押したときまたはテープナビ機能やオートカット機能などをお使いのときは、表示が出ます。
- メニューボタンを押すと、元の画面に戻ります。

時計、経過時間、テープの残り時間を切り換える

画面表示ボタンを押す

- 画面表示が出ている間にボタンを押すと、表示内容が変わります。

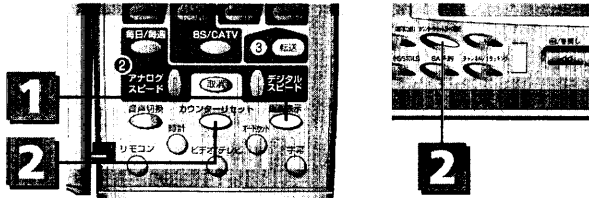
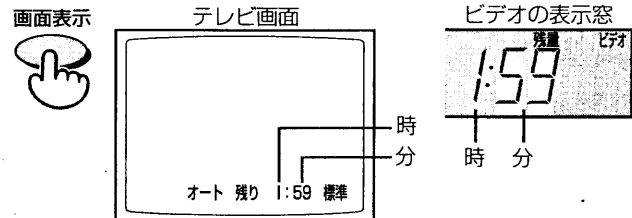
おしらせ
- 時計が表示されているときにテープを再生すると、自動的にテープの経過時間に切り換わります。
- D1/D2/D3/D4映像出力端子からは、この表示は出ません。

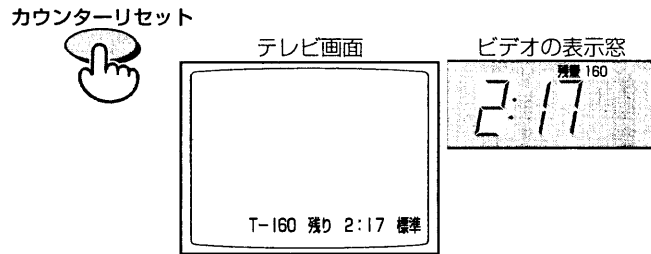
便利な使いかた

残り時間・経過時間を表示する

テープの走行中、テープの残り時間を「時・分」で表示できます。また、走行の経過時間を「時・分・秒」で表示することもできます。

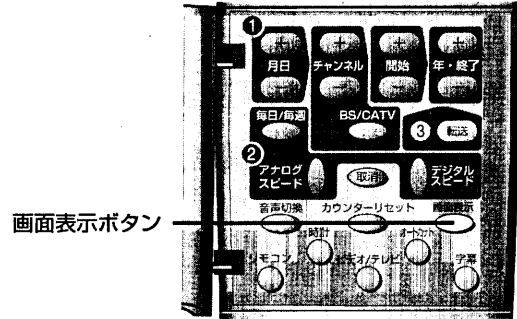
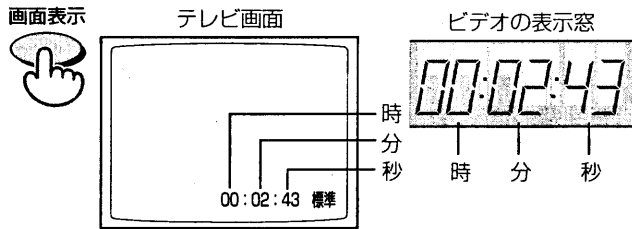
テープの残り時間は、録画や再生を始めて約2分後に表示されます。
テープが動き始めてしばらくは、「ーー：ーー」の表示が出ます。

テープの残り時間を表示する

1 画面表示ボタンを押して、残り時間を出す

- テープを入れたばかりのときは、「ーー：ーー」が表示されます。
  再生または録画を始めると、約2分後に残り時間が出ます。

2 カウンターリセットボタンを押して、テープの長さを選ぶ

- テープの長さに合わせて表示を選んでください。これで正しい残り時間が表示されます。
- 画面表示が「オート」のときは、ビデオの表示窓にテープの長さが出ません。
- 本機のカウンターリセット（テープ選択）ボタンを押して選ぶこともできます。

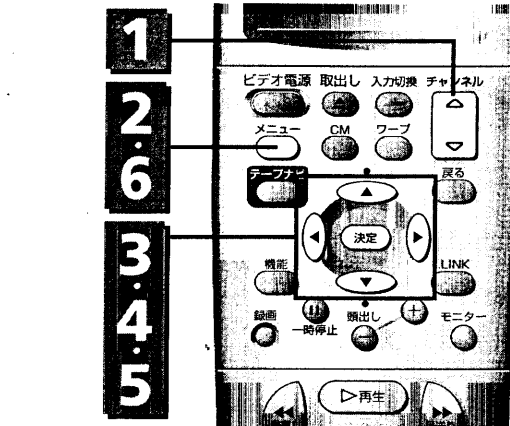
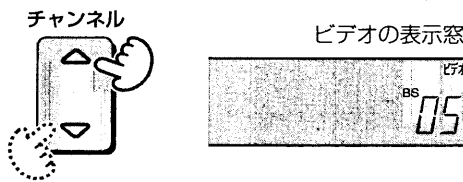
おしらせ

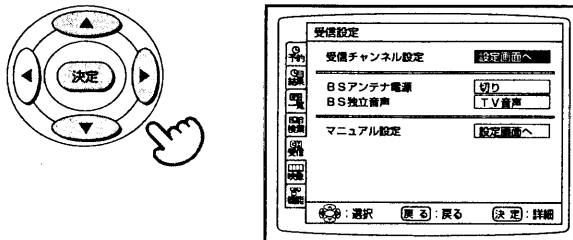
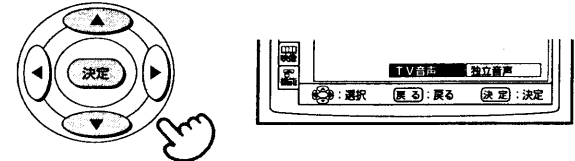
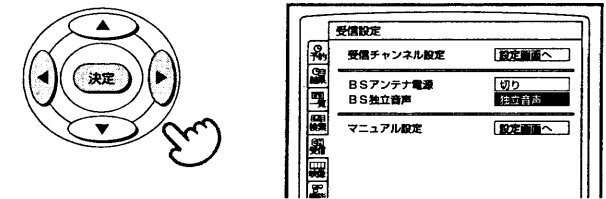
テープの残り時間の表示について
- 何も録画していないテープやT-30/60/90/120/140/160/180/210/DF-180/240/300/360/420/480以外のテープでは、残り時間が正しく表示されません。
- 早送りや巻戻しのときには、テレビ画面に正しく表示が出ません。
- LS2/LS3モードで再生または録画を始めたとき、約15分間残り時間を表示しないことがあります。

経過時間を表示する

画面表示ボタンを押して、テープの走行経過時間を表示する

おしらせ

経過時間の表示について
- テープを取り出すと、自動的に「時計表示」に戻ります。
- テープに何も録画されていない部分では、経過時間の数字は変わりません。
- 録画または再生中に、カウンターリセットボタンを押すと、経過時間が「00:00:00」になります。
  録画や再生が終わってから、見たい場面を探すとき便利です。
- 早送り、巻戻しのときには、経過時間が間欠的に表示されます。

BS放送の独立音声を聞く

BS放送では、同じチャンネルにテレビ音声と同時に独立音声とよばれる別の音声を放送しているチャンネルがあります。
平成12年9月現在、独立音声放送が行われているのは、BS5チャンネルのSt.GIGA（セント ギガ）放送だけです。St.GIGAを聞くには受信契約が必要です（60ページ参照）。

1 BS5チャンネルを選ぶ

2 メニューボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで「受信設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

4 ▼、▲ボタンで「BS独立音声」を選び、決定ボタンを押す

5 ◀、▶ボタンで「独立音声」を選び、決定ボタンを押す

6 メニューボタンを押す

- 元の画面に戻ります。
- BS放送を選ぶと、テレビ画面に「独立」と出て、独立音声に切り換わります。
- ザーッという音しか聞こえないときはスクランブルがかかっています。
  スクランブルを解除するにはデコーダが必要です（130ページ参照）。

おしらせ

BS放送の音声について
- BS放送の音声にはAモードとBモードがあります。Aモードはテレビ音声と独立音声が一緒に送られてきます。Bモードはテレビ音声のみが送られてきます。AモードとBモードは、自動的に切り換わります。
  Bモードのときはテレビ画面に「Bモード」と出ます。

St.GIGAを聞くには
- BS5チャンネルのSt.GIGA放送を聞くには、BSデコーダの音声選択ボタンで「独立音声」を選んでください。

ビデオの機能を画面で選ぶ（お好みセレクト）

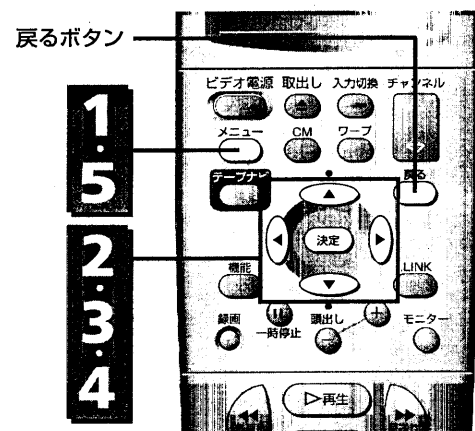
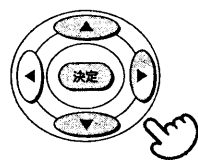
ビデオの動作や機能を、お好みに合わせて選ぶことができます。

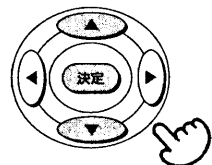
テレビで
- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする（または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ）

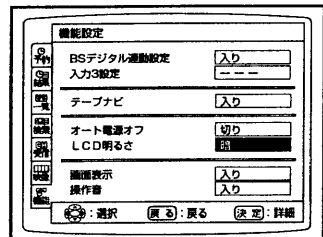
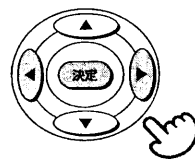
ビデオで
- ビデオの電源を入れる

1 メニューボタンを押す

2 ▼、▲ボタンで「機能設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

機能設定
BSデジタル連動設定　入り
入力3設定　－－－
テープナビ　入り
オート電源オフ　切り
LCD明るさ　標準
画面表示　入り
操作音　入り
：選択　戻る：戻る　決定：詳細

- お好みセレクト（機能設定）の画面が出ます。
- 各項目の説明は、次のページをご覧ください。

3 ▼、▲ボタンで合わせたい項目を選び、決定ボタンを押す

（例：「LCD明るさ」の設定を選んだとき）

4 ◀、▶ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

（例：「LCD明るさ」の「暗」を選んだとき）

5 メニューボタンを押す

- 元の画面に戻ります。

おしらせ
- リモコンの戻るボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。
- 工場出荷時は 2 の画面に合わせてあります。

「機能設定」画面の説明

BSデジタル連動設定 入り または 切り
入力3設定 BSデコーダ または 外部入力 （→56ページ）

BSデジタル連動設定	入力3設定	内容
入り	－－－	BSチューナー接続時、ワープボタンを使ってBSデジタルチューナーの映像を出力4端子から視聴できます。
切り	BSデコーダ	入力3にBSデコーダを接続するときに設定してください。
	外部入力	その他の機器を入力3に接続するときに設定してください。

テープナビ 入り または 切り （→103ページ）

入り	録画すると録画データが登録されます。録画データを活用してテープナビ機能が使えます。
切り	テープナビ機能を使わないときに設定してください。

オート電源オフ 切り または 2時間 または 6時間 （→36ページ）

切り	自動的に電源は切れません。
2時間	ビデオの電源を入れたまま何も操作しないと、2時間後に自動的に電源が切れます。
6時間	ビデオの電源を入れたまま何も操作しないと、6時間後に自動的に電源が切れます。

＊オート電源オフの設定をしているときは、約3分後にLCDの明るさが暗くなります。

LCD明るさ 標準 または 暗 （→36ページ）

標準	出荷時は 標準 に合わせてあります。
暗	表示窓が 標準 よりも暗くなり、電力の消費をおさえます。

画面表示 入り または 切り （→91ページ）

入り	ビデオを操作するたびに動作表示などがテレビ画面に出ます。
切り	ビデオを操作しても、テレビ画面に動作表示などは出ません。ただし、画面表示ボタンやメニューボタンを押したとき、またはテープナビ機能やオートカット機能などをお使いのときは、表示が出ます。

操作音 入り または 切り （→22ページ）

入り	電源の入・切や再生などの「ピッ」という操作音が出ます。
切り	操作音が消えます。ただし、タイマー予約や時刻の転送時は、音が出ます。

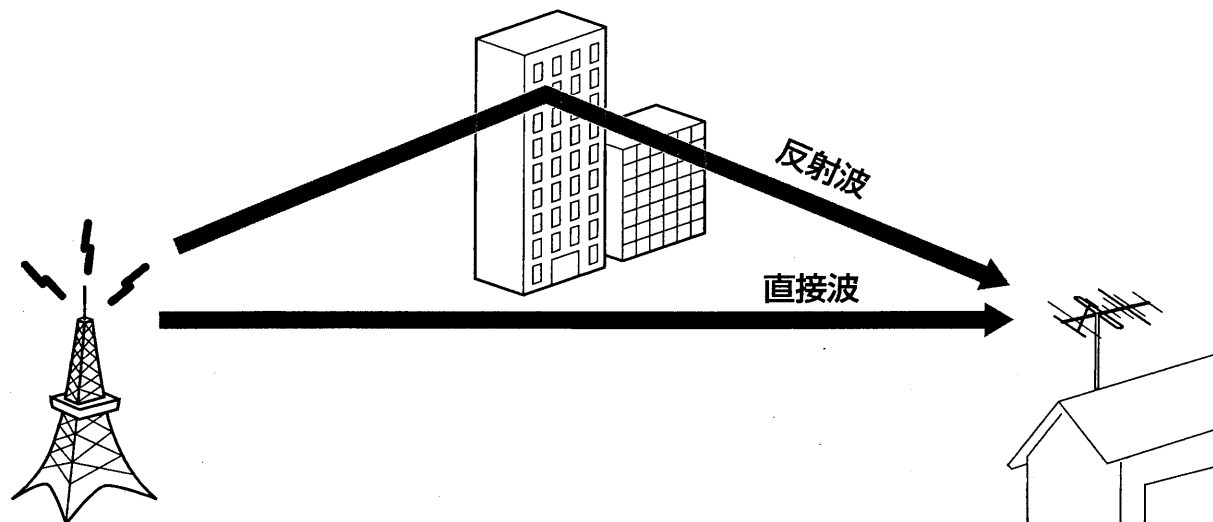
ゴースト妨害を低減する（ゴーストリダクション）

本機は、ゴースト妨害を低減するゴースト・リダクション・チューナー（GRT）を搭載しています。テレビ放送のゴースト妨害を低減した映像を楽しめます。

重要

- ゴースト低減は、放送局から送られてくる信号の中にあるゴースト除去基準信号（GCR信号）に基づいて行います（GCR信号がないと、ゴーストは除去できません）。
- テープナビを「入り」にしてテープを入れたとき（⑩ページ参照）や、テープナビを使って番組の頭出しをするとき（⑭、⑰、⑲ページ参照）に、数秒間ゴーストリダクション機能が働きませんが故障ではありません。

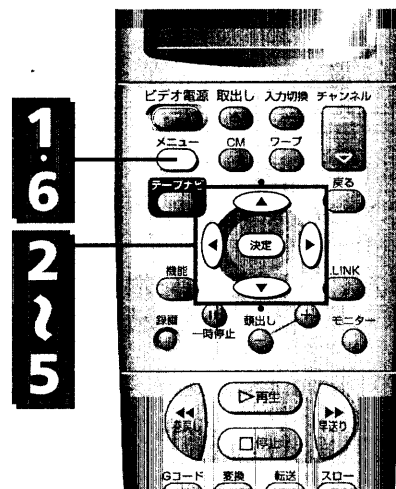
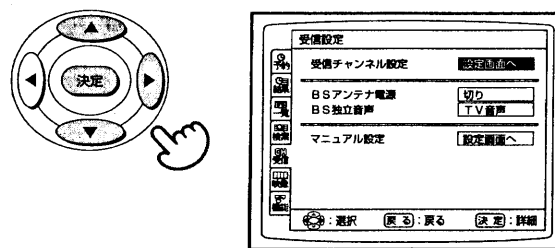
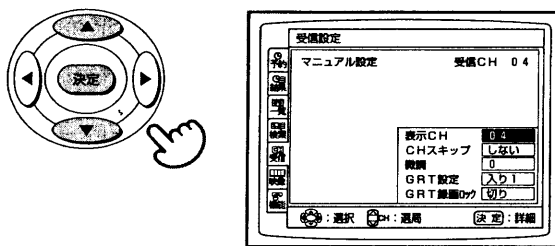
ゴースト妨害とは

放送局から直接到着する電波（直接波）と、高層ビルや山などに反射して少し遅れて到着する電波（反射波）を同時に受信すると、二重三重の画像になります。この現象をゴースト妨害といいます。

反射波によって、受信中の画像が次のように見えます。
- 画像が二重三重に見える
- 画像がにじんで見える
- 色や明るさがおかしい

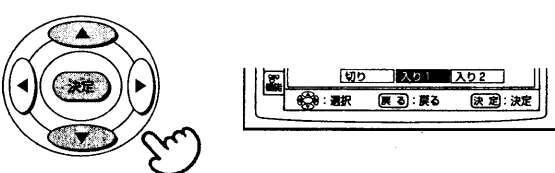
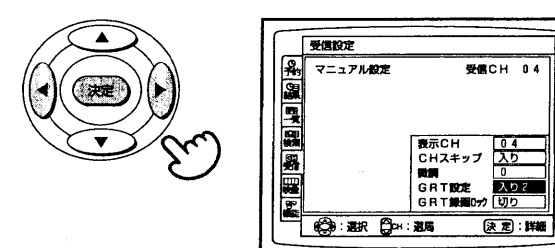
1・6
2〜5

ゴーストを低減する

テレビ放送受信時に、ゴーストが気になるときに設定します。工場出荷時は、各チャンネルごとにゴーストが低減されるように設定されていますので、通常は設定する必要はありません。
ゴーストリダクション低減動作時に、画像に乱れやノイズが入りますが故障ではありません。

1 メニューボタンを押す

2 ▼、▲ボタンで「受信設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す

- BSチャンネルやL2、L3*、d入力を選んでいると、GRT設定、GRT録画ロックは出ません。
- L1入力を選んでいるときはGRT設定、GRT録画ロックの設定はできますが、S映像入力端子につないでいるときは、GRT設定、GRT録画ロックは動作しません。

＊BSデジタル連動設定を「入り」にしたとき、またはBSデジタル連動設定を「切り」にして入力3設定を「外部入力」にしたとき、切り換わります。

4 ▼、▲ボタンで「GRT設定」を選び、決定ボタンを押す

5 ◀、▶ボタンで設定を切り換えて、決定ボタンを押す

「入り1」：通常はこの位置で使用します。
「入り2」：「入り1」でゴースト低減の効果が小さいときに選びます。
「切り」：ゴーストリダクション機能は働きません。「入り1」や「入り2」のときよりも「切り」のほうが見やすいときは「切り」にしてください。

おしらせ

- ゴーストの無い地域では、GRT設定を「切り」にしてお使いになることをおすすめします。
- ゴーストの状態によっては、「入り1」または「入り2」の設定でも、ゴーストが取り切れない場合があります。
- L1入力にビデオを接続した場合、テープのダビング等をしたときに画面がみだれることがあります。この場合は、GRT設定を「切り」にして使用してください。
- BSチャンネル、外部入力L2、L3*、dでは、GRT設定画面は出ません。

＊BSデジタル連動設定を「入り」にしたとき、またはBSデジタル連動設定を「切り」にして入力3設定を「外部入力」にしたとき、切り換わります。

6 メニューボタンを押す

- 元の画面に戻ります。

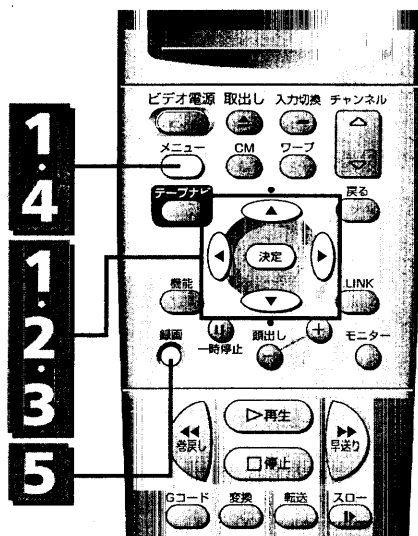
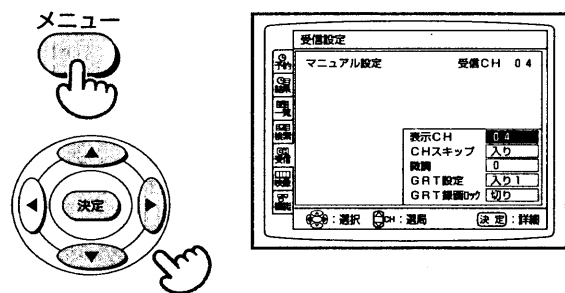
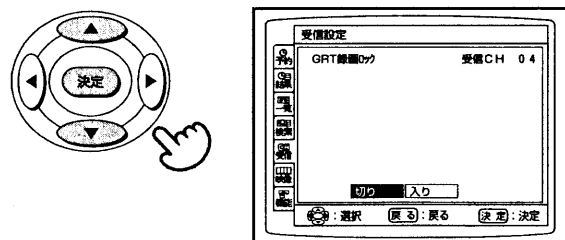
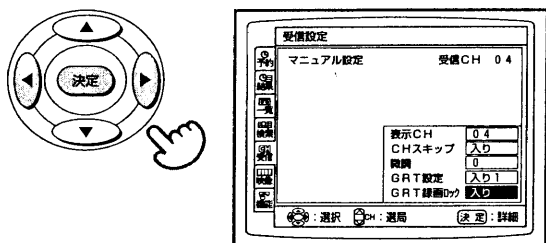
おしらせ

- 工場出荷時は、GRT設定は「入り1」になっています。チャンネル受信中は、ビデオの表示窓のGRTが表示され、ゴーストリダクション機能が働いていることをお知らせします。

[GRT] 表示の意味について
点灯：GRT設定が「入り1」、または「入り2」のチャンネルを選んでいます。
点滅： ゴースト低減測定中であることを意味します。
消灯： GRT設定が「切り」になっています。ゴーストリダクション機能は働きません。
- ゴーストリダクション機能が働くときに画面がガタつくことがありますが、故障ではありません。
- 受信した信号により、点滅の時間が長くなることがあります。

ゴーストリダクション機能はこんなときに働きます
- チャンネルを選んだとき
- 再生から停止にしたとき
- 頭出し機能を使って番組の頭出しをしたとき
- ビデオの電源を入れたとき

ゴーストを低減した映像を録画する

地上放送を録画するときに、ゴーストを低減した状態を保たせて録画することができます。

1 ⑯、⑰ページの1～3の操作で「マニュアル設定」画面を出す

2 ▼、▲ボタンで「GRT録画ロック」を選び、決定ボタンを押す

3 ◀、▶ボタンで「入り」または「切り」を選び、決定ボタンを押す

「入り」: ゴースト除去基準信号(GCR信号)の測定時間が短く、測定時間は一定になります。
- ゴーストが最適に低減できないことがあります。

「切り」: ゴースト除去基準信号(GCR信号)の測定時間は、信号によって変化するため長くなることがあります。
- 録画を始めたあともゴーストリダクション動作することがあるため、ノイズや乱れが録画されることがあります。

おしらせ
- 「GRT設定」が「切り」のときは、「GRT録画ロック」の設定を変えることはできません。

4 メニューボタンを押す

メニュー

- テレビ番組に戻ります。安定した映像であることを確認してください。

5 録画ボタンを押す

録画

- 録画が始まります。

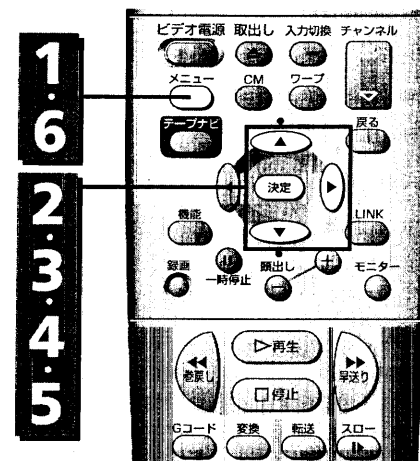
おしらせ

タイマー録画するときは
- 録画を始める前に、ゴーストの状況を自動的に測定し、安定した状態をロックしてから録画します。
- 2つの番組を続けて録画する場合、1番目の録画の終了時刻と2番目の録画の開始時刻が同じときは、2番目の録画開始時にゴーストを初期測定します。このとき、映像が一時的に乱れることがあります。

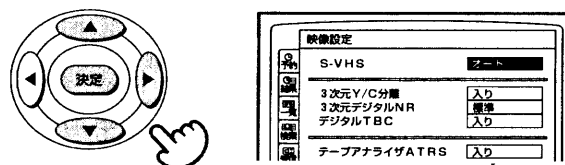
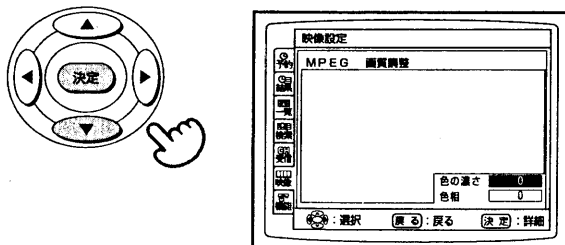
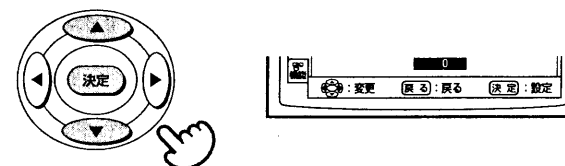
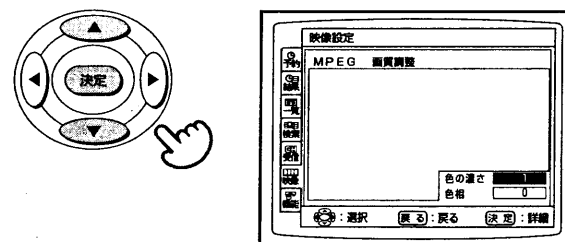
次のようなときは、ゴーストリダクションが働かないことがあります。
- アンテナが正しく設定・調整されていないとき
- ゴースト妨害が大きいとき
- 飛行機など、動きのあるものに反射してゴーストが引き起こされたとき

6 D-VHSの映像を調整する

Dモニターで見るときとD-VHS方式で録画するときの画質を調整することができます。

重要
- 調整後の映像がD-VHS録画されます。調整は必ず画面を確認しながら行なってください。
- 映像の内容によっては変化がわかりにくい場合があります。
- 表示窓の「Dモニタ」表示が消えているときや、S-VHS、S-VHS ET、VHS方式で録画される映像は変化しません。ただし、出力4の映像は調整後の映像になっています。

1 メニューボタンを押す

メニュー

2 ▼、▲ボタンで「映像設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

3 ▼ボタンで「MPEG画質調整」を選び、決定ボタンを押す

4 ▼、▲ボタンで調整したい項目を選び、決定ボタンを押す

5 ▼、▲ボタンを押して調整して、決定ボタンを押す

例:「色の濃さ」を「+1」に切り換えたとき

- −5～+5の11段階で調整できます。

項目	▲ボタン	▼ボタン
色の濃さ	濃くなる	薄くなる
色相	赤っぽくなる	緑っぽくなる

6 メニューボタンを押す

メニュー

- 元の画面に戻ります。

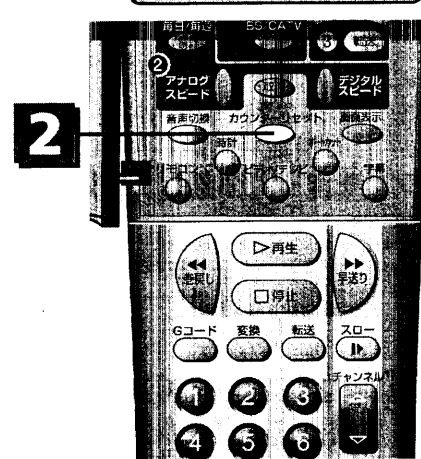
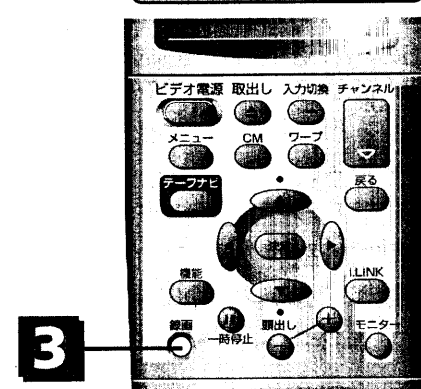
便利な使いかた

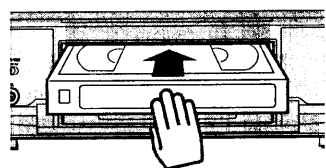
テープナビを使う

このビデオでは、テープを入れて録画すると、そのテープに整理番号を付け、録画データ（録画日、録画時刻、チャンネル、録画モードなど）を登録してテープごとに管理します。
録画データを活用してテープの中身を一目で見たり、番組の頭出しをする機能をテープナビといいます。

重要

- 本機で録画したテープを入れると、ビデオ前面のテープナビランプが点滅したあと点灯します。点灯後に操作してください。**点滅中に操作すると、同じテープに複数のテープ番号が登録されてしまい、誤動作の原因となります。**
- テープの種類を間違って選ぶと、3分以上（LS2／LS3モードでは15分以上）録画してもデータを正確に登録できません。
- 他機で録画したテープを初めてこのビデオで録画するときも、テープの種類を正しく選んでから録画やタイマー録画をしてください。
- テープナビを「切り」にして（103ページ参照）録画すると、テープナビの情報は記録されません。
- テープに付けられたテープ番号は、忘れないようにメモしておいてください。後でテープナビデータをさがすときに便利です。

ふたを開けたところ

ふたを閉じたところ

録画データを登録する

1 テープを入れる

- このビデオに初めて入れたテープのときは、ビデオ前面のテープナビランプが数回点滅してから消えます。
そのあと、ビデオの表示窓の残量表示が約10秒間点滅します。点滅している間に **2** の操作をしてください。

2 テープの種類に合わせて表示を選ぶ

カウンターリセット

ビデオの表示窓

- テープの種類に合わせて表示を選んでください。これでテープナビが正しく働きます。
- 本機のカウンターリセット（テープ選択）ボタンを押しても、選ぶことができます。

VHS、S−VHSテープを入れた場合

テープの種類	画面表示
T-120以下	オート
T-160、T-140	T-160
T-180	T-180
T-210	T-210

D−VHSテープを入れた場合

テープの種類	画面表示
DF-240以下	オート
DF-300	DF-300
DF-360	DF-360
DF-420	DF-420
DF-480	DF-480

- T−120以下のテープでは、切り換える必要ありません。
- DF−240以下のテープでは、切り換える必要ありません。
- テープの種類によっては、H12年9月現在発売されていないものがあります。

3 録画、またはタイマー録画する

録画

- HS／STD／標準／3倍モードで約3分以上、LS2／LS3モードで約15分以上録画すると、録画データが自動的に登録されます。

おしらせ

本機で録画データを登録したテープに追加登録するときには
- 本機で録画したテープを入れてもビデオのテープナビランプが点灯しないまま録画すると、テープに複数のテープ番号が自動的に付けられてしまい、録画データが正しく表示できません。
テープナビランプが点灯しない場合には、以下の手順で追加登録してください（104ページ参照）。
①本機で録画した部分まで巻き戻す。
②テープナビボタンを押して、テープナビ画面を出す。
③録画データの中の録画を始めたい部分を選んで、頭出しをする。
④録画、またはタイマー録画する。
- ビデオのテープナビランプが点滅中は、出力4端子およびi.LINK端子の映像が乱れることがあります。

重要

オートカット機能を使って録画した番組の録画時間は、録画予約した時間よりCMをカットした分だけ短く表示されます。
また、CMをカットした分だけ録画時間が短くなるため、30分以内の番組は、録画データが登録されないことがあります。

テープナビ画面の見かた

8番組まで表示されます。9番組以降の番組をご覧になりたい場合は、カーソルボタンの▼ボタンを押してください。

テープバー
現在選択されている番組のテープ上の位置と長さを示します。

番組番号
（本機が番組につけた番号）

カラーバー
選択されている番組表示に、色がついています。

見たマーク
番組を続けて半分以上見たとき、表示されます。

録画日＊

ジャンルマーク
ジャンルマークを設定したときに表示されます。

録画チャンネル
録画したチャンネルの番号です。

ブランク
録画した番組と番組のあき時間

録画開始時刻＊

二か国語放送表示
二か国語放送が番組の中で最も長い時間録画されたとき表示されます。

録画時間（分）
CMカット表示
オートカット機能を使って録画したとき、または録画中に一時停止した番組のとき表示されます。

録画モード＊＊

番組ロックマーク
録画した番組をロックしたとき表示されます。

ステレオ放送表示
ステレオ放送が番組の中で最も長い時間録画されたとき表示されます。

＊時計を設定していないと「−」で表示されます。
＊＊録画中にモードが変わったときは、「−−」と表示されます。
このときは、標準モードに置き換えた時間が示されます。

タイムナビ画面の見かた

現在位置
再生中に、その画面が録画された時刻を示します。

録画開始時刻

カーソル（検索位置）
CMの終わるところを選ぶときには CM になります。

録画終了時刻

テープバー
現在選択されている番組を示します。

カーソル（現在位置）

検索位置の時刻
タイムナビで探して再生/停止する場面の録画時刻を示します。

おしらせ

機能

- タイムナビ画面が出ているときに機能ボタンを押すと、−5分、＋5分、番組先頭、番組最後を選ぶことができます。
詳しい説明は120ページを参照してください。

おしらせ

番組の登録数について
- 「ブランク」、「残り」も含めて最大3000番組を登録できます。ただしタイトルを登録したり、CMの数や番組の内容によっては、登録できる番組数が少なくなります。

テープ番号の登録数について
- 最大999まで登録できます。ただし、タイトルを登録したり、番組の内容によっては登録数が少なくなります。

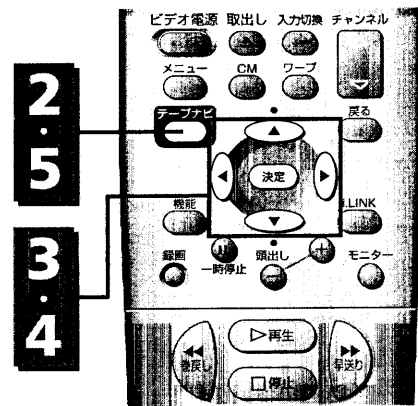
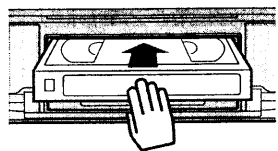
録画時間の精度について
- 表示される録画時間と実際の録画時間には、約3分の誤差があります。

録画データの保持について
- 登録された録画データは、停電や電源プラグをコンセントから抜いたときも消えません。
- 本機のメモリーが故障して録画データが消えた場合、データを復元することはできません。

見たマークについて
- 見たマークは、番組を続けて半分以上見た（再生した）とき表示されます。番組の半分以内で再生をやめたり、テープナビ画面を出すと、見たマークは表示されません。

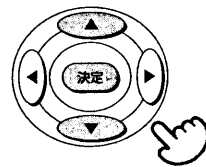
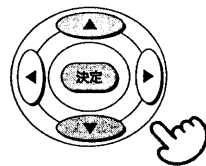
衛星放送の番組について
- AV-BUSⅢで日立製デジタル衛星放送用チューナーをつないで予約録画すると、テープナビ画面の録画チャンネルは衛星放送のチャンネルになります。また受信した番組により、ジャンルマークが付きます。
（ジャンルマークは番組により、付かない場合もあります）

テープナビ画面、タイムナビ画面が出るのは、本機で録画したテープだけです。

テープの録画データを見る

1 本機で録画したテープを入れる

- ビデオ前面のテープナビランプが数回点滅してから点灯します。
  点灯後に次の操作をしてください。

2 テープナビボタンを押す

- テープナビ画面が出ます。
  画面の見かたは101ページをご覧ください。
- この画面のデータを使って、番組を頭から再生したり、頭出しして停止したりできます（104ページ「録画データを使って番組の頭出しをする」参照）。

3 ▼、▲ボタンで設定したい番組データを選び、決定ボタンを押す

4 ▼、▲ボタンで「タイムナビ」を選び、決定ボタンを押す

- タイムナビ画面が出ます。
- この画面で、番組中の録画時刻を指定してそこから再生したり、選んだ時刻を探して停止したりできます（117ページ「タイムナビで見たい場面を探す」参照）。

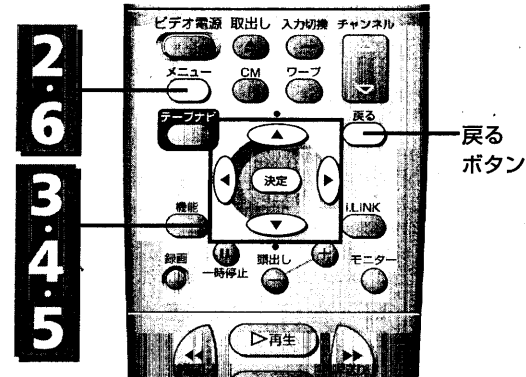
5 テープナビボタンを押す

- 元の画面に戻ります。

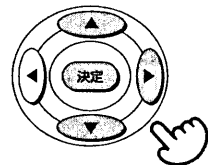
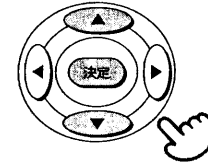
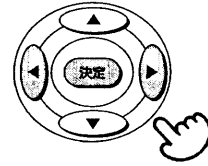
おしらせ

本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき
- テープを最初から約2分間再生したあとテープナビボタンを押してください。
- 本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。
- テープナビ画面で「ブランク」、「残り」を選んだときには、4の「タイムナビ」の画面は出ません。
- ビデオのテープナビランプが点滅中は、出力4端子およびi.LINK端子の映像が乱れることがあります。

テープナビ機能を入り／切りするときは、テープを取り出してください。
テープが入っていると、切り換えることができません。

テープナビ機能を入り／切りする

1 テープを取り出す

2 メニューボタンを押す

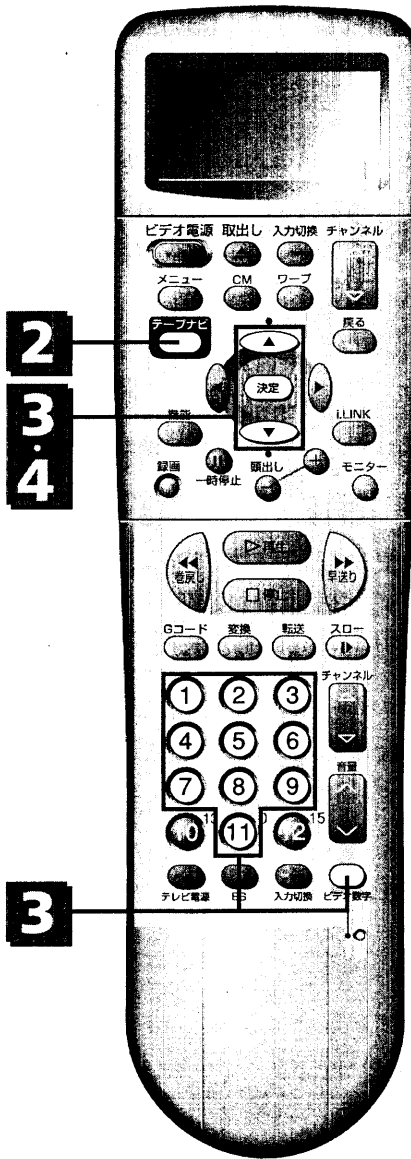
3 ▼、▲ボタンで「機能設定」を選び、►ボタンか決定ボタンを押す

4 ▼、▲ボタンで「テープナビ」を選び、決定ボタンを押す

5 ◄、►ボタンで設定内容を選び、決定ボタンを押す

6 メニューボタンを押す

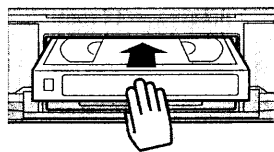
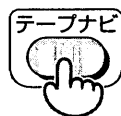
- 元の画面に戻ります。

おしらせ

- リモコンの戻るボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

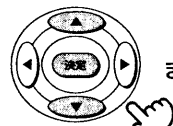
録画データを使って見たい番組を探したり、テープの録画されていないところ（ブランク）を探すことができます。

テープを入れてもビデオ前面のテープナビランプが点滅しないときは、テープナビ機能が「切り」になっています。⑩③ページをご覧になって「入り」に設定してください。

録画データを使って番組の頭出しをする

1 本機で録画したテープを入れる

- ビデオ前面のテープナビランプが数回点滅してから点灯します。
  点灯後に次の操作をしてください。

2 テープナビボタンを押す

3 ▼、▲ボタンを押して、見たい番組（またはブランク）を選び、決定ボタンを押す

または

- カラーバーが選んだ番組に移動します。
- テープバーが選んだ番組の位置と長さを示します。
- 7番目以降の番組を選ぶには、▼ボタンを繰り返し押して、表示します。
- ビデオ数字ボタンを押したあと、3けたの番組番号を入力して選ぶこともできます。
- 番組の途中を探すときは「タイムナビで見たい場面を探す」（⑪⑦ページ）をご覧ください。

おしらせ

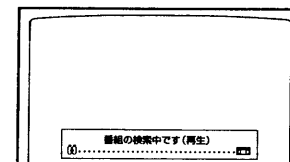
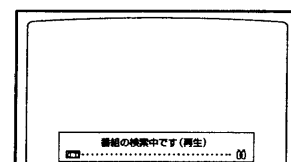
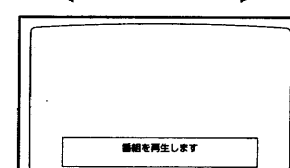
- ビデオ数字ボタンを押してリモコンの右下のランプが赤く点灯しているときに操作してください。
- ビデオのテープナビランプが点滅中は、出力4端子およびi.LINK端子の映像が乱れることがあります。

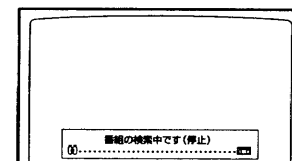
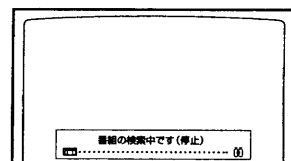
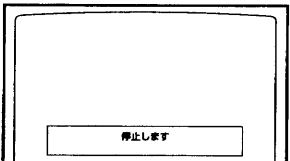
おしらせ

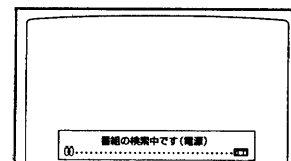
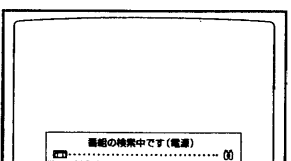
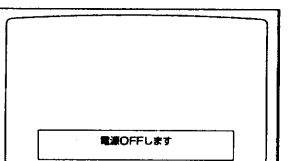
テープナビ画面で見たい番組を選ぶとき
- ビデオのテープナビボタンと選択ボタンも使えます。

本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき
- テープを最初から約2分間再生したあと、テープナビボタンを押してください。
- 本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。
- 3 の操作で番組を選んだあと、決定ボタンを押すかわりに再生ボタン、停止ボタン、電源ボタンを押しても 4 と同じ動作になります。

4 ▼、▲ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

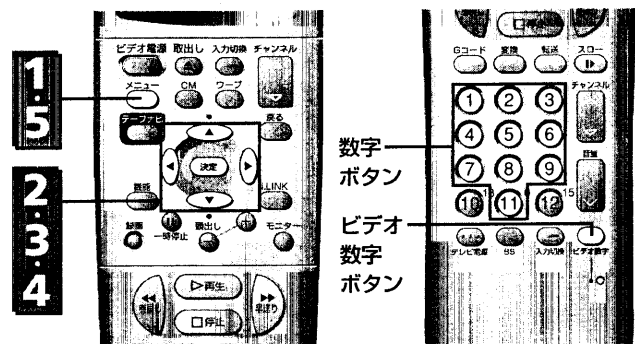
「検索して再生」を選んだとき
- 番組の頭を探して自動的に再生します。

早送り検索をしているとき　　巻戻し検索をしているとき

- この画面では画面が静止画や灰色の画面になり音声が出ませんが、故障ではありません。

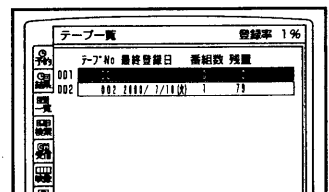
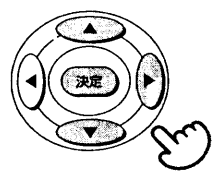
「検索して停止」を選んだとき
- 番組の頭を探して自動的に停止します。

早送り検索をしているとき　　巻戻し検索をしているとき

- この画面では画面が静止画や灰色の画面になり音声が出ませんが、故障ではありません。

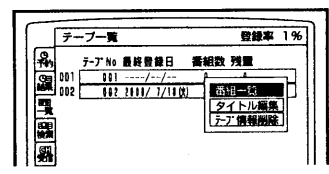
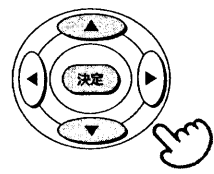
「検索して電源切り」を選んだとき
- 番組の頭を探して自動的にビデオの電源を切ります。

早送り検索をしているとき　　巻戻し検索をしているとき

- この画面では画面が静止画や灰色の画面になり音声が出ませんが、故障ではありません。

- ビデオの中にテープが入っているときは、入っているテープのデータを取り消すことはできません。テープを取り出してから操作してください。
- データの取り消しをすると、1本のテープに登録されているテープデータ全てが取り消されます。データの一部(番組データ)を取り消すことはできません。

登録内容を取り消す

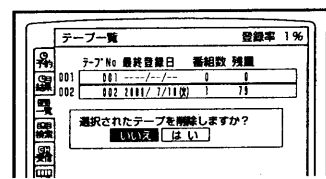
登録できるデータ数が残り少なくなったときや、いらなくなったテープのデータを取り消したいときに行います。

1 メニューボタンを押す

2 ▼、▲ボタンで「テープ一覧」を選び、►ボタンか決定ボタンを押す

- 登録されているテープ番号と最後に録画した年月日、曜日などが表示されます。

3 ▼、▲ボタンで取り消したいテープ情報を選び、決定ボタンを押す

- 9番組以降の情報を見るには、▼ボタンを繰り返し押して表示します。
- 選んだテープの詳しい登録内容を確認するには、決定ボタンを押してください。

おしらせ

- 取り消したいテープ情報のテープ番号(3ケタ)をリモコンのビデオ数字ボタンで入力して、ジャンプすることもできます。数字ボタンを入力する場合は、ビデオ数字ボタンを押して右下の赤いランプが点灯していることを確認して操作してください。

4 ▼、▲ボタンで「テープ情報削除」を選び、決定ボタンを押す

- 削除確認画面が出ます。取り消したいときは、「はい」を選んでください。
- 選んだテープの録画データが取り消され、**2** の画面に戻ります。
- 他のテープも取り消したいときは **3** ～ **4** を繰り返してください。

5 メニューボタンを押す

メニュー

- 元の画面に戻ります。

おしらせ

- 一度このビデオで録画したテープに再度録画するときは、登録内容を取り消す必要はありません(録画すると新しいデータが自動的に登録されます)。

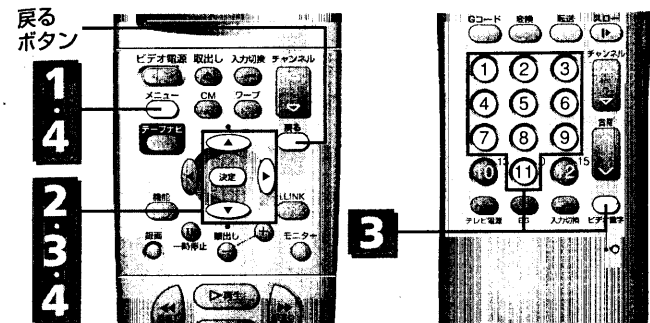
登録パーセント表示について

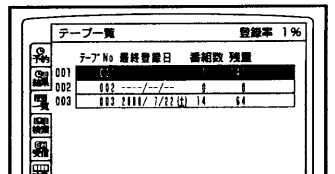
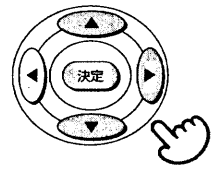
- パーセント表示は、テープ番号の数ではなく、登録されている番組数や内容によって変わります。

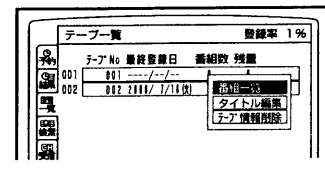
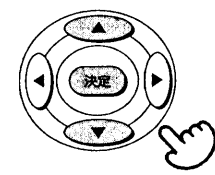
最終録画日の表示について

- 時計を設定していないときにデータが登録されたり、登録時間(録画時間)が短い(標準/3倍/HS/STDモードでは約3分以内、LS2/LS3モードでは約15分以内)と、最終録画日は「－ － － －/－ －/－ －」と表示されます。

登録内容を確かめる

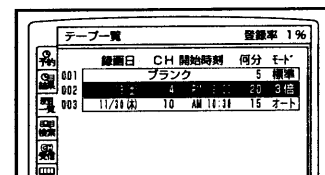
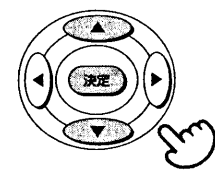
テープを入れずに、このビデオに登録されている全テープの登録内容を確かめることができます。
お手持ちのテープのラベルに、登録されたテープ番号を付けておくと、テープを探すのに便利です。

1 メニューボタンを押す

2 ▼、▲ボタンで「テープ一覧」を選び、►ボタンか決定ボタンを押す

- テープ一覧画面が出ます。
- 登録されているテープ番号と最後に録画した年月日、曜日などが表示されます。

3 ▼、▲ボタンで確認したいテープ番号を選び、決定ボタンを押す

- 9番組以降の情報を見るには、▼ボタンを繰り返し押して表示します。

おしらせ

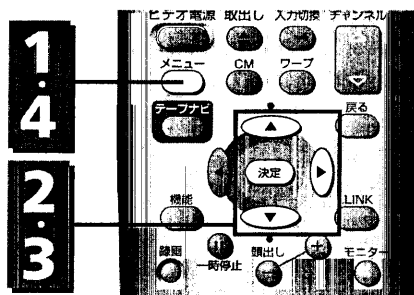
- 内容を確かめたいテープ情報のテープ番号(3ケタ)をリモコンのビデオ数字ボタンで入力して、ジャンプすることもできます。数字ボタンを入力する場合は、ビデオ数字ボタンを押して右下の赤いランプが点灯していることを確認してください。

4 ▼、▲ボタンで「番組一覧」を選び、決定ボタンを押す

- 選んだテープの詳しい登録内容が出ます。
- 他のテープの内容も確かめたいときは戻るボタンを押してから **3**、**4** を繰り返してください。
- 一つ前の画面に戻すには、戻るボタンを押してください。
- 元の画面に戻すには、メニューボタンを押してください。

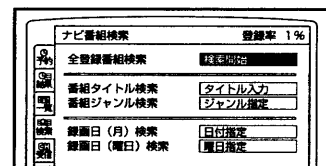
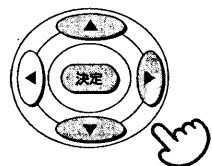
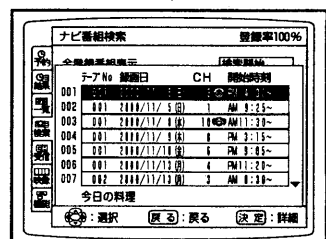
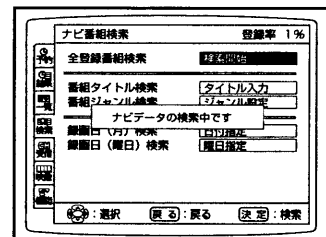
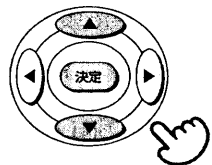
おしらせ

- **4** の画面で番組を選び決定ボタンを押すと、タイトル、ジャンルを設定する画面に移ります(109、113ページ参照)。

登録されている録画データを検索する

テープを入れずに、このビデオに登録されている全テープの登録内容を検索することができます。
お手持ちのテープのラベルに、登録されたテープ番号を付けておくと、テープを検索するのに便利です。

1 メニューボタンを押す

メニュー

2 ▼、▲ボタンで「ナビ番組検索」を選び、►ボタンか決定ボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで検索方法を選び、決定ボタンを押す

- 検索方法は5種類あります。詳しくは右段の検索方法を参照してください。

4 メニューボタンを押す

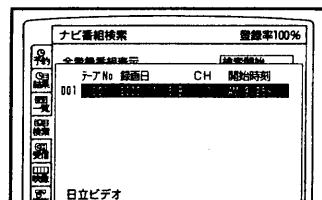
- 元の画面に戻ります。

録画データの検索方法

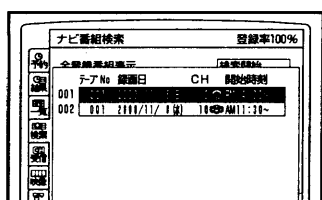
全登録番組検索

登録されているすべてのテープの録画データを、テープ番号の小さい順に並べ替えます。

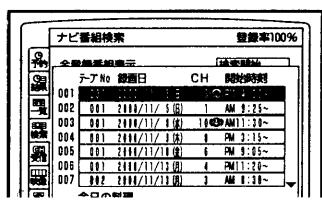
番組タイトル検索

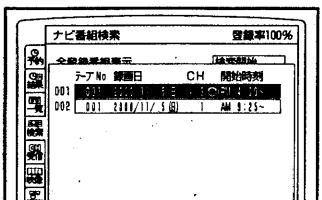
番組名で検索します。
タイトル作成画面が出るので、番組名の最初の一字を入力して戻るボタンを押すと、入力した一字のことばで始まるタイトルの番組を検索します。

タイトルの入力方法は109ページを参照してください。

番組ジャンル検索

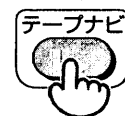
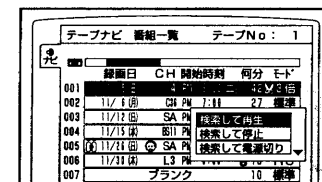
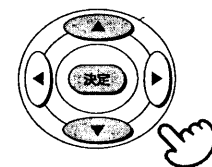
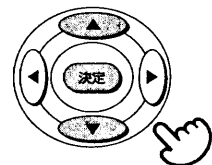
ジャンルマークで検索します。
ジャンルマーク設定画面が出るので、ジャンルマークを選んで決定ボタンを押すと、同じジャンルマークの番組を検索します。

ジャンルマークの選択方法は113ページを参照してください。

録画日(月)検索

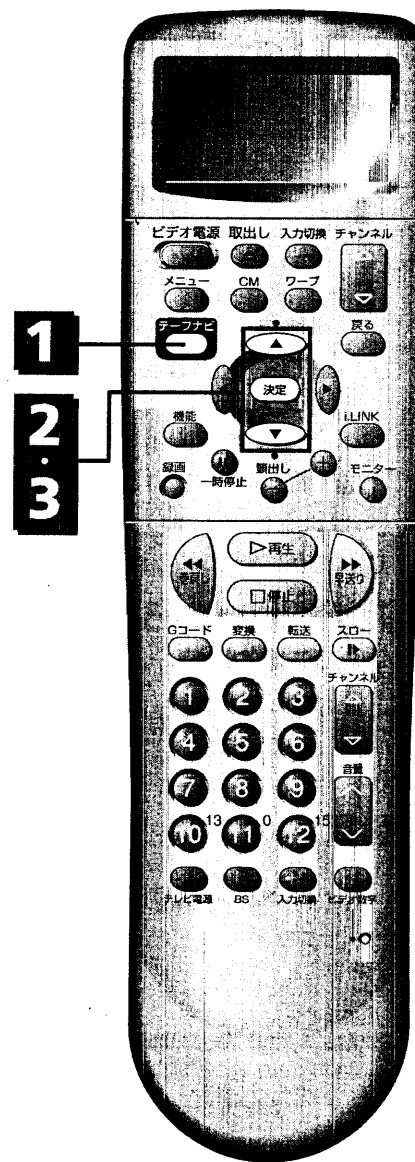
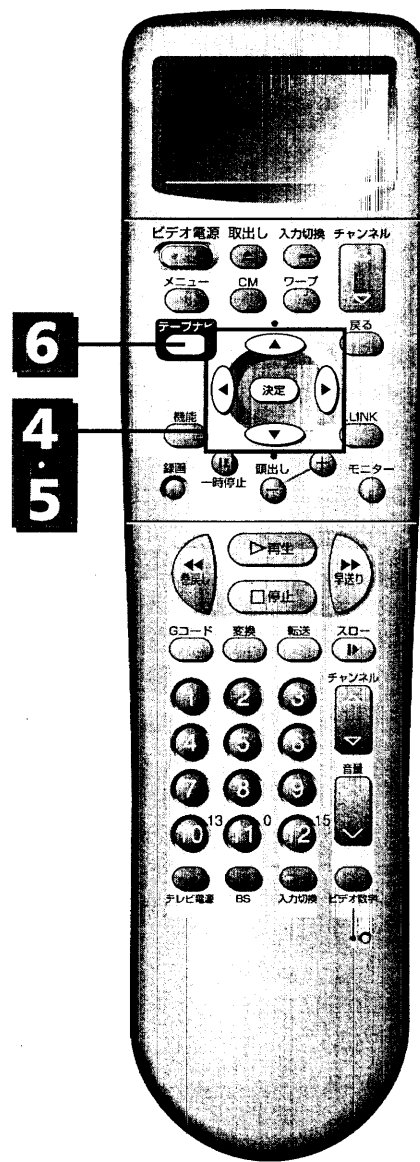
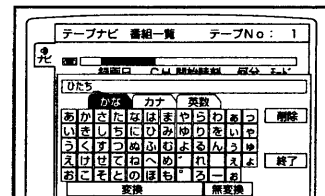
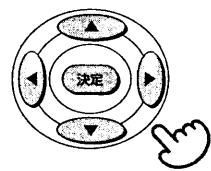
番組を録画した月で検索します。
月を選ぶ画面が出るので、番組を録画した月を選んで決定ボタンを押すと、選んだ月の番組を検索します。

録画日(曜日)検索

番組を録画した曜日で検索します。
曜日を選ぶ画面が出るので、番組を録画した曜日を選んで決定ボタンを押すと、選んだ曜日の番組を検索します。

テープナビ画面で、番組に合うお好みのタイトルを設定できます。

番組のタイトル(番組名)を設定する

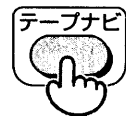
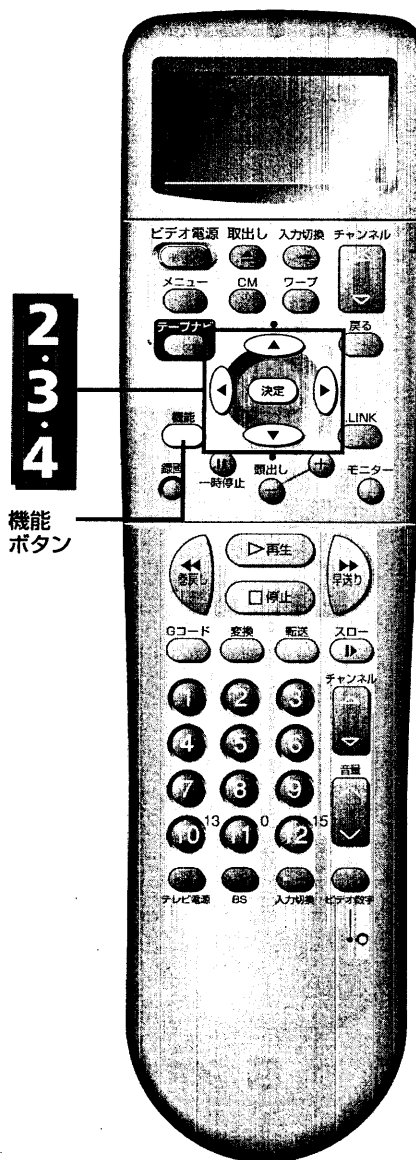
1 タイトルを設定したい番組が録画されているテープを入れて、テープナビボタンを押す

2 ▼、▲ボタンで設定したい番組番号を選び、決定ボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで「タイトル編集」を選び、決定ボタンを押す

- タイトル作成画面が出ます。

おしらせ

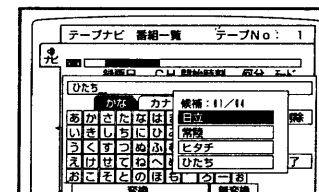
- 外部入力「d」を選んで録画したとき、自動的にタイトルが登録されることがありますが、接続された機器によっては、正常な文字で表示されないことがあります。そのときは、「タイトル編集」で正しいタイトルに修正してください。

便利な使いかた

4 カーソルボタンで文字を選び、決定ボタンを押す

- 1文字ずつ選び、決定ボタンを押します。選んだ文字が赤色で表示されます。
- ひらがなのまま入力したいときは「無変換」ボタンを選び、決定ボタンを押してください。黒文字に変わります。
漢字に変換したいときは、⑪ページを参照してください。
- 英数字、カタカナの選びかたは、⑫ページを参照してください。
- 設定した文字を1文字ずつ消したいときは、削除を選んで決定ボタンを押してください。リモコンの取消ボタンを押しても消すことができます。

5 すべての文字の選択が終わったら、「終了」を選択して決定ボタンを押す

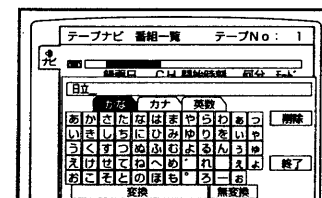
- タイトルが設定されます。

6 テープナビボタンを押す

- 元の画面に戻ります。

漢字の入力方法

1 前のページの4の操作で文字を選ぶ

2 カーソルボタンで「変換」を選び、決定ボタンを押す

例：「ひたち」を変換した画面

- 赤文字のひらがなが漢字に変換されます。
- 変換候補の一覧が出ます。
- 機能ボタンを押して「変換」を選んでも漢字変換できます。

3 カーソルボタンで漢字を選び、決定ボタンを押す

- 選んだ漢字が入力されます。
- 画面に目的の漢字がないときは、目的の漢字が出てくるまで▼ボタンを押してください。
- 目的の漢字が見つかったら、選択して決定ボタンを押してください。
- 目的の漢字が見つからないときは、別の読みを選択して漢字変換してください。

4 入力が終わったら、「終了」を選択して決定ボタンを押す

- 「テープナビ　番組一覧」画面に戻ります。

カタカナ、英数字の入力方法

1. **タイトル編集画面を出す**

- ⑩~⑩ページの1~4の操作をしてください。

2. **◄、►ボタンで「カナ」か「英数」の項目を選び、決定ボタンを押す**

例：カナ、全角を選んだ画面

- 「全角」ボタンを選択して決定ボタンを押すと全角に、「半角」ボタンを選択して決定ボタンを押すと半角に切り換わります。
- 「英数」を選択した場合、「小文字」ボタンを選択して決定ボタンを押すと小文字に、「大文字」ボタンを選択して決定ボタンを押すと大文字に切り換わります。
- リモコンの機能ボタンを押しても「カナ」「英数」を選ぶことができます。

3. **カーソルボタンで文字を選び、決定ボタンを押す**

- 選んだ文字が入力されます。
- 続けて同じ設定で文字を選ぶときは、3を繰り返してください。
- 入力の途中で全角／半角、大文字／小文字を切り換えたいときは、2の操作で切り換えてください。

4. **入力が終わったら、「終了」を選択して決定ボタンを押す**

- 番組一覧画面に戻ります。

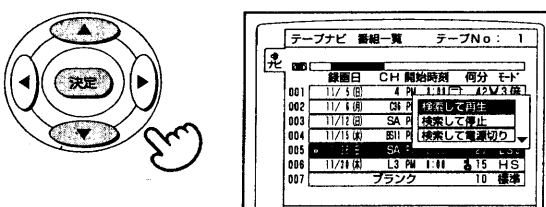
機能ボタン

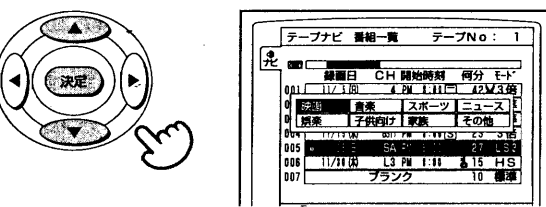
テープナビ画面と予約機能設定画面で、番組に合うお好みのジャンルマークを設定できます。

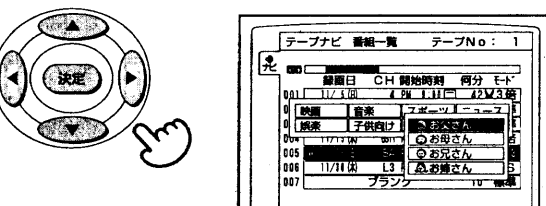
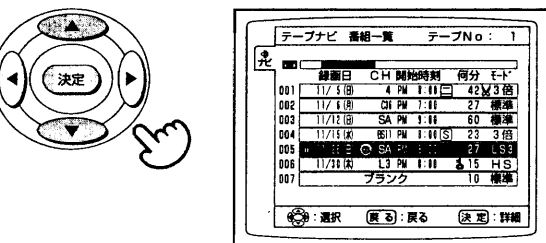
番組のジャンルマークを設定する

1. **ジャンルマークを設定したい番組が録画されているテープを入れて、テープナビボタンを押す**

- 「テープナビ　番組一覧」の画面が出ます。

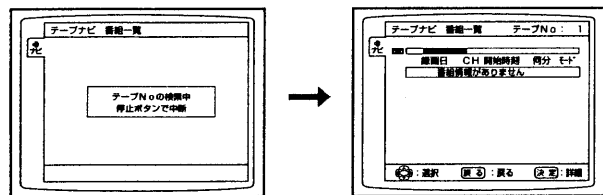
2. **▼、▲ボタンを押して、設定したい番組を選び、決定ボタンを押す**

戻るボタン

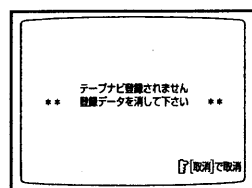
3. **▼、▲ボタンで「ジャンル編集」を選び、決定ボタンを押す**

- ジャンルマークの分類一覧が出ます。

4. **カーソルボタンでジャンルマークの分類を選び、決定ボタンを押す**

5. **▼、▲ボタンで設定したいジャンルマークを選び、決定ボタンを押す**

- 決定ボタンを押すとジャンルマークが設定され、「テープナビ　番組一覧」の画面に戻ります。
- 続けて別の番組のジャンルマークも設定したいときは、戻るボタンを押してから2～5を繰り返してください。

便利な使いかた

テープナビのご注意

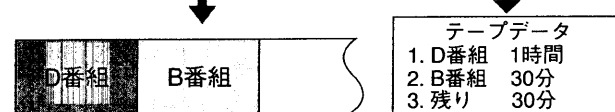
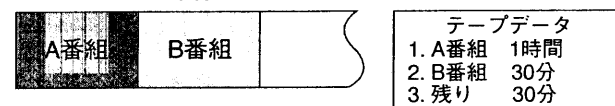
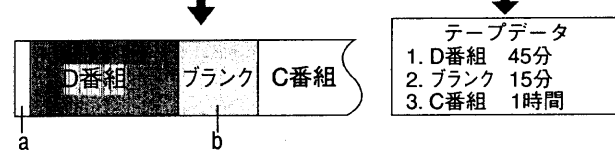
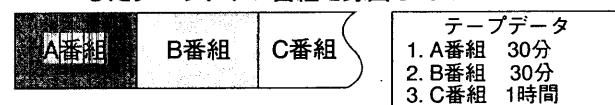
■次の①～⑤のテープが入っているときテープナビボタンを押すと、下の画面が出ます。
①何も録画していないテープ
②本機以外のビデオで録画したテープ
③テープナビを[切り]にして本機で録画したテープ
④登録内容を取り消したテープ
⑤市販のソフトテープ

• テープナビボタンを押すと、元の画面に戻ります。

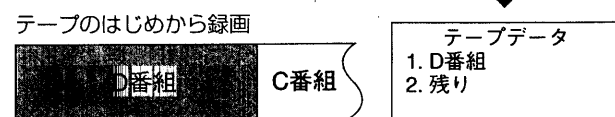
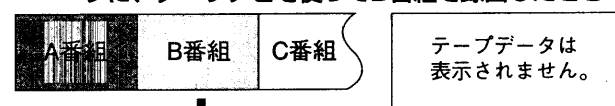
■登録の数には限りがあります。
• 録画を始めたときに下の画面が出たときは、いらないテープの登録内容を消してください(106ページ参照)。

＊D1/D2/D3/D4映像出力端子からは、この表示は出ません。

■ダビング編集について
• 音声だけを録音したときやCDV（コンパクトディスクビデオ）から録画したときは、テープナビ機能は働きません。

■市販のクリーニングテープをお使いになるときは、誤動作を防ぐため、テープナビ機能を切ってからクリーニングテープを入れてください(103ページ参照)。

■大切な番組の最後に続けて録画をする場合は、一度再生して番組の最後であることを確認してください。

■一度録画したテープに再度録画したときのテープデータについて
例1）テープナビを使ってA番組、B番組を録画したテープに、D番組をA番組と同じ時間録画したとき

例2）テープナビを使ってA番組、B番組、C番組を録画したテープに、D番組を録画したとき

• aの時間が3分未満のときは何も表示されません。約3分以上のときは、「A番組」と表示され、録画時間はaの時間に変わります。
• bの時間が約3分以上のときは「ブランク」と表示されます。3分未満のときは、何も表示されません。

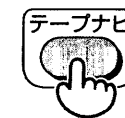
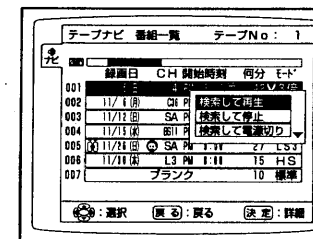
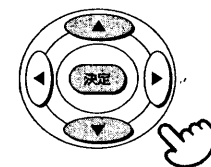
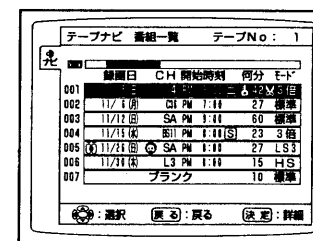
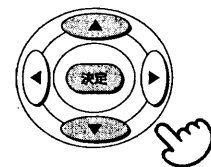
例3）他の機器でA番組、B番組、C番組を録画したテープに、テープナビを使ってD番組を録画したとき

• C番組は「残り」と表示されます。

大切な録画を消さないようにする(番組ロック)

録画した番組に鍵をかけて、重ね録りで番組を消さないように設定することができます。番組に鍵をかけることを「番組ロック」といいます。

重要
番組ロックできるのは、テープナビを「入り」にして録画したテープだけです。

番組をロックする

1 テープナビボタンを押す

2 ▼、▲ボタンでロックしたい番組情報を選び、決定ボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで「番組ロック設定」を選び、決定ボタンを押す

• 番組データに🔒マークが表示されます。

4 テープナビボタンを押す

• 元の画面に戻ります。

おしらせ
•すでにロックしてある番組情報で 3 の操作をすると、ロックが解除され🔒マークが消えます。

おしらせ

録画ボタンを押すと

テレビの画面

テープ中にロックされた番組があります

ビデオの表示窓

Lock

•番組ロックしたテープが入っているときに録画ボタンを押すと、テレビ画面とビデオの表示窓に上の警告表示が少しのあいだ出ます。
番組ロックした番組よりあとの位置で録画ボタンを押したときは、警告表示は出ません。
＊D1/D2/D3/D4映像出力端子からは、上の表示は出ません。

•ロックした番組のところまで録画すると、自動的に録画が停止し、テープが出てきます。
テレビ画面には「現在ロックされた番組の位置です」と表示されます。メニューボタンを押して表示を消してください。

＊D1/D2/D3/D4映像出力端子からは、この表示は出ません。

タイマー録画したときは

•予約を設定したあとで電源を切ると、警告音とともにビデオの表示窓に「Lock」を表示してお知らせします。

•ロックした番組のところまで録画すると、自動的に録画が停止し、テープが出てきて電源が切れます。
ビデオの表示窓には、「Lock」が点滅表示され、電源を入れると表示は消えます。

番組ロックすると、テープNo.一覧に🔒マークが出ます。

•メニューボタンを押し、カーソルボタンで「テープ一覧」を選んでテープ一覧を表示すると、ロックした番組のあるテープに🔒マークを表示してお知らせします。

タイムナビで見たい場面を探す

このビデオには、ある番組中の録画時刻を指定してそこから再生したり、その場面で停止したり、CMの終わるところを探せるタイムナビ機能がついています。
テープナビ機能が「入り」になっているときにお使いください。

重要

•テープを入れてもビデオ前面のテープナビランプが点滅しないときは、テープナビ機能が「切り」になっています。103ページをご覧になって「入り」に設定してください。
•テープナビ画面、タイムナビ画面が出るのは、テープナビが「入り」で録画したテープだけです。

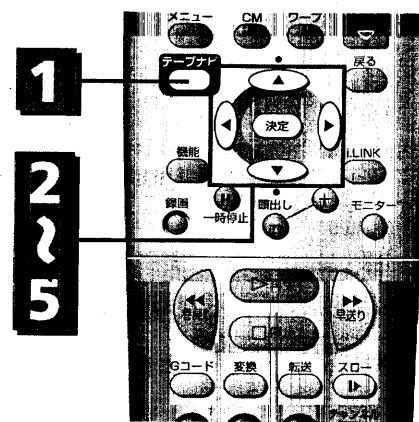
指定した時刻の頭出しをする

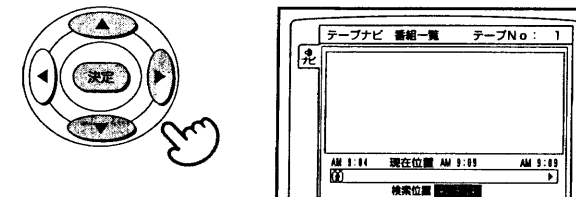
1 再生中、テープナビボタンを押す

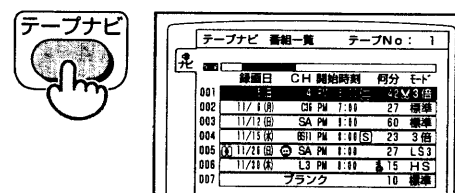
•「テープナビ　番組一覧」画面が出ます。

おしらせ

再生中以外の番組でタイムナビを使うとき
• 1 でテープナビ画面を出したとき、▼、▲ボタンを押して番組を選んでからテープナビボタンを押してください。この場合、タイムナビ画面の「現在位置」の時刻は表示されません。
•テープナビ画面で見たい番組を選ぶとき、ビデオのテープナビボタンと選択ボタンも使えます。

本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき
•テープを最初から約2分間再生したあと、テープナビボタンを押してください。
•本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。

2 決定ボタンを押す

3 カーソルボタンで「タイムナビ」を選んで、決定ボタンを押す

• 再生中の番組のタイムナビ画面が出ます。
• テープナビボタンを押すと、元の画面に戻ります。

• オートカット機能を使って録画したり、録画中に一時停止した番組や録画モード「3倍標準」でタイマー録画したり、録画途中でテープスピードを切り換えた番組は次のような画面になります。

a. 録画開始時刻の代わりに「0:00」が表示されます。
b. 「検索位置」には、録画開始からの経過時間が表示されます。
c. 録画終了時刻の代わりに録画時間が表示されます。
•［オート録画番組］の場合、3倍モードで録画された部分も、録画時間および経過時間は標準モードに置き換えた時間になります。

おしらせ

•検索位置表示の ⏯ が CM のときは119ページを参照してください。

タイムナビ機能が使えないとき
•テープの現在位置が「残り」または「ブランク」にあるとき、またはテープナビ画面で▼、▲ボタンを押して「残り」または「ブランク」の部分を選んだときは、タイムナビ機能が働きません。

4 ◀、▶ボタンで見たい場面の時刻を選び、決定ボタンを押す

検索位置の時刻

- 「検索位置」の時刻を選びます。
- バーの中の▶が現在のテープ位置を示します。

5 選んだ時刻の場面から再生する、またはその時刻を探して停止する

「検索して再生」を選んだとき

- この画面では画面が静止画や灰色の画面になり音声が出ませんが、故障ではありません。
- 選んだ時刻を探して、そこから自動的に再生します。

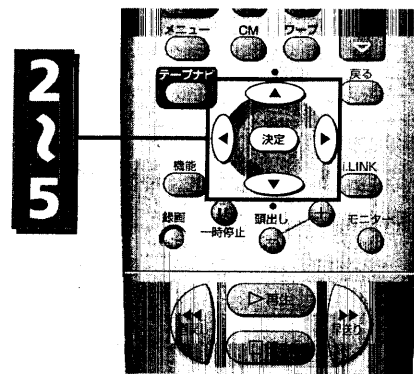
「検索して停止」を選んだとき

- この画面では画面が静止画や灰色の画面になり音声が出ませんが、故障ではありません。
- 選んだ時刻を探して自動的に停止します。

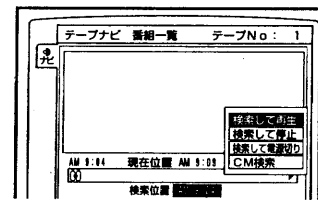
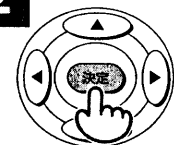
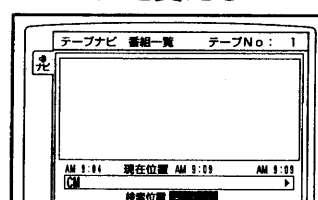
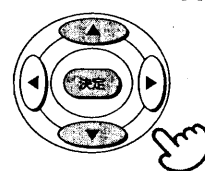
「検索して電源切り」を選んだとき

- この画面では画面が静止画や灰色の画面になり音声が出ませんが、故障ではありません。

- 録画開始部分や終了部分では、CMおよびCMの終わるところを正しく探せない場合があります。
- 番組やCMの内容によっては、CMの途中で再生を開始したり、停止したりします。
- 番組の予告がCMと判断されることがあります。

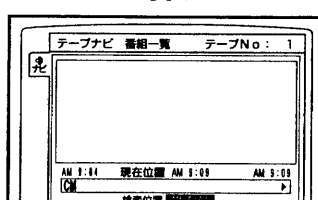
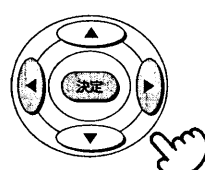
CMの終わるところを探す

1 タイムナビ画面を出す

- 操作のしかたは⑰ページの 1 ～ 3 をご覧ください。

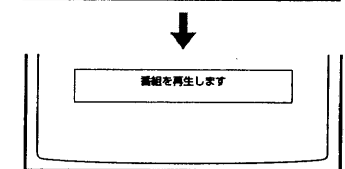
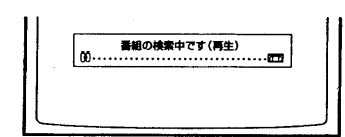
2 決定ボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで「CM検索」を選び、決定ボタンを押してカーソルを変える

- バーの中の 00 が CM に変わります。
- 最初のCMの終わるところに CM がとびます。

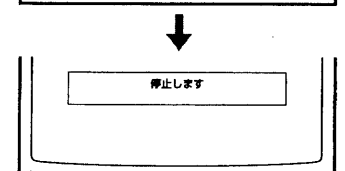
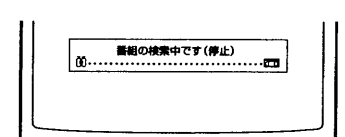
おしらせ

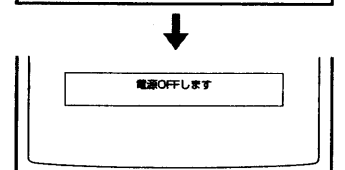
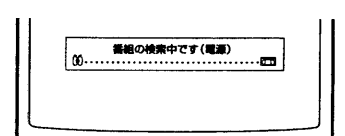
- CMオートカットした番組やCMのない番組では、決定ボタンを押しても CM に変わりません。

4 ◀、▶ボタンで見たいCMの終わるところを選び、決定ボタンを押す

- バーの中の CM が、CMの終わる位置を示します。
- 複数のCMがない場合は CM が動きません。

5 選んだCMの終わるところから再生する、または探して停止する

「検索して再生」を選んだとき

- この画面では画面が静止画や灰色の画面になり音声が出ませんが、故障ではありません。
- 選んだCMの終わるところを探して、そこから自動的に再生します。

「検索して停止」を選んだとき

- この画面では画面が静止画や灰色の画面になり音声が出ませんが、故障ではありません。
- 選んだCMの終わるところを探して自動的に停止します。

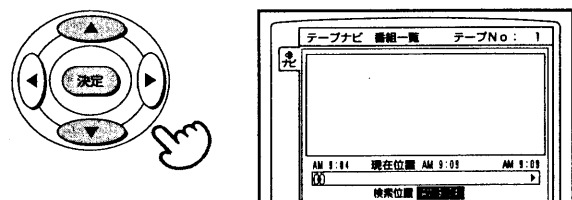
「検索して電源切り」を選んだとき

- この画面では画面が静止画や灰色の画面になり音声が出ませんが、故障ではありません。
- 選んだCMの終わるところを探して自動的に電源を切ります。

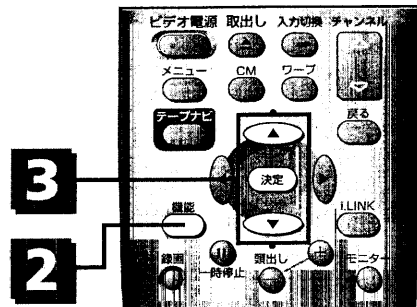
5分前、5分後のところを探す

1 **タイムナビ画面を出す**
- 操作のしかたは117ページの1～3をご覧ください。

2 **機能ボタンを押す**

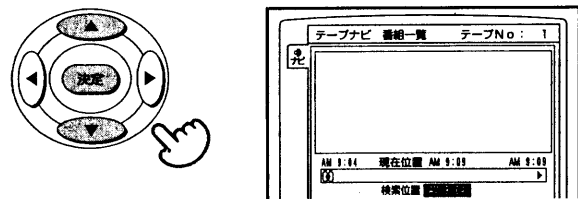
- 機能メニューが出ます（101ページ参照）。

3 **5分前を探すときは「－5分」を、5分後を探すときは「＋5分」を▼、▲ボタンで選び、決定ボタンを押す**

- 決定ボタンを押すたびに、バーの中の◎がとびます。

番組の頭と終わるところを探す

1 **タイムナビ画面の機能メニューを出す**
- 操作のしかたは117ページの1～3をご覧ください。

2 **機能ボタンを押す**

- 機能メニューが出ます（101ページ参照）。

3 **番組の頭を探すときは「番組先頭」を、番組の終わるところを探すときは「番組最後」を▼、▲ボタンで選び、決定ボタンを押す**

- 決定ボタンを押すと、バーの中の◎がとびます。

おしらせ
- 大切な番組の最後に、続けて録画をする場合は、一度再生して、番組の最後であることを確認してください。

リモコンで2台のビデオを操作する

付属のリモコンは、日立製のビデオを3台まで、別々に操作できます。
ビデオを並べて使っているときなど、1台ずつ操作できるので便利です。

重要
- ビデオのリモコン切換ボタンで「R-OFF」にすると、リモコンをまったく受け付けなくなります。
- ビデオ側のリモコン切換ボタンとリモコン側のリモコンボタンの設定が合っていないと、ビデオの表示窓でビデオのリモコンコードが点滅し、リモコンでビデオの操作ができません。

本機を操作するとき

1 **ビデオ前面のふたを開け、リモコン切換ボタンを押して、表示窓に「R-2」を出す**

リモコン切換ボタンを押すたびに「R-1」→「R-2」→「R-3」→「R-OFF」(切)の順に切り換わります。

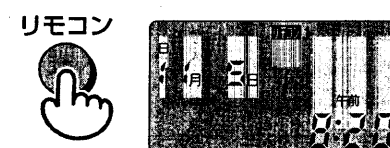
2 **リモコンのリモコンボタンを押して、「リモコン2」を表示させる**

リモコン

3 **リモコンを本機に向けて操作する**

おしらせ
3台のビデオを操作するとき
- 本機のリモコン切換ボタンを「R-3」に合わせ、他のビデオを「R-1」または「R-2」にしてください。

もう1台のビデオを操作するとき

1 **リモコンのリモコンボタンを押して、「リモコン1」を表示させる**

- 日立製ビデオは工場出荷時、ビデオ側のリモコン切換スイッチを「R-1」に設定してあるため、「リモコン1」にします。

2 **リモコンをもう1台のビデオに向けて操作する**

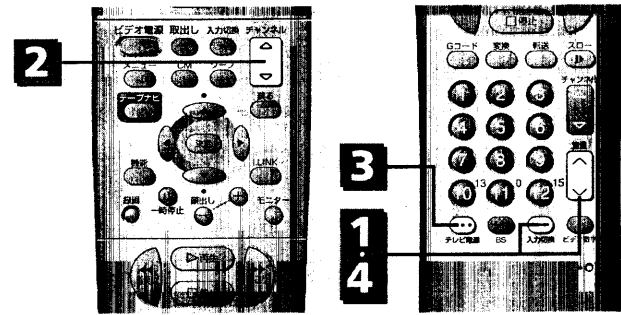
おしらせ
付属のリモコンで操作できるビデオ
- VT-6800/VT-9700/VT-17以外の日立製ワイヤレスリモコン対応のビデオ
- ビデオによっては、リモコンのタイマー予約や時計合わせができないことがあります。

便利な使い方

リモコンで他社のテレビを操作する

本機のリモコンで、日立製以外にも他社10社のテレビを操作できます。使い始めるとき、次のようにテレビコードを設定してください。
操作するたびに設定し直す必要はありません。

重要

お手持ちのテレビの製造年度や形式により、操作できない、あるいは一部のボタンが働かないことがあります。

1 テレビ入力切換ボタンとテレビ専用音量ボタンの ∨ 側を同時に押す

リモコンの表示窓

- リモコンのふたを閉じて操作してください。
- 工場出荷時は、リモコンの表示窓にテレビコード「01」が表示されるように設定されています。

2 ビデオのチャンネルボタンを押して、テレビのメーカーに合ったテレビコードを設定する

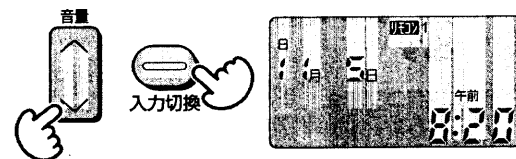
メーカー	テレビコード	メーカー	テレビコード
日立	01	シャープ(1)	09
松下(1)	02	シャープ(2)	10
ビクター	03	富士通ゼネラル	11
ソニー	04	NEC	12
東芝	05	日立/松下(2)	13
三菱	06	松下(3)	14
サンヨー(1)	07	松下(4)	15
サンヨー(2)	08	パイオニア	16

おしらせ

- 日立製BSデジタルハイビジョンテレビW32-DH2000、W36-DH2000をご使用の場合は、テレビコード「13」を選んでください。
- サンヨー、シャープはテレビコードが2種類、松下は4種類あります。松下、シャープは電源の「入/切」できるコードを選んでください。サンヨーはチャンネルボタンが正しく働くコードを選んでください。

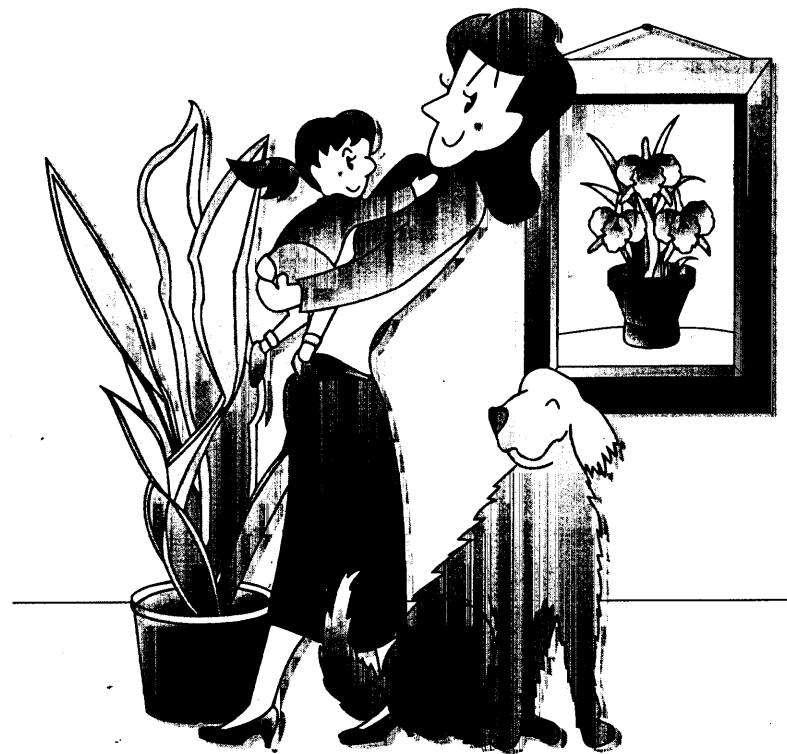
3 テレビ専用電源ボタンを押す

- テレビ電源ボタンを押してテレビの「入/切」ができれば、このリモコンで操作できます。

4 テレビ専用入力切換ボタンとテレビ専用音量ボタンの ∨ 側を同時に押す

- 設定が記憶され、元の画面に戻ります。

おしらせ

BS選局のしかた
- BSボタンを押すと、リモコン表示部に「BS」の表示が出ます。この表示が出ている間に、「数字」ボタンを押してチャンネルを選んでください。

BS 1ch：BS → ①	BS 9ch：BS → ⑨
BS 3ch：BS → ③	BS11ch：BS → ⑪
BS 5ch：BS → ⑤	BS13ch：BS → ⑩
BS 7ch：BS → ⑦	BS15ch：BS → ⑫

設置・準備編

ご自分で設置するには

設置・準備編のもくじ

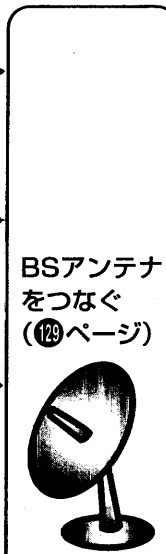
最初に基本の接続をしてから、目的に合った接続と準備をしてください。

◆基本の接続◆

1 ビデオにアンテナとテレビをつなぐ（126ページ）

2 （テレビに映像・音声入力端子があるときは）
テレビとビデオを映像・音声コードでつなぐ（126ページ）

◆目的◆

- ふつうのテレビ放送（UHF/VHF放送）を見る・録る
- ケーブルテレビを見る
- 衛星放送を見る
- 衛星放送とWOWOWを見る
- ハイビジョン放送を見る
- デジタル衛星放送を見る

BSアンテナをつなぐ（129ページ）

BSデコーダをつなぐ（130ページ）

MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビとつなぐ（132ページ）

MUSE-NTSCコンバータをつなぐ（133、134ページ）

BSデジタルチューナーをつなぐ（135～137ページ）

デジタルCSチューナーをつなぐ（138ページ）

1 BSアンテナ電源を切り換える（140ページ）

2 BSアンテナの方向を調整する（141ページ）

WOWOW（BS5チャンネル）を見るための設定をする（142ページ）

ハイビジョン放送を見るための設定をする（143ページ）

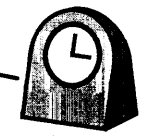
接続を確認する（144ページ）

受信チャンネルを合わせる

次の2とおりの方法で受信チャンネルを合わせられます。
まず①で合わせてみて、すべてのチャンネルがきれいに受信できていないときは②で合わせ直してください。

①地域受信チャンネル（146ページ）
お住まいの地方名を選んで設定する方法です。

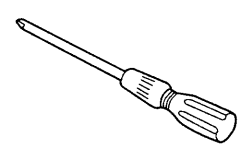
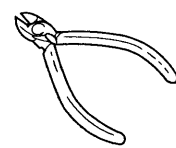
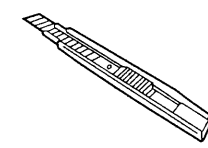
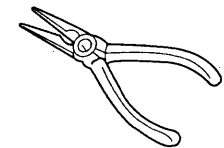
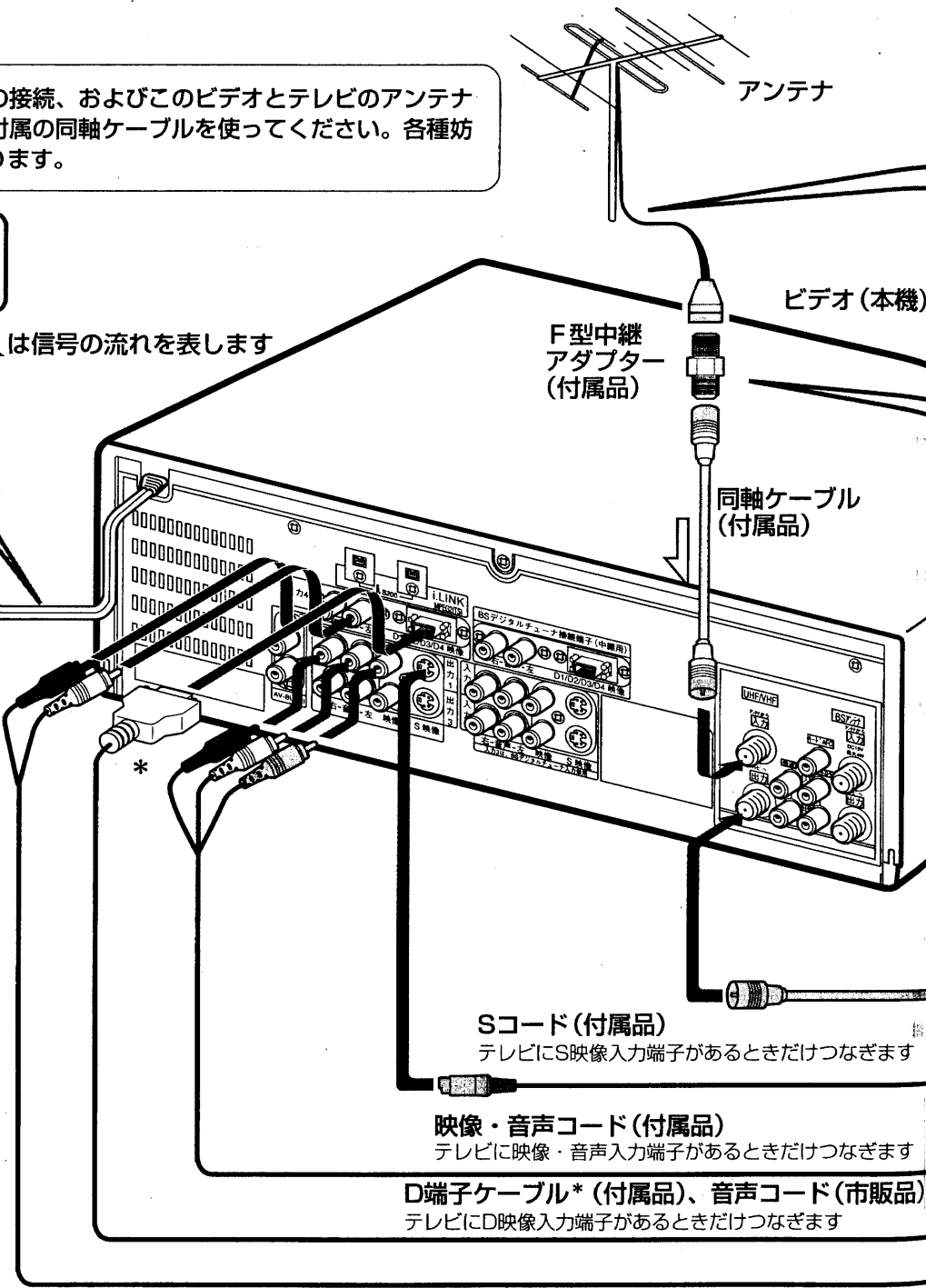
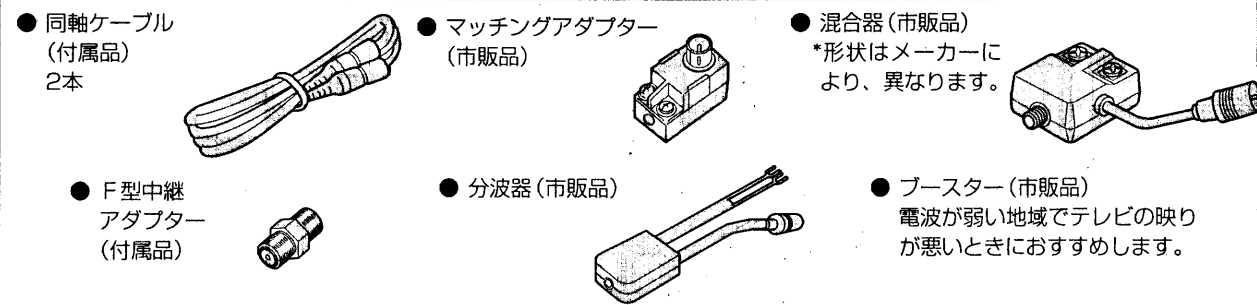
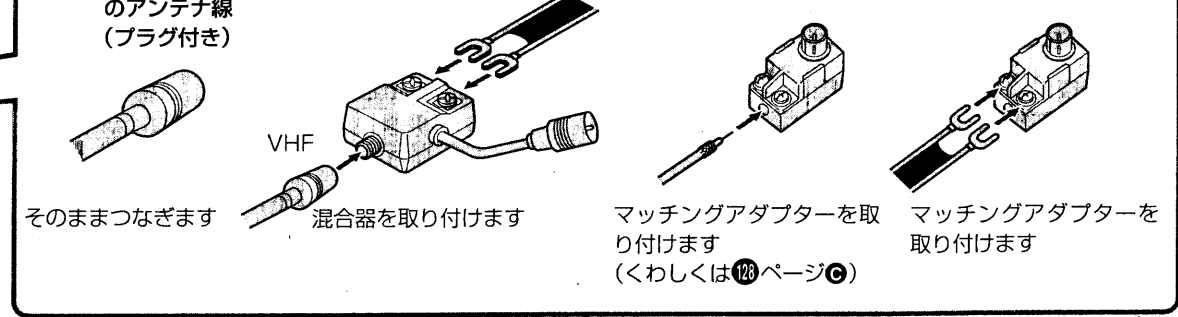
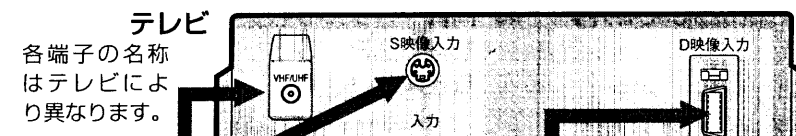
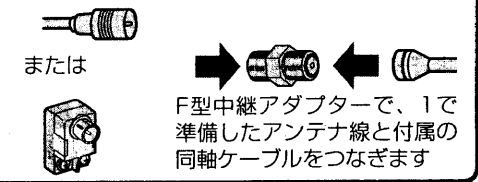
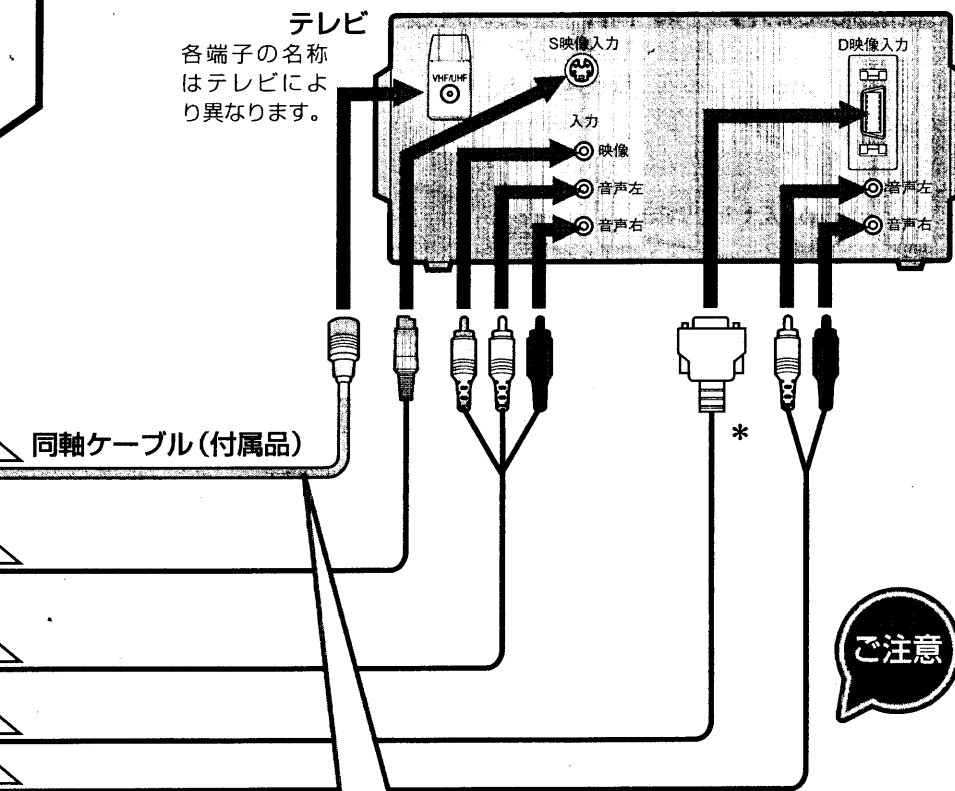
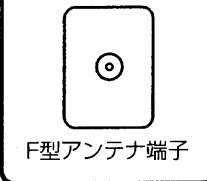
②オートチャンネル（150ページ）
お住まいの地域で受信できるチャンネルを一つずつ設定する方法です。

時計を合わせる（153ページ）

日立製AV-BUSテレビをお持ちのときは
テレビをコントロールすることができます。詳しくは、「AV-BUSⅢ端子を使う」参照（139ページ）。

日立製AV-BUSⅢ端子付衛星放送用チューナーをお持ちのときは
ビデオコントローラーなどを使わずに、デジタル衛星放送用チューナーの予約に連動してタイマー録画することができます。詳しくは、「デジタルCSチューナーをつなぐ」参照（138ページ）。

付属品については3ページをご覧ください。

設置するときに必要な工具

プラスドライバー　ニッパ　ナイフ　ペンチ

アンテナとテレビをつなぐ
テレビにつながっているアンテナ線をはずし、はずしたアンテナ線とテレビをビデオにつなぎます。
アンテナ線やテレビのアンテナ端子の種類によって、つなぎかたが異なります。
重要
このビデオとアンテナとの接続、およびこのビデオとテレビのアンテナ端子との接続には、必ず付属の同軸ケーブルを使ってください。各種妨害の影響を受けにくくなります。
アンテナ
4 電源コードをつなぐ
は信号の流れを表します
ビデオ（本機）
F型中継アダプター（付属品）
同軸ケーブル（付属品）
電源コンセントへ
おしらせ
下記の場合に画像が乱れることがあります。
•本機の上に、テレビを直接置いたとき
•テレビの上に、本機を直接置いたとき
このようなときは、テレビと本機を離してください。
•フィーダー線を使用したとき
このようなときは、同軸ケーブルをご使用ください。ご不明な点は販売店へご相談ください。
Sコード（付属品）
テレビにS映像入力端子があるときだけつなぎます
映像・音声コード（付属品）
テレビに映像・音声入力端子があるときだけつなぎます
D端子ケーブル*（付属品）、音声コード（市販品）
テレビにD映像入力端子があるときだけつなぎます
*テレビにコンポーネント映像入力端子がある場合は、コンポーネント映像変換用D端子コード(市販品)を使って接続してください。(34ページ参照)
接続に使う部品ーー必要に応じてお使いください。
● 同軸ケーブル（付属品）2本
● マッチングアダプター（市販品）
● 混合器（市販品）*形状はメーカーにより、異なります。
● F型中継アダプター（付属品）
● 分波器（市販品）
● ブースター（市販品）電波が弱い地域でテレビの映りが悪いときにおすすめします。
1 アンテナ線を準備する ーアンテナ線の種類によって準備が異なります。
● UHF/VHF混合またはVHF単独のアンテナ線（プラグ付き）
● VHFとUHFが別々のとき
● VHF単独のアンテナ線（先バラ）
● UHF単独のアンテナ線（フィーダー線）
UHF
VHF
そのままつなぎます
混合器を取り付けます
マッチングアダプターを取り付けます（くわしくは128ページC）
マッチングアダプターを取り付けます
2 アンテナ線とビデオをつなぐ
付属のF型中継アダプターと同軸ケーブルを使ってつなぎます。
または
F型中継アダプターで、1で準備したアンテナ線と付属の同軸ケーブルをつなぎます
テレビ
各端子の名称はテレビにより異なります。
S映像入力
D映像入力
入力
映像
音声左
音声右
差し込むアンテナ端子が、F型アンテナ端子の場合は、付属の中継アダプターを使わずに、そのまま付属の同軸ケーブルをアンテナ端子に接続してください。
F型アンテナ端子
同軸ケーブル（付属品）
ご注意
分波器をお使いの場合は、UHF放送しか受信しない方も必ず、VHF、UHFの両方の端子に接続してください。
3 テレビのアンテナ端子とつなぐ
付属の同軸ケーブルを使ってつなぎます。アンテナ端子の種類によってつなぎかたが異なります。
● UHF/VHF端子のとき
● UHF/VHF端子が別々のとき
● VHFとUHF端子が別々でVHF端子がネジ式のとき
テレビのアンテナ端子
そのままつなぎます
分波器を取り付けます
プラグを切る
（くわしくは128ページA、B）
プラグを切る
設置・準備

ケーブル先端の加工の仕方や、分波器やマッチングアダプターに同軸ケーブルを取り付ける方法を説明します。

A 分波器の先端の加工

1 黒いビニール線にすじを入れ、切り取る

2 網線を折り返す

3 白いビニール線に切り込みを入れ、切り取る

4 芯線を出す

B 分波器（市販品）に同軸ケーブルを取り付ける

1 つめを開きながらふたを外す

2 同軸ケーブルの芯線を差し込み、しっかりと取り付ける

3 ふたを元通りに付ける

C マッチングアダプター（市販品）に同軸ケーブルを取り付ける

1 つめを開きながらふたを外す

2 接続線を端子から外し、プラスチックにはさむ

3 同軸ケーブルを差し込み、しっかりと取り付ける

4 ふたを元通りに付ける

BSアンテナをつなぐ

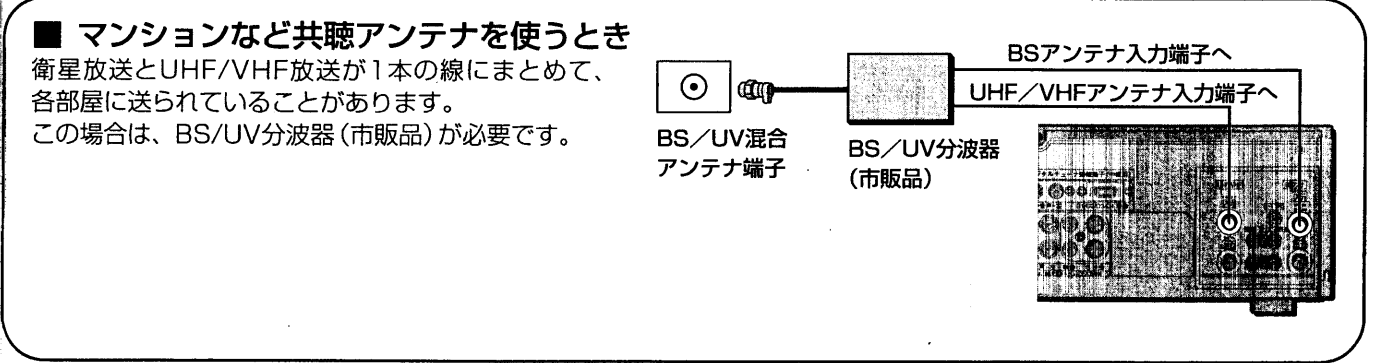
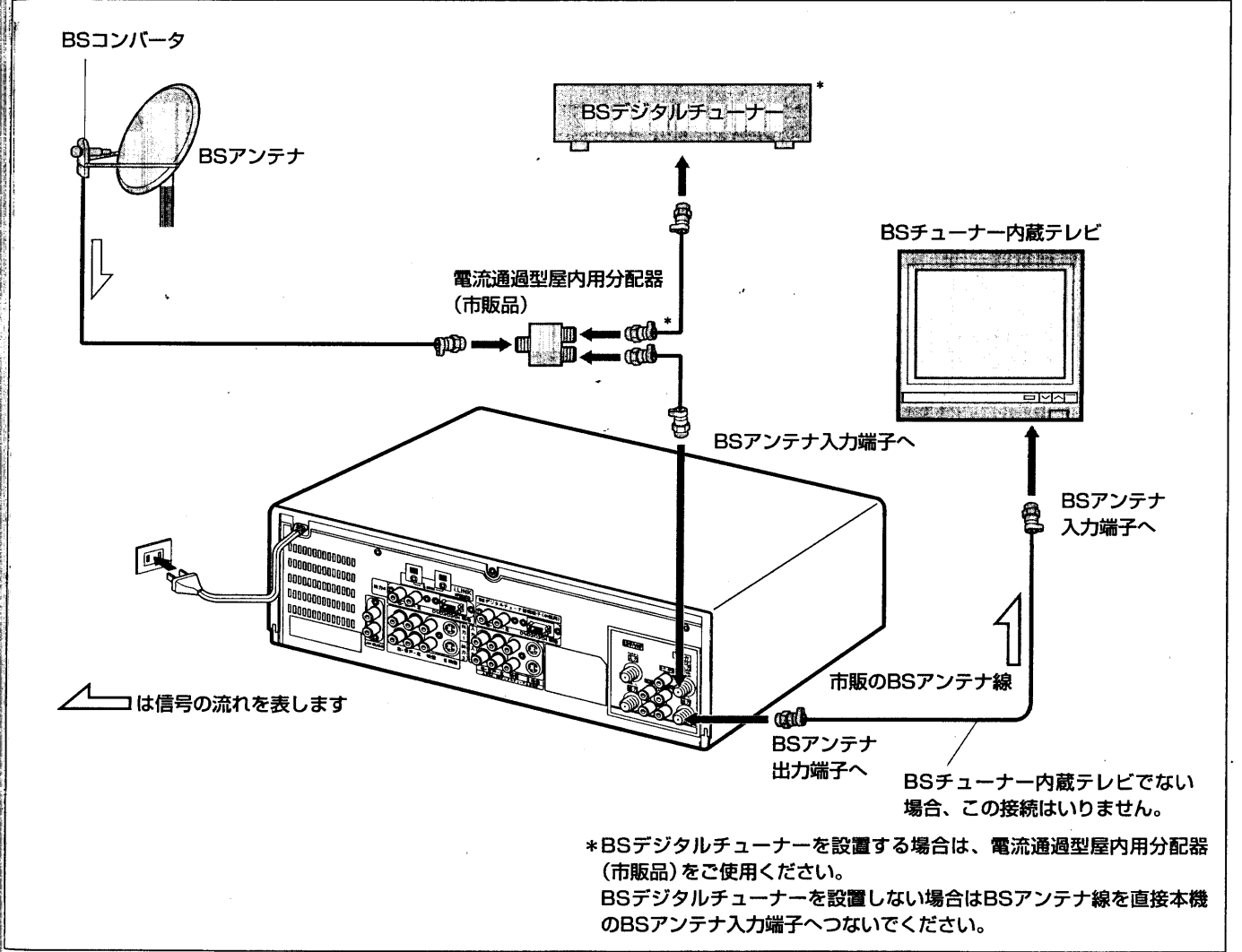
BSアンテナをつないだあと、140ページをご覧になってBSアンテナ電源を切り換えてください。
そのあと、141ページをご覧になってBSアンテナの方向を調整してください。

重要

- 衛星放送は電波が微弱なため、アンテナやBSコンバータの正確な調整が必要です。
  できるだけ、販売店へ据付けを依頼することをおすすめします。
- BSアンテナを接続するときは、安全のため必ずビデオの電源を切ってください。

*BSデジタルチューナーを設置する場合は、電流通過型屋内用分配器（市販品）をご使用ください。
BSデジタルチューナーを設置しない場合はBSアンテナ線を直接本機のBSアンテナ入力端子へつないでください。

■ マンションなど共聴アンテナを使うとき

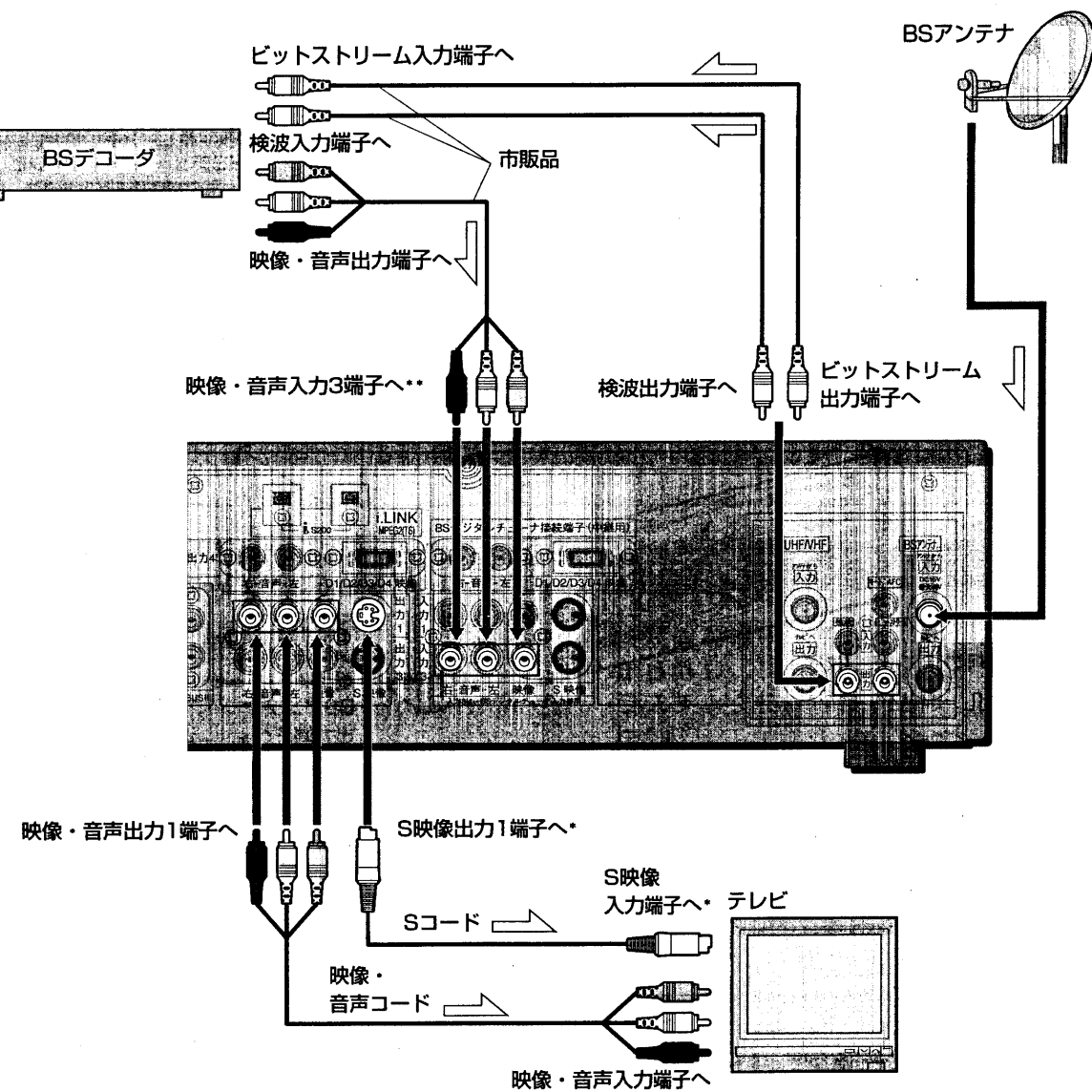
衛星放送とUHF/VHF放送が1本の線にまとめて、各部屋に送られていることがあります。
この場合は、BS/UV分波器（市販品）が必要です。

設置・準備

BSデコーダをつなぐ

有料放送のWOWOW（BS5チャンネル）を見るには、JSB（日本衛星放送株式会社）との受信契約と専用のBSデコーダが必要です。

重要

- VHF／UHFアンテナの接続については126〜127ページ、BSアンテナの接続については129ページをご覧ください。
- 機能設定のBSデジタル連動設定を「切り」、入力3設定を「BSデコーダ」に設定してください（56、57ページ参照）。
- 142ページをご覧になり、WOWOW（BS5チャンネル）を見るための設定をしてください。

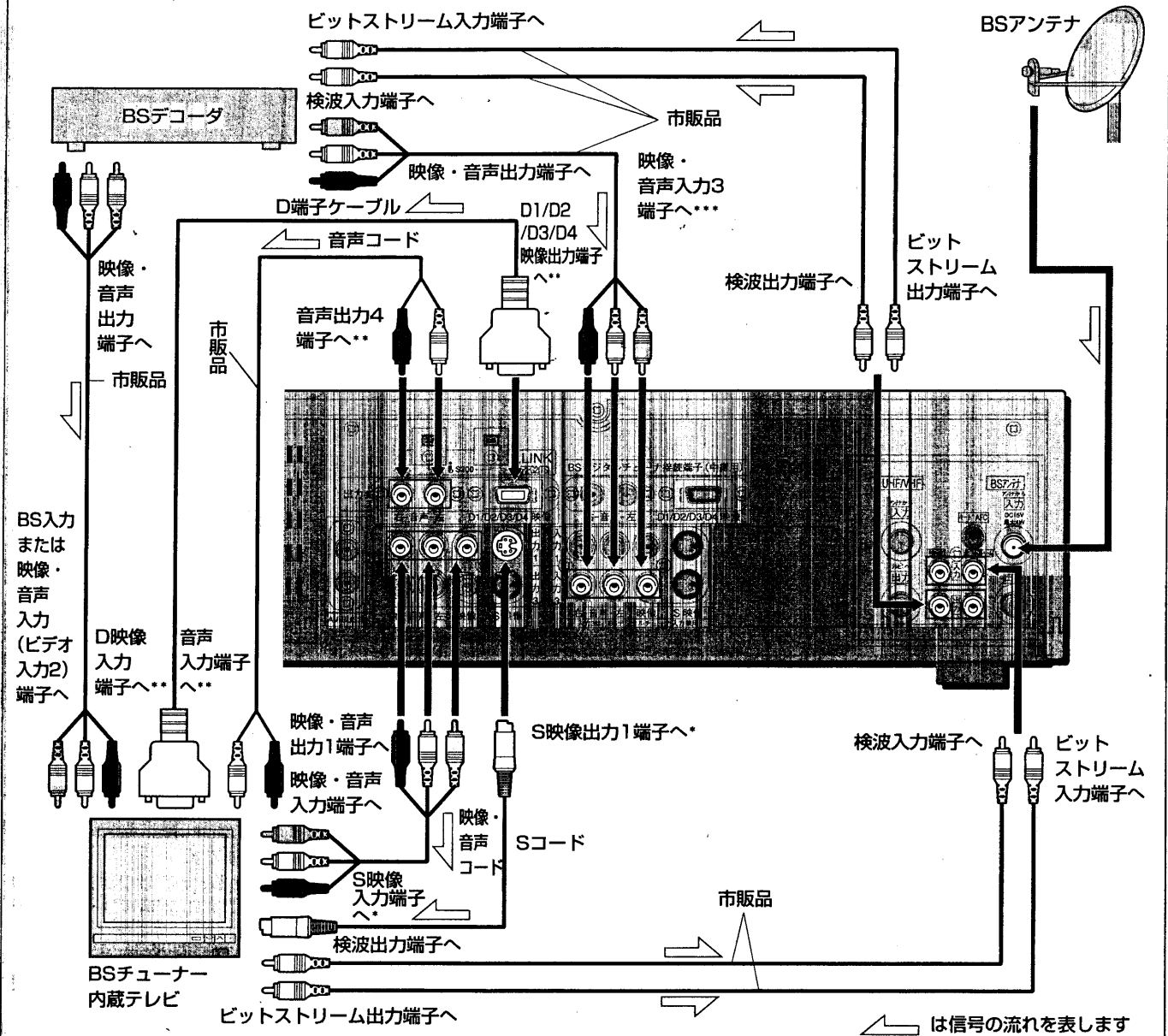
ふつうのテレビ（BSチューナーを内蔵していないテレビ）との接続

は信号の流れを表します

＊テレビにS映像入力端子があるときだけつなぎます。

＊＊映像音声入力3端子が、BSデコーダ入力端子を兼ねています。

重要

- テレビにつないだD端子ケーブルと音声コードは、ビデオの同じ系統の出力端子（出力4）に接続してください。他の系統の端子に接続すると、映像と音声がずれます。
- VHF／UHFアンテナの接続については126〜127ページ、BSアンテナの接続については129ページをご覧ください。
- 機能設定のBSデジタル連動設定を「切り」、入力3設定を「BSデコーダ」に設定してください（56、57ページ参照）。
- 142ページをご覧になり、WOWOW（BS5チャンネル）を見るための設定をしてください。

BSチューナー内蔵テレビとの接続

は信号の流れを表します

＊テレビにS映像入力端子があるときだけつなぎます。

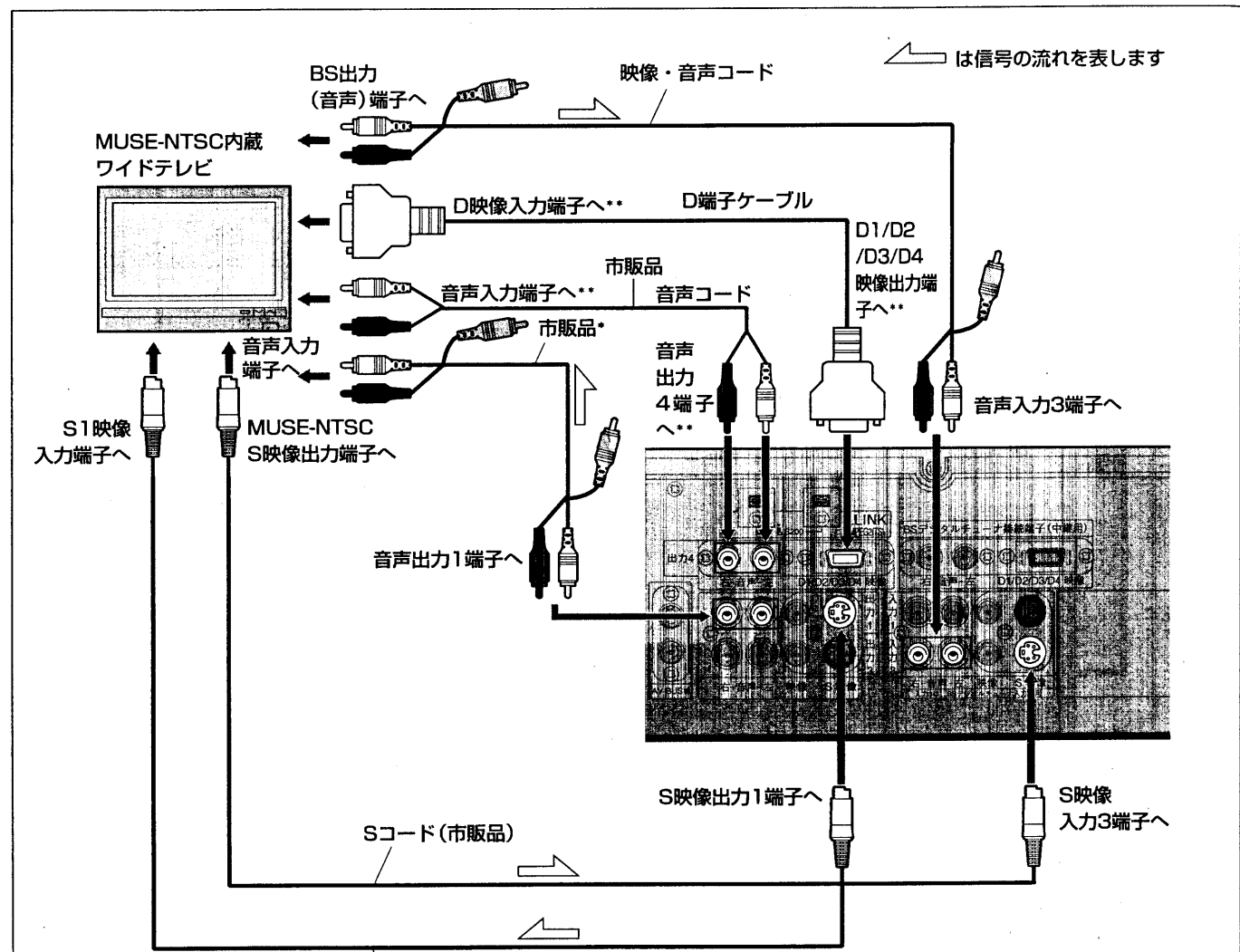
＊＊テレビにD映像入力端子があるときだけつなぎます。D端子ケーブルと音声出力4につないだ音声コードは、テレビの同じ系統の入力端子につないでください。
テレビにコンポーネント映像入力端子がある場合は、コンポーネント映像変換用D端子コード（市販品）を使って接続してください（34ページ参照）。

＊＊＊映像音声入力3端子がBSデコーダ入力端子を兼ねています。

MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビをつなぐ…

このビデオをMUSE-NTSC内蔵ワイドテレビとつなぐと、ハイビジョン放送（BS9チャンネル）を録画・再生できます。

重要

- テレビにつないだD端子ケーブルと音声コードは、ビデオの同じ系統の出力端子（出力4）に接続してください。他の系統の端子に接続すると、映像と音声がずれます。
- VHF／UHFアンテナの接続については126〜127ページ、BSアンテナの接続については129ページをご覧ください。
- 機能設定のBSデジタル連動設定を「切り」、入力3設定を「BSデコーダ」に設定してください（56、57ページ参照）。
- 143ページをご覧になり、ハイビジョン放送（BS9チャンネル）を見るための設定をしてください。

＊映像プラグ（黄）の接続は不要です。

＊＊テレビにD映像入力端子があるときだけつなぎます。D端子ケーブルと音声出力4につないだ音声コードは、テレビの同じ系統の入力端子につないでください。
テレビにコンポーネント映像入力端子がある場合は、コンポーネント映像変換用D端子コード（市販品）を使って接続してください（84ページ参照）。

おしらせ

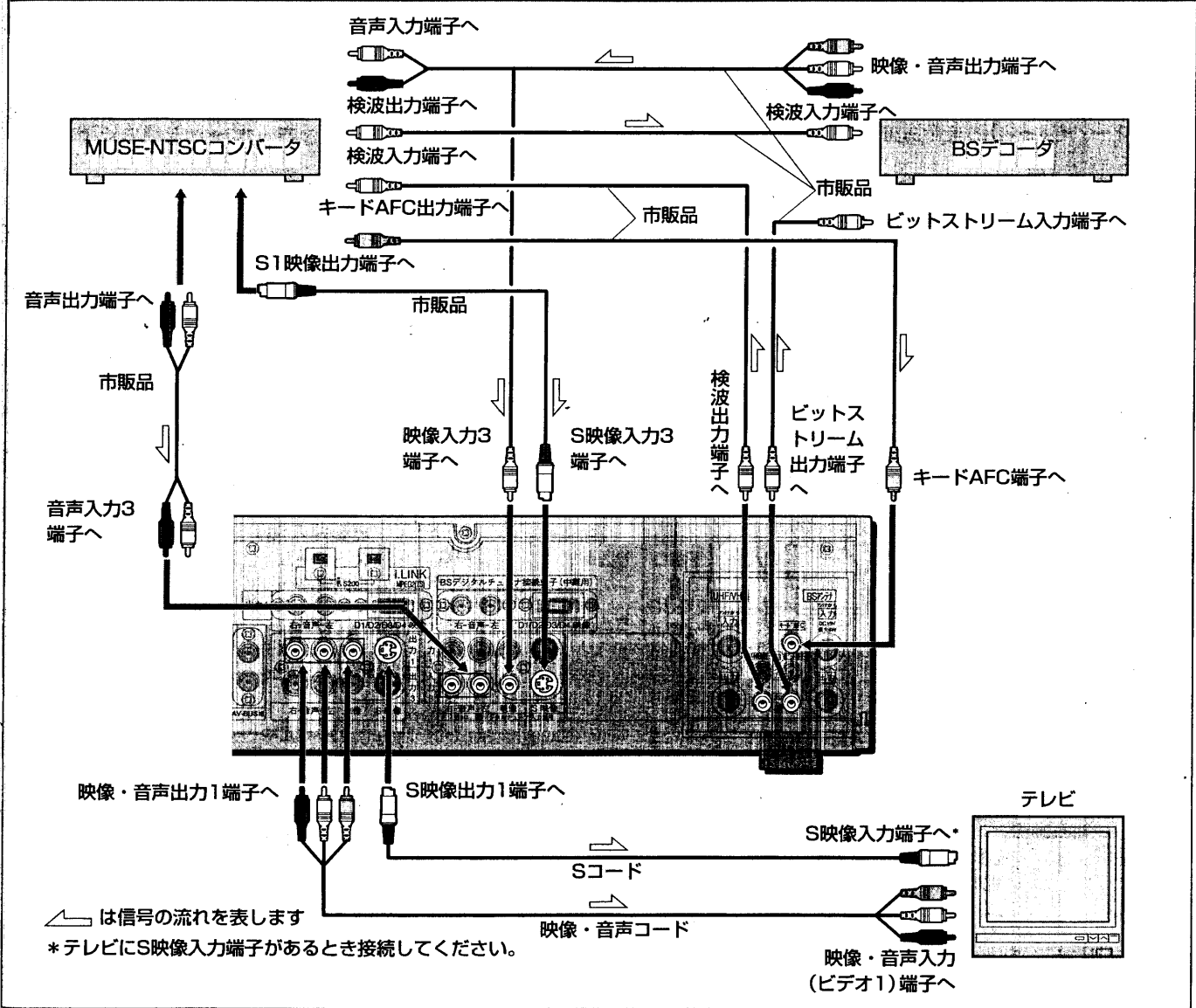
ハイビジョン放送について

- このビデオは、MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビやMUSE-NTSCコンバータでハイビジョン放送（画面比率16：9）を画面比率4：3に変換した信号をテープに記録します。
- 記録したテープを再生したとき、テレビで16：9に変換することができます。
- MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビは、BSチューナーを内蔵しています。テレビの説明書をよくお読みください。

MUSE-NTSCコンバータをつなぐ…

このビデオにMUSE-NTSCコンバータとBSデコーダの両方をつなぐとハイビジョン放送（BS9チャンネル）とWOWOW（BS5チャンネル）の録画・再生ができます。

- VHF／UHFアンテナの接続については126〜127ページ、BSアンテナの接続については129ページをご覧ください。
- 機能設定のBSデジタル連動設定を「切り」、入力3設定を「BSデコーダ」に設定してください（56、57ページ参照）。
- 142ページをご覧になり、WOWOW（BS5チャンネル）を見るための設定をしてください。
- 143ページをご覧になり、ハイビジョン放送（BS9チャンネル）を見るための設定をしてください。

ふつうのテレビ（BSチューナーを内蔵していないテレビ）との接続

＊テレビにS映像入力端子があるとき接続してください。

映像の画面比率について

MUSE-NTSCコンバータを使うと、ハイビジョン放送を3つの画面に変換してお持ちのテレビで楽しむことができます。

ハイビジョン放送（MUSE）［画面比率16：9］

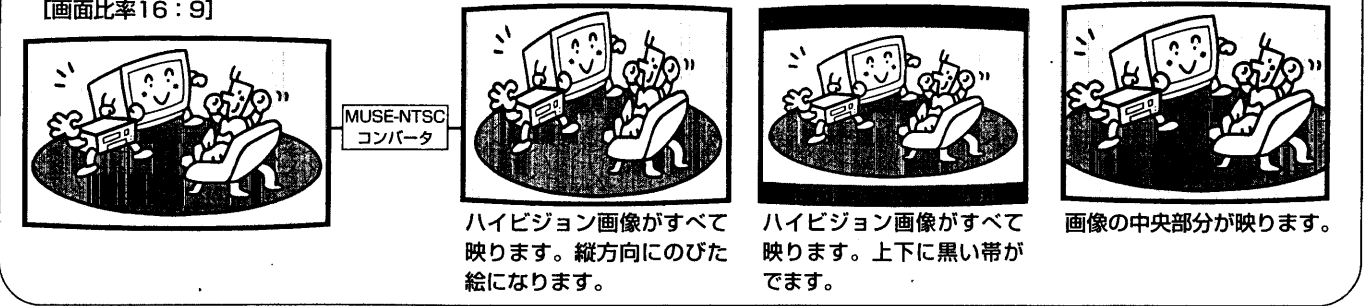
フルモード［画面比率4：3］

ハイビジョン画像がすべて映ります。縦方向にのびた絵になります。

ワイドモード［画面比率4：3］

ハイビジョン画像がすべて映ります。上下に黒い帯ができます。

ズームモード［画面比率4：3］

画像の中央部分が映ります。

設置・準備

MUSE-NTSCコンバータをつなぐ……•

BSチューナー内蔵テレビとつなぐと、BS放送を見ながら他のBS放送を録画することができます。たとえばWOWOW(BS5チャンネル)を見ながらNHKのBS放送を録画することができます。

- テレビにつないだD端子ケーブルと音声コードは、ビデオの同じ系統の出力端子(出力4)に接続してください。他の系統の端子に接続すると、映像と音声がずれます。
- VHF/UHFアンテナの接続については⑫⑥～⑫⑦ページ、BSアンテナの接続については⑫⑨ページをご覧ください。
- 機能設定のBSデジタル連動設定を「切り」、入力3設定を「BSデコーダ」に設定してください(㊻、㊼ページ参照)。
- ⑭②ページをご覧になり、WOWOW(BS5チャンネル)を見るための設定をしてください。
- ⑭③ページをご覧になり、ハイビジョン放送(BS9チャンネル)を見るための設定をしてください。

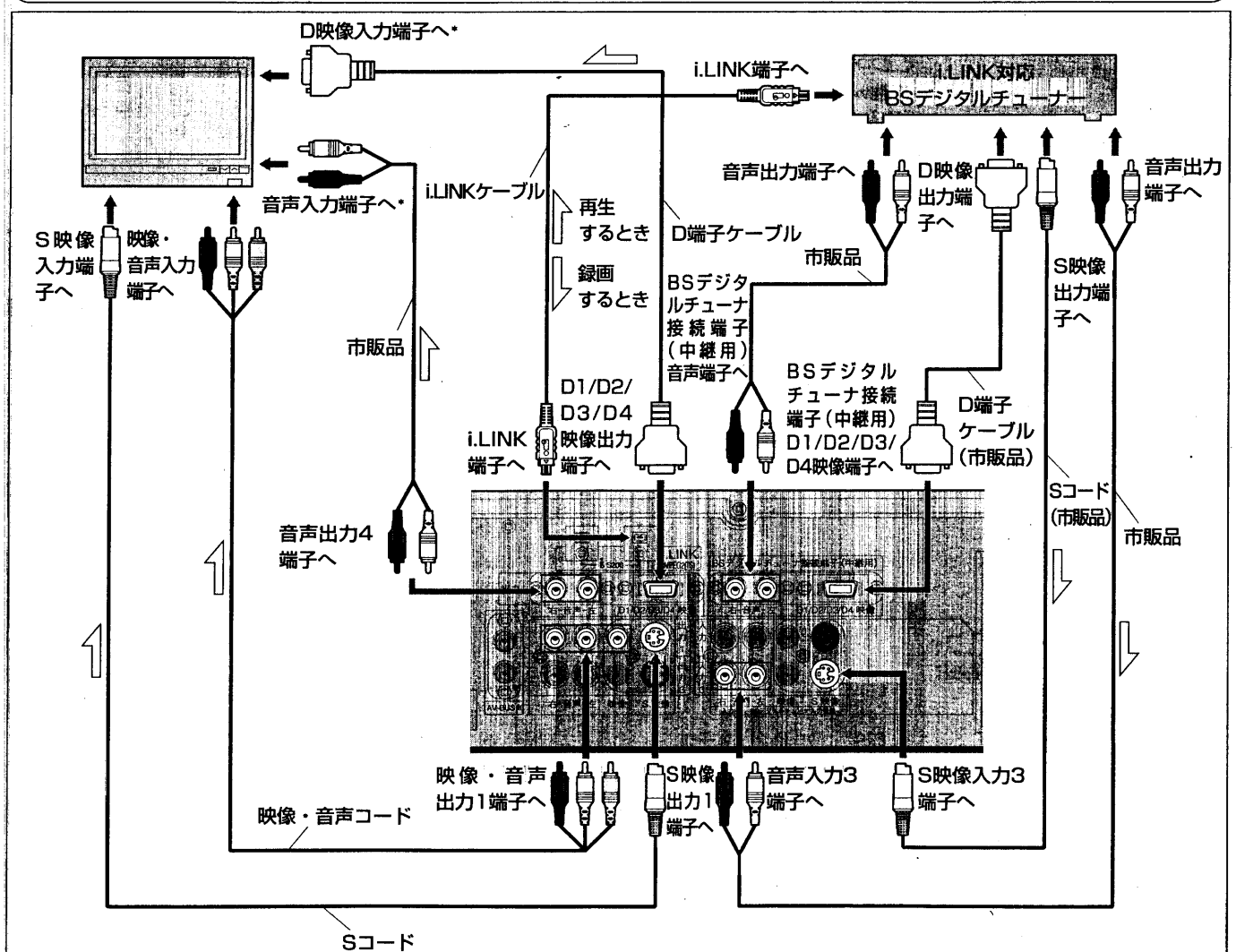
BSチューナー内蔵テレビとの接続

＊テレビにS映像入力端子があるとき接続してください。

＊＊テレビにD映像入力端子があるときだけつなぎます。D端子ケーブルと音声出力4につないだ音声コードは、テレビの同じ系統の入力端子につないでください。
テレビにコンポーネント映像入力端子がある場合は、コンポーネント映像変換用D端子コード(市販品)を使って接続してください(㉞ページ参照)。

i.LINK対応のBSデジタルチューナーとD映像入力端子付きテレビをつなぐ………•

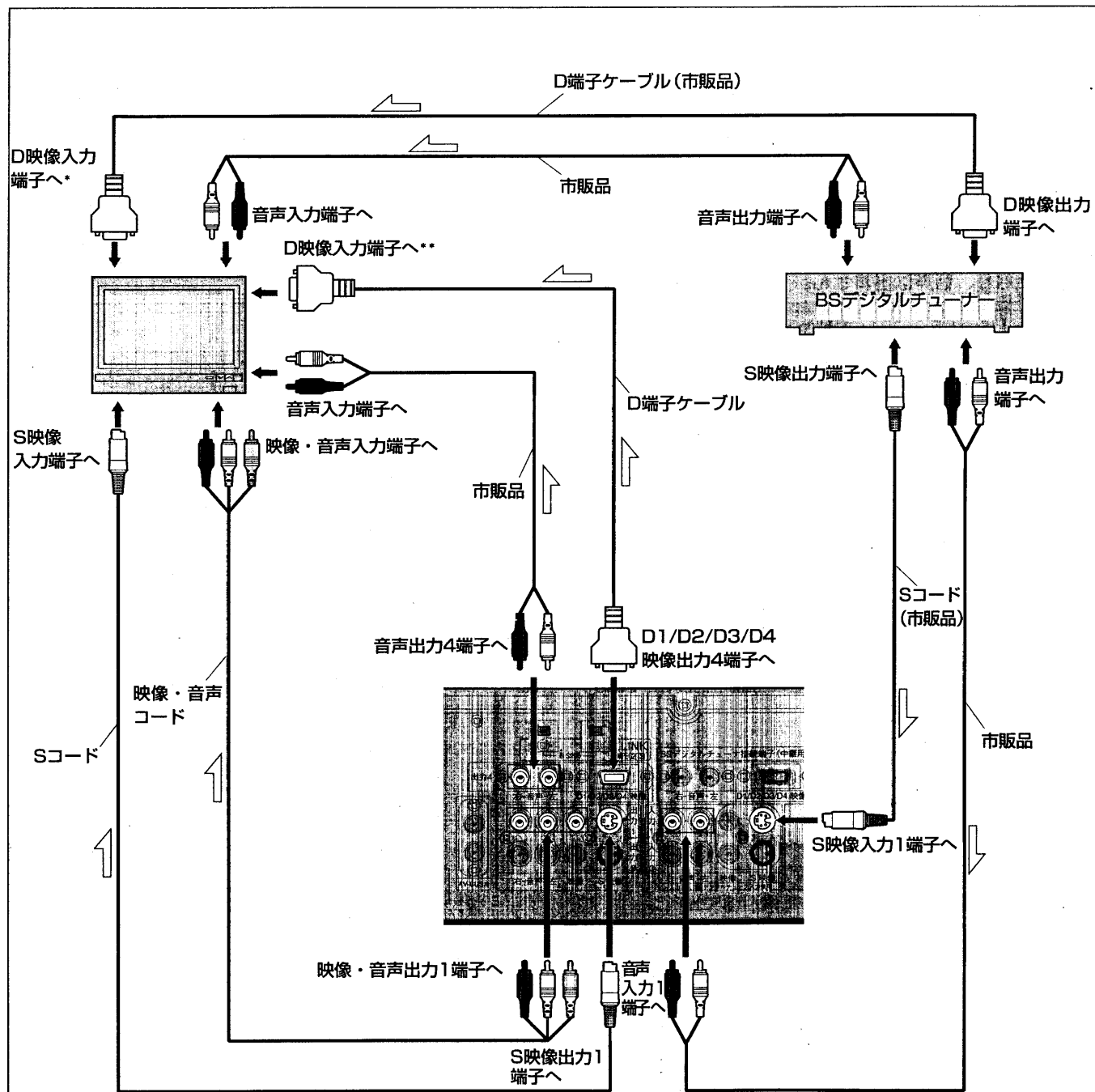
このビデオをi.LINK対応のBSデジタルチューナーとつなぐと、BSデジタル放送をデジタル信号のまま録画・再生したり、テレビの入力を切り換えることなくビデオの再生やBSデジタル放送を楽しむことができます。
i.LINKに対応していないBSデジタルチューナーを接続するときは、⑬⑥ページの方法で接続してください。
D映像入力端子やコンポーネント映像入力端子をもたないテレビと接続するときは、⑬⑦ページの方法で接続してください。
BSデジタル放送の録画・再生のしかたについては、㊽ページをご覧ください。別冊の接続説明書の❹～❽ページもご覧ください。別冊の接続説明書では、操作ごとに最低限必要となる基本的な接続について説明しています。

- i.LINK対応していないBSデジタルチューナーとつないだ場合は、ハイビジョン放送をハイビジョンで録画することはできません。
- BSデジタルチューナーのD端子から出力される映像信号を、接続するテレビに合わせてください。合わせかたについては、BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続する場合は、テレビの取扱説明書および接続説明書の⑫～⑮ページをご覧ください。
- BSデジタルチューナー接続端子は、BSデジタルチューナーの出力信号を中継して出力4端子から出力するためのものです。この端子に入力した信号を録画することはできません。
- i.LINK接続している場合は、BSデジタルチューナーの映像・音声信号は出力1(または出力2、または出力3)端子からは出力されません。また、i.LINK接続した機器で録画したBSデジタル放送を再生するときも、BSデジタルチューナーの映像・音声信号は出力1(または出力2、または出力3)端子から出力されません。灰色の画面または静止画になり、音声は出ません。

＊D端子ケーブルと音声出力4につないだ音声コードは、テレビの同じ系統の入力端子につないでください。
コンポーネント映像入力端子がついたテレビの場合は、コンポーネント映像変換用D端子コード(市販品)を使って接続してください(㉞ページ参照)。

設置・準備

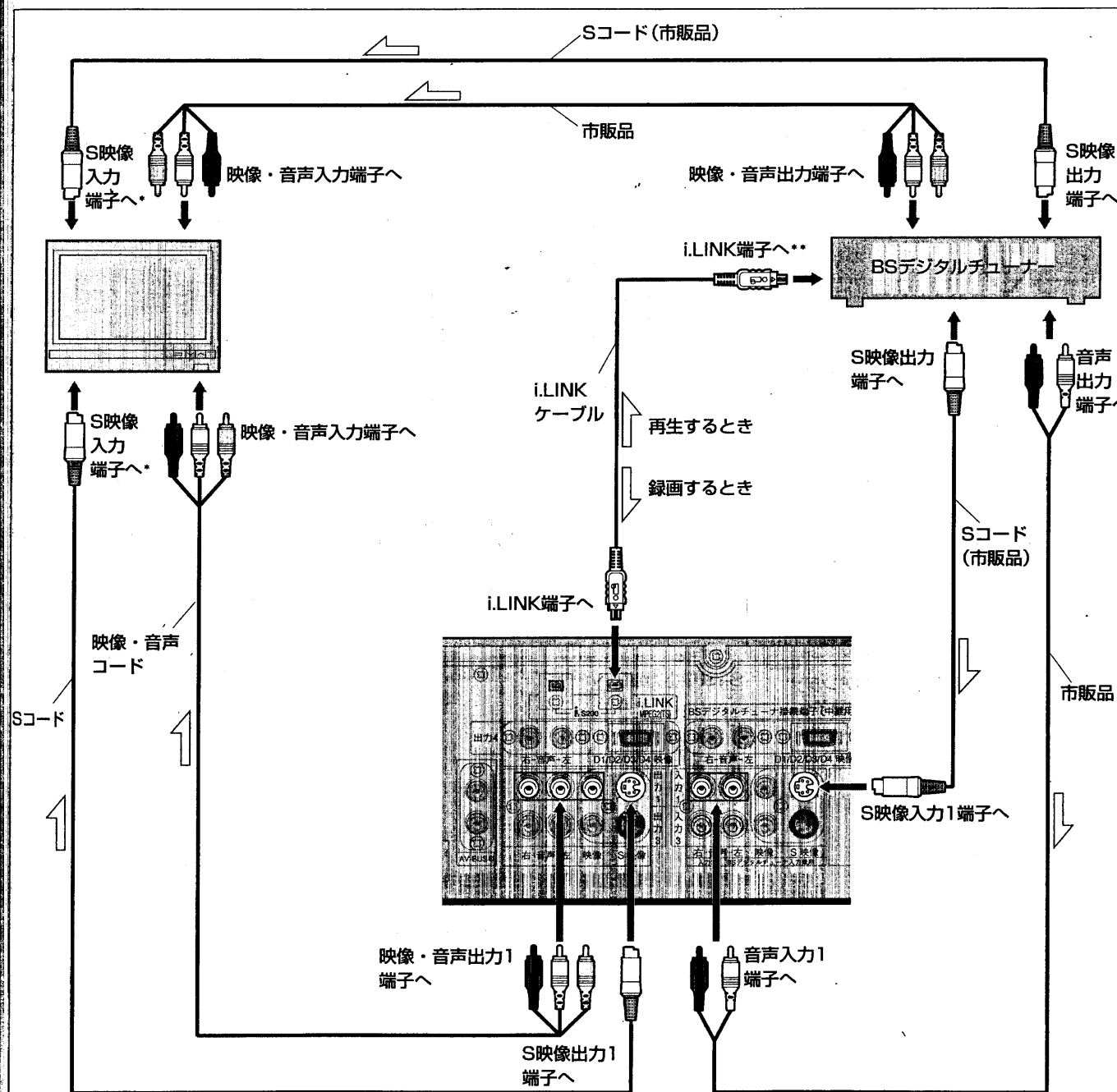
i.LINK対応していないBSデジタルチューナーをつなぐ…●

このビデオをBSデジタルチューナーとつなぐと、BSデジタル放送を録画・再生できます(㊾ページ参照)。
別冊の接続説明書の⑩、⑪ページもご覧ください。

- BSデジタルチューナーのD端子から出力される映像信号を接続するテレビに合わせてください。合わせかたについては、デジタルBSチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- テレビにD映像入力端子またはコンポーネント映像入力端子がない場合は、137ページの方法で接続してください。
- BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続する場合は、テレビの取扱説明書および接続説明書の⑫〜⑮ページをご覧ください。

＊D映像入力端子のかわりにコンポーネント映像入力端子がある場合は、コンポーネント映像変換用D端子コード(市販品)を使ってつなぐこともできます。
＊＊テレビにD映像入力端子が2系統あるときにつなぎます。また、D映像入力端子のほかにコンポーネント映像入力端子がある場合は、コンポーネント映像変換用D端子コード(市販品)を使ってつなぐこともできます(㉞ページ参照)。D端子ケーブルと音声出力4端子につないだ音声コードは、テレビの同じ系統の入力端子につないでください。

BSデジタルチューナーとD映像入力端子のないテレビをつなぐ…●

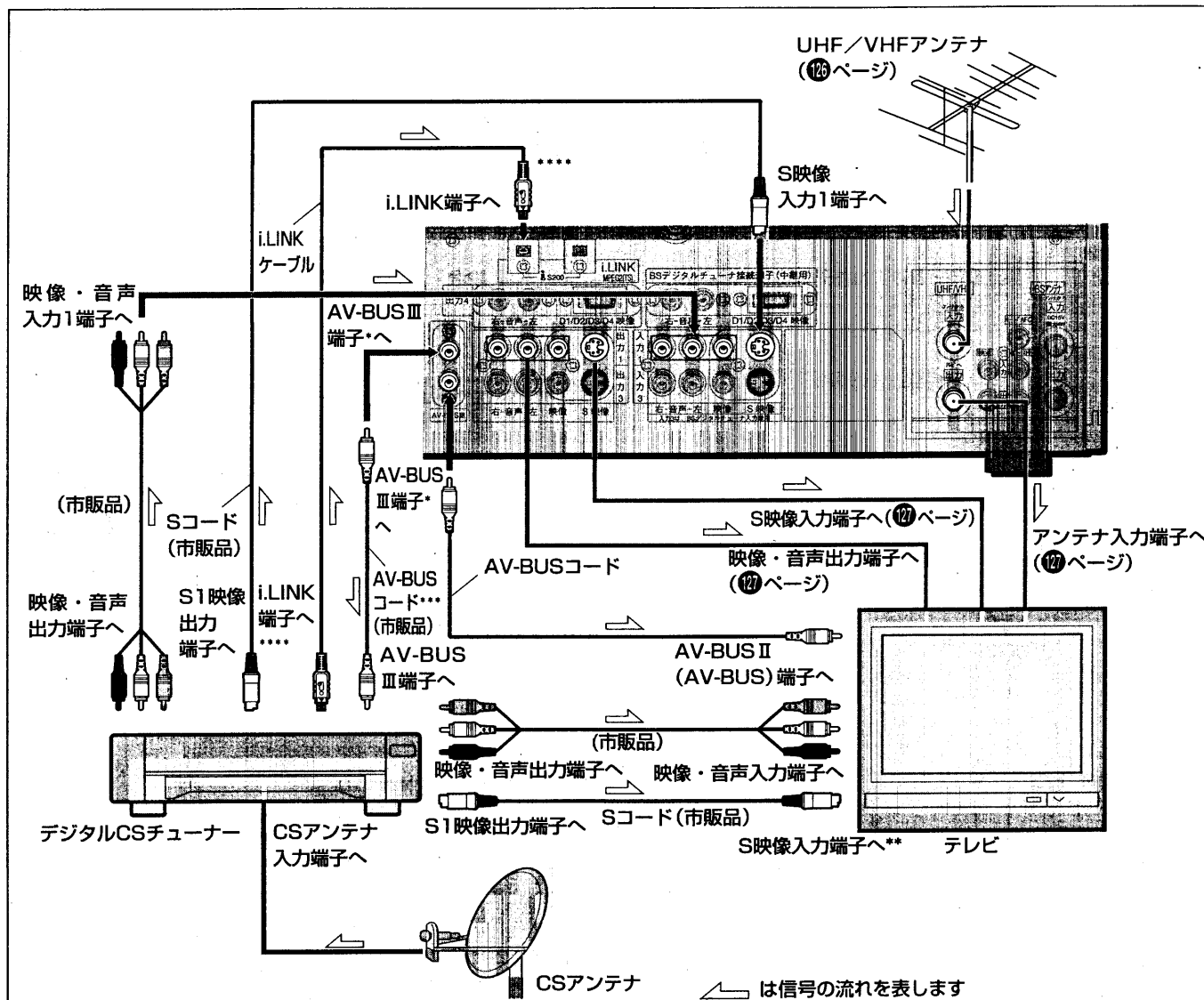
このビデオをBSデジタルチューナーとつなぐと、BSデジタル放送を録画・再生できます。
テレビにD映像入力端子がなくてもコンポーネント映像入力端子がついている場合は、135ページまたは136ページを参照して接続してください。(BSデジタルチューナーにi.LINK端子がついている場合は135ページ、i.LINK端子がない場合は136ページを参照。)
BSデジタル放送の録画・再生のしかたについては、㊽、㊾ページをご覧ください。
別冊の接続説明書の⑨、⑪ページもご覧ください。

- BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続する場合は、テレビの取扱説明書および接続説明書の⑫〜⑮ページをご覧ください。
- i.LINK接続している場合は、BSデジタルチューナーの映像・音声信号は出力1(または出力2、または出力3)端子からは出力されません。また、i.LINK接続した機器で録画したBSデジタル放送を再生するときも、BSデジタルチューナーの映像・音声信号は出力1(または出力2、または出力3)端子から出力されません。灰色の画面または静止画になり、音声は出ません。

＊テレビにS映像入力端子があるときだけつなぎます。
＊＊BSデジタルチューナーにi.LINK端子があるときだけつなぎます。

設置・準備

デジタルCSチューナーをつなぐ

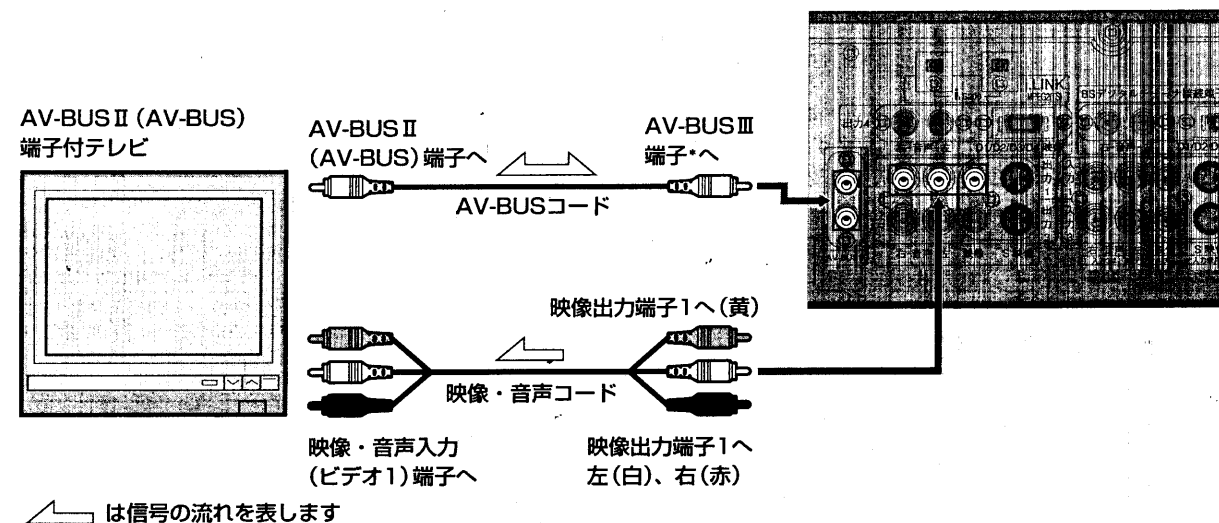
デジタルCS放送を録画するときは、デジタルCSチューナーをつないでください。あらかじめデジタルCSチューナーで、このビデオの録画操作の設定をしておいてください。デジタルCSチューナーが日立製で、AV-BUSⅢ端子がついているときは、このビデオのAV-BUSⅢ端子とつなぐと、ビデオコントローラー等を使わずにデジタルCSチューナーの予約に連動してタイマー録画することができます。

デジタルCSチューナーをこのビデオにつなぐときは、必ず後面の映像・音声入力1端子につないでください。他の端子につなぐとデジタルCSチューナーの予約に連動してタイマー録画することができません。

＊2個のAV-BUSⅢ端子のどちらにつないでもかまいません。
＊＊テレビにS映像入力端子があるときだけつなぎます。
＊＊＊デジタルCSチューナーにAV-BUSⅢ端子がないときは、この接続は必要ありません。
＊＊＊＊デジタルCSチューナーにi.LINK端子がないときは、この接続は必要ありません。

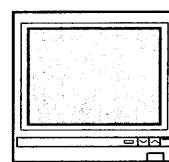
AV-BUSⅢ端子を使う

日立製のテレビやデジタル衛星放送用チューナーには、AV-BUSⅢ、AV-BUSⅡ(AV-BUS)端子がついているものがあります。これらの端子とビデオのAV-BUSⅢ端子をつなぐと、ビデオの操作に応じてテレビの電源や入力を自動的に切り換えることができます。

- AV-BUSⅢ端子を使うときは、ビデオのチャンネル切換ボタンを必ず「RF-OFF」にしてください(144ページ参照)。
- AV-BUSⅢ端子には、映像・音声コードなどを接続しないでください。
- AV-BUSコードでつないだ機器の主電源は切らないでください。組み合わせの機器により、AV-BUSが正しく動作しない場合があります。

AV-BUSⅡ端子付テレビをつなぐ

＊2個のAV-BUSⅢ端子のどちらにつないでもかまいません。

テレビをコントロールする

1 テレビの電源を「入」または「スタンバイ」にする

2 ビデオを操作する

ビデオの操作	テレビの動作
再生を始める	テレビの電源が自動的に入り、入力切換が「ビデオ」*になる
ビデオ／テレビ切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ	
ビデオ／テレビ切換ボタンで「テレビ」を選ぶ	入力切換が自動的に「テレビ」になる (テレビの電源は切れません)
ビデオの電源を切る	

＊テレビにビデオ入力端子が複数ある場合は「ビデオ1」になります。

- テレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

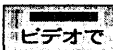
おしらせ

- このビデオには「見テ・録」機能はありませんので、AV-BUS端子付きテレビの見テ・録ボタンを押しても、ビデオは動作しません。

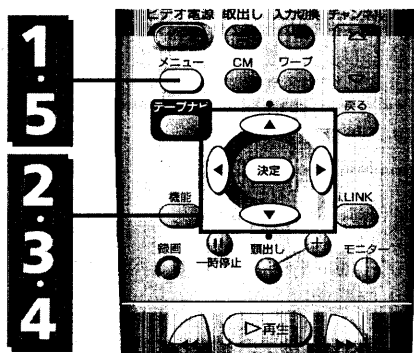
BSチャンネルを見るための設定

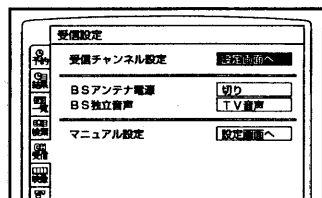
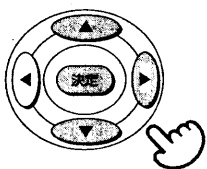
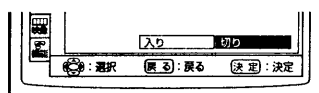
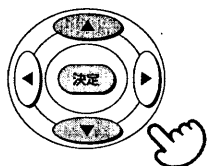
重要

- BSアンテナ、テレビ、ビデオが正しく接続されているか確かめてください。
- BSアンテナをつないでから、BSアンテナ電源を「入り」にしてください(129ページ参照)。
- BSアンテナの据付けについては、BSアンテナの取扱説明書をご覧ください。

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする（またはビデオチャンネル1または2を選ぶ）

- ビデオの電源を入れる

BSアンテナ電源を切り換える

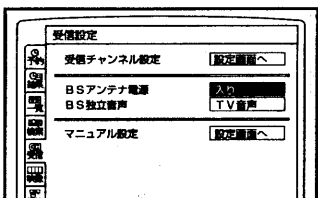
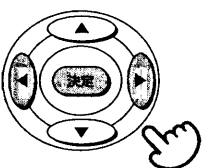
BSアンテナ電源の切換は、BSコンバータへの電源供給(+15V)をコントロールするための設定です。接続に合わせてBSアンテナ電源を切り換えてください。

1 メニューボタンを押す

2 ▼、▲ボタンで「受信設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで「BSアンテナ電源」を選び、決定ボタンを押す

- 工場出荷時は、「BSアンテナ電源」は「切り」に設定されています。

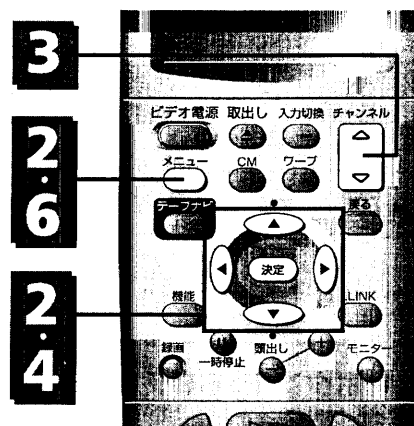
BSアンテナ電源	BSアンテナの接続	電源供給
入り	このビデオ専用のBSアンテナを接続しているとき	ビデオの電源が切れても、常にBSコンバータに電源が供給される
切り	テレビ共同受信設備（マンションなど）のアンテナ引き込み線を接続しているとき	このビデオからはBSコンバータに電源を供給しない

おしらせ

- 1台のBSアンテナを他の機器と共有しているときは、本機のBSアンテナ電源の切り換えを「入り」にしたら、他のBS受信機は、「切り」に設定してください。

4 ◀、▶ボタンで「入り」を選び、決定ボタンを押す

5 メニューボタンを押す

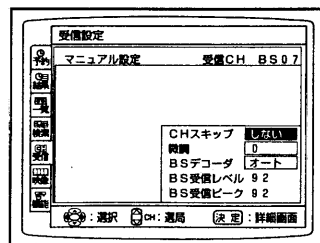
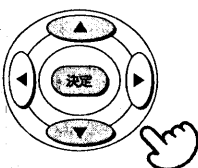
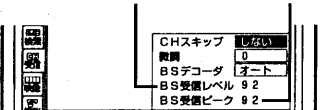
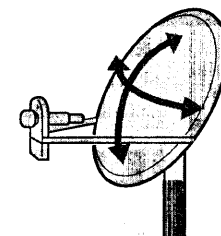
BSアンテナの方向を調整する

BSアンテナの向きは、正確な調整が必要です。できるだけ据付けは販売店に依頼することをおすすめします。ご自分で据付けたときは次のように調整してください。

1 BSアンテナ電源を正しく切り換える(140ページ参照)

2 受信設定の画面を出す

- 操作のしかたは96、97ページ1、2をご覧ください。

3 チャンネルボタンでBS7チャンネルを選ぶ

4 ▼、▲ボタンで「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す

5 アンテナの向きを調整する

- テレビの映りを見ながら、数値が最大になるように調整してください。BS信号を受信すると画像が映ります。一度上下、左右いっぱいにアンテナを動かして受信レベルのピーク値を見つけ、その位置に合わせるのがコツです。
- 上のイラストの受信レベルは、説明のための数字です。

おしらせ

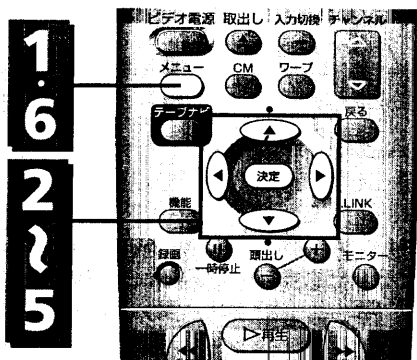
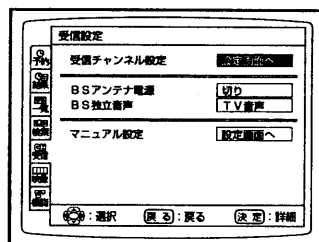
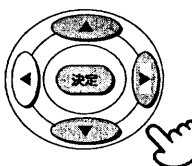
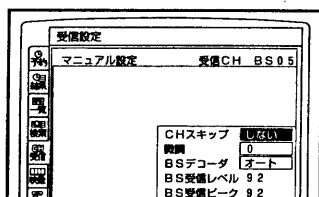
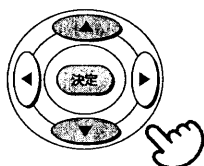
アンテナ受信レベルについて

- 受信レベルはアンテナの大きさや種類、また雨や雪などの気象条件に影響を受け、数値は時間によって増えたり、減ったりすることがあります。画面がきれいに映るように調整すれば大丈夫です。
- アンテナによっては、オートチャンネル設定したあと微調整をしないと、映像がきれいに映らないことがあります。152ページを参照のうえ、微調整をしてください。

6 メニューボタンを押す

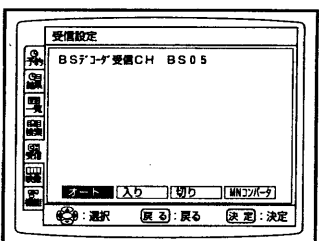
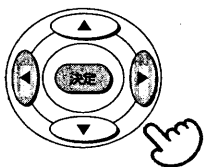
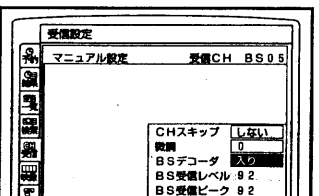
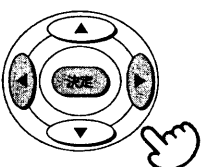
BSデコーダの設定を「オート」か「入り」にしたときは、必ずBSデコーダの電源を入れてください。BSデコーダの電源が切れていると、BSデコーダを「オート」か「入り」に設定したチャンネルを見ることが出来ません。

WOWOW(BS5チャンネル)を見るための設定

本機にBSデコーダを接続してBSチャンネルを選ぶと、スクランブルが解除された映像を見ることができます。もし、画像が乱れたり、きれいに映らないときは、次の設定をしてください。

1 メニューボタンを押す

2 ▼、▲ボタンで「受信設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

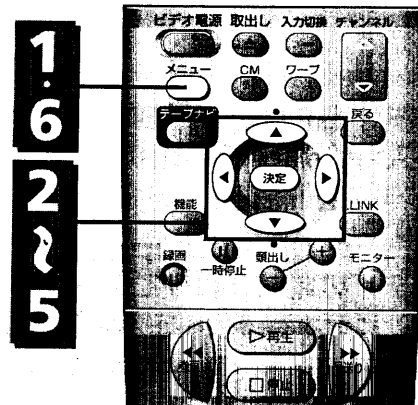
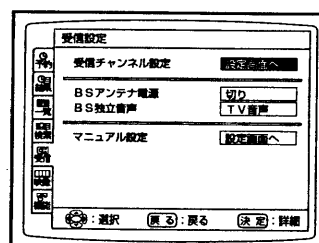
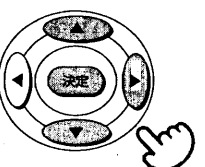
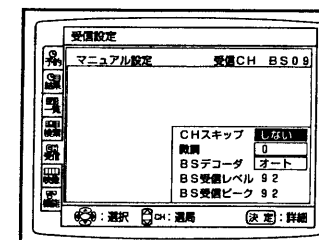
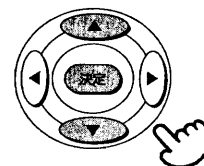
3 ▼、▲ボタンで「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す

おしらせ
•BSチャンネル以外を選んだ状態では、「BSデコーダ」設定画面が出ません。BSチャンネルを選んでください。

4 ◀、▶ボタンで「BSデコーダ」を選び、決定ボタンを押す

5 ◀、▶ボタンを押して「オート」か「入り」を選び、決定ボタンを押す

6 メニューボタンを押す

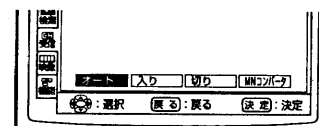
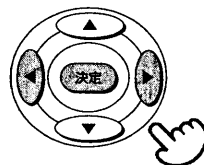
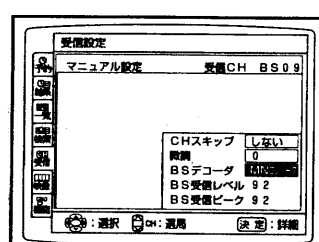
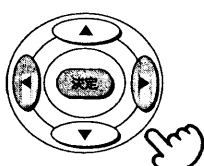
おしらせ
•録画するときは67ページを参照してください。

ハイビジョン放送(BS 9チャンネル)を見るための設定

MUSE-NTSCコンバータからの映像・音声は、ビデオのMUSE-NTSCコンバータ入力端子に入ります。
BS 9チャンネルを選んだとき、MUSE-NTSCコンバータ入力端子からの映像・音声に切り換えるため、次のように設定してください。

1 メニューボタンを押す

2 ▼、▲ボタンで「受信設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

3 ▼、▲ボタンで「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す

おしらせ
•BSチャンネル以外を選んだ状態では、「BSデコーダ」設定画面が出ません。BSチャンネルを選んでください。

4 ◀、▶ボタンで「BSデコーダ」を選び、決定ボタンを押す

5 ◀、▶ボタンを押して「MNコンバータ」を選び、決定ボタンを押す

6 メニューボタンを押す

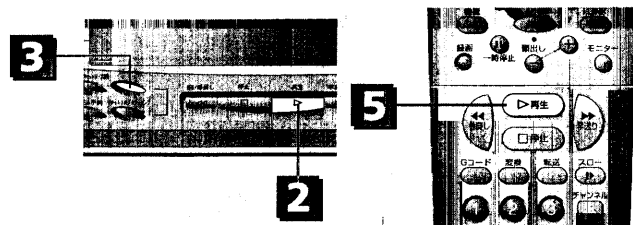
おしらせ
•録画するときは61ページを参照してください。

ビデオとテレビの接続を確認する

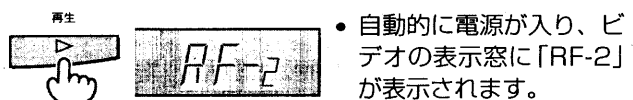
接続が終わったら、正しく接続できたか確認してください。

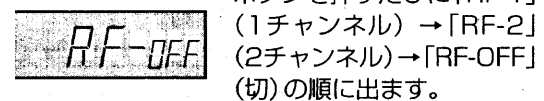
重要

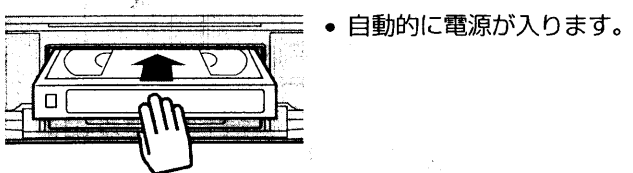
テープが入っていると正しく接続できたか確かめることができません。テープを取り出してから操作を始めてください。

D端子ケーブルと音声コードを使ってテレビとビデオをつないでいるとき

1 ビデオとテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする

- ビデオで選んだ番組がテレビに映ります。
- D端子ケーブル・音声コードをつないでいるときは、テレビの入力切換をD端子の入力にしてください。

2 ビデオの電源を切ってテープを入れずに、ビデオ本体の再生ボタンを押す

- 自動的に電源が入り、ビデオの表示窓に「RF-2」が表示されます。

3 ビデオ本体のチャンネル▲ボタンを押して、「RF-OFF」(切)を出す

- ボタンを押すたびに「RF-1」(1チャンネル)→「RF-2」(2チャンネル)→「RF-OFF」(切)の順に出ます。

4 録画済みのテープを入れる

- 自動的に電源が入ります。

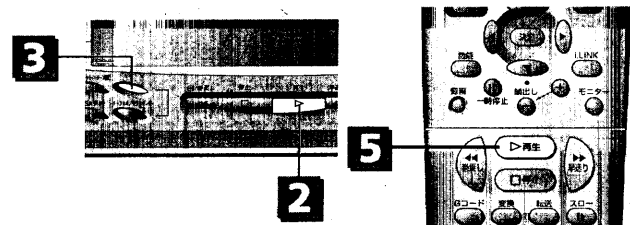
5 再生ボタンを押す

- 再生が始まります。映像と音声が出れば正しく接続されています。

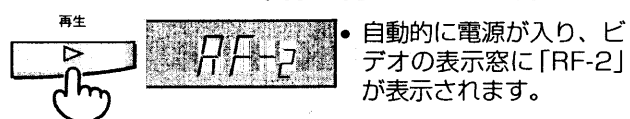
おしらせ

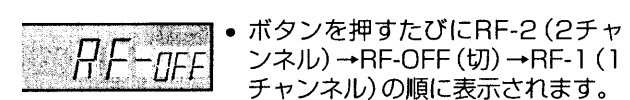
ビデオの再生画が映らないとき

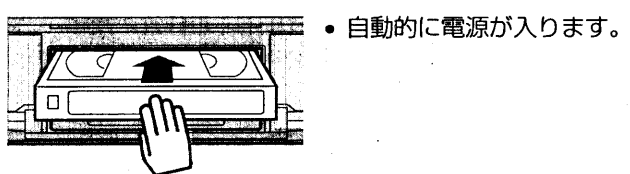
- 映像・音声コードの接続を確かめてください(126ページ参照)。
- 「ビデオ」入力や「D端子」入力が複数ある場合は、ビデオと接続した入力に、テレビの入力を切り換えてください。

映像・音声コードを使ってテレビとビデオをつないでいるとき

1 ビデオとテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする

- ビデオで選んだ番組がテレビに映ります。

2 ビデオの電源を切ってテープを入れずに、ビデオ本体の再生ボタンを押す

- 自動的に電源が入り、ビデオの表示窓に「RF-2」が表示されます。

3 ビデオ本体のチャンネル▲ボタンを押して、「RF-OFF」(切)を表示させる

- ボタンを押すたびにRF-2(2チャンネル)→RF-OFF(切)→RF-1(1チャンネル)の順に表示されます。

4 録画済みのテープを入れる

- 自動的に電源が入ります。

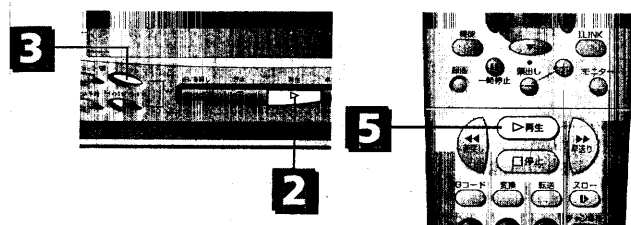
5 再生ボタンを押す

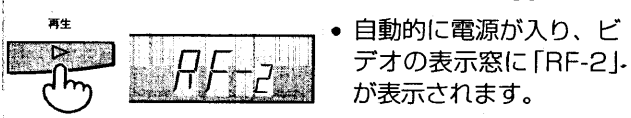
- 再生が始まります。映像と音声が出れば正しく接続されています。

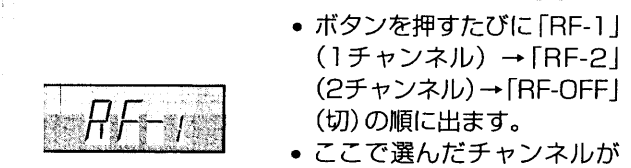
おしらせ

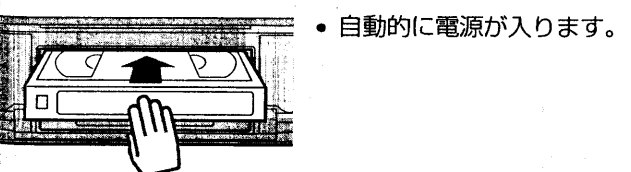
ビデオの再生画が映らないとき

- 映像・音声コードの接続を確かめてください(126ページ参照)。

アンテナ線だけでテレビとビデオをつないでいるとき

1 テレビの電源を入れ、放送のないチャンネル(1または2)を選ぶ

2 ビデオの電源を切ってテープを入れずに、ビデオ本体の再生ボタンを押す

- 自動的に電源が入り、ビデオの表示窓に「RF-2」が表示されます。

3 ビデオ本体のチャンネル▲ボタンを押して、テレビで選んだチャンネルを出す

- ボタンを押すたびに「RF-1」(1チャンネル)→「RF-2」(2チャンネル)→「RF-OFF」(切)の順に出ます。
- ここで選んだチャンネルがビデオ専用チャンネル(ビデオチャンネル)です。

4 録画済みのテープを入れる

- 自動的に電源が入ります。

5 再生ボタンを押す

- 再生が始まります。映像と音声が出れば、正しく接続されています。

おしらせ

ビデオの再生画が映らないとき

- アンテナ線の接続を確かめてください(126ページ)。
- テレビのビデオチャンネルを合わせ直してください。

受信チャンネルを合わせる

受信チャンネルの合わせかたは、 地域受信チャンネル と オートチャンネル の2通りあります。まず地域受信チャンネルで合わせてみて(146～149)、すべてのチャンネルがきれいに受信できないときは、オートチャンネルで合わせ直してください(150～152)。
ケーブルテレビの受信契約をしているときには、オートチャンネルで合わせてください(150～152ページ)。

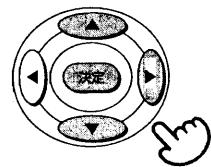
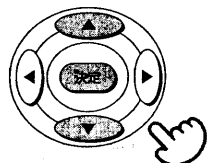
1. 地域受信チャンネルで受信チャンネルを合わせる

お住まいの都市の地方名と都市名を選ぶと、地域受信チャンネル一覧表に記載された放送局を自動的に設定することができます。

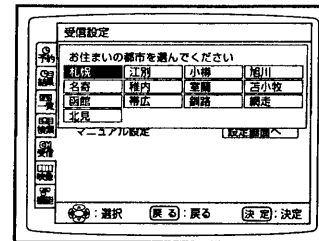
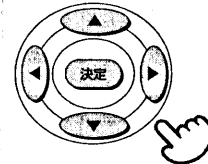
- 地域受信チャンネルを合わせる前に、アンテナや他の機器との接続とBSチャンネルを見るための設定を確認してください。
- 地域受信チャンネル一覧表に記載されている都市にお住まいでも、地域によって放送局が異なる場合があります。隣接する都道府県の都市名も参考にして、お住まいの地域で受信できる放送局の組み合わせに一番合った都市名を選んでください。

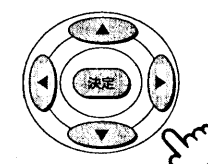
1 メニューボタンを押す

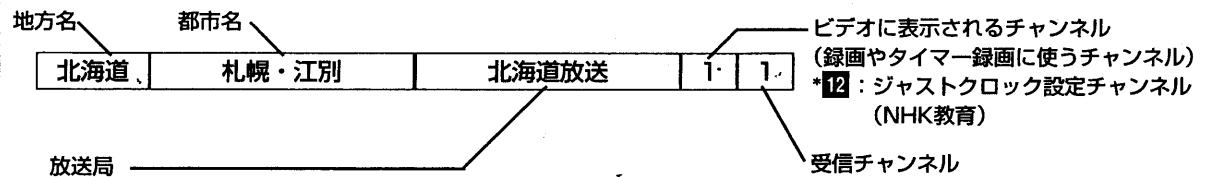
メニュー

2 ▼、▲ボタンで「受信設定」を選び、▶ボタンか決定ボタンを押す

3 カーソルボタンで「受信チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

4 ▼、▲ボタンで「地域選択開始」を選び、決定ボタンを押す

- 地方の一覧が出ます。

5 カーソルボタンでお住まいの地方を選び、決定ボタンを押す

- 選んだ地方の都市の一覧が出ます。

6 カーソルボタンでお住まいの都市を選び、決定ボタンを押す

- 設定されたチャンネルが確認画面に出ます。
- 受信できるかどうか確認してから設定する場合は「はい」を、確認しないで設定だけする場合は「いいえ」を選んでください。
- メニューボタンを押すとテレビの受信画面になります。

表の見かた

おしらせ

- 地域受信チャンネルで受信チャンネルを合わせると、BSチャンネル(BS5、BS7、BS9、BS11)も自動的に設定されます。
- 地域受信チャンネルで設定できない場合は、オートチャンネル設定で合わせてください。

■地域受信チャンネル一覧表

地方名	都市名															
北海道	札幌・江別	北海道放送	1	1	NHK総合	3	3	札幌テレビ	5	5	NHK教育	12	12	テレビ北海道	17	17
	小樽	NHK教育	2	2	北海道テレビ	4	4	札幌テレビ	7	7	北海道放送	9	9	NHK総合	11	11
	旭川	NHK教育	2	2	札幌テレビ	7	7	NHK総合	9	9	北海道放送	11	11	テレビ北海道	33	33
	名寄	NHK総合	4	4	札幌テレビ	6	6	北海道放送	10	10	NHK教育	12	12	北海道テレビ	24	24
	稚内	北海道放送	10	10	札幌テレビ	22	22	北海道テレビ	24	24	北海道文化放送	26	26	NHK総合	28	28
	室蘭	NHK教育	2	2	札幌テレビ	7	7	NHK総合	9	9	北海道放送	11	11	テレビ北海道	29	29
	苫小牧	テレビ北海道	47	47	NHK教育	49	49	NHK総合	51	51	北海道文化放送	53	53	北海道放送	55	55
	函館	NHK総合	4	4	北海道放送	6	6	NHK教育	10	10	札幌テレビ	12	12	テレビ北海道	21	21
	帯広	NHK総合	4	4	北海道放送	6	6	札幌テレビ	10	10	NHK教育	12	12	北海道文化放送	32	32
	釧路	NHK教育	2	2	札幌テレビ	7	7	NHK総合	9	9	北海道放送	11	11	北海道テレビ	39	39
	網走	北海道放送	1	1	NHK総合	3	3	札幌テレビ	5	5	NHK教育	12	12	北海道文化放送	27	27
	北見	NHK教育	2	2	札幌テレビ	7	7	NHK総合	9	9	北海道放送	53	53	北海道文化放送	59	59
東北	青森・弘前	青森放送	1	1	NHK総合	3	3	NHK教育	5	5	青森朝日	34	34	青森テレビ	38	38
	八戸	NHK教育	7	7	NHK総合	9	9	青森放送	11	11	青森朝日	31	31	青森テレビ	33	33
	むつ	NHK総合	4	4	青森放送	10	10	NHK教育	12	12	青森朝日	56	56	青森テレビ	58	58
	盛岡	NHK総合	4	4	岩手放送	6	6	NHK教育	8	8	岩手朝日	31	31	めんこい	33	33
	釜石	NHK総合	2	2	岩手放送	10	10	NHK教育	12	12	テレビ岩手	58	58	めんこい	60	60
	二戸	岩手放送	2	2	NHK総合	5	5	NHK教育	12	12	岩手朝日	27	27	めんこい	29	29
	秋田	NHK教育	2	2	NHK総合	9	9	秋田放送	11	11	秋田朝日	31	31	秋田テレビ	37	37
	大館	NHK総合	4	4	秋田放送	6	6	NHK教育	8	8	秋田テレビ	57	57	秋田朝日	59	59
	大曲	秋田朝日	41	41	NHK教育	43	43	NHK総合	45	45	秋田放送	47	47	秋田テレビ	51	51
	仙台	東北放送	1	1	NHK総合	3	3	NHK教育	5	5	仙台放送	12	12	東日本放送	32	32
	石巻	NHK教育	49	49	NHK総合	51	51	宮城テレビ	55	55	仙台放送	57	57	東北放送	59	59
	気仙沼	NHK総合	2	2	東北放送	4	4	仙台放送	6	6	NHK教育	10	10	宮城テレビ	37	37
	山形	NHK教育	4	4	NHK総合	8	8	山形放送	10	10	さくらんぼテレビ	30	30	テレビュー山形	36	36
	鶴岡・酒田	山形放送	1	1	NHK総合	3	3	NHK教育	6	6	テレビュー山形	22	22	さくらんぼテレビ	24	24
	米沢	NHK教育	50	50	NHK総合	52	52	山形放送	54	54	テレビュー山形	56	56	山形テレビ	58	58
	福島・郡山	NHK教育	2	2	NHK総合	9	9	福島テレビ	11	11	テレビュー福島	31	31	福島中央	33	33
	いわき	NHK総合	4	4	福島テレビ	8	8	NHK教育	10	10	テレビュー福島	32	32	福島中央	34	34
	会津若松	NHK総合	1	1	NHK教育	3	3	福島テレビ	6	6	福島中央	37	37	福島放送	41	41
関東	水戸	NHK総合	1	44	NHK教育	3	46	日本テレビ	4	42	TBSテレビ	6	40	フジテレビ	8	38
	日立・ひたちなか	NHK総合	1	52	NHK教育	3	50	日本テレビ	4	54	TBSテレビ	6	56	フジテレビ	8	58
	宇都宮	NHK総合	1	29	NHK教育	3	27	日本テレビ	4	25	TBSテレビ	6	23	フジテレビ	8	21
	矢板	NHK総合	1	51	NHK教育	3	49	日本テレビ	4	53	TBSテレビ	6	55	フジテレビ	8	57
	前橋・伊勢崎・高崎	NHK総合	1	52	NHK教育	3	50	日本テレビ	4	54	TBSテレビ	6	56	フジテレビ	8	58
	桐生	NHK総合	1	43	NHK教育	3	45	日本テレビ	4	39	TBSテレビ	6	37	フジテレビ	8	35
	浦和	NHK総合	1	1	NHK教育	3	3	日本テレビ	4	4	TBSテレビ	6	6	フジテレビ	8	8
	熊谷	NHK総合	1	33	NHK教育	3	35	日本テレビ	4	25	TBSテレビ	6	23	フジテレビ	8	21
	秩父	NHK総合	1	51	NHK教育	3	49	日本テレビ	4	53	TBSテレビ	6	55	フジテレビ	8	57

都市名																					
札幌・江別	北海道文化放送	27	27	北海道テレビ	35	35															
小樽	テレビ北海道	24	24	北海道文化放送	26	26															
旭川	北海道文化放送	37	37	北海道テレビ	39	39															
名寄	北海道文化放送	26	26																		
稚内	NHK教育	30	30																		
室蘭	北海道文化放送	37	37	北海道テレビ	39	39															
苫小牧	札幌テレビ	57	57	北海道テレビ	61	61															
函館	北海道文化放送	27	27	北海道テレビ	35	35															
帯広	北海道テレビ	34	34																		
釧路	北海道文化放送	41	41																		
網走	北海道テレビ	35	35																		
北見	北海道テレビ	61	61																		
青森・弘前																					
八戸																					
むつ																					
盛岡	テレビ岩手	35	35																		
釜石	岩手朝日	62	62																		
二戸	テレビ岩手	37	37																		
秋田																					
大館																					
大曲																					
仙台	宮城テレビ	34	34																		
石巻	東日本放送	61	61																		
気仙沼	東日本放送	43	43																		
山形	山形テレビ	38	38																		
鶴岡・酒田	山形テレビ	39	39																		
米沢	さくらんぼテレビ	60	60																		
福島・郡山	福島放送	35	35																		
いわき	福島放送	36	36																		
会津若松	テレビュー福島	47	47																		
水戸	テレビ朝日	10	36	テレビ東京	12	32															
日立・ひたちなか	テレビ朝日	10	60	テレビ東京	12	62															
宇都宮	テレビ朝日	10	19	テレビ東京	12	17	とちぎテレビ	31	31												
矢板	テレビ朝日	10	59	テレビ東京	12	61	とちぎテレビ	31	33												
前橋・伊勢崎・高崎	テレビ朝日	10	60	テレビ東京	12	62	放送大学	16	40	群馬テレビ	48	48									
桐生	テレビ朝日	10	33	テレビ東京	12	31	放送大学	16	40	群馬テレビ	48	41									
浦和	テレビ朝日	10	10	テレビ東京	12	12	MXテレビ	14	14	放送大学	16	16	テレビ埼玉	38	38						
熊谷	テレビ朝日	10	19	テレビ東京	12	17	テレビ埼玉	38	28												
秩父	テレビ朝日	10	59	テレビ東京	12	61	テレビ埼玉	38	47												

設置・準備

地方名	都市名															
関東	千葉	NHK総合	1	1	NHK教育	3	3	日本テレビ	4	4	TBSテレビ	6	6	フジテレビ	8	8
	銚子	NHK総合	1	51	NHK教育	3	49	日本テレビ	4	53	TBSテレビ	6	55	フジテレビ	8	57
	*横浜1	NHK総合	1	52	NHK教育	3	50	日本テレビ	4	54	TBSテレビ	6	56	フジテレビ	8	58
	*横浜2	NHK総合	1	1	NHK教育	3	3	日本テレビ	4	4	TBSテレビ	6	6	フジテレビ	8	8
	平塚・茅ケ崎	NHK総合	1	33	NHK教育	3	29	日本テレビ	4	35	TBSテレビ	6	37	フジテレビ	8	39
	秦野	NHK総合	1	47	NHK教育	3	49	日本テレビ	4	51	TBSテレビ	6	53	フジテレビ	8	55
	小田原	NHK総合	1	52	NHK教育	3	50	日本テレビ	4	54	TBSテレビ	6	56	フジテレビ	8	58
	23区	NHK総合	1	1	NHK教育	3	3	日本テレビ	4	4	TBSテレビ	6	6	フジテレビ	8	8
	八王子	NHK総合	1	51	NHK教育	3	49	日本テレビ	4	53	TBSテレビ	6	55	フジテレビ	8	57
	多摩	NHK総合	1	30	NHK教育	3	32	日本テレビ	4	26	TBSテレビ	6	24	フジテレビ	8	22
中部・北陸	甲府	NHK総合	1	1	NHK教育	3	3	山梨放送	5	5	テレビ山梨	37	37			
	新潟・長岡	新潟放送	5	5	NHK総合	8	8	NHK教育	12	12	新潟テレビ21	21	21	テレビ新潟	29	29
	上越	NHK教育	1	1	NHK総合	3	3	新潟放送	10	10	テレビ新潟	27	27	新潟総合	33	33
	**長野1	NHK総合	2	44	NHK教育	9	46	信越放送	11	48	長野朝日	20	50	テレビ信州	30	40
	**長野2	NHK総合	2	2	NHK教育	9	9	信越放送	11	11	長野朝日	20	20	テレビ信州	30	30
	松本	信越放送	40	40	長野放送	42	42	NHK総合	44	44	NHK教育	46	46	テレビ信州	48	48
	飯田	NHK教育	3	3	NHK総合	4	4	信越放送	6	6	長野放送	40	40	テレビ信州	42	42
	岡谷・諏訪	NHK総合	4	4	信越放送	6	6	NHK教育	8	8	長野放送	47	47	テレビ信州	59	59
	富山	北日本放送	1	1	NHK総合	3	3	NHK教育	10	10	チューリップTV	32	32	富山テレビ	34	34
	高岡	チューリップTV	42	42	富山テレビ	44	44	NHK教育	46	46	NHK総合	48	48	北日本放送	50	50
	金沢・小松	NHK総合	4	4	北陸放送	6	6	NHK教育	8	8	北陸朝日	25	25	テレビ金沢	33	33
	七尾	NHK教育	5	5	NHK総合	9	9	北陸放送	11	11	石川テレビ	55	55	テレビ金沢	57	57
	福井	NHK教育	3	3	北陸放送	6	6	NHK総合	9	9	福井放送	11	11	福井テレビ	39	39
	敦賀	NHK総合	6	6	福井放送	8	8	NHK教育	12	12	福井テレビ	38	38			
	静岡・清水	NHK教育	2	2	NHK総合	9	9	静岡放送	11	11	静岡第一	31	31	静岡朝日	33	33
	浜松	NHK総合	4	4	静岡放送	6	6	NHK教育	8	8	静岡朝日	28	28	静岡第一	30	30
	富士・富士宮	静岡第一	27	27	静岡朝日	29	29	テレビ静岡	39	39	静岡放送	41	41	NHK総合	52	52
	沼津・三島	NHK教育	51	51	NHK総合	53	53	静岡放送	55	55	静岡朝日	57	57	テレビ静岡	59	59
	島田	NHK総合	1	15	NHK教育	3	18	静岡放送	5	22	静岡第一	48	48	静岡朝日	50	50
	藤枝	静岡第一	24	24	静岡朝日	26	26	テレビ静岡	38	38	静岡放送	40	40	NHK総合	42	42
	名古屋	東海テレビ	1	1	NHK総合	3	3	中部日本放送	5	5	NHK教育	9	9	名古屋テレビ	11	11
	豊橋・豊川	東海テレビ	1	56	NHK総合	3	54	中部日本放送	5	62	NHK教育	9	50	名古屋テレビ	11	60
	豊田	東海テレビ	1	57	NHK総合	3	53	中部日本放送	5	55	NHK教育	9	51	名古屋テレビ	11	61
	蒲郡田原	東海テレビ	1	38	NHK総合	3	44	中部日本放送	5	36	NHK教育	9	46	名古屋テレビ	11	42
	岐阜・大垣	東海テレビ	1	1	NHK総合(名古屋)	3	3	中部日本放送	5	5	NHK教育	9	9	名古屋テレビ	11	11
	高山	NHK教育	2	2	NHK総合	4	4	中部日本放送	6	6	東海テレビ	8	8	名古屋テレビ	12	12
	中津川	NHK総合	4	4	名古屋テレビ	6	6	中部日本放送	8	8	東海テレビ	10	10	NHK教育	12	12
関西	津	東海テレビ	1	1	NHK総合	3	3	中部日本放送	5	5	NHK教育	9	9	名古屋テレビ	11	11
	伊勢	東海テレビ	1	57	NHK総合	3	53	中部日本放送	5	55	NHK教育	9	49	名古屋テレビ	11	61
	名張・上野	NHK総合	2	2	毎日放送	4	4	朝日放送	6	6	関西テレビ	8	8	読売テレビ	10	10
	京都	NHK総合	2	2	毎日放送	4	4	朝日放送	6	6	関西テレビ	8	8	読売テレビ	10	10
	**舞鶴1	NHK総合	2	43	毎日放送	4	33	朝日放送	6	35	関西テレビ	8	39	読売テレビ	10	41
	**舞鶴2	NHK総合	2	51	毎日放送	4	53	朝日放送	6	55	関西テレビ	8	59	読売テレビ	10	61
	福知山	NHK総合	2	50	毎日放送	4	54	朝日放送	6	58	関西テレビ	8	60	読売テレビ	10	62
	宮津	NHK総合	2	43	毎日放送	4	33	朝日放送	6	35	関西テレビ	8	37	読売テレビ	10	41
	大津	NHK総合	2	28	毎日放送	4	36	朝日放送	6	38	関西テレビ	8	40	読売テレビ	10	42
	彦根	NHK総合	2	52	毎日放送	4	54	朝日放送	6	58	関西テレビ	8	60	読売テレビ	10	62
	大阪	NHK総合	2	2	毎日放送	4	4	朝日放送	6	6	関西テレビ	8	8	読売テレビ	10	10
	奈良・橿原	NHK総合	2	2	毎日放送	4	4	朝日放送	6	6	関西テレビ	8	8	読売テレビ	10	10
	五条	NHK総合	2	43	毎日放送	4	33	朝日放送	6	35	関西テレビ	8	37	読売テレビ	10	39
	和歌山	NHK総合	2	32	毎日放送	4	42	朝日放送	6	44	関西テレビ	8	46	読売テレビ	10	48
	白浜	NHK総合	2	50	毎日放送	4	54	朝日放送	6	58	関西テレビ	8	60	読売テレビ	10	62
	橋山	NHK総合	2	16	毎日放送	4	22	朝日放送	6	25	関西テレビ	8	27	読売テレビ	10	29
	御坊	NHK総合	2	49	毎日放送	4	53	朝日放送	6	57	関西テレビ	8	59	読売テレビ	10	61
	神戸	NHK総合	2	2	毎日放送	4	4	朝日放送	6	6	関西テレビ	8	8	読売テレビ	10	10
	神戸北	NHK総合	2	28	毎日放送	4	18	朝日放送	6	20	関西テレビ	8	22	読売テレビ	10	24
	**川西1	NHK総合	2	29	毎日放送	4	35	朝日放送	6	37	関西テレビ	8	39	読売テレビ	10	41
	**川西2	NHK総合	2	49	毎日放送	4	55	朝日放送	6	57	関西テレビ	8	59	読売テレビ	10	61
	姫路	NHK総合	2	50	毎日放送	4	54	朝日放送	6	58	関西テレビ	8	60	読売テレビ	10	62
	明石・加古川	NHK総合	2	51	毎日放送	4	53	朝日放送	6	57	関西テレビ	8	59	読売テレビ	10	61
	三木	NHK総合	2	44	毎日放送	4	34	朝日放送	6	38	関西テレビ	8	40	読売テレビ	10	42
中国	鳥取	日本海テレビ	1	1	NHK総合	3	3	NHK教育	4	4	山陰放送	22	22	山陰中央	24	24
	松江	NHK総合	6	6	山陰放送	10	10	NHK教育	12	12	日本海テレビ	30	30	山陰中央	34	34
	浜田	NHK総合	2	2	山陰放送	5	5	NHK教育	9	9	日本海テレビ	54	54	山陰中央	58	58
	岡山・倉敷	NHK教育	3	3	NHK総合	5	5	西日本放送	9	9	山陽放送	11	11	テレビせとうち	23	23
	津山	NHK総合	2	2	山陽放送	7	7	NHK教育	12	12	テレビせとうち	56	56	西日本放送	58	58
	笠岡	NHK総合	2	2	NHK教育	4	4	山陽放送	6	6	西日本放送	17	17	テレビせとうち	19	19
	広島	NHK総合	3	3	中国放送	4	4	NHK教育	7	7	広島テレビ	12	12	テレビ新広島	31	31
	福山	NHK教育	3	3	NHK総合	5	5	中国放送	7	7	広島テレビ	11	11	テレビ新広島	54	54
	尾道	NHK総合	1	1	NHK教育	7	7	中国放送	10	10	広島テレビ	12	12	広島ホームテレビ	24	24
	呉	NHK教育	[illegible]	1	広島テレビ	5	5	中国放送	9	9	NHK総合	11	11	広島ホームテレビ	24	24
	山口・徳山・防府	NHK教育	[illegible]	1	NHK総合	9	9	山口放送	11	11	山口朝日	28	28	テレビ山口	38	38
	下関	九州朝日放送	2	2	山口放送	4	4	NHK総合	6	6	RKB毎日放送	8	8	テレビ西日本	10	10
	宇部	テレビ西日本	10	10	NHK教育	14	14	NHK総合	16	16	山口放送	18	18	テレビ山口	20	20
	岩国	NHK総合	3	3	中国放送	4	4	NHK教育	7	7	山口放送	11	11	広島テレビ	12	12
四国	徳島	四国放送	1	1	NHK総合	3	3	毎日放送	4	4	朝日放送	6	6	関西テレビ	8	8
	高松	テレビせとうち	19	19	山陽放送	29	29	岡山放送	31	31	瀬戸内海放送	33	33	NHK総合	37	37
	丸亀	テレビせとうち	16	16	山陽放送	18	18	西日本放送	20	20	岡山放送	22	22	NHK教育	40	40
	高知	NHK総合	4	4	NHK教育	6	6	高知放送	8	8	テレビ高知	38	38	さんさんテレビ	40	40
	松山	NHK教育	2	2	NHK総合	6	6	南海放送	10	10	愛媛朝日	25	25	あいテレビ	29	29
	新居浜	NHK総合	2	2	NHK教育	4	4	南海放送	6	6	西日本放送	9	9	山陽放送	11	11
	今治	西日本放送	9	9	山陽放送	11	11	愛媛朝日	14	14	あいテレビ	27	27	NHK教育	30	30
	宇和島	NHK教育	1	1	NHK総合	6	6	南海放送	10	10	愛媛朝日	16	16	愛媛放送	32	32
九州・沖縄	福岡	九州朝日放送	1	1	NHK総合	3	3	RKB毎日放送	4	4	NHK教育	6	6	テレビ西日本	9	9
	久留米	テレビQ	14	14	NHK総合	46	46	RKB毎日放送	48	48	福岡放送	52	52	NHK教育	54	54
	大牟田	テレビQ	19	19	福岡放送	43	43	NHK教育	50	50	NHK総合	53	53	テレビ西日本	55	55
	北九州	九州朝日放送	2	2	NHK総合	6	6	RKB毎日放送	8	8	テレビ西日本	10	10	NHK教育	12	12
	行橋	テレビQ	19	19	福岡放送	43	43	NHK教育	46	46	NHK総合	49	49	テレビ西日本	54	54
	佐賀	熊本放送	11	11	テレビQ	14	14	サガテレビ	36	36	NHK総合	38	38	NHK教育	40	40
	長崎	NHK教育	1	1	NHK総合	3	3	長崎放送	5	5	長崎国際	25	25	長崎文化	27	27
	佐世保	NHK教育	2	2	NHK総合	8	8	長崎放送	10	10	長崎国際	17	17	長崎文化	31	31
	諫早	長崎国際	20	20	長崎文化	24	24	テレビ長崎	42	42	NHK教育	45	45	NHK総合	47	47
	熊本・八代	NHK教育	2	2	NHK総合	9	9	熊本放送	11	11	熊本朝日	16	16	熊本県民	22	22
	大分・別府	NHK総合	3	3	大分放送	5	5	NHK教育	12	12	大分朝日	24	24	テレビ大分	36	36
	中津	大分朝日	17	17	テレビ大分	37	37	NHK教育	45	45	NHK総合	48	48	大分放送	51	51
	宮崎・都城	NHK総合	8	8	宮崎放送	10	10	NHK教育	12	12	テレビ宮崎	35	35			
	延岡	NHK教育	2	2	NHK総合	4	4	宮崎放送	6	6	テレビ宮崎	39	39			
	鹿児島	南日本放送	1	1	NHK総合	3	3	NHK教育	5	5	鹿児島読売テレビ	30	30	鹿児島放送	32	32
	阿久根	NHK総合	8	8	南日本放送	10	10	NHK教育	12	12	鹿児島読売テレビ	17	17	鹿児島放送	23	23
	鹿屋	NHK教育	2	2	NHK総合	4	4	南日本放送	6	6	鹿児島読売テレビ	25	25	鹿児島放送	31	31
	那覇・沖縄	NHK総合	2	2	沖縄テレビ	8	8	琉球放送	10	10	NHK教育	12	12	琉球朝日	28	28

* 横浜市にお住いの方は、通常「横浜2」を設定してください。受信できない場合は「横浜1」を設定してください。

** 長野、舞鶴、川西にお住まいの方は、1か2どちらか正しく受信できる方を設定してください。

都市名																								
千葉	テレビ朝日	10	10	テレビ東京	12	12	MXテレビ	14	14	放送大学	16	16	千葉テレビ	46	46									
銚子	テレビ朝日	10	59	テレビ東京	12	61	千葉テレビ	46	39															
*横浜1	テレビ朝日	10	60	テレビ東京	12	62	TVKテレビ	42	48															
*横浜2	テレビ朝日	10	10	テレビ東京	12	12	MXテレビ	14	14	放送大学	16	16	TVKテレビ	42	42									
平塚・茅ケ崎	テレビ朝日	10	41	テレビ東京	12	43	TVKテレビ	42	31															
秦野	テレビ朝日	10	57	テレビ東京	12	59	TVKテレビ	42	61															
小田原	テレビ朝日	10	60	テレビ東京	12	62	TVKテレビ	42	46															
23区	テレビ朝日	10	10	テレビ東京	12	12	MXテレビ	14	14	放送大学	16	16	テレビ埼玉	38	38	TVKテレビ	42	42	千葉テレビ	46	46			
八王子	テレビ朝日	10	59	テレビ東京	12	61	MXテレビ	14	47															
多摩	テレビ朝日	10	20	テレビ東京	12	18	MXテレビ	14	28															
甲府																								
新潟・長岡	新潟総合	35	35																					
上越	新潟テレビ21	37	37																					
**長野1	長野放送	38	42																					
**長野2	長野放送	38	38																					
松本	長野朝日	50	50																					
飯田	長野朝日	44	44																					
岡谷・諏訪	長野朝日	61	61																					
富山																								
高岡																								
金沢・小松	石川テレビ	37	37																					
七尾	北陸朝日	59	59																					
福井																								
敦賀																								
静岡・清水	テレビ静岡	35	35																					
浜松	テレビ静岡	34	34																					
富士・富士宮	NHK教育	54	54																					
沼津・三島	静岡第一	61	61																					
島田	テレビ静岡	58	58																					
藤枝	NHK教育	44	44																					
名古屋	テレビ愛知	25	25	三重テレビ	33	33	中京テレビ	35	35	岐阜放送	37	37												
豊橋・豊川	テレビ愛知	25	52	中京テレビ	35	58																		
豊田	テレビ愛知	25	49	中京テレビ	35	59																		
蒲郡田原	テレビ愛知	25	32	中京テレビ	35	40																		
岐阜・大垣	テレビ愛知	25	25	中京テレビ	35	35	岐阜放送	37	37	NHK総合(岐阜)	39	39												
高山	中京テレビ	26	26	岐阜放送	38	38																		
中津川	中京テレビ	26	26	岐阜放送	28	28																		
津	テレビ愛知	25	25	三重テレビ	33	33	中京テレビ	35	35															
伊勢	三重テレビ	33	59	中京テレビ	35	47																		
名張・上野	NHK教育	12	12	NHK教育	50	50	NHK総合	52	52	中京テレビ	54	54	名古屋テレビ	56	56	三重テレビ	58	58	中部日本放送	60	60	東海テレビ	62	62
京都	NHK教育	12	12	テレビ大阪	19	19	奈良テレビ	26	26	京都テレビ	34	34	サンテレビ	36	36									
**舞鶴1	NHK教育	12	45	京都テレビ	34	37																		
**舞鶴2	NHK教育	12	49	京都テレビ	34	57																		
福知山	NHK教育	12	52	京都テレビ	34	56																		
宮津	NHK教育	12	45	京都テレビ	34	39																		
大津	NHK教育	12	46	びわ湖放送	30	30	京都テレビ	34	34															
彦根	NHK教育	12	50	びわ湖放送	30	56	京都テレビ	34	34															
大阪	NHK教育	12	12	テレビ大阪	19	19	テレビ和歌山	30	30	京都テレビ	34	34	サンテレビ	36	36									
奈良・橿原	NHK教育	12	12	テレビ大阪	19	19	京都テレビ	34	34	奈良テレビ	55	55												
五条	NHK教育	12	45	奈良テレビ	55	41																		
和歌山	NHK教育	12	26	テレビ和歌山	30	30																		
白浜	NHK教育	12	52	テレビ和歌山	30	56																		
橋山	NHK教育	12	18	テレビ和歌山	30	20																		
御坊	NHK教育	12	51	テレビ和歌山	30	55																		
神戸	NHK教育	12	12	テレビ大阪	19	19	テレビ和歌山	30	30	京都テレビ	34	34	サンテレビ	36	36									
神戸北	NHK教育	12	26	テレビ大阪	19	19	サンテレビ	36	36															
**川西1	NHK教育	12	31	テレビ大阪	19	21	サンテレビ	36	33															
**川西2	NHK教育	12	51	テレビ大阪	19	47	サンテレビ	36	53															
姫路	NHK教育	12	52	サンテレビ	36	56																		
明石・加古川	NHK教育	12	49	テレビ大阪	19	19	サンテレビ	36	55															
三木	NHK教育	12	46	サンテレビ	36	36																		
鳥取																								
松江																								
浜田																								
岡山・倉敷	瀬戸内海放送	25	25	岡山放送	35	35																		
津山	岡山放送	60	60	瀬戸内海放送	62	62																		
笠岡	瀬戸内海放送	21	21	岡山放送	60	60																		
広島	広島ホームテレビ	35	35																					
福山	広島ホームテレビ	57	57																					
尾道	テレビ新広島	26	26																					
呉	テレビ新広島	26	26																					
山口・徳山・防府																								
下関	NHK教育	12	12	山口朝日	21	21	テレビQ	23	23	テレビ山口	33	33	福岡放送	35	35	NHK総合	39	39	NHK教育	41	41			
宇部	山口朝日	31	31																					
岩国	テレビ山口	22	22	山口朝日	28	28	テレビ新広島	31	31	広島ホームテレビ	35	35												
徳島	読売テレビ	10	10	NHK教育	12	12																		
高松	NHK教育	39	39	西日本放送	41	41																		
丸亀	瀬戸内海放送	42	42	NHK総合	44	44																		
高知																								
松山	テレビ新広島	31	31	広島ホームテレビ	35	35	愛媛放送	37	37															
新居浜	愛媛朝日	14	14	あいテレビ	27	27	愛媛放送	36	36	瀬戸内海放送	42	42												
今治	NHK総合	32	32	南海放送	34	34	愛媛放送	36	36	瀬戸内海放送	42	42												
宇和島	あいテレビ	34	34																					
福岡	テレビQ	19	19	福岡放送	37	37																		
久留米	九州朝日放送	57	57	テレビ西日本	60	60																		
大牟田	九州朝日放送	58	58	RKB毎日放送	61	61																		
北九州	テレビQ	23	23	福岡放送	35	35																		
行橋	九州朝日放送	57	57	RKB毎日放送	60	60																		
佐賀	RKB毎日放送	48	48	福岡放送	52	52	九州朝日放送	57	57	テレビ西日本	60	60												
長崎	テレビ長崎	37	37																					
佐世保	テレビ長崎	35	35																					
諫早	長崎放送	49	49																					
熊本・八代	テレビ熊本	34	34																					
大分・別府																								
中津																								
宮崎・都城																								
延岡																								
鹿児島	鹿児島テレビ	38	38																					
阿久根	鹿児島テレビ	35	35																					
鹿屋	鹿児島テレビ	33	33																					
那覇・沖縄																								

2. オートチャンネル設定で受信チャンネルを合わせる

**オートチャンネル設定を行うと、お住いの地域で受信できるチャンネルを一つずつ自動的に設定できます。
地域受信チャンネルですべてのチャンネルがきれいに受信できていないときに、オートチャンネル設定で合わせ直してください。**

• オートチャンネル設定で受信チャンネルを合わせる前に、アンテナや他の機器との接続とBSチャンネルを見るための設定を確認してください。

• テレビの電源を入れる
• テレビの入力切換を「ビデオ」にする（またはビデオチャンネル1または2を選ぶ）

• ビデオの電源を入れる

チャンネルを設定する

1 チャンネル一覧作成画面を出す

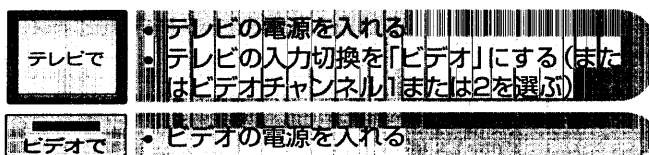
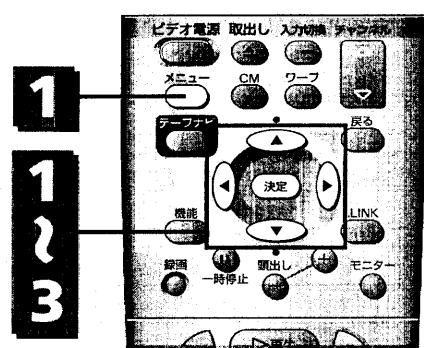
• ⑭ページの 1～3 の操作をしてください。

2 ▼、▲ボタンを押して「サーチ開始」を選び、決定ボタンを押す

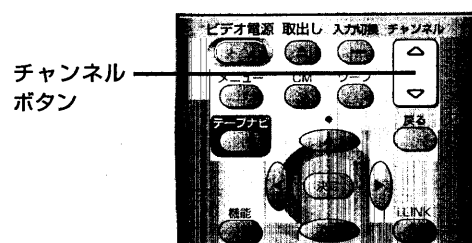
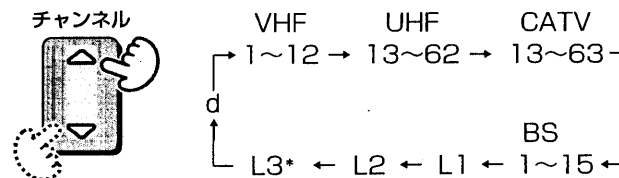
3 「はい」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す

• 受信できたチャンネルを自動的に記憶していきます（約3分かかります）。
• 記憶が終わると、設定されたチャンネルの一覧が表示されます。放送局名はブランクになります。
• メニューボタンを押すとテレビの受信画面になります。

おしらせ

•工場出荷時は、VHF放送の1～12チャンネルとBS放送の1、3、5、7、9、11、13、15チャンネルが受信できるように調整されています。

チャンネルが映るかどうか確認する

チャンネルボタンを押して、チャンネルを確認する

VHF 1～12 → UHF 13～62 → CATV 13～63 → BS 1～15 → L1 → L2 → L3* → VHF

＊BSデジタル連動設定を「入り」にしたとき、またはBSデジタル連動設定を「切り」にして入力3設定を「外部入力」にしたとき、切り換わります。

• チャンネルボタンの△側を押すと上記の矢印の順にチャンネルが出ます。▽側を押すと、逆の順にチャンネルが出ます。

● 放送のないチャンネルが設定されているとき

電波状態によっては、放送のないチャンネルが設定されることがあります。不要なチャンネルは飛ばすことができます（⑮ページ参照）。

● チャンネルの表示がテレビ番組表の数字と合わないとき

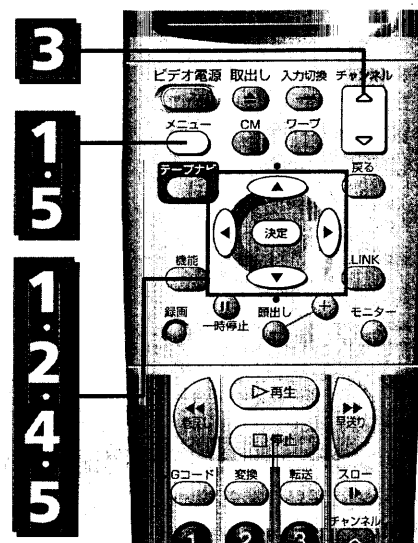
チャンネルの表示を、テレビ番組表と同じ数字に変えることができます（⑮ページ参照）。

おしらせ

•チャンネルが1つも設定されなかったり、画がきれいに映らないときはアンテナ線の接続を確かめてください（⑫ページ参照）。

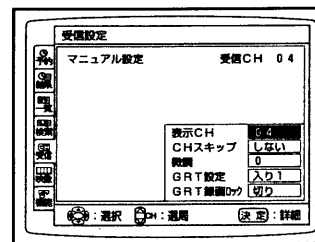
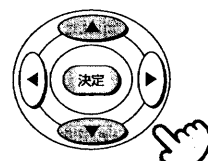
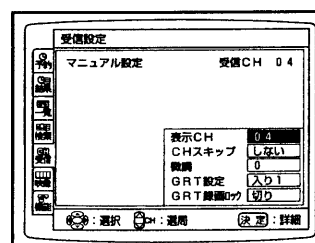
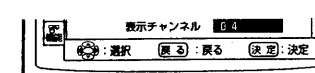
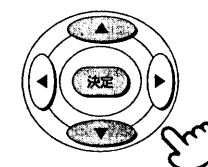
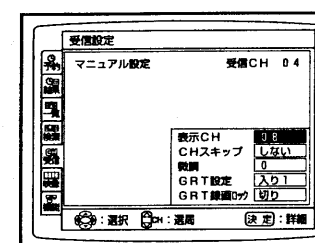
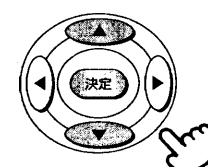
• BS放送やケーブルテレビのチャンネル表示を変えることはできません。

チャンネルの表示を変える

お住いの地域により、チャンネル表示がテレビ番組表の数字と違うことがあります。このとき、次のようにして、数字を合わせることができます。

例えば…チャンネル表示「60CH」を「4CH」に変えたいとき

1 「受信設定」画面を出す

• ⑭ページの 1、2 の操作をしてください。

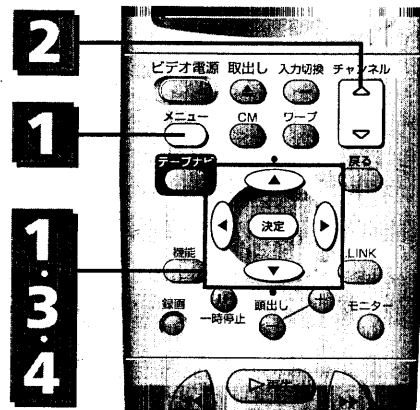
2 ▼、▲ボタンで「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す

3 チャンネルボタンで変えたいチャンネルを選択する

4 ▼、▲ボタンで「表示CH」を選び、決定ボタンを押す

5 ▼、▲ボタンで表示したい数字を選び、決定ボタンを押す

• ▲を押すと大きい数字になり、▼を押すと小さい数字になります。数字を選んだら決定ボタンを押してください。
• 続けて他のチャンネル表示を変えたいときは、3～5 を繰り返してください。
• メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

ケーブルテレビをお使いになるとき

ケーブルテレビの受信契約について

ケーブルテレビを受信するには、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との加入手続が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、アダプターが必要になります。
詳しくは、ケーブルテレビ会社にご相談ください。ケーブルテレビの受信はサービスの行われている地域のみ受信可能です。

チャンネルを飛ばす／元に戻す

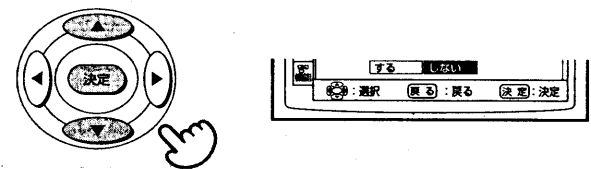
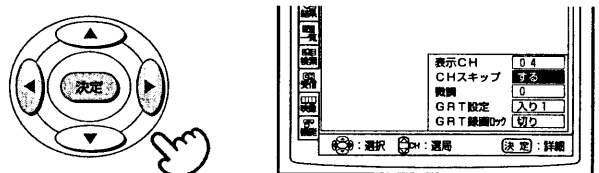
オートチャンネル設定をすると、放送のないチャンネルや、電波が弱いチャンネル、妨害が入るチャンネルも設定されることがあります。これらのチャンネルを飛ばしたり、元に戻したりすることができます。
チャンネルを飛ばすときは、あらかじめ不要なチャンネルをメモしておくと、便利です。

1 マニュアル設定画面を出す

- ⑮ページの 1、2 の操作をしてください。

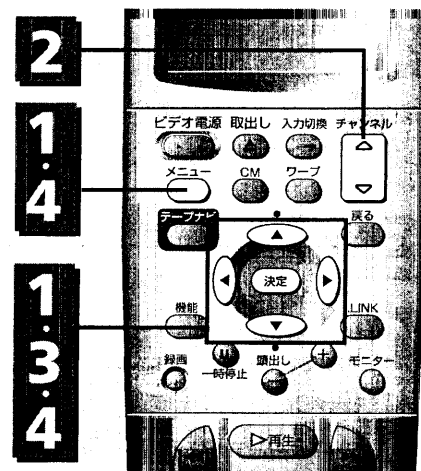
2 チャンネルボタンで飛ばしたいチャンネル、または元に戻したいチャンネルを選ぶ

- L1、L2、L3*、dチャンネルを飛ばすときまたは元に戻すときは、入力切換ボタンを押して、L1、L2、L3*、dを選んでください。

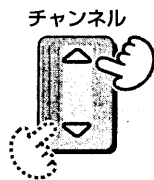
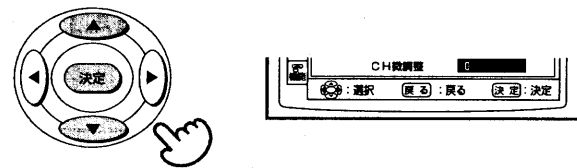
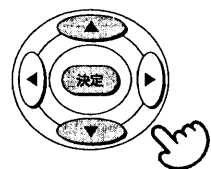
＊BSデジタル連動設定を「入り」にしたとき、またはBSデジタル連動設定を「切り」にして入力3設定を「外部入力」にしたとき、切り換わります。

3 ▼、▲ボタンで「CHスキップ」を選び、決定ボタンを押す

4 ◄、►ボタンで「する」または「しない」を選び、決定ボタンを押す

- 飛ばすときは「する」に、元に戻すときは「しない」に設定してください。
- 続けて他のチャンネルも飛ばすときは、2 ～ 4 を繰り返します。
- メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

チャンネルを微調整する

オートチャンネル設定のあとで受信状態を微調整することができます。

1 マニュアル設定画面を出す

- ⑮ページの 1、2 の操作をしてください。

2 チャンネルボタンで微調整したいチャンネルを選ぶ

3 ▼、▲ボタンで「微調」を選び、決定ボタンを押す

4 画像を見ながら、▼、▲ボタンで調整する

- ▼、▲ボタンを押して、画像が最もよく映るように調整し、決定ボタンを押してください。
- 続けて他のチャンネルも微調整したいときは、1 ～ 4 を繰り返してください。
- メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

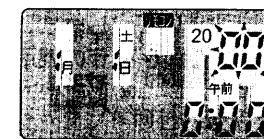
おしらせ
- チャンネルを地域受信チャンネルで受信できるかどうか確認してから設定した場合（⑭ページ参照）や、オートチャンネルで設定した場合（⑮ページ参照）は、自動的に受信状態を微調整していますので「微調」の数値が「0」でないチャンネルもあります。

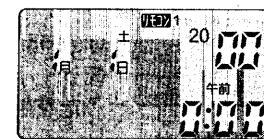
時計を合わせる

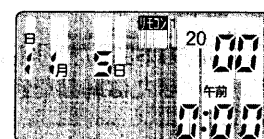
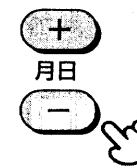
はじめにリモコンの時計を合わせたあと、ビデオの時計を合わせてください。

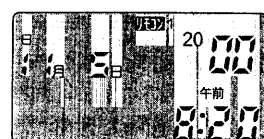
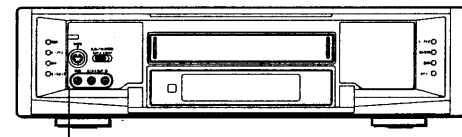
操作を約1分以上中断すると、操作途中の表示内容で時計が設定されてしまいます。
このときは、時計ボタンを2秒以上押して始めからやり直してください。

たとえば…西暦2000年11月5日午前8時20分に合わせるとき

1 リモコンのふたを開ける

- 年「00」が点滅します。
- リモコンの時計を合わせ直す場合は、時計ボタンを2秒以上押してください。

2 年を西暦で合わせる

- 西暦の下2けたを合わせてください。
- 2000年は00に合わせてください。

3 月・日を合わせる

- ボタンを長く押していると月が設定できます。ボタンを短く押すと日が設定できます。
- 曜日は自動的に設定されます。

4 時刻を合わせる

- ボタンを長く押していると30分単位で設定できます。
ボタンを短く押すと1分単位で設定できます。
- 昼の12時は「午後0：00」、夜の12時は「午前0：00」に合わせてください。

おしらせ
時計を合わせている途中で修正するとき
- 修正したい項目の⊕ボタンか⊖ボタンを押して修正してください。

設置・準備

5 時報などに合わせて時計ボタンを押す

- 時計ボタンを押すと、リモコンの時計がスタートします。
- 年の表示は消えます。
- 転送が点滅します。

6 リモコンをビデオに向けて転送ボタンを押す

ビデオの表示窓

- 「ピッ」と音がして、ビデオの時計がスタートします。
- 転送したら、リモコンのふたを閉じてください。

時計を修正する

■ リモコンの時計の修正

電池を換えたときや、一度合わせた時計を修正したいとき、次のようにリモコンの時計を合わせ直してください。

1 時計ボタンを2秒以上押して、西暦の下2けたを点滅させる。
2 手順 2 ～ 4 を参考にして、日付または時刻を修正する。
3 時計ボタンを押す。

■ ビデオの時計の修正

60分以上の停電があると、ビデオの時計が「－－：－－」になります。このときは、次のようにリモコンの時計をビデオに転送してください。

1 リモコンのふたを開ける。
2 時計ボタンを2回押す。
3 転送ボタンを押す。

おしらせ

時計を正確に合わせるには（ジャストクロック）

- このビデオには、時計を正確に合わせるジャストクロック機能が付いています。ジャストクロックは、1日に1回（午後0時（正午））、NHK教育テレビの時報を受信して、自動的にビデオの時計を修正します。

次のような場合、ジャストクロックは働きません。

- ビデオの時計が現在時刻と3分以上ずれているとき
- 時報の時刻にビデオの電源が入っているとき
- ビデオの受信チャンネルにNHK教育テレビが設定されていないとき
- 初めてジャストクロック機能が働いたとき、NHK教育テレビを選ぶまで時間がかかり、数回、時計を修正できないことがあります。

故障かな…と思ったら

まず下の表でお調べください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理せず、お買い上げの販売店にご相談ください。アフターサービスについては、裏表紙をご覧ください。

症状		処置	参照
電源	ビデオの電源ボタンを押しても電源が入らない（ビデオの操作ができない）。	●電源コードがコンセントに差し込まれているか確認してください。 ●表示窓の「HELLO」の文字が表示している間は操作できません。 ●電源コードを一度コンセントから抜き、再度コンセントを入れたあと、電源ボタンを押してください。	—
リモコン	リモコンでビデオの操作ができない（リモコンが使えない、リモコンの反応が遅い）。	●乾電池が消耗している可能性があります。乾電池を交換してください。乾電池を交換するときは、古い乾電池を取り外して電源ボタンを10秒間押してから、新しい乾電池を入れてください（乾電池の寿命は、通常の使用で約半年です）。	14
		●リモコンのリモコンボタンを押して、リモコンの表示窓に「リモコン1」を表示させてからリモコンを使用してください。	20
		●ビデオのリモコン切換ボタンが「R-OFF」になっているか、ビデオのリモコン切換ボタンとリモコンのリモコンボタンの設定が合っていないと、リモコンで操作できません。ビデオとリモコンの設定を合わせてください。	121
		●ビデオのリモコン切換ボタンを押して設定を確認してください。リモコンの表示窓に「リモコン1」と表示されているときは、ビデオの表示窓に「R-1」を、「リモコン2」のときは「R-2」を、「リモコン3」のときは「R-3」を表示させてください。	121
	リモコンでテレビの操作ができない。	●お手持ちのテレビのメーカーに合わせて、テレビコードを設定してください。	122
	巻戻し、早送りができない。	テープが最初または最後まで巻取られていないか、確認してください。	38
テープ	テープが取り出せない。	●保護回路が働いている場合があります。電源コードをコンセントから抜き、再度コンセントに入れてください。表示窓の「HELLO」表示が消えてから、取出しボタンを押してください。それでも取り出せないときは、リセットスイッチをつまようじなどで押してから同様に操作してください。 リセットスイッチ	—
		●録画中、タイマー録画中はテープを取り出すことができません。必要に応じて録画、タイマー録画を停止してから、ビデオの取出しボタンを押してください。	50 53 67
録画	テレビ番組が録画できない（何も録画されていない）。	●アンテナ線を正しく接続してください。	126
		●受信チャンネルを合わせ直してください。	146
	録画ボタンを押すと、テープが出てくる。	●「つめ」の折れたテープが入っています。穴にセロハンテープを貼ってからテープを使用してください。	22
	タイマー録画ができない　録画予約したが録画が始まらない	●停電があったため、予約が消えました。再度、時計を合わせたあと予約をやり直してください。 ●コピーガード処理された映像は録画できません。	8 153
	タイマー録画ができない　電源を切るとテープが出てくる	●「つめ」の折れたテープが入っています。穴にセロハンテープを貼ってからテープを使用してください。	22
	タイマー録画ができない　録画予約したが何も映ってない	●タイマー録画予約したあとビデオの電源を切りましたか？ビデオの電源を切っておかないと、予約した時間になっても録画されません。 ●コピーガード処理された映像は録画できません。	8 67

	症状	処置	参照ページ
録画	タイマー録画予約ができない(予約の内容を転送できない)<Gコード予約時、リモコン予約時>	•ビデオの時計を合わせてから、予約を転送してください。	153
	ケーブルテレビのBS番組をGコード予約できない。	•予約のとき、下記の方法でチャンネルを修正してください。 1) Gコード予約番号を入力します。リモコンの表示窓に「BS」表示が出ます。 2) BS/CATVボタンを押して「BS」表示を消し「C」を表示させます。 3) チャンネル▲/▼を押して、ケーブルテレビのチャンネルに合わせます。	77
	リモコンを使ってタイマー予約をしていたら、途中で時計表示に戻ってしまった。	•操作を約1分中断したためです。 Gコード予約をしていた場合は、Gコードボタンを押して予約をやり直してください。 リモコン予約をしていた場合は、一度リモコンのふたを閉じてから予約をやり直してください。	63 68
	タイマー録画したが、録画内容が違っている<Gコード予約時>。	•Gコード予約番号を間違って入力していませんか? Gコード予約番号を正しく入力してください。	63
		•予約を転送する前に、必ず内容を確認してください。特にチャンネルは、ビデオ本体で設定したチャンネル番号と同じになっていることを確認し、違っていたら修正してください。	64
	タイマー録画の途中でビデオの電源が切れ、テープが出てきた。	•タイマー録画の途中でテープがなくなると、自動的にテープが出てきます。	77
	タイマー録画を途中でやめることができない。	•電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。	65 67 69
	クイックタイマー録画ができない。	•ビデオの時計を合わせてください。	153
	ビデオと接続している機器から録画できない。	•後面端子に接続した機器から録画するときは、入力切換ボタンを押して「L1」(外部入力1)か「L3*」(外部入力3)を選んでください。 *「BSデジタル連動設定」を「入り」にしたとき、または「BSデジタル連動設定」を「切り」にして「入力3設定」を「外部入力」にしたとき、切り換わります。	56
		•前面端子に接続した機器から録画するときは、入力切換ボタンを押して「L2」(外部入力2)を選んでください。 •ビデオ前面の入力/出力切換スイッチを「入力2」に合わせてください。	54
	ビデオを操作したときの画面表示が流れる。	•放送がないチャンネルを選んだときや、外部入力機器から映像の入力がない場合流れることがありますが、故障ではありません。	54 56
D-VHS録画	D-VHSテープを入れて録画しても、ビデオ前面のD-VHS表示インジケータが青色に点灯しない。	•録画モードを「HS/STD/LS2/LS3」に変えてください。	25
	デジタルスピード(HS/STD/LS2/LS3)モードにならない。	•VHSテープがビデオに入っていると「デジタルスピード」になりません。D-VHSテープを入れてください。	
	デジタルスピードで録画ができない。	•コピーガード処理された映像は、録画できません。	8 47
	デジタルスピードのクイックタイマーが途中で止まる。		
	デジタルスピードのタイマー録画ができない。		
	D-VHS録画した番組をダビングできない。	番組によってはデジタル録画を1回のみ許可している番組があります。このような番組はダビングできません。	—
再生	再生画像に帯状のノイズが出たり、画像がモヤモヤする。	•古いテープや、他のビデオで録画したテープを再生するときに起こることがあります。チャンネル(トラッキング)ボタンを押して最良に映るように調整してください。	39

	症状	処置	参照ページ
再生	再生画像がきれいに映らない、または音は出るが画像が出ない。	•ヘッドの清掃が必要です。別売りのヘッドクリーニングテープをご使用になり、ヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。	9
	音が途切れる。		
	ヨーロッパなどで買ってきたテープが再生できない。	•日本とヨーロッパなどでは信号方式が違うためこのビデオでは再生できません。	—
	日本語と英語が同時に聞こえる。	•音声切換ボタンを押してビデオの表示窓にLまたはRを出し、聞きたい音を選んでください。	39
	Hi-Fiサウンドの音声が出ない。	•音声切換ボタンを押してビデオの表示窓にLまたはRを出し、聞きたい音を選んでください。	39
D-VHS再生	再生画像にブロックノイズが出たり、静止画および灰色の画面になる。	•D-VHSテープをご使用しているか確認してください。	25
		•トラッキング(チャンネル▲、▼)ボタンで、ビデオ前面表示窓に出る数値が最大になるように設定してください。	26
		•ビデオ本体のリセットスイッチをつまようじなどで押してください。	155
		•ヘッドの清掃が必要です。別売りのヘッドクリーニングテープをご使用になり、ヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときには、お買い求めの販売店にご相談ください。	9
		•再生中につなぎ撮り部分(録画を停止(一時停止)し、再び録画をはじめた部分)および、VHS再生(標準/3倍)からD-VHS再生に切り換わる部分を再生すると、画面が出るまで少し時間がかかります。	26
	ハイビジョン番組を録画したテープを再生しても、BSデジタルチューナーからハイビジョン画質の映像が出力されない。	•1回のみデジタルコピーが可能な番組を録画した場合、BSデジタルチューナーを使って再生してもハイビジョン画質で見ることはできません。	27
テープナビ	録画時のデータが登録されない。	•テープデータの登録数がいっぱいになっています。いらないテープの登録内容を消してください。	106
		•「機能設定」の「テープナビ」を「入り」にしてください。	103
		•録画時間が3分以内(LS2/LS3モードでは15分以内)のときは、登録されません。	100
		•140分以上のテープのときは、テープの種類を切り換えてください。	100
		•オートカット機能を使って30分以内の番組を録画したときは、録画時のデータが登録されない場合があります。	101
	テープナビボタンを押していないのに、テープナビの画面やタイムナビの画面が勝手に表示される。	•テープナビデモモードになっています。リモコンをビデオに向けて、リモコンのテープナビボタンを押し続けながら、ビデオのテープナビボタンを押してください。	—
	テープを入れていないのに、テープナビランプが点滅する。		
	1本のテープに複数のテープ番号が付けられている。	•テープ番号が複数付けられているテープを入れると、テープナビボタンを押したときのテープの位置によって、表示される録画データが変わります。 テープ番号を1つにしたいときには、いらないテープ番号の録画データを消してください。	100
	録画時に「登録データを消してください」という表示がテレビ画面に出る。	•テープデータの登録数がいっぱいになっています。いらないテープの登録内容を消してください。	106
	タイムナビ画面で CM が出ない。	•CMオートカットした番組やCMのない番組では、決定ボタンを押しても CM がでません。	119

	症状	処置	参照ページ
テープナビ	見たい番組が探せない。	•本機以外のビデオで録画したテープを使用しているときは、見たい番組を探すことはできません。	—
		•本機で録画したところまでテープを巻戻しまたは早送りしてから、テープナビボタンを押してください。	104
	録画予約したときの録画時間と実際の録画時間がちがう。	•オートカット機能を使って録画すると、CMをカットした分だけ録画時間が短くなります。故障ではありません。	101
CMとばしワザ	CMとばしワザでCMをとばさない。	•他のビデオで録画したテープを再生しています。本機、日立製CMオート機能付きビデオまたは日立製ステレオ(オート)CMスキップ機能付きビデオ以外で録画したテープでは動作しません。	45
		•テープナビ「切り」で録画したテープを再生しています。テープナビ「入り」で録画したテープを再生してください。	45
		•1本で60秒以上のCMや1本が15秒以内のCM、また2本以上続いても60秒未満のCM部分は正しくとばされません。故障ではありません。	44
		•録画開始部分や終了部分では正しくとばせないことがあります。	44
		•リモコンのCMボタンを押し、テレビ画面に「CMl」か「CM2」を出してください。	45
オートカット機能	録画(予約も含む)したのにテープには何も録画されていない。	•ステレオ放送の番組を録画していませんか? オートカット機能はステレオ放送をカットするので、ステレオ放送の番組を録画することはできません。ステレオ放送の番組を録画するときは、オートカット機能を解除してください。	51
	見ている番組をオートカット機能を使って録画しているが、オートカットを解除できない。	•停止ボタンを押して録画を終了するとオートカットが解除されます。	53
	録画中に番組を切り換えられない(一時停止ボタンを押しても録画一時停止にならない)。	•停止ボタンを押して録画を終了させてから、チャンネルを切り換えてください。	53
	オートカット機能を使って録画を始めたら、すぐに一時停止になった。	•ステレオ放送のCMまたは番組をカットしています。ステレオ放送以外の番組になると自動的に録画を開始します。	51
チャンネル設定	受信チャンネルの表示を変えたら、テレビ番組の内容とチャンネル表示が合わなくなった。	•チャンネルの表示と番組の内容を確認し、もう一度設定をやり直してください。	146
	チャンネルが出ない。	•チャンネルを飛ばして設定しています。飛ばしたチャンネルを元に戻してください。	152
		•チャンネル設定をしたあとでアンテナなどの接続を変えたときや、引っ越しなどで放送局が変わったときは、チャンネル設定をやり直してください。	146
	「L1」「L2」「L3*」「d」が出ない。	•「L1」「L2」「L3*」「d」を飛ばして設定しています。飛ばした「L1」「L2」「L3*」「d」を元に戻してください。 *「BSデジタル連動設定」を「入り」にしたとき、または「BSデジタル連動設定」を「切り」にして「入力3設定」を「外部入力」にしたとき、切り換わります。 •「機能設定」の「入力3設定」を「BSデコーダ」に設定していると、「L3」は出ません。	152

	症状	処置	参照ページ
BS放送	映像も音声も出ない。	•BSアンテナを正しく接続しているか確認してください。	129
		•正しく接続されているのに映らないときは、アンテナ線を本機のBSアンテナ入力端子から抜き、もう一度正しく接続してから、ビデオの電源を入り/切りしてください。それでも映らないときは、BSアンテナ側の接続を確認してください。	129
		•BSアンテナ電源の切り換えを正しく設定してください。	140
	テレビ画面に「独立」が表示され、BSチャンネルの音声が出ない。	•「受信設定」画面の「BS独立音声」を「TV音声」にしてください。	93
	BSチャンネルが映らない。	•BSチャンネルを飛ばして設定しています。飛ばしたBSチャンネルを元に戻してください。	152
		•BS以外のチャンネルを設定したあとで、BSアンテナを接続したときは、もう一度チャンネル設定をやり直してください。	146
	BSチャンネルの映りが悪い。または変な音声が出る。	•BSアンテナの向きを調整してください。	141
		•BSアンテナに雪が付着しているときは、雪を取り除いてください。	10
		•豪雪や豪雨で電波が地球に届きにくくなっています。気象条件によるもので、故障ではありません。	10
	BS5チャンネルの映りが悪い(画面にザーッというノイズが入る)。	•JSBと契約し、BSデコーダを接続してください。	130
		•BS5チャンネルの設定をします。「機能設定」の「BSデジタル連動設定」を「切り」にして「入力3設定」を「BSデコーダ」にしてください。	142
	BSチャンネルをタイマー録画したら、音が全く録音されていない。	•タイマー録画の前に、「受信設定」画面で「BS独立音声」の設定を正しく合わせてください。	93
その他	ダビング編集ができない。	•本機を録画側のビデオとして使うのか、再生側として使うのかを確認し、正しく接続してください。	54 55
		•録画側ビデオで「外部入力」を選んでください。	55
	ビデオの表示窓が誤表示したり、ボタンを押しても操作できない。	•リセットスイッチをつまようじなどで押してください。表示部がリセットされます。そのあと、時計合わせやタイマー予約など必要な設定をやり直してください。 リセットスイッチ	—
	テープが動いているのに、経過時間表示が動かない。	•経過時間表示は、テープに何も録画されていないと動きません。	92
	ビデオを操作しても画面表示(動作表示)が出ない。	•「機能設定」の「画面表示」を「入り」にしてください。	91
	ビデオの時刻を自動的に修正(ジャストクロック)できない。	•ビデオの時刻と現在時刻が3分以上ずれているときは、時刻を修正することはできません。	154
	英語の字幕が出ない。	•字幕ボタンを何回か押してください。	41
		•早送り再生、巻戻し再生、スロー再生中は字幕が出ません。また、傷がついたテープや録画状態の悪いテープは字幕を正しく表示できないことがあります。	41

	症状	処置	参照
その他	録画した番組を再生していたら、自動的に早送り再生になった。	•再生中にCMボタンを押してテレビ画面の「CMl」または「CM2」を消してください。	45
	MUSE-NTSCコンバータを接続しても、ハイビジョン放送が見られない。	•接続を確認し、正しく接続してください。	133 134
		•BS9チャンネルの設定をします。「受信設定」の「マニュアル設定」画面で「BSデコーダ」を「MNコンバータ」にしてください。	143
	テープを停止後、しばらくして音がした。	•停止状態で約1分たつと内部のテープ保護メカが動作し、多少音がします。故障ではありません。	—
	ビデオの電源を入れたまま、テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選んだときに、テレビの映りが悪い。	•リモコンのビデオ／テレビ切換ボタンを押して、ビデオの表示窓の「ビデオ」を消してください。	35 50
i.LINK	入力切換で「d」入力を選んでも、画面に「映像も音声もありません」と表示される。	•i.LINK対応機器とLINCしていますか。映像や音声を入力したい機器とLINCしてください。	83
		•i.LINKケーブルが正しく接続されていることを確認してから、映像や音声を入力したい機器とLINCしてください。	79 83
		•相手の機器がMPEG2(TS)を取り扱う機器以外（DV方式のビデオなど）の場合は、本機では映像や音声を出すことができません。	28
	ブロードキャスト入力を選択しても、「ブロードキャスト出力している機器がありません。」と表示される。	•他の機器でブロードキャスト出力している機器がありません。映像や音声を入力したい機器をブロードキャスト出力するに切り換えてください。他の機器の取扱説明書もよくお読みください。	83
	本機メニューの「ブロードキャスト出力」の項目を「する」に選んだのに、他の機器でブロードキャスト入力を選択しても、本機の映像が出ない。	•他の機器ですでにブロードキャスト出力している機器があります。他の機器のブロードキャスト出力を止めてから、本機で「ブロードキャスト出力」を「入り」に切り換えてください。	80
		•本機の入力切換が「d」になっていると、ブロードキャスト出力しません。「d」以外に切り換えてください。	
		•本機が他の機器からLINCされているとブロードキャスト出力しません。他の機器からのLINCを解除してください。	
	「編集ダビング」や「オートダビング」しようとすると、「i.LINKで接続されている機器がありません」と出てくる。	•i.LINKケーブルが正しく接続されていることを確認してから、ダビングを開始してください。	79
	i.LINK入力切換画面に、信号を入力したい機器が出てこない。	•i.LINKケーブルが正しく接続されていることを確認してください。	79
	操作パネルの操作ボタンを押しても、相手の機器が動作しない。	•相手の機器の仕様によっては、本機の操作を受けつけない場合がありますが、故障ではありません。	29
	「編集ダビング」や「オートダビング」で録画したテープが途中で終ってしまった。	•「編集ダビング」や「オートダビング」のときの相手機器の録画モードは、ダビング開始時に設定されている相手機器の録画モードになります。ダビングしたい番組の時間に合わせて、テープの種類（時間）や録画モードを選んでください。	25 87
	「編集ダビング」や「オートダビング」したが、全く録画できなかった。	•相手の機器がMPEG2(TS)を取り扱う機器以外（DV方式のビデオなど）の場合は、本機の映像や音声を録画することができません。	28
	「d」入力にしてタイマー録画したが、希望の番組が録画できていなかった。	•タイマー録画が始まる前に、映像や音声を録画したい機器とLINCしてください。	83
		•コピーガードがかかった番組は録画できません。タイマー予約実行結果を確認してください。	78
	D-VHS録画した番組をダビングできない。	•番組によってはデジタル録画を1回のみ許可している番組があります。このような番組はダビングできません。	90

	症状	処置	参照
i.LINK	「LINCできません。」と表示される。	•LINCしたい機器が、すでに他の機器からLINCされています。他の機器からのLINCを解除したあと、本機からLINCしてください。	83
	オートダビングの操作で「接続確認画面へ」を選んで決定ボタンを押しても、「LINCできません。」を表示されて、オートダビングが実行されない。	•LINCしたい機器が、すでに他の機器からLINCされています。他の機器からのLINCを解除したあと、ダビングの操作を行ってください。	83 86 87
	編集ダビングの操作で「開始」を選んで決定ボタンを押しても、「LINCできません。」を表示されて、編集ダビングが実行されない。		

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は	商品情報やお取り扱いについてのご相談は
0120−3121−68	0120−3121−11

＊フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

修理ご相談窓口

北海道地区

担当地域	拠点名	所在地
北海道	札幌	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
	旭川	旭川市東光10条3-4-14
	北見	北見市常盤町3-2-21
	釧路	釧路市新橋大通1-1-5
	帯広	帯広市緑ヶ丘2条通り1-2-7
	小樽	小樽市錦町5-12
	苫小牧	苫小牧市住吉町2-5-2
	室蘭	室蘭市中島町3-14-13
	函館	函館市亀田町7-12

東北地区

担当地域	拠点名	所在地
青森県	青森	青森市青柳1-16-4
	むつ	むつ市緑町17-56
	弘前	弘前市外崎4-2-3
	八戸	八戸市大字根城字白山平1-7
岩手県	岩手	盛岡市東仙北1-12-12
	水沢	水沢市東中通り2-4-38
宮城県	宮城	仙台市宮城野区扇町3-2-9
	古川	古川市古川字上古川150
	石巻	桃生郡河南町鹿又道的前499-1
秋田県	秋田	秋田市土崎港相染町字沖谷地151-1
	大館	大館市御成町3-1-9
	県南	大曲市福住町4-16
山形県	山形	山形市蔵王松ヶ丘1-1-33
	庄内	酒田市東町1-7-1
福島県	いわき	いわき市平塩字古川95
	福島	福島市春日町14-33
	原町	原町市栄町3-41
	郡山	安達郡本宮町大字荒井字長山79
	会津若松	会津若松市西七日町6-15

関東・甲信越地区

担当地域	拠点名	所在地
東京都	北東京	足立区千住関屋町11-1
	西東京	豊島区西池袋4-23-11
	南東京	世田谷区三軒茶屋2-48-8
	三鷹	三鷹市上連雀7-32-32
神奈川県	横浜	横浜市戸塚区品濃町531-1
	厚木	厚木市長谷260-27
埼玉県	大宮	大宮市東大成町2-246
	越谷	越谷市大杉458-3
	三芳	入間郡三芳町上富1828-1
千葉県	千葉	千葉市花見川区幕張町1-7681
	柏	柏市中央2-9-16
	船橋	船橋市高瀬町62-10
	銚子	銚子市唐子町21-3
	東金	東金市福俵3-397
	木更津	木更津市潮浜1-17-29
	館山	館山市八幡66-1
茨城県	水戸	水戸市水府町1548
	日立	日立市幸町2-2-10
	鹿嶋	鹿嶋市神向寺大芝311-1
	土浦	土浦市荒川沖字一里塚5-102
栃木県	宇都宮	宇都宮市御幸ヶ原町40-5
群馬県	伊勢崎	伊勢崎市連取町329-8
山梨県	山梨	中巨摩郡田富町流通団地1-8-2
長野県	長野	長野市南長池763-3
	松本	松本市芳川村井町1280-1
新潟県	新潟	新潟市紫竹山5-5-29
	佐渡	佐渡郡金井町泉1031-6
	長岡	長岡市新産2-13-9
	上越	上越市栄町6-4
静岡県（富士川以東）	沼津	沼津市上香貫槇島町1354-2
静岡県（富士川以西）	静岡	静岡市豊田3-6-27
	浜松	浜松市篠ヶ瀬町1255

修理ご相談窓口

中部地区

担当地域	拠点名	所在地
愛知県	名古屋東	名古屋市守山区川宮町55
	名古屋西	名古屋市中川区篠原橋通1-1
	三河	岡崎市大樹寺2-12-6
	豊橋	豊橋市東田町151-1
岐阜県	岐阜	岐阜市宇佐南2-3-8
	高山	高山市岡本町3-176
	東濃	瑞浪市明世町山野内字沼305-1
三重県	北三重	四日市市羽津中2-1-6
	南三重	度会郡玉城町佐田字銚子口1820-1
静岡県（富士川以東）	沼津	沼津市上香貫槇島町1354-2
静岡県（富士川以西）	静岡	静岡市豊田3-6-27
	浜松	浜松市篠ヶ瀬町1255
富山県	富山	富山市向新庄857-1
石川県	石川	石川郡野々市町堀内5-20
福井県	福井	福井市高木中央1-1402

関西地区

担当地域	拠点名	所在地
大阪府	京阪	門真市大字岸和田1551
	北大阪	大阪市福島区海老江1-5-79
	阪南	堺市草部21-1
奈良県	奈良	天理市二階堂上ノ庄町342-1
兵庫県	神戸	神戸市東灘区甲南町1-3-8
	西神	神戸市西区平野町下村251
	姫路	姫路市飾磨区構4-81
	阪神	伊丹市昆陽3-254
	豊岡	豊岡市桜町15-15
京都府	京都	京都市右京区西京極豆田町17
	福知山	福知山市字堀1965-2
滋賀県	滋賀	大津市玉野浦2-1
	彦根	彦根市川瀬馬場町1010-1
和歌山県	和歌山	和歌山市井ノ口543-1
	田辺	田辺市稲成町字沖代80-2
	新宮	新宮市下田2-3-12

中国地区

担当地域	拠点名	所在地
鳥取県	鳥取	鳥取市千代水3-106
島根県	山陰	松江市西津田2-2-5
	浜田	浜田市下府町388-40
岡山県	岡山	岡山市延友189-3
	津山	津山市小原109
広島県	広島	広島市西区観音新町1-7-17
	備後	福山市高西町川尻110-1
	呉	呉市阿賀中央3-1-7
山口県	山口	吉敷郡小郡町大字上郷字仁保津下5220
	東山口	下松市潮音町2-2-5

四国地区

担当地域	拠点名	所在地
徳島県	徳島	徳島市応神町古川字日の上15-2
香川県	香川	坂出市林田町4285-143
愛媛県	愛媛	松山市内宮町2007
	東予	新居浜市萩生字岸ノ下1150-4
高知県	高知	高知市朝倉西町2-5-5

九州・沖縄地区

担当地域	拠点名	所在地
福岡県	福岡	福岡市博多区諸岡3-21-28
	北九州	北九州市小倉北区篠崎1-4-8
	久留米	久留米市野中町1440-1
	大牟田	大牟田市天領町1-201
佐賀県	佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸3181
	唐津	唐津市町田1863-3
長崎県	長崎	西彼杵郡長与町高田郷1275-1
	佐世保	佐世保市山祇町329-4
	五島	福江市下大津町724-7
熊本県	熊本	熊本市新南部5-5-30
	八代	八代市田中西町10-10
	天草	本渡市今釜新町3444
大分県	大分	大分市豊海5-4-12
	中津	中津市大字下池永字北原564-1
	佐伯	佐伯市中村南町9-5
宮崎県	宮崎	宮崎市大字芳士589-1
	延岡	延岡市旭ヶ丘6-1-24
	都城	都城市菖蒲原町24-2-5
鹿児島県	鹿児島	鹿児島市宇宿2-8-2
	鹿屋	鹿屋市新生町10-4
沖縄県	那覇	那覇市字安謝620-187

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センター**へ

地区お客様相談センター

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	(011) 833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	(022) 232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	(03) 3834-8588	台東区東上野2-7-5（日立家電上野ビル）
中部地区	(052) 795-5088	名古屋市守山区川宮町55（日立家電守山ビル）
関西地区	(078) 431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	(082) 231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	(0877) 47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	(092) 281-5088	福岡市博多区店屋町7-18（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は変更することがありますのでご了承ください。

仕様

形　名	DT-DR20000
電　源	AC 100V、50/60Hz共用
動作時消費電力	44W
待機時消費電力	11W
方　式	回転2ヘッドヘリカルスキャン D-VHS方式(MTP)　S-VHS方式(NTSC準拠)
使用カセット	D-VHS、S-VHS、VHSタイプビデオカセット
テープ幅	12.7mm
テープ速度	標準モード　33.4mm/秒、3倍モード　11.1mm/秒、HSモード　33.4mm/秒、STDモード　16.7mm/秒、LS2モード　8.3mm/秒、LS3モード　5.6mm/秒
録画再生時間	T-210使用時：標準モード　3時間30分、3倍モード　10時間30分
	DF-420使用時：HSモード　3時間30分、STDモード　7時間 LS2モード　14時間、LS3モード　21時間
ヘッド数	12(4：映像用、2：Hi-Fi音声、6：デジタル用)
VHF出力	1、2チャンネル切り換え可能
受信チャンネル	VHF　1〜12チャンネル　UHF　13〜62チャンネル　BS　1〜15チャンネル CATV　13〜63チャンネル
i. LINK端子	4ピン　S200(2系統)
映像入力	S映像端子：輝度信号1.0Vp-p、75Ω不平衡/色信号0.286Vp-p、75Ω不平衡 映像端子：1.0Vp-p、75Ω不平衡
映像出力	D1/D2/D3/D4映像端子：Y信号1.0Vp-p、75Ω不平衡/CB信号0.7Vp-p、75Ω不平衡/CR信号0.7Vp-p、75Ω不平衡 S映像端子：輝度信号1.0Vp-p、75Ω不平衡/色信号0.286Vp-p、75Ω不平衡 映像端子：1.0Vp-p、75Ω不平衡
音声入力	−7.8dBs(316mVrms)、ハイインピーダンス
音声出力	−7.8dBs(316mVrms)、ローインピーダンス
音声トラック	3トラック　Hi-Fi　VHS音声2トラック：ステレオ録音/ステレオ再生 ノーマル音声　1トラック：モノラル録音/モノラル再生
Hi-Fi VHS音声特性	ダイナミックレンジ：90 dB以上　周波数特性：20 Hz〜20 kHz　ワウ・フラッター：0.005 %
許容動作温度	5℃〜40℃
許容相対湿度	35%〜80%以下
外形寸法	(幅)46.5 ×(高さ)13.2×(奥行)32.3 cm
質量	本体　7.6kg
付属品	ワイヤレスリモコン(VT-RM20000) 1個　同軸ケーブル 2本　映像・音声コード 1本　Sコード 1本　AV-BUSコード 1本　単3形乾電池 2個　F型中継アダプター 1個　i. LINKケーブル 1本　D端子ケーブル 1本　フェライトコア 2個

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
●このビデオカセットレコーダーは、日本国内専用です。電源・電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
<This video cassette recorder cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.>

別売品のご紹介

ヘッドクリーニングテープ

- 乾式ビデオヘッドクリーナー
  T-CL01
  V-CL2
- 湿式ビデオヘッドクリーナー
  T-EW(N)
- 湿・乾式ビデオヘッドクリーナー
  T-CW(N)

ビデオカセットテープ

VHS テープ
- T-180HG　•T-120HG
- T-160RX　•T-120RX

S-VHS テープ
- ST-180S　•ST-120S

D-VHS テープ
- DF-300E
- DF-420E

BSデジタルハイビジョンチューナー

- BS-DH2000

用語の解説

BSデジタル放送(㉕、㊳ページ)

BSデジタル放送は、デジタル信号の圧縮技術によりBS放送よりも多くの情報を送ることができます。BS放送には以下の特長があります。
・デジタルハイビジョン　・多チャンネル放送
・BSデータ放送　・マルチステレオ
・降雨対応放送
・電子番組ガイド (EPG:Elecronic Program Guide)

BS(衛星)放送

赤道上空約36,000キロの静止衛星軌道上に打ち上げられた放送衛星を中継として、テレビ電波を受信するシステムです。衛星放送にはBS、CSの2種類あります。BSがもともと放送を目的とした人工衛星である「放送衛星」(Broadcasting Satellite)を使用しており、CSは通信を目的とした人口衛星である「通信衛星」(Communications Satellite)を使っています。BS、CSというのはそれぞれの衛星の頭文字をとったものです。
・BS7、BS11は、NHK衛星第1と第2です。
・BS5は、WOWOW(JSB：日本衛星放送(株))です。
また、セント・ギガ(SDAB：衛星デジタル音楽放送(株))が独立音声を放送しています。これらは、受信契約と専用のデコーダの接続が必要です。受信契約と専用のデコーダについては、代理店(主に電器店)にご相談ください。
・BS9は、ハイビジョン実用化試験放送です。

スクランブル(⑭ページ)

BS5チャンネルを見るには、受信契約と専用のデコーダが必要です。このデコーダとビデオを接続し、BS5チャンネルを見るための設定を行わないと、BS5チャンネルにしたとき、ザーッという画面(音)が現れます。このザーッという状態をスクランブルといいます。

デジタル衛星放送(㊷ページ)

通信衛星を利用したデジタル衛星放送の一種で、いくつかの放送サービスがあります。映像や音声をデジタル化して、多チャンネルの放送を高画質、高音質で放送します。

トラッキング調節(㊴ページ)

再生時、画面に出たノイズを少くし、きれいな再生画になるように調節することをトラッキング調節といいます。

ビデオ専用チャンネル(ビデオチャンネル)(⑭ページ)

1または2いずれかのチャンネルです。
映像・音声入力端子のついていないテレビをご使用のときは、テレビを1または2チャンネルに合わせてビデオを楽しみます。これが、ビデオの専用チャンネルです。

入力切換(㊹ページ)

他の機器から録画・録音するときに必要な切換です。
入力切換ボタンで「L1」、「L2」、「L3*」、「d」を選ぶと、映像入力端子、音声入力端子に接続された機器から録画・録音ができます。
*「BSデジタル連動設定」を「入り」にしたとき、または「BSデジタル連動設定」を「切り」にして「入力3設定」を「外部入力」にしたとき、切り換わります。

BSデコーダ(⑬ページ)

JSB(日本衛星放送株式会社)の有料放送、WOWOW(BS5チャンネル)を見るためにスクランブル画像を正常な画像に戻す装置です。

ブースター(電波増幅器)(⑬ページ)

名前のとおり、電波を増幅します。
電波の弱い地域の場合、ビデオを接続すると、テレビの映りが悪くなります。これは電波がテレビとビデオの両方に分けられるためです。電波を増幅することにより、今までと同じ程度にテレビを見ることができます。増幅度の大きいブースターほど、映りがよくなります。

録画モード(HS/STD/LS2/LS3/標準/3倍)(㉓、㉕、㉛、㊽ページ)

ビデオには、「HS」、「STD」、「LS2」、「LS3」、「標準」、「3倍」の録画モードがあり、録画時に使用するテープによって切り換えられます。
H S：D-VHSテープでBSデジタル放送のハイビジョン番組を録画するときに設定します。
STD：D-VHSテープで画質や音質を重視するときには「STD」で録画することをおすすめします。
LS2：テープスピードが「STD」の1/2の速さです。「STD」に比べて2倍長く録画できます。
LS3：テープスピードが「STD」の1/3の速さです。「STD」に比べて3倍長く録画できます。
標 準：S-VHS、VHSテープで画質や音質を重視するときには「標準」で録画することをおすすめします。
3 倍：テープスピードが「標準」の1/3の速さです。「標準」に比べて3倍長く録画できます。

Closed Caption(㊶ページ)

クローズド・キャプションシステムは、アメリカで聴覚障害者用に開発されたテレビの字幕放送です。
アメリカではテレビ番組のみではなく、ソフトテープ、ビデオディスクなどにもクローズド・キャプション信号が入っています。日本国内でも、クローズド・キャプション対応のソフトテープが増えており、英語学習に利用することができます。

Gコード予約番号(63ページ)

ジェムスターコード予約番号の略で、番組予約を簡単にするために、各番組に付けた最大8桁の数字です。

Gコード・インフォ(63ページ)

従来の「Gコードシステム」を応用・展開した予約録画システムのことです。次のような利点があります。

① 1つの番組には全国どこでも同じコードが与えられますので、効率がよい。
② 録画時間の長さの精度が高いので、短時間番組の予約録画に適している。

「Gコード・インフォ」に使用するIコードは、Info plus code の略です。IコードはGコード予約番号が「0」で始まります。

Hi-Fiサウンド(39ページ)

ビデオにはふつうのビデオとHi-Fiビデオがあります。
ふつうのビデオは音声を録音/再生するのに固定ヘッドで録音/再生します。
一方、Hi-Fiビデオは固定ヘッド以外に回転ヘッドでも音声を録音/再生します。そのため、テープとの相対速度が非常に早くなり、よりよい音で録音/再生できます。固定ヘッドで録音した音がノーマルサウンド、回転ヘッドで録音した音がHi-Fiサウンドです。

MPEG2(28ページ)

MPEG2とは、Moving Picture Experts Group(メディア統合系動画像圧縮の国際基準)Phase2の略称です。
MPEG2は、デジタル衛星放送やDVDにも採用されており、今後、全世界でデジタル機器を中心に採用されると予想されます。

VHFとUHF放送(127ページ)

テレビ放送にはVHFとUHF放送、BS(衛星)放送があります。VHF放送は1～12チャンネル、UHF放送は13～62チャンネルでご覧になれます。
※一部の地域(関東地域など)ではVHF放送をUHF放送に変換していることもあります。

VISS(42ページ)

VHS Index Search System の略で、テープに記録された頭出し用の信号(VISS信号)を使って頭出しをする方式です。本機は録画を始めると、自動的にVISS信号を記録します。

ハイビジョン放送(132、143ページ)

走査線の数が現行テレビの2倍以上の1125本(現行525本)、縦横比9:16(現行3:4)の放送です。

MUSE-NTSCコンバータ(133ページ)

ハイビジョン放送を現行テレビ(NTSC方式)で見られるように変換する装置です。ただし、走査線の数は525本です。

S映像信号

従来の映像信号を輝度(Y)信号とカラー(C)信号に分離した信号です。2つの信号がお互いに影響を受けないため、鮮明な映像が楽しめます。
＊S映像信号の「S」はセパレート(SEPARATE)YCの「S」です。

コピーガード(8、38、47ページ)

著作権保護のための技術で、ソフトテープの再生やテレビ放送の番組などについて視聴に限って許可し、コピー(ダビング録画)を制限するものです。

i.LINK(28ページ)

i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINKは、IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)1394—1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ「i」はソニー株式会社の商標です。

LINC(29ページ)

本機は、i.LINKケーブルで接続されている機器のうち一台と映像や音声のデータのやりとりができます。「LINCする」とは、相手の機器を一台選ぶことを意味します。本機と相手の機器との間で次のようなやりとりが行われます。

(例)D-VHSビデオをLINCするとき
①「これから操作してもいいですか?」と本機が相手のD-VHSビデオに信号を送る

本機(操作する側)	⟶ ⟵	相手のD-VHSビデオ(操作される側)

②「了解です」と相手のD-VHSビデオが本機に信号を送る

この呼びかけ・返答のやりとりが行われ、i.LINK対応機器のLINCが完了して、初めてi.LINK対応機器を操作することができます。
LINCとは、Logical Interface Connecrion(ロジカル・インターフェース・コネクション:「論理的な接続を行う」の意)の略です。

索引

あいうえお

頭出し 42,104,117
アンテナ線 126,127
一時停止
テープを止めて見る 40
録画を一時停止する 49
衛星放送 10,165
～を録画する 60
映像・音声コード 126
～を使った接続 126,127
映像設定 24,43
オーディオ録音 56
オートカット 51,65
オートダビング 87
オート電源オフ 36
オートトラッキング 39
オートリワインド 39
オートリワインドシャットオフ 39
音声切換
オーディオ録音の音声切換 56
二重音声・ステレオ音声の音声切換 ...39
録画中の音声切換 48
音量ボタン 122

かきくけこ

画面表示 91,95
カラーバー 101
キードAFC端子 133,134
機能設定 24,95
機能ボタン 101
共聴(共同)アンテナ 129
記録レート 25
クイックタイマー 50
クローズド・キャプション 41
経過時間 91,92
結露 10
検波入・出力端子 130,131
誤消去防止 22
コピーガード 8, 38,166
ゴーストリダクション 96
混合器 126
～を使ってアンテナ線をつなぐ ...127
コンポーネント映像変換用D端子コード ...34

さしすせそ

再生
ある場面を止めて見る 40
映像をクッキリさせる 42
画像を見ながら探す 40
テープを見る 38
ゆっくりした速さで見る 40
CMをとばして見る 44
再生オート 39
サーチ 40
サーチデータ 81
～の設定 81
3次元デジタルNR 43
3次元Y/C分離 43
3倍
3倍モードでの録画時間 23
録画モード「3倍」を選ぶ 48
3倍／標準
録画モード「3倍 標準(オート)」を選ぶ 64,67,69
録画モード「3倍 標準(オート)」に合わせると ...77
残り時間 91,92
ジャストクロック 154
ジャンルマーク 113
主音声 39
受信チャンネル
オートチャンネルで合わせる ...150
～の表示を変える 151
～を合わせる 146
スクランブル 142,165
ステレオ
～音声を選ぶ 39
～から音声を録音する 56
～放送の録音 48
～をつなぐ 56
～CMスキップ 44
スロー再生 40
静止画 8
静止画再生 40
操作音 22,95
操作パネル 85

たちつてと

タイマー録画・予約
タイマー録画を途中でやめる ...65,67,69
デジタル衛星放送をタイマー録画する ...62
～の実行結果を確認する 71
～番号のジャンルマークを設定する ...75
～番組のタイトルを設定する ...73
予約内容を確認する 71
予約のしかた ....63～70
予約を取り消す 71
タイムナビ 117
タイムナビ画面 101
CMの終わるところを探す ...119
5分前、5分後のところを探す ...120
番組の終わるところを探す ...120
ダビング
本機を再生側にしてダビングする ...55
本機を録画側にしてダビングする ...54
チャンネル設定 146
オートチャンネル設定 150
「地域選択開始」による設定 ...146
表示変更 151
チャンネル
映りの悪いチャンネルを飛ばす ...152
映るチャンネルを確認する ...150
～の選ばれる順序 150
～の表示を変える 151
～を飛ばす／元に戻す 152
～を微調整する 152
録画したいチャンネルを選ぶ 47
つめ
～を折る 22
～を折ったテープに録画する 22
～を折ったテープに録画すると 48
～を折ったテープでタイマー予約すると 22,65,67,69
停止
再生を停止する 38
タイマー録画を停止する ...50,65,67,69
録画を停止する 48
デジタルCSチューナー 138
デジタルTBC 43
テープナビ 100
テープナビ画面 101
テープナビ機能 103
登録内容を取り消す 106
登録内容を確かめる 107
録画データを検索する 108
タイトルを設定する 109
ジャンルマークを設定する ...113
テレビ
映像・音声入力端子つき～ ...127
AV-BUSⅡ端子つき～ 139
～でチャンネルを選ぶ 50
～をつなぐ 126
MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビ ...132
リモコンで～を操作する 122
テレビ専用ボタン 20,122
音量ボタン 122
入力切換ボタン 122
チャンネルボタン 20
テレビ電源ボタン 122
テレビコード 122
電源
～が自動的に入る 22
～を切る 65,67,69
転送 64,67
伝送レート 81
テープアナライザATRS 49
独立音声 93
トラッキング 165
～を調節する 39,40
時計
～の合わせかた 153
～を修正する 154
～を表示する 91
同軸ケーブル 127,128
～を使ってテレビをつなぐ ...127
分波器に同軸ケーブルを取り付ける ...128

ご参考

索引の見かた
見出し語と同じ形のものは「～」で代用してあります。
ただし、活用形や複合語、文の途中に出てくる場合は、文字で示してあります。

な にぬねの

二重音声
　～放送を録画する 48
　～を選ぶ 39
入力切換 165
　～ボタン 54,56
　テレビの入力切換を「ビデオ」にする ...144
入力3設定 56
ノーマルサウンド 39
ノイズ
　スロー再生中にノイズが出るとき ...40
　静止画が上下に揺れるとき 40
　字幕が上下に揺れるとき 41

は ひふへほ

ハイビジョン放送
　～の画面比率 133
　～を見る 61
　～を録画する 61
　MUSE-NTSCコンバータ ...133,134
　MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビ 132
早送り
　テープを早送りする 38,40
　早送りしながら見たい場面を探す ...40
ビットストリーム入・出力端子 ...130,131
ビデオチャンネル 140
ビデオ/テレビ切換 35
「ビデオ」表示
　～を消す 50
　～を出す 35
ビデオヘッド
　～の清掃 9
　～の摩耗 9
標準
　標準モードでの録画時間 23
　録画モード「標準」を選ぶ 48
副音声 39
ブースター 126,165
フェライトコア 21,54
フルモード 133
ブロックノイズ 9
ブロードキャスト 80
分波器 126
　～に同軸ケーブルを取り付ける ...128
　～を使ってテレビをつなぐ ...127
ヘッドクリーニングテープ 164
　～でヘッドを清掃する 9

ま みむめも

毎日/毎週
　～録画 65,70
巻戻し
　テープを巻戻す 38
　巻戻しながら見たい場面を探す ...40
マニュアル設定 97,143
メニュー
　メニュー画面 24,91
戻るボタン 24
モニターボタン 33
モノラル 39
　～ビデオをつなぐ 54,55

や ゆよ

予約
　Gコード予約 63
　リモコン予約 68
　→「タイマー録画・予約」も参照

ら りるれろ わ

リセット 155
リモコン
　～切換ボタン 20,121
　～受光部 15
　～の電池の入れかた 14
　～でビデオ、テレビを操作する ...20
録画
　クイックタイマー 50
　見ている番組を録画する 47
　タイマー録画 63
　デジタル衛星放送を録画する ...62
　～しながら別の番組を見る 50
録画時間 23
録画モード 165
　～によるテープの録画時間 23
　～を選ぶ 48,64,69
ワープボタン 47

A BC

Aモニター 31
ATRS 49
AV-BUSⅢ端子 139
AV-BUSコード 139
BSアンテナ
　～の方向を調整する 141
　～をつなぐ 129
　～電源の切り換え 140
BSコンバータ 140
BSデコーダ 130,131
BSデジタルチューナー 135
BSデジタル連動設定 56
BSチューナー内蔵テレビ ...131,134
CL 9,19
Closed Caption 41
CMオート 44
CMカット 51
CMとばしワザ 44
D1/D2/D3/D4映像出力 34
D端子ケーブル 34,126
Dモニター 33
D-VHS 25,164
　～インジケータ 25,38
　～テープ 23
　～映像調整 99
　～方式で録画する 48
　～録画 26,48
　～再生 38
　～のいろいろな再生 27
Err 19,77
Error 63
F型中継アダプター 127
FULL 19,77
Gコード 63
　Gコード・インフォ 63,166
　～予約 63
　～予約番号を入力する 63
GRT 96
Hi-Fiサウンド 166
　～を選ぶ 39
HS 25,48,165
　HSモードでの録画時間 23
　録画モード「HS」を選ぶ 48
i.LINK 27,28
　～ケーブル 27,79
　～対応機器の接続 79
　～端子 79
　～ボタン 80
JSB 130
LCDの明るさ 36,95
LINC 29,83
Lock 19,116
MPEG画質調整 43,99
MPEG2 28,166
PROG 19,64,67,69
R-2 19,121
RF-1/2/OFF 144
S映像信号 166
Sコード 126
SA予約 62
SDAB 60
SQPB 32
STD 25,48,165
　STDモードでの録画時間 23
　録画モード「STD」を選ぶ 48
S-VHS 31,52
S-VHS ETモード 31,32
TAb 19,48
TAPE 19
VISS 166
　～信号を使う 42
UHF/VHF放送 124,127,166
WOWOW 60,130

漢字一覧表

このビデオはタイトルの入力や機器名称の入力で、ひらがなやカタカナのほかに漢字の入力ができます。
漢字の読みをカーソルボタンで選び「変換」を選んで決定ボタンを押したとき、選択できる漢字の一覧表です。

【あ】亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或粟袷安庵按暗案闇鞍杏【い】以伊位依偉囲夷委威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣謂違遺医井亥域育郁磯一
壱溢逸稲茨芋鰯允印咽員因姻引飲淫胤蔭院陰隠韻吋【う】右宇烏羽迂雨卯鵜窺丑碓臼渦嘘唄欝蔚鰻姥厩浦瓜閏噂云運雲【え】荏餌叡営嬰影映曳栄永泳洩瑛盈穎頴英衛詠鋭液疫益駅悦謁
越閲榎厭円園堰奄宴延怨掩援沿演炎焔煙燕猿縁艶苑薗遠鉛鴛塩【お】於汚甥凹央奥往応押旺横欧殴王翁襖鴬鴎黄岡沖荻億屋憶臆桶牡乙俺卸恩温穏音【か】下化仮何伽価佳加可嘉夏嫁家
寡科暇果架歌河火珂禍禾稼箇花苛茄荷華菓蝦課嘩貨迦過霞蚊俄峨我牙画臥芽蛾賀雅餓駕介会解回塊壊廻快怪悔恢懐戒拐改魁晦械海灰界皆絵芥蟹開階貝凱劾外咳害崖慨概涯碍蓋街該
鎧骸浬馨蛙垣柿蛎鈎劃嚇各廓拡撹格核殻獲確穫覚角赫較郭閣隔革学岳楽額顎掛笠樫橿梶鰍潟割喝恰括活渇滑葛褐轄且鰹叶椛樺鞄株兜竃蒲釜鎌噛鴨栢茅萱粥刈苅瓦乾侃冠寒刊勘勧巻
喚堪姦完官寛干幹患感慣憾換敢柑桓棺款歓汗漢澗潅環甘監看竿管簡緩缶翰肝艦莞観諌貫還鑑間閑関陥韓館舘丸含岸巌玩癌眼岩翫贋雁頑顔願【き】企伎危喜器基奇嬉寄岐希幾忌揮机旗
既期棋棄機帰毅気汽畿祈季稀紀徽規記貴起軌輝飢騎鬼亀偽儀妓宜戯技擬欺犠疑祇義蟻誼議掬菊鞠吉吃喫桔橘詰砧杵黍却客脚虐逆丘久仇休及吸宮弓急救朽求汲泣灸球究窮笈級糾給旧
牛去居巨拒拠挙渠虚許距鋸漁禦魚亨享京供侠僑兇競共凶協匡卿叫喬境峡強彊怯恐恭挟教橋況狂狭矯胸脅興蕎郷鏡響饗驚仰凝尭暁業局曲極玉桐粁僅勤均巾錦斤欣欽琴禁禽筋緊芹菌衿
襟謹近金吟銀【く】九倶句区狗玖矩苦躯駆駈駒具愚虞喰空偶寓遇隅串櫛釧屑屈掘窟沓靴轡窪熊隈粂栗繰桑鍬勲君薫訓群軍郡【け】卦袈祁係傾刑兄啓圭珪型契形径恵慶慧憩掲携敬景桂渓
畦稽系経継繋罫茎荊蛍計詣警軽頚鶏芸迎鯨劇戟撃激隙桁傑欠決潔穴結血訣月件倹倦健兼券剣喧圏堅嫌建憲懸拳捲検権牽犬献研硯絹県肩見謙賢軒遣鍵険顕験鹸元原厳幻弦減源玄現絃
舷言諺限【こ】乎個古呼固姑孤己庫弧戸故枯湖狐糊袴股胡菰虎誇跨鈷雇顧鼓五互伍午呉吾娯後御悟梧檎瑚碁語誤護醐乞鯉交佼侯候倖光公功効勾厚口向后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸広庚
康弘恒慌抗拘控攻昂晃更杭校梗構江洪浩港溝甲皇硬稿糠紅紘絞綱耕考肯肱腔膏航荒行衡講貢購郊酵鉱砿鋼閤降項香高鴻剛劫号合壕拷濠豪轟麹克刻告国穀酷鵠黒獄漉腰甑忽惚骨狛込
此頃今困坤墾婚恨懇昏昆根梱混痕紺艮魂【さ】些佐叉唆嵯左差査沙瑳砂詐鎖裟坐座挫債催再最哉塞妻宰彩才採栽歳済災采犀砕砦祭斎細菜裁載際剤在材罪財冴坂阪堺榊肴咲崎埼碕鷺作
削咋搾昨朔柵窄策索錯桜鮭笹匙冊刷察拶撮擦札殺薩雑皐鯖捌錆鮫皿晒三傘参山惨撒散桟燦珊産算纂蚕讃賛酸餐斬暫残【し】仕仔伺使刺司史嗣四士始姉姿子屍市師志思指支孜斯施旨枝
止死氏獅祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試誌諮資賜雌飼歯事似侍児字寺慈持時次滋治爾璽痔磁示而耳自蒔辞汐鹿式識鴫竺軸宍雫七叱執失嫉室悉湿漆疾質実蔀篠偲柴芝屡蕊縞舎写射捨赦斜
煮社紗者謝車遮蛇邪借勺尺杓灼爵酌釈錫若寂弱惹主取守手朱殊狩珠種腫趣酒首儒受呪寿授樹綬需囚収周宗就州修愁拾洲秀秋終繍習臭舟蒐衆襲讐蹴輯週酋酬集醜什住充十従戎柔汁渋
獣縦重銃叔夙宿淑祝縮粛塾熟出術述俊峻春瞬竣舜駿准循旬楯殉淳準潤盾純巡遵醇順処初所暑曙渚庶緒署書薯藷諸助叙女序徐恕鋤除傷償勝匠升召哨商唱嘗奨妾娼宵将小少尚庄床廠彰
承抄招掌捷昇昌昭晶松梢樟樵沼消渉湘焼焦照症省硝礁祥称章笑粧紹肖菖蒋蕉衝裳訟証詔詳象賞醤鉦鍾鐘障鞘上丈丞乗冗剰城場壌嬢常情擾条杖浄状畳穣蒸譲醸錠嘱埴飾拭植殖燭織職

色触食蝕辱尻伸信侵唇娠寝審心慎振新晋森榛浸深申疹真神秦紳臣芯薪親診身辛進針震人仁刃塵壬尋甚尽腎訊迅陣靭

す

笥諏須酢図厨逗吹垂帥推水炊睡粋翠衰遂酔錐錘随瑞髄崇嵩数枢趨雛据杉椙菅頗雀裾澄摺寸

せ

世瀬畝是凄制勢姓征性成政整星晴棲栖正清牲生盛精聖声製西誠誓請逝醒青静斉税脆隻席惜戚斥昔析石積籍績脊責赤跡蹟碩切拙接摂折設窃節説雪絶舌蝉仙先千占宣専尖川戦扇撰栓栴泉浅洗染潜煎煽旋穿箭線繊羨腺舛船薦詮賎践選遷銭銑閃鮮前善漸然全禅繕膳糎

そ

噌塑岨措曾曽楚狙疏疎礎祖租粗素組蘇訴阻遡鼠僧創双叢倉喪壮奏爽宋層匝惣想捜掃挿掻操早曹巣槍槽漕燥争痩相窓糟総綜聡草荘葬蒼藻装走送遭鎗霜騒像増憎臓蔵贈造促側則即息捉束測足速俗属賊族続卒袖其揃存孫尊損村遜

た

他多太汰詑唾堕妥惰打柁舵楕陀駄騨体堆対耐岱帯待怠態戴替泰滞胎腿苔袋貸退逮隊黛鯛代台大第醍題鷹滝瀧卓啄宅托択拓沢濯琢託鐸濁諾茸凧蛸只叩但達辰奪脱巽竪辿棚谷狸鱈樽誰丹単嘆坦担探旦歎淡湛炭短端箪綻耽胆蛋誕鍛団壇弾断暖檀段男談

ち

値知地弛恥智池痴稚置致蜘遅馳築畜竹筑蓄逐秩窒茶嫡着中仲宙忠抽昼柱注虫衷註酎鋳駐樗瀦猪苧著貯丁兆凋喋寵帖帳庁弔張彫徴懲挑暢朝潮牒町眺聴脹腸蝶調諜超跳銚長頂鳥勅捗直朕沈珍賃鎮陳

つ

津墜椎槌追鎚痛通塚栂掴槻佃漬柘辻蔦綴鍔椿潰坪壷嬬紬爪吊釣鶴

て

亭低停偵剃貞呈堤定帝底庭廷弟悌抵挺提梯汀碇禎程締艇訂諦蹄逓邸鄭釘鼎泥摘擢敵滴的笛適鏑溺哲徹撤轍迭鉄典填天展店添纏甜貼転顛点伝殿澱田電

と

兎吐堵塗妬屠徒斗杜渡登菟賭途都鍍砥砺努度土奴怒倒党冬凍刀唐塔塘套宕島嶋悼投搭東桃梼棟盗淘湯涛灯燈当痘祷等答筒糖統到董蕩藤討謄豆踏逃透鐙陶頭騰闘働動同堂導憧撞洞瞳童胴萄道銅峠鴇匿得徳涜特督禿篤毒独読栃橡凸突椴届鳶苫寅酉瀞噸屯惇敦沌豚遁頓呑曇鈍

な

奈那内乍凪薙謎灘捺鍋楢馴縄畷南楠軟難汝

に

二尼弐迩匂賑肉虹廿日乳入如尿韮任妊忍認

ぬ

濡

ね

禰祢寧葱猫熱年念捻撚燃粘

の

乃廼之埜嚢悩濃納能脳膿農覗蚤

は

巴把播覇杷波派琶破婆罵芭馬俳廃拝排敗杯盃牌背肺輩配倍培媒梅楳煤狽買売賠陪這蝿秤矧萩伯剥博拍柏泊白箔粕舶薄迫曝漠爆縛莫駁麦函箱硲箸肇筈櫨幡肌畑畠八鉢溌発醗髪伐罰抜筏閥鳩噺塙蛤隼伴判半反叛帆搬斑板氾汎版犯班畔繁般藩販範釆煩頒飯挽晩番盤磐蕃蛮

ひ

匪卑否妃庇彼悲扉批披斐比泌疲皮碑秘緋罷肥被誹費避非飛樋簸備尾微枇毘琵眉美鼻柊稗匹疋髭彦膝菱肘弼必畢筆逼桧姫媛紐百謬俵彪標氷漂瓢票表評豹廟描病秒苗錨鋲蒜蛭鰭品彬斌浜瀕貧賓頻敏瓶

ふ

不付埠夫婦富冨布府怖扶敷斧普浮父符腐膚芙譜負賦赴阜附侮撫武舞葡蕪部封楓風葺蕗伏副復幅服福腹複覆淵弗払沸仏物鮒分吻噴墳憤扮焚奮粉糞紛雰文聞

へ

丙併兵塀幣平弊柄並蔽閉陛米頁僻壁癖碧別瞥蔑箆偏変片篇編辺返遍便勉娩弁鞭

ほ

保舗鋪圃捕歩甫補輔穂募墓慕戊暮母簿菩倣俸包呆報奉宝峰峯崩庖抱捧放方朋法泡烹砲縫胞芳萌蓬蜂褒訪豊邦鋒飽鳳鵬乏亡傍剖坊妨帽忘忙房暴望某棒冒紡肪膨謀貌貿鉾防吠頬北僕卜墨撲朴牧睦穆釦勃没殆堀幌奔本翻凡盆

ま

摩磨魔麻埋妹昧枚毎哩槙幕膜枕鮪柾鱒桝亦俣又抹末沫迄侭繭麿万慢満漫蔓

み

味未魅巳箕岬密蜜湊蓑稔脈妙粍民眠

む

務夢無牟矛霧鵡椋婿娘

め

冥名命明盟迷銘鳴姪牝滅免棉綿緬面麺

も

摸模茂妄孟毛猛盲網耗蒙儲木黙目杢勿餅尤戻籾貰問悶紋門匁

や

也冶夜爺耶野弥矢厄役約薬訳躍靖柳薮鑓

ゆ

愉愈油癒諭輸唯佑優勇友宥幽悠憂揖有柚湧涌猶猷由祐裕誘遊邑郵雄融夕

よ

予余与誉輿預傭幼妖容庸揚揺擁曜楊様洋溶熔用窯羊耀葉蓉要謡踊遥陽養慾抑欲沃浴翌翼淀

ら

羅螺裸来莱頼雷洛絡落酪乱卵嵐欄濫藍蘭覧

り

利吏履李梨理璃痢裏裡里離陸律率立葎掠略劉流溜琉留硫粒隆竜龍侶慮旅虜了亮僚両凌寮料梁涼猟療瞭稜糧良諒遼量陵領力緑倫厘林淋燐琳臨輪隣鱗麟

る

瑠塁涙累類

れ

令伶例冷励嶺怜玲礼苓鈴隷零霊麗齢暦歴列劣烈裂廉恋憐漣煉簾練聯蓮連錬

ろ

呂魯櫓炉賂路露労婁廊弄朗楼榔浪漏牢狼篭老聾蝋郎六麓禄肋録論

わ

倭和話歪賄脇惑枠鷲亙亘鰐詫藁蕨椀湾碗腕

その他

弌丐丕个丱丶丼丿乂乖乘亂亅豫亊舒弍于亞亟亠亢亰亳亶
从仍仄仆仂仗仞仭仟价伉佚估佛佝佗佇佶侈侏侘佻佩佰侑佯來侖儘俔俟俎俘俛俑俚俐俤俥倚倨倔倪倥倅伜俶倡倩倬俾俯們倆偃假會偕偐偈做偖偬偸傀傚傅傴傲僉僊傳僂僖僞僥僭僣僮價僵儉
儁儂儖儕儔儚儡儺儷儼儻儿兀兒兌兔兢竸兩兪兮冀冂囘册冉冏冑冓冕冖冤冦冢冩冪冫决冱冲冰况冽凅凉凛几處凩凭凰凵凾刄刋刔刎刧刪刮刳刹剏剄剋剌剞剔剪剴剩剳剿剽劍劔劒剱劈劑辨辧
劬劭劼劵勁勍勗勞勣勦飭勠勳勵勸勹匆匈甸匍匐匏匕匚匣匯匱匳匸區卆卅丗卉卍凖卞卩卮夘卻卷厂厖厠厦厥厮厰厶參簒雙叟曼燮叮叨叭叺吁吽呀听吭吼吮吶吩吝呎咏呵咎呟呱呷呰咒呻咀呶
咄咐咆哇咢咸咥咬哄哈咨咫哂咤咾咼哘哥哦唏唔哽哮哭哺哢唹啀啣啌售啜啅啖啗唸唳啝喙喀咯喊喟啻啾喘喞單啼喃喩喇喨嗚嗅嗟嗄嗜嗤嗔嘔嗷嘖嗾嗽嘛嗹噎噐營嘴嘶嘲嘸噫噤嘯噬噪嚆嚀嚊
嚠嚔嚏嚥嚮嚶嚴囂嚼囁囃囀囈囎囑囓囗囮囹圀囿圄圉圈國圍圓團圖嗇圜圦圷圸坎圻址坏坩埀垈坡坿垉垓垠垳垤垪垰埃埆埔埒埓堊埖埣堋堙堝塲堡塢塋塰毀塒堽塹墅墹墟墫墺壞墻墸墮壅壓壑
壗壙壘壥壜壤壟壯壺壹壻壼壽夂夊夐夛梦夥夬夭夲夸夾竒奕奐奎奚奘奢奠奧奬奩奸妁妝佞侫妣妲姆姨姜妍姙姚娥娟娑娜娉娚婀婬婉娵娶婢婪媚媼媾嫋嫂媽嫣嫗嫦嫩嫖嫺嫻嬌嬋嬖嬲嫐嬪嬶嬾
孃孅孀孑孕孚孛孥孩孰孳孵學斈孺宀它宦宸寃寇寉寔寐寤實寢寞寥寫寰寶寳尅將專對尓尠尢尨尸尹屁屆屎屓屐屏孱屬屮乢屶屹岌岑岔妛岫岻岶岼岷峅岾峇峙峩峽峺峭嶌峪崋崕崗嵜崟崛崑崔
崢崚崙崘嵌嵒嵎嵋嵬嵳嵶嶇嶄嶂嶢嶝嶬嶮嶽嶐嶷嶼巉巍巓巒巖巛巫已巵帋帚帙帑帛帶帷幄幃幀幎幗幔幟幢幤幇幵并幺麼广庠廁廂廈廐廏廖廣廝廚廛廢廡廨廩廬廱廳廰廴廸廾弃弉彝彜弋弑弖
弩弭弸彁彈彌彎弯彑彖彗彙彡彭彳彷徃徂彿徊很徑徇從徙徘徠徨徭徼忖忻忤忸忱忝悳忿怡恠怙怐怩怎怱怛怕怫怦怏怺恚恁恪恷恟恊恆恍恣恃恤恂恬恫恙悁悍惧悃悚悄悛悖悗悒悧悋惡悸惠惓
悴忰悽惆悵惘慍愕愆惶惷愀惴惺愃愡惻惱愍愎慇愾愨愧慊愿愼愬愴慂慄慳慷慘慙慚慫慴慯慥慱慟慝慓慵憙憖憇憬憔憚憊憑憫憮懌懊應懷懈懃懆憺懋罹懍懦懣懶懺懴懿懽懼懾戀戈戉戍戌戔
戛戞戡截戮戰戲戳扁扎扞扣扛扠扨扼抂抉找抒抓抖拔抃抔拗拑抻拏拿拆擔拈拜拌拊拂拇抛拉挌拮拱挧挂挈拯拵捐挾捍搜捏掖掎掀掫捶掣掏掉掟掵捫捩掾揩揀揆揣揉插揶揄搖搴搆搓搦搶攝搗
搨搏摧摯摶摎攪撕撓撥撩撈撼據擒擅擇撻擘擂擱擧舉擠擡抬擣擯攬擶擴擲擺攀擽攘攜攅攤攣攫攴攵攷收攸畋效敖敕敍敘敞敝敲數斂斃變斛斟斫斷旃旆旁旄旌旒旛旙无旡旱杲昊昃旻杳昵昶昴
昜晏晄晉晁晞晝晤晧晨晟晢晰暃暈暎暉暄暘暝曁暹曉暾暼曄暸曖曚曠昿曦曩曰曵曷朏朖朞朦朧霸朮朿朶杁朸朷杆杞杠杙杣杤枉杰枩杼杪枌枋枦枡枅枷柯枴柬枳柩枸柤柞柝柢柮枹柎柆柧檜栞
框栩桀桍栲桎梳栫桙档桷桿梟梏梭梔條梛梃檮梹桴梵梠梺椏梍桾椁棊椈棘椢椦棡椌棍棔棧棕椶椒椄棗棣椥棹棠棯椨椪椚椣椡棆楹楷楜楸楫楔楾楮椹楴椽楙椰楡楞楝榁楪榲榮槐榿槁槓榾槎寨
槊槝榻槃榧樮榑榠榜榕榴槞槨樂樛槿權槹槲槧樅榱樞槭樔槫樊樒櫁樣樓橄樌橲樶橸橇橢橙橦橈樸樢檐檍檠檄檢檣檗蘗檻櫃櫂檸檳檬櫞櫑櫟檪櫚櫪櫻欅蘖櫺欒欖鬱欟欸欷盜欹飮歇歃歉歐歙歔
歛歟歡歸歹歿殀殄殃殍殘殕殞殤殪殫殯殲殱殳殷殼毆毋毓毟毬毫毳毯麾氈氓气氛氤氣汞汕汢汪沂沍沚沁沛汾汨汳沒沐泄泱泓沽泗泅泝沮沱沾沺泛泯泙泪洟衍洶洫洽洸洙洵洳洒洌浣涓浤浚浹

浙涎涕濤涅淹渕渊涵淇淦涸淆淬淞淌淨淒淅淺淙淤淕淪淮渭湮渮渙湲湟渾渣湫渫湶湍渟湃渺湎渤滿渝游溂溪溘滉溷滓溽溯滄溲滔滕溏溥滂溟潁漑灌滬滸滾漿滲漱滯漲滌漾漓滷澆潺潸澁澀潯潛

濳潭澂潼潘澎澑濂潦澳澣澡澤澹濆澪濟濕濬濔濘濱濮濛瀉瀋濺瀑瀁瀏濾瀛瀚潴瀝瀘瀟瀰瀾瀲灑灣炙炒炯烱炬炸炳炮烟烋烝烙焉烽焜焙煥煕熈煦煢煌煖煬熏燻熄熕熨熬燗熹熾燒燉燔燎燠燬燧燵

燼燹燿爍爐爛爨爭爬爰爲爻爼爿牀牆牋牘牴牾犂犁犇犒犖犢犧犹犲狃狆狄狎狒狢狠狡狹狷倏猗猊猜猖猝猴猯猩猥猾獎獏默獗獪獨獰獸獵獻獺珈玳珎玻珀珥珮珞璢琅瑯琥珸琲琺瑕琿瑟瑙瑁瑜瑩

瑰瑣瑪瑶瑾璋璞璧瓊瓏瓔珱瓠瓣瓧瓩瓮瓲瓰瓱瓸瓷甄甃甅甌甎甍甕甓甞甦甬甼畄畍畊畉畛畆畚畩畤畧畫畭畸當疆疇畴疊疉疂疔疚疝疥疣痂疳痃疵疽疸疼疱痍痊痒痙痣痞痾痿痼瘁痰痺痲痳瘋瘍

瘉瘟瘧瘠瘡瘢瘤瘴瘰瘻癇癈癆癜癘癡癢癨癩癪癧癬癰癲癶癸發皀皃皈皋皎皖皓皙皚皰皴皸皹皺盂盍盖盒盞盡盥盧盪蘯盻眈眇眄眩眤眞眥眦眛眷眸睇睚睨睫睛睥睿睾睹瞎瞋瞑瞠瞞瞰瞶瞹瞿瞼瞽

瞻矇矍矗矚矜矣矮矼砌砒礦砠礪硅碎硴碆硼碚碌碣碵碪碯磑磆磋磔碾碼磅磊磬磧磚磽磴礇礒礑礙礬礫祀祠祗祟祚祕祓祺祿禊禝禧齋禪禮禳禹禺秉秕秧秬秡秣稈稍稘稙稠稟禀稱稻稾稷穃穗穉穡

穢穩龝穰穹穽窈窗窕窘窖窩竈窰窶竅竄窿邃竇竊竍竏竕竓站竚竝竡竢竦竭竰笂笏笊笆笳笘笙笞笵笨笶筐筺笄筍笋筌筅筵筥筴筧筰筱筬筮箝箘箟箍箜箚箋箒箏筝箙篋篁篌篏箴篆篝篩簑簔篦篥籠

簀簇簓篳篷簗簍篶簣簧簪簟簷簫簽籌籃籔籏籀籐籘籟籤籖籥籬籵粃粐粤粭粢粫粡粨粳粲粱粮粹粽糀糅糂糘糒糜糢鬻糯糲糴糶糺紆紂紜紕紊絅絋紮紲紿紵絆絳絖絎絲絨絮絏絣經綉絛綏絽綛綺綮

綣綵緇綽綫總綢綯緜綸綟綰緘緝緤緞緻緲緡縅縊縣縡縒縱縟縉縋縢繆繦縻縵縹繃縷縲縺繧繝繖繞繙繚繹繪繩繼繻纃緕繽辮繿纈纉續纒纐纓纔纖纎纛纜缸缺罅罌罍罎罐网罕罔罘罟罠罨罩罧罸

羂羆羃羈羇羌羔羞羝羚羣羯羲羹羮羶羸譱翅翆翊翕翔翡翦翩翳翹飜耆耄耋耒耘耙耜耡耨耿耻聊聆聒聘聚聟聢聨聳聲聰聶聹聽聿肄肆肅肛肓肚肭冐肬胛胥胙胝胄胚胖脉胯胱脛脩脣脯腋隋腆脾腓腑

胼腱腮腥腦腴膃膈膊膀膂膠膕膤膣腟膓膩膰膵膾膸膽臀臂膺臉臍臑臙臘臈臚臟臠臧臺臻臾舁舂舅與舊舍舐舖舩舫舸舳艀艙艘艝艚艟艤艢艨艪艫舮艱艷艸艾芍芒芫芟芻芬苡苣苟苒苴苳苺莓范苻

苹苞茆苜茉苙茵茴茖茲茱荀茹荐荅茯茫茗茘莅莚莪莟莢莖茣莎莇莊荼莵荳荵莠莉莨菴萓菫菎菽萃菘萋菁菷萇菠菲萍萢萠莽萸蔆菻葭萪萼蕚蒄葷葫蒭葮蒂葩葆萬葯葹萵蓊葢蒹蒿蒟蓙蓍蒻蓚蓐蓁

蓆蓖蒡蔡蓿蓴蔗蔘蔬蔟蔕蔔蓼蕀蕣蕘蕈蕁蘂蕋蕕薀薤薈薑薊薨蕭薔薛藪薇薜蕷蕾薐藉薺藏薹藐藕藝藥藜藹蘊蘓蘋藾藺蘆蘢蘚蘰蘿虍乕虔號虧虱蚓蚣蚩蚪蚋蚌蚶蚯蛄蛆蚰蛉蠣蚫蛔蛞蛩蛬蛟蛛蛯

蜒蜆蜈蜀蜃蛻蜑蜉蜍蛹蜊蜴蜿蜷蜻蜥蜩蜚蝠蝟蝸蝌蝎蝴蝗蝨蝮蝙蝓蝣蝪蠅螢螟螂螯蟋螽蟀蟐雖螫蟄螳蟇蟆螻蟯蟲蟠蠏蠍蟾蟶蟷蠎蟒蠑蠖蠕蠢蠡蠱蠶蠹蠧蠻衄衂衒衙衞衢衫袁衾袞衵衽袵衲袂袗

袒袮袙袢袍袤袰袿袱裃裄裔裘裙裝裹褂裼裴裨裲褄褌褊褓襃褞褥褪褫襁襄褻褶褸襌褝襠襞襦襤襭襪襯襴襷襾覃覈覊覓覘覡覩覦覬覯覲覺覽覿觀觚觜觝觧觴觸訃訖訐訌訛訝訥訶詁詛詒詆詈詼詭

詬詢誅誂誄誨誡誑誥誦誚誣諄諍諂諚諫諳諧諤諱謔諠諢諷諞諛謌謇謚諡謖謐謗謠謳鞫謦謫謾謨譁譌譏譎證譖譛譚譫譟譬譯譴譽讀讌讎讒讓讖讙讚谺豁谿豈豌豎豐豕豢豬豸豺貂貉貅貊貍貎貔豼

貘戝貭貪貽貲貳貮貶賈賁賤賣賚賽賺賻贄贅贊贇贏贍贐齎贓賍贔贖赧赭赱赳趁趙跂趾趺跏跚跖跌跛跋跪跫跟跣跼踈踉跿踝踞踐踟蹂踵踰踴蹊蹇蹉蹌蹐蹈蹙蹤蹠踪蹣蹕蹶蹲蹼躁躇躅躄躋躊躓躑

躔躙躪躡躬躰軆躱躾軅軈軋軛軣軼軻軫軾輊輅輕輒輙輓輜輟輛輌輦輳輻輹轅轂輾轌轉轆轎轗轜轢轣轤辜辟辣辭辯辷迚迥迢迪迯邇迴逅迹迺逑逕逡逍逞逖逋逧逶逵逹迸遏遐遑遒逎遉逾遖遘遞遨

遯遶隨遲邂遽邁邀邊邉邏邨邯邱邵郢郤扈郛鄂鄒鄙鄲鄰酊酖酘酣酥酩酳酲醋醉醂醢醫醯醪醵醴醺釀釁釉釋釐釖釟釡釛釼釵釶鈞釿鈔鈬鈕鈑鉞鉗鉅鉉鉤鉈銕鈿鉋鉐銜銖銓銛鉚鋏銹銷鋩錏鋺鍄錮

錙錢錚錣錺錵錻鍜鍠鍼鍮鍖鎰鎬鎭鎔鎹鏖鏗鏨鏥鏘鏃鏝鏐鏈鏤鐚鐔鐓鐃鐇鐐鐶鐫鐵鐡鐺鑁鑒鑄鑛鑠鑢鑞鑪鈩鑰鑵鑷鑽鑚鑼鑾钁鑿閂閇閊閔閖閘閙閠閨閧閭閼閻閹閾闊濶闃闍闌闕闔闖關闡闥闢

阡阨阮阯陂陌陏陋陷陜陞陝陟陦陲陬隍隘隕隗險隧隱隲隰隴隶隸隹雎雋雉雍襍雜霍雕雹霄霆霈霓霎霑霏霖霙霤霪霰霹霽霾靄靆靈靂靉靜靠靤靦靨勒靫靱靹鞅靼鞁靺鞆鞋鞏鞐鞜鞨鞦鞣鞳鞴韃韆

韈韋韜韭齏韲竟韶韵頏頌頸頤頡頷頽顆顏顋顫顯顰顱顴顳颪颯颱颶飄飃飆飩飫餃餉餒餔餘餡餝餞餤餠餬餮餽餾饂饉饅饐饋饑饒饌饕馗馘馥馭馮馼駟駛駝駘駑駭駮駱駲駻駸騁騏騅駢騙騫騷驅驂驀

驃驎驕驍驛驗驟驢驥驤驩驫驪骭骰骼髀髏髑髓體髞髟髢髣髦髯髫髮髴髱髷髻鬆鬘鬚鬟鬢鬣鬥鬧鬨鬩鬪鬮鬯鬲魄魃魏魍魎魑魘魴鮓鮃鮑鮖鮗鮟鮠鮨鮴鯀鯊鮹鯆鯏鯑鯒鯣鯢鯤鯔鯡鰺鯲鯱鯰鰕鰔鰉

鰓鰌鰆鰈鰒鰊鰄鰮鰛鰥鰤鰡鰰鱇鰲鱆鰾鱚鱠鱧鱶鱸鳧鳬鳰鴉鴈鳫鴃鴆鴪鴦鶯鴣鴟鵄鴕鴒鵁鴿鴾鵆鵈鵝鵞鵤鵑鵐鵙鵲鶉鶇鶫鵯鵺鶚鶤鶩鶲鷄鷁鶻鶸鶺鷆鷏鷂鷙鷓鷸鷦鷭鷯鷽鸚鸛鸞鹵鹹鹽麁麈麋

麌麒麕麑麝麥麩麸麪麭靡黌黎黏黐黔黜點黝黠黥黨黯黴黶黷黹黻黼黽鼇鼈皷鼕鼡鼬鼾齊齒齔齣齟齠齡齦齧齬齪齷齲齶龕龜龠堯槇遙瑤凜熙

株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111

この取扱説明書は、地球環境に優しい無塩素漂白100%リサイクル紙を使用しております。

Printed in Japan OO-TH(Y)

接続説明書(BSデジタル放送録画・再生用)

HITACHI

この接続説明書はBSデジタル放送を録画・再生するためのBSデジタルチューナーまたはBSデジタルチューナー内蔵テレビとの接続に関する説明書です。
取扱説明書とともにこの接続説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、大切に保存してください。

日立ビデオカセットレコーダー

DT-DR20000形

接続については、取扱説明書の135～137ページを、BSデジタル放送の録画・再生については、取扱説明書の57～59ページを参照してください。
この操作説明書では、操作ごとに最低限必要となる基本的な接続について説明しています。

ページ

i.LINKについて ·· 3

i.LINK対応のBSデジタルチューナーとD映像入力端子付きテレビをつなぐ ·· 4
- BSデジタル放送をD-VHS方式で録画するための接続 ·· 4
- BSデジタル放送をアナログ入力で録画するための接続 ·· 5
- D-VHS方式で録画中の映像を見る、または録画したテープを再生するための接続（方法1） ·· 6
- D-VHS方式で録画中の映像を見る、または録画したテープを再生するための接続（方法2） ·· 7
- D-VHS方式で録画中の映像を見る、または録画したテープを再生するための接続（方法3） ·· 8

i.LINK対応のBSデジタルチューナーとD映像入力端子が付いていないテレビをつなぐ ·· 9
- BSデジタル放送をD-VHS方式で録画するための接続 ·· 9
- BSデジタル放送をアナログ入力で録画するための接続 ·· 9
- D-VHS方式で録画中の映像を見る、または録画したテープを再生するための接続 ·· 9

i.LINK対応していないBSデジタルチューナーとD映像入力端子付きテレビをつなぐ ·· 10
- BSデジタル放送を録画・再生するための接続 ·· 10

i.LINK対応していないBSデジタルチューナーとD映像入力端子が付いていないテレビをつなぐ ·· 11
- BSデジタル放送を録画・再生するための接続 ·· 11

BSデジタルチューナー内蔵テレビとつなぐ ·· 12
- BSデジタル放送をD-VHS方式で録画するための接続 ·· 12
- BSデジタル放送をアナログ入力で録画するための接続 ·· 13
- D-VHS方式で録画したテープを再生するための接続（方法1） ·· 14
- D-VHS方式で録画したテープを再生するための接続（方法2） ·· 15

取扱説明書の28～30ページ、79～90ページも参照してください。

i.LINKとは

- i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
- i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。i.LINK対応機器を接続して、さまざまな操作やデータのやりとりができます。また将来、さらに多様な機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

必要なi.LINKケーブル

- i.LINK対応機器との接続には、付属のi.LINKケーブル、または市販のi.LINKケーブルをお使いください。
- 市販のDVケーブルは、お使いになれません。

LINC（リンク）とは

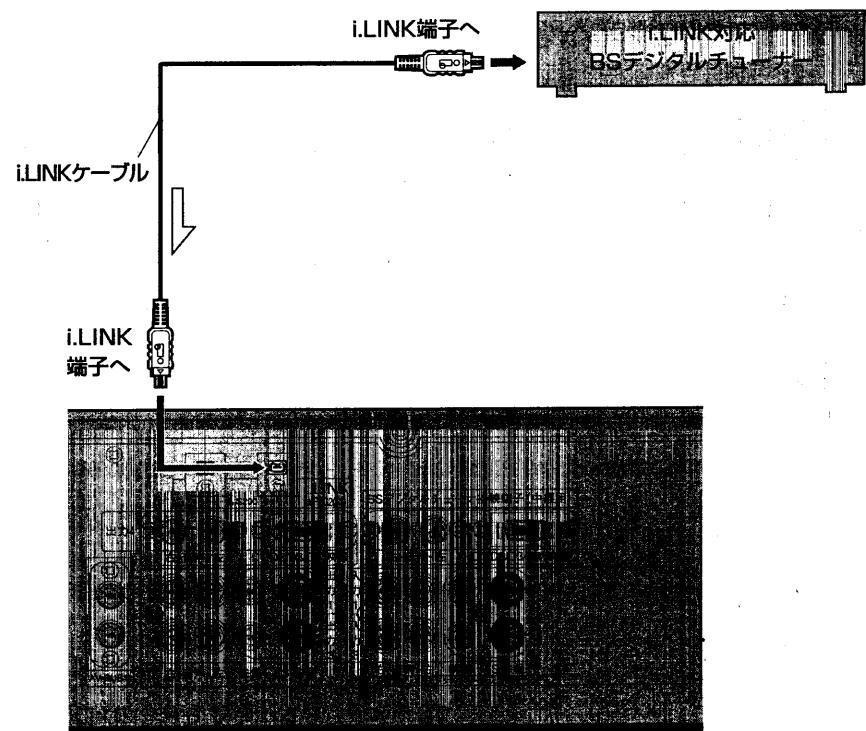
- 「LINCする」とは、相手の機器を1台選ぶことを意味します。本機は、ケーブルで接続しただけではi.LINK対応機器からの映像や音声を見たり録画したりすることができません。操作する前に、必ず見たり、録画したい相手の機器をLINCまたは、BS連動設定を「入り」にしてリモコンのワープボタンを押してください。
- 本機（i.LINK対応機器を操作する側）は、i.LINKケーブルで接続されている機器のうち1台だけからの映像や音声を見たり録画したりすることができます。本機と相手の機器との間で呼びかけ・返答のやりとりが行われ、i.LINK対応機器のLINCが完了して、初めてi.LINK対応機器を操作することができます。
- 詳しくは取扱説明書の「操作したい機器をLINCする」（83ページ）をご覧ください。
- ワープボタンの使いかたについては、取扱説明書の58ページをご覧ください。

i.LINK対応のBSデジタルチューナーとD映像入力端子付きテレビをつなぐ

取扱説明書の58、135ページも参照してください。

重要

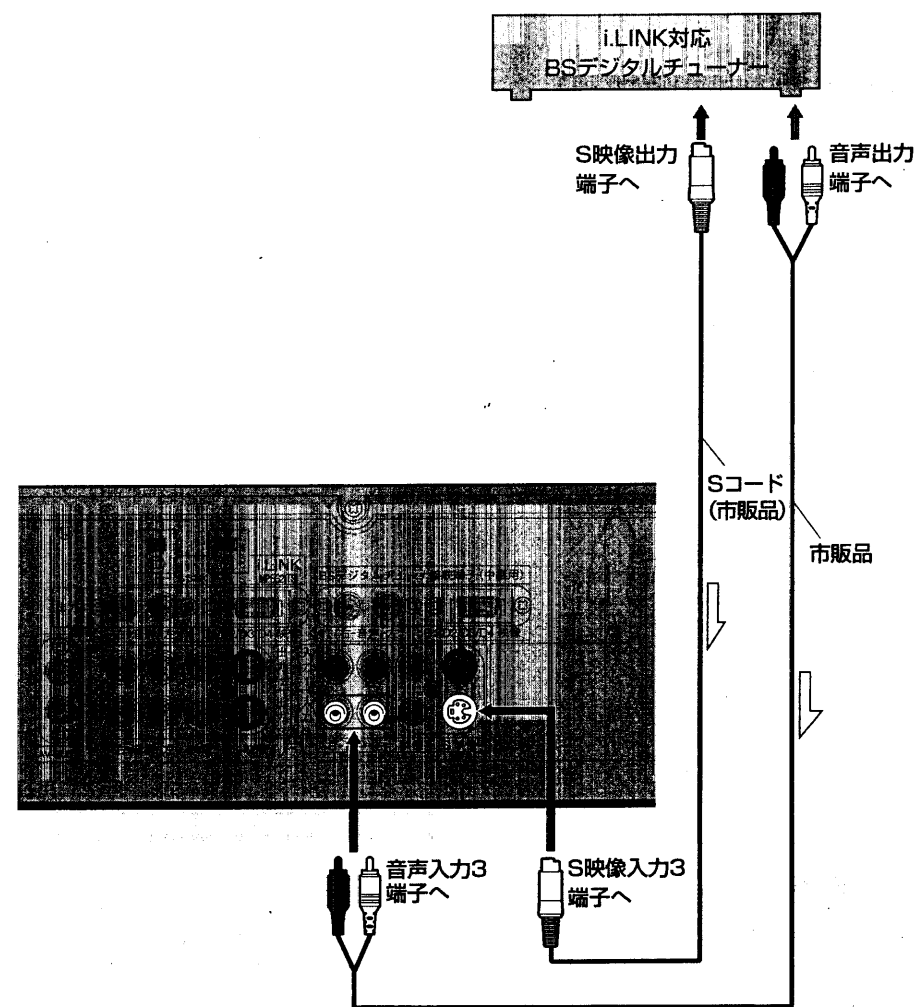
- i.LINK対応していないBSデジタルチューナーとつないだ場合は、ハイビジョン放送をハイビジョンで録画することはできません。
- BSデジタルチューナーのD端子から出力される映像信号を、接続するテレビが持っている端子の種類に合わせてください。合わせかたについては、BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- BSデジタルチューナー接続端子は、BSデジタルチューナーの出力信号を中継して出力4端子から出力するためのものです。この端子に入力した信号を録画することはできません。
- i.LINK接続している場合は、BSデジタルチューナーの映像・音声信号はビデオの出力1（または出力2、出力3）端子からは出力されません。また、i.LINK接続した機器で録画したBSデジタル放送を再生するときも、映像・音声信号は出力1（または出力2、出力3）端子から出力されません。灰色の画面または静止画になり、音声は出ません。

BSデジタル放送をD-VHS方式で録画するための接続

は信号の流れを表します

＊本機のメニュー画面やテープナビ画面、i.LINK設定画面などを見る場合または録画中の映像を見る場合の接続は、6～8ページを参照してください。

おしらせ

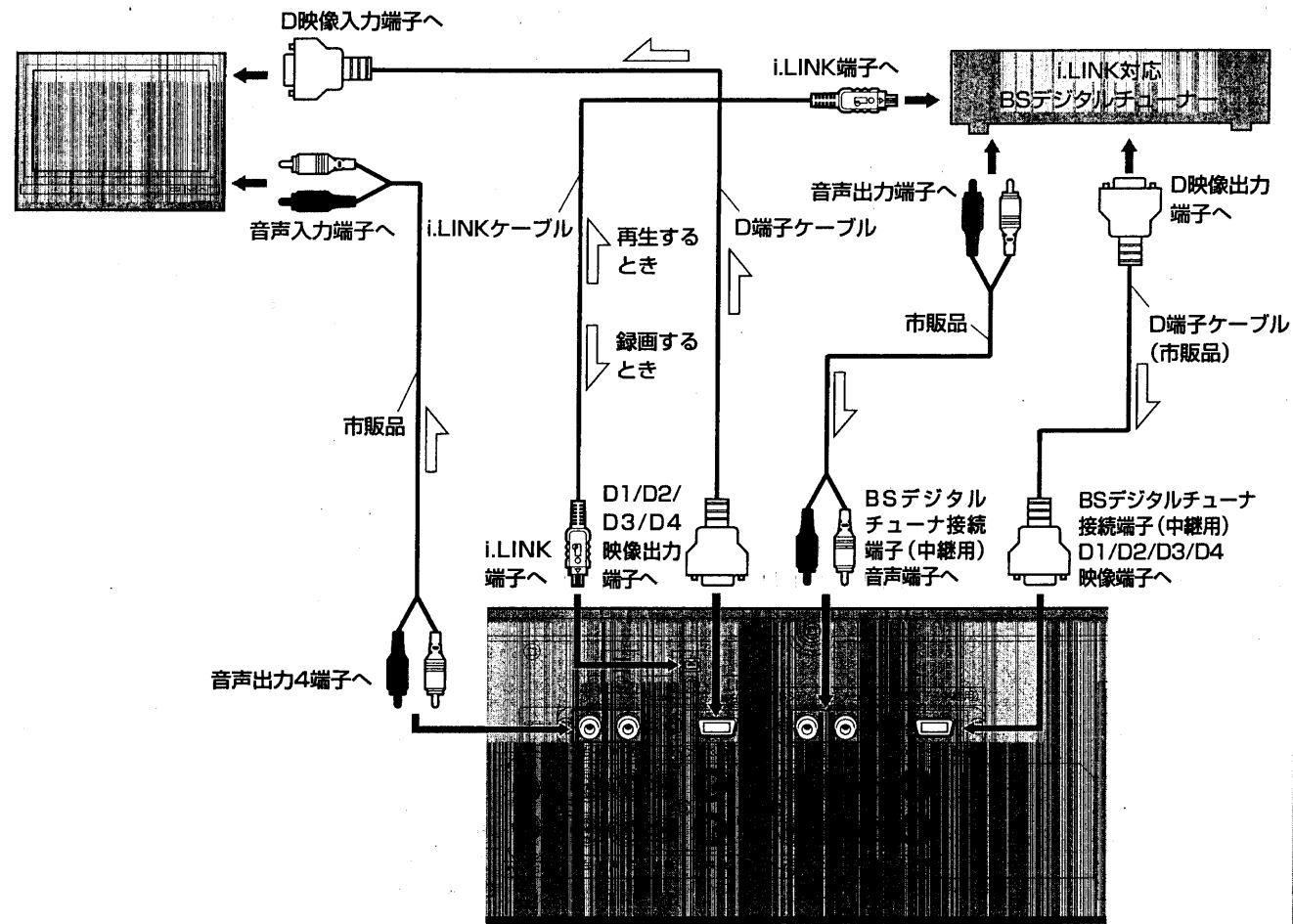
- BSデジタル連動設定を「入り」にしているときは、リモコンのワープボタンを押してビデオの受信チャンネルをBSデジタルチューナーの番組に切り換えてください（取扱説明書57、58ページ参照）。または、BSデジタルチューナーをLINCしてください（取扱説明書83ページ参照）。
- BSデジタル連動設定を「切り」にしているときは、お使いのBSデジタルチューナーをLINCしてビデオの受信チャンネルをBSデジタルチューナーの番組に切り換えてください（取扱説明書83ページ参照）。

BSデジタル放送をアナログ入力で録画するための接続

は信号の流れを表します

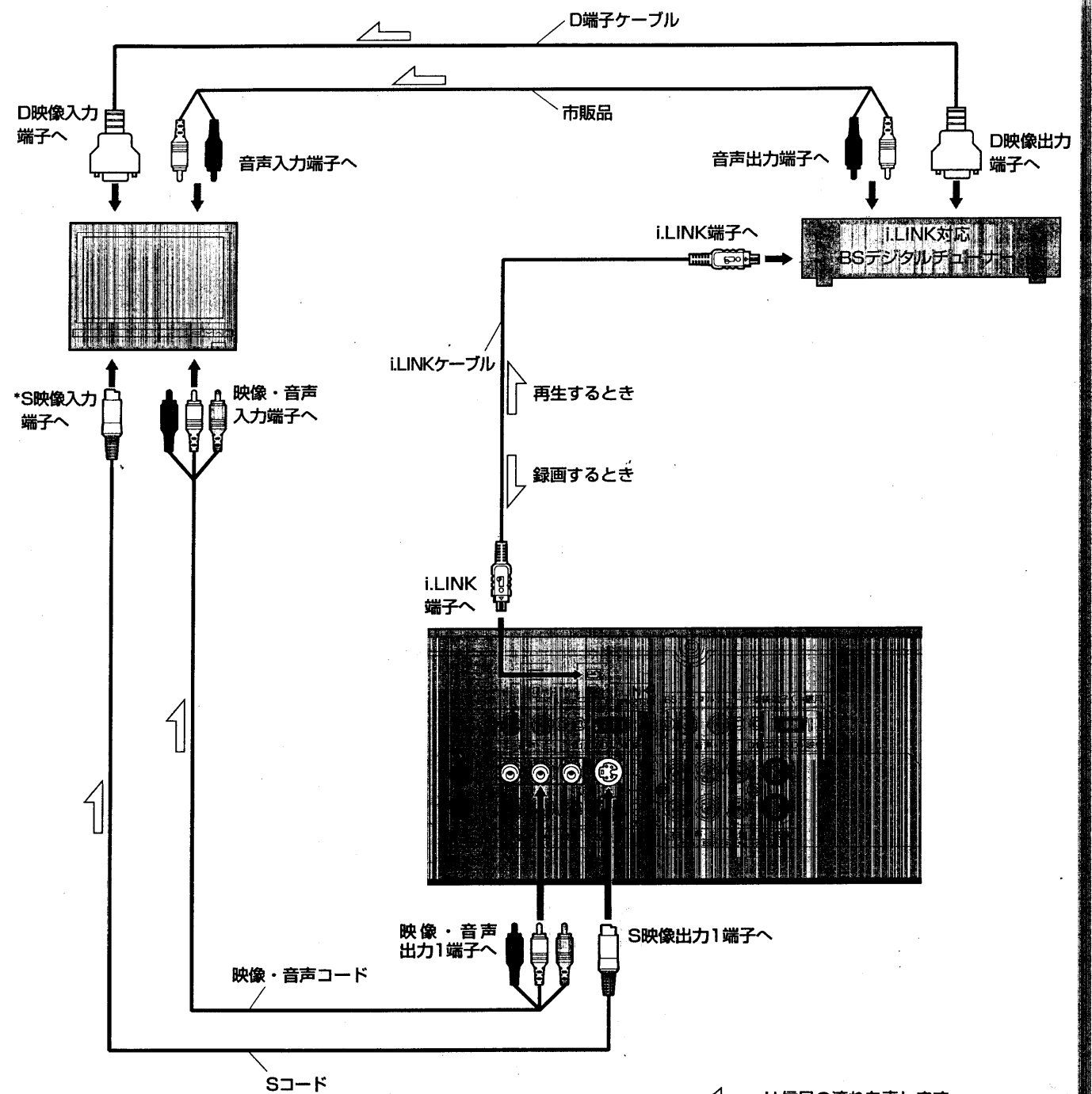
おしらせ

- BSデジタル連動設定を「入り」にして、i.LINKケーブルで接続していないときは、リモコンのワープボタンを押すとビデオの受信チャンネルは「L3」になります（取扱説明書57、58ページ参照）。
- BSデジタル連動設定を「切り」にしているときは、入力3設定で「外部入力」を選び、ビデオの受信チャンネルを「L3」にしてください（取扱説明書56、57ページ参照）。または、S映像入力1端子と音声入力1端子へ接続して、ビデオの受信チャンネルを「L1」にしてください。
- BSデジタル連動設定を「入り」にしてi.LINKケーブルを接続しているときは、リモコンのワープボタンでBSデジタルチューナーの番組を受信できますが、VHSテープを入れて録画ボタンを押すとビデオの受信チャンネルは自動的に「L3」に切り換わり、アナログスピード（標準/3倍）で録画されます（取扱説明書57、58ページ参照）。

D-VHS方式で録画中の映像を見る、または録画したテープを再生するための接続（方法1）

方法1の接続を推奨しますが、方法2（❼ページ）と方法3（❽ページ）の接続もできます。

は信号の流れを表します

おしらせ

- テレビの入力を、本機の接続をしてあるD映像入力に切り換えてください。
- D-VHS方式でBSデジタル放送を録画する方法については、❹ページをご覧ください。
- テープを再生するときは、あらかじめBSデジタルチューナーから本機にLINCするか、リモコンのワープボタンを押してBSデジタルチューナーの番組に切り換えるか、または本機からBSデジタルチューナーにLINCしてください。
- D端子ケーブルと音声出力4端子につないだ音声コードは、テレビの同じ系統の入力端子につないでください。
- コンポーネント映像入力端子が付いているテレビの場合は、コンポーネント映像変換用D端子コード（市販品）を使って接続してください（取扱説明書㉞ページ参照）。

D-VHS方式で録画中の映像を見る、または録画したテープを再生するための接続（方法2）

は信号の流れを表します

＊テレビにS映像入力端子があるときにつなぎます。

おしらせ

- D-VHS方式で録画中の映像を見るとき、またはD-VHS方式で録画したテープを再生するときは、テレビの入力をBSデジタルチューナーの接続をしてあるD映像入力に切り換えてください。
- D-VHS方式でBSデジタル放送を録画する方法については、❹ページをご覧ください。
- テープを再生するときは、あらかじめBSデジタルチューナーから本機にLINCするか、リモコンのワープボタンを押してBSデジタルチューナーの番組に切り換えるか、または本機からBSデジタルチューナーにLINCしてください。
- 本機のメニュー画面やテープナビ画面、i.LINK設定画面などを見たいときは、テレビの入力を本機の接続をしてあるS映像入力または映像・音声入力に切り換えてください。
- 録画中や再生中のテープの映像と音声は、出力1（または出力2、または出力3）端子からは出力されません。

D-VHS方式で録画中の映像を見る、または録画したテープを再生するための接続（方法3）

おしらせ

- D-VHS方式で録画中の映像を見るとき、またはD-VHS方式で録画したテープを再生するときは、テレビの入力をBSデジタルチューナーの接続をしてあるD映像入力に切り換えてください。
- D-VHS方式でBSデジタル放送を録画する方法については、❹ページをご覧ください。
- テープを再生するときは、あらかじめBSデジタルチューナーから本機にLINCするか、リモコンのワープボタンを押してBSデジタルチューナーの番組に切り換えるか、または本機からBSデジタルチューナーにLINCしてください。
- 本機のメニュー画面やテープナビ画面、i.LINK設定画面などを見たいときは、テレビの入力を本機の接続をしてあるD映像入力に切り換えてください。
- 録画中や再生中のテープの映像と音声は、D1/D2/D3/D4映像出力4端子と音声出力4端子からは出力されません。

i.LINK対応のBSデジタルチューナーとD映像入力端子が付いていないテレビをつなぐ

取扱説明書の㊾、⑬ページも参照してください。

重要

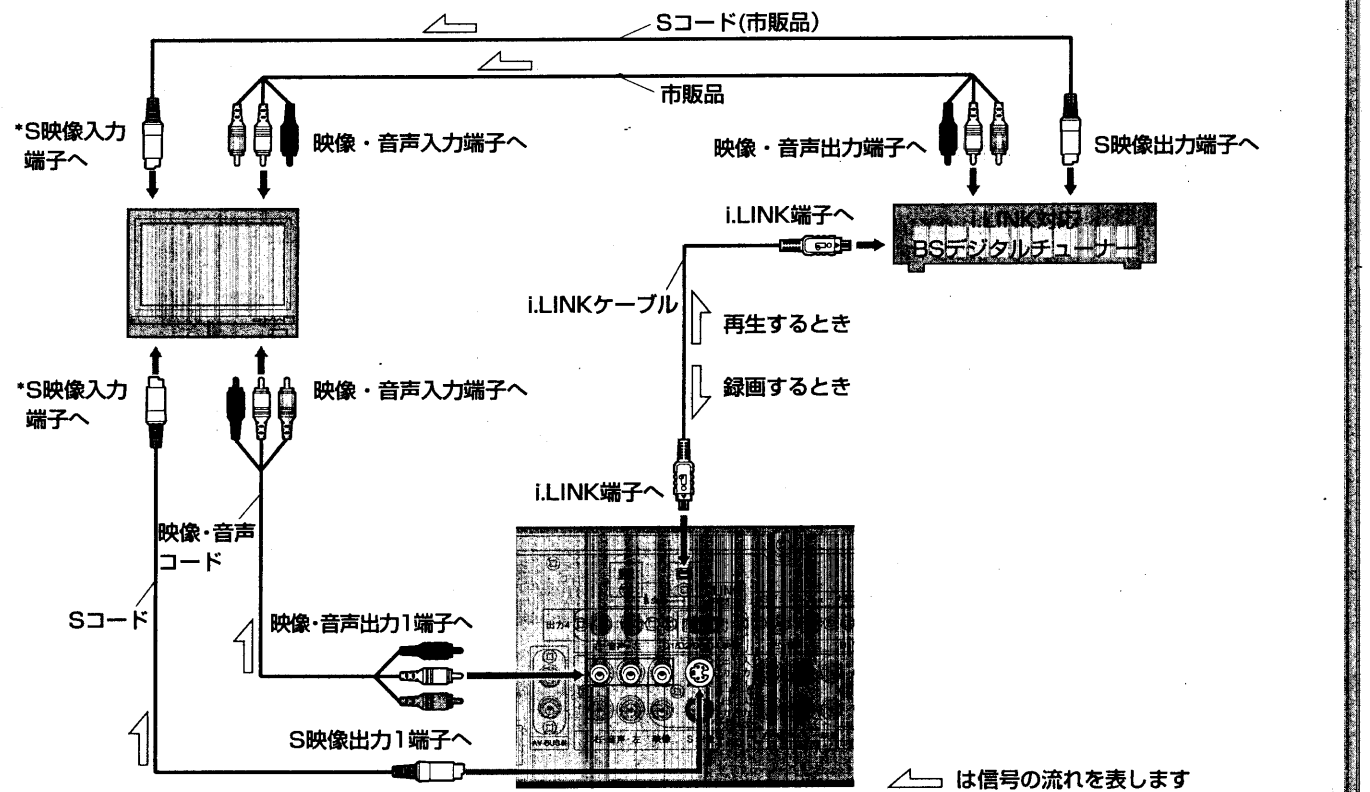
- i.LINK接続している場合は、BSデジタルチューナーの映像・音声信号はビデオの出力1（または出力2、出力3）端子からは出力されません。また、i.LINK接続した機器で録画したBSデジタル放送を再生するときも、映像・音声信号は出力1（または出力2、出力3）端子から出力されません。灰色の画面または静止画になり、音声は出ません。

BSデジタル放送をD-VHS方式で録画するための接続

- 接続は本接続説明書（BSデジタルチューナー接続用）❹ページを参照してください。

BSデジタル放送をアナログ入力で録画するための接続

- 接続は本接続説明書（BSデジタルチューナー接続用）❺ページを参照してください。

D-VHS方式で録画中の映像を見る、または録画したテープを再生するための接続

＊テレビにS映像入力端子があるときにつなぎます。

おしらせ

- D-VHS方式で録画中の映像を見るとき、またはD-VHS方式で録画したテープを再生するときは、テレビの入力をBSデジタルチューナーの接続をしてあるS映像入力か映像・音声入力に切り換えてください。
- D-VHS方式でBSデジタル放送を録画する方法については、❹ページをご覧ください。
- テープを再生するときは、あらかじめBSデジタルチューナーから本機にLINCするか、リモコンのワープボタンを押してBSデジタルチューナーの番組に切り換えるか、または本機からBSデジタルチューナーにLINCしてください。
- 本機のメニュー画面やテープナビ画面、i.LINK設定画面などを見たいときは、テレビの入力を本機の接続をしてあるS映像入力か映像・音声入力に切り換えてください。
- 録画中や再生中のテープの映像と音声は、出力1（または出力2、または出力3）端子からは出力されません。

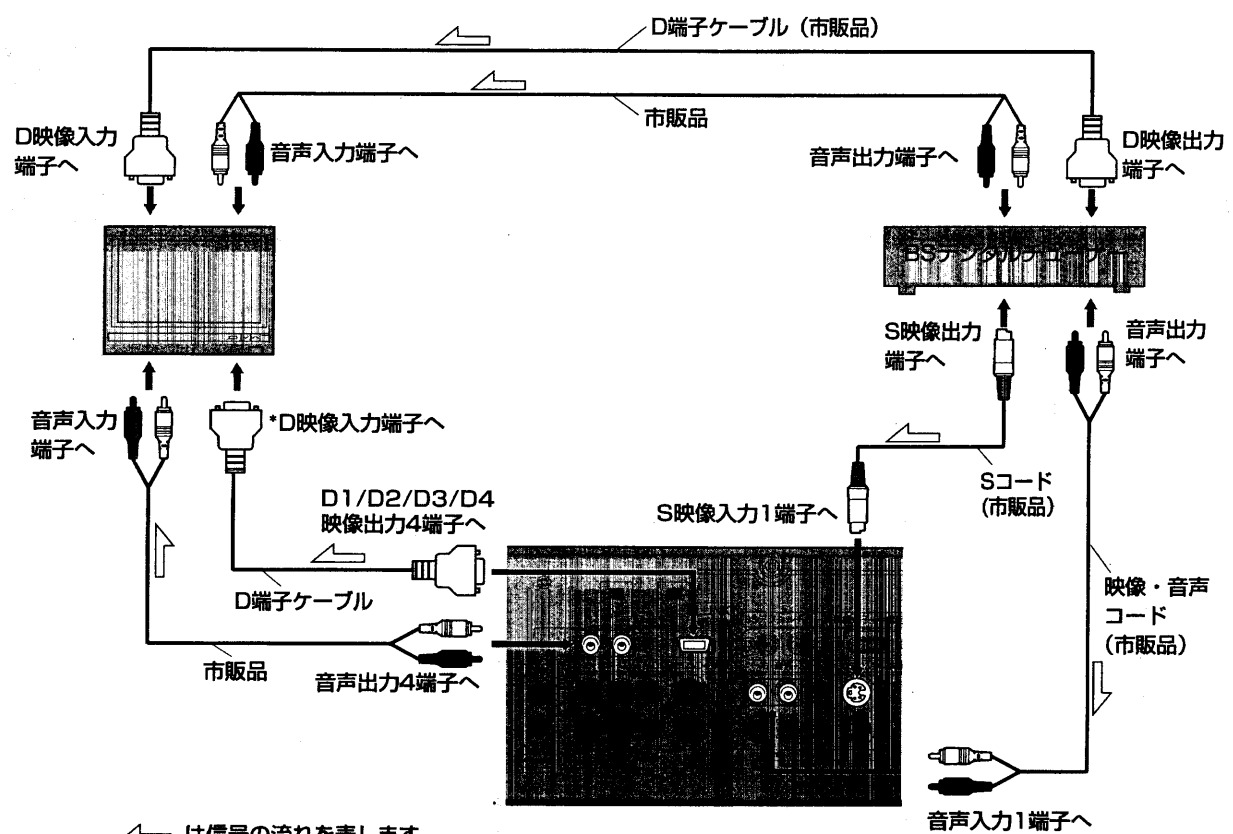
i.LINKに対応していないBSデジタルチューナーと…●D映像入力端子付きテレビをつなぐ

取扱説明書の59、136ページも参照してください。

重要

•i.LINK対応していないBSデジタルチューナーとつないだ場合は、ハイビジョン放送をハイビジョンで録画することはできません。

BSデジタル放送を録画・再生するための接続

D端子ケーブル（市販品）
市販品
D映像入力端子へ
音声入力端子へ
音声出力端子へ
D映像出力端子へ
S映像出力端子へ
音声出力端子へ
音声入力端子へ
*D映像入力端子へ
D1/D2/D3/D4映像出力4端子へ
S映像入力1端子へ
Sコード（市販品）
D端子ケーブル
映像・音声コード（市販品）
市販品
音声出力4端子へ
音声入力1端子へ

は信号の流れを表します

＊テレビにD映像入力端子が2つあるときにつなぎます。1つしかないときは、ビデオの映像・音声出力またはS映像出力をテレビに接続してください。

おしらせ

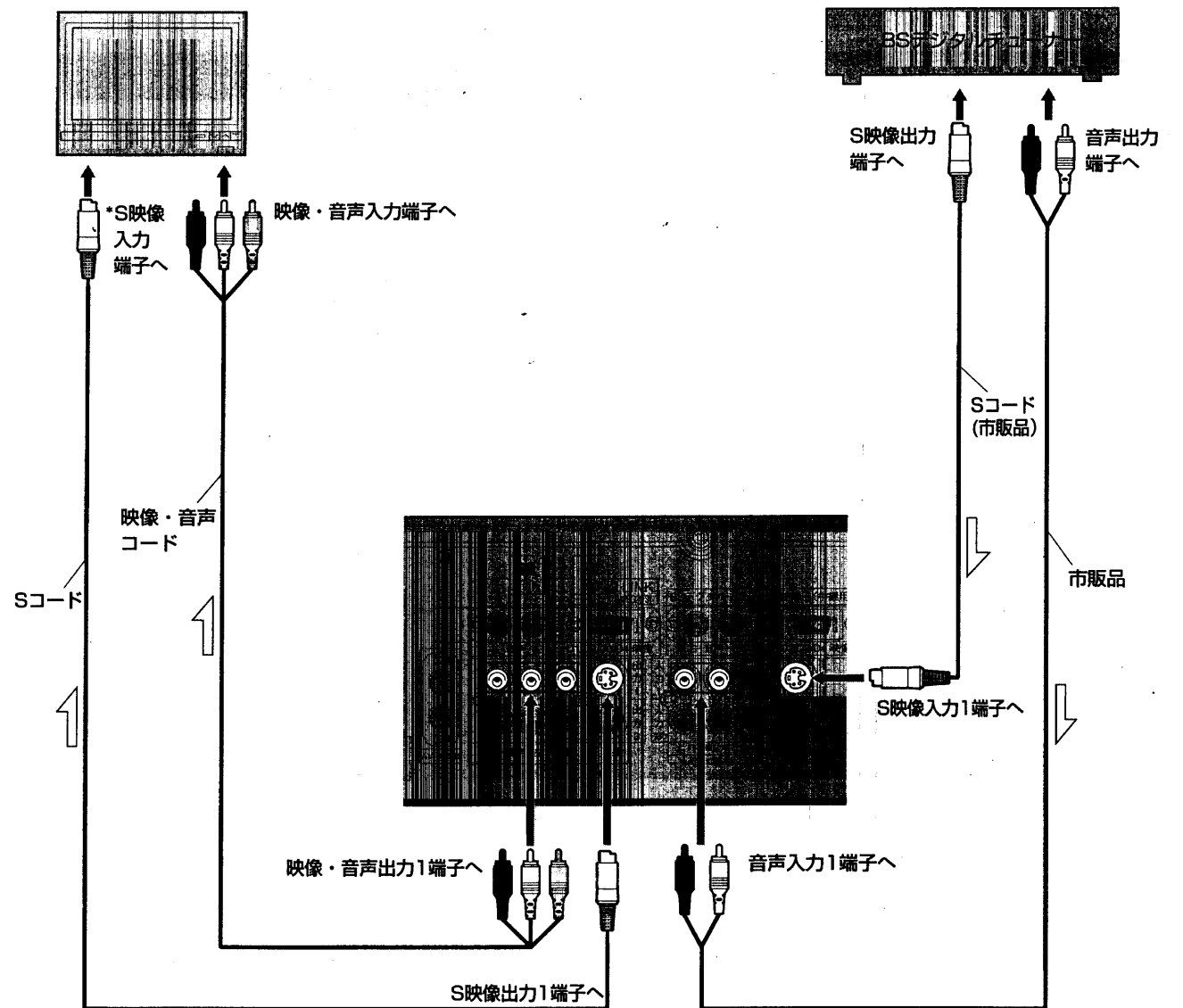
•録画中にハイビジョンの映像を見るときは、テレビの入力をBSデジタルチューナーと接続しているD映像入力に切り換えてください。
•本機のD1/D2/D3/D4映像出力4端子は、D1出力固定になります。
•コンポーネント映像入力端子が付いているテレビの場合は、コンポーネント映像変換用D端子コード（市販品）を使ってつないでください（取扱説明書34ページ参照）。

i.LINKに対応していないBSデジタルチューナーと…●D映像入力端子が付いていないテレビをつなぐ

取扱説明書の59、136ページも参照してください。

重要

•i.LINK対応していないBSデジタルチューナーとつないだ場合は、ハイビジョン放送をハイビジョンで録画することはできません。

BSデジタル放送を録画・再生するための接続

は信号の流れを表します

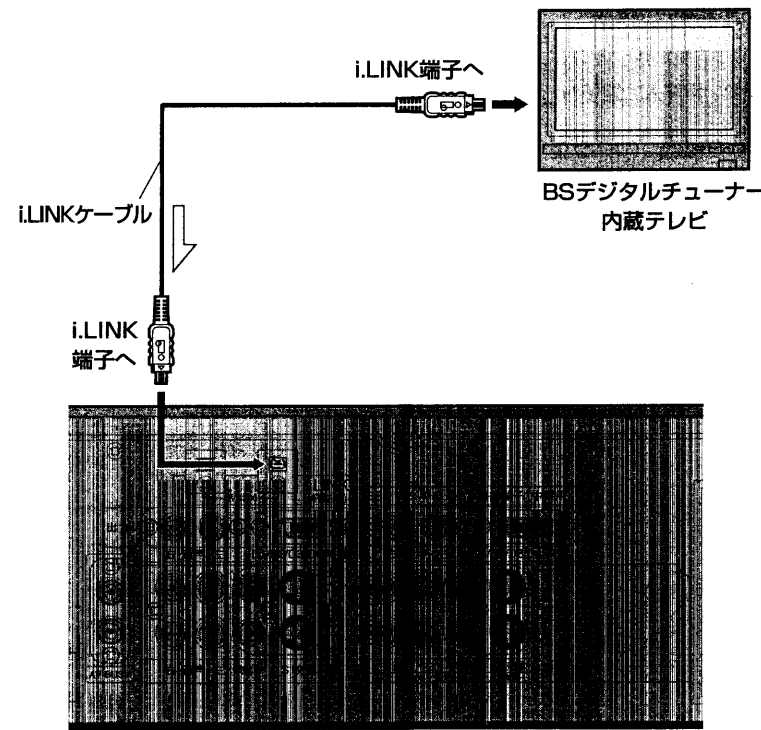
＊テレビにS映像入力端子があるときにつなぎます。

BSデジタルチューナー内蔵テレビとつなぐ

テレビの取扱説明書もご覧ください。

重要

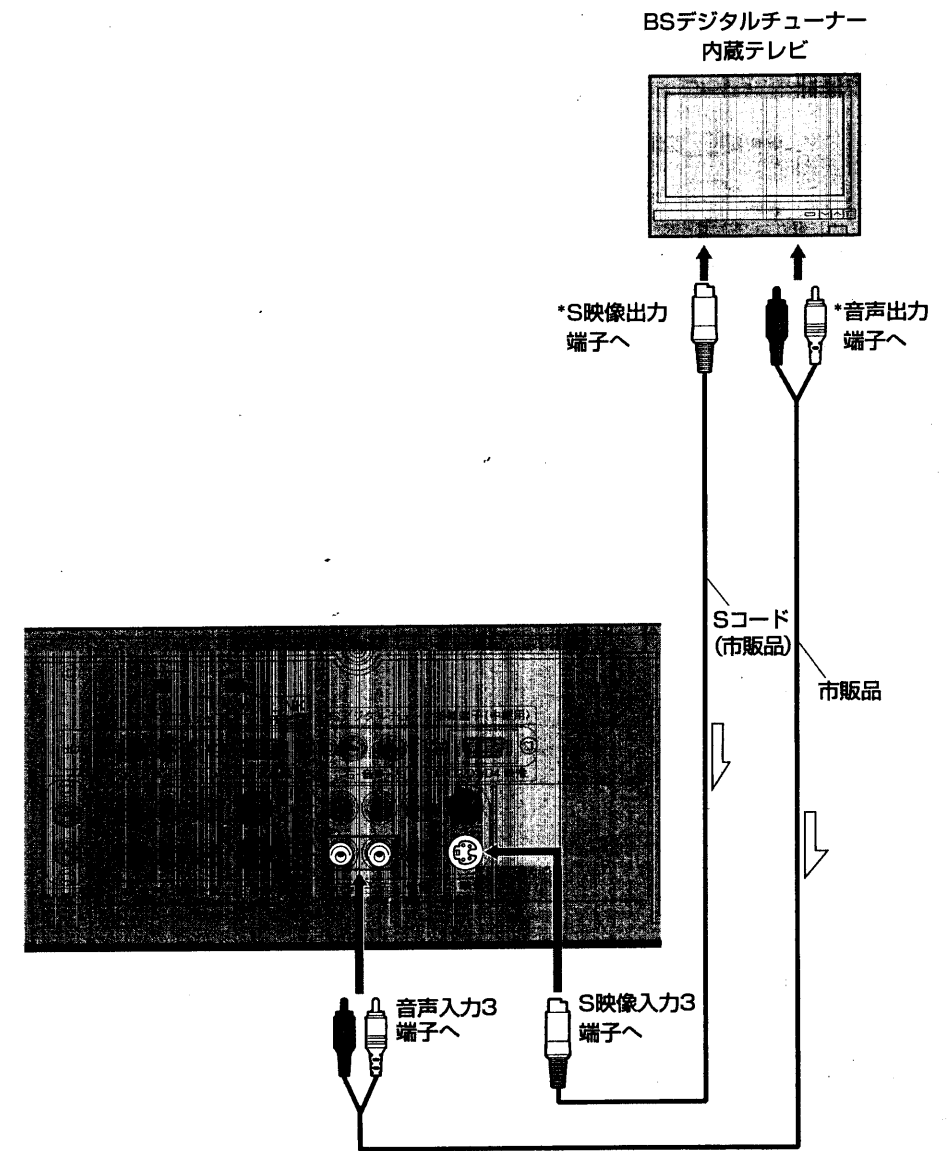
- i.LINK対応していないBSデジタルチューナー内蔵テレビとつないだ場合は、ハイビジョン放送をハイビジョンで録画することはできません。録画方法は⑬ページをご覧ください。
- i.LINK接続している場合は、BSデジタルチューナー内蔵テレビの映像・音声信号はビデオの出力1（または出力2、出力3、出力4）端子からは出力されません。また、i.LINK接続した機器で録画したBSデジタル放送を再生するときも、映像・音声信号は出力1（または出力2、出力3、出力4）端子から出力されません。灰色の画面または静止画になり、音声は出ません。

BSデジタル放送をD-VHS方式で録画するための接続

は信号の流れを表します

＊本機のメニュー画面やテープナビ画面、i.LINK設定画面などを見る場合の接続は、⑭〜⑮ページを参照してください。

おしらせ

- BSデジタル連動設定を「入り」にしているときは、リモコンのワープボタンを押してビデオの受信チャンネルをテレビで受信しているBSデジタル放送の番組に切り換えてください（取扱説明書57、58ページ参照）。または、テレビをLINCしてください（取扱説明書63ページ参照）。
- BSデジタル連動設定を「切り」にしているときは、お使いのテレビをLINCしてビデオの受信チャンネルをテレビで受信しているBSデジタル放送の番組に切り換えてください（取扱説明書63ページ参照）。

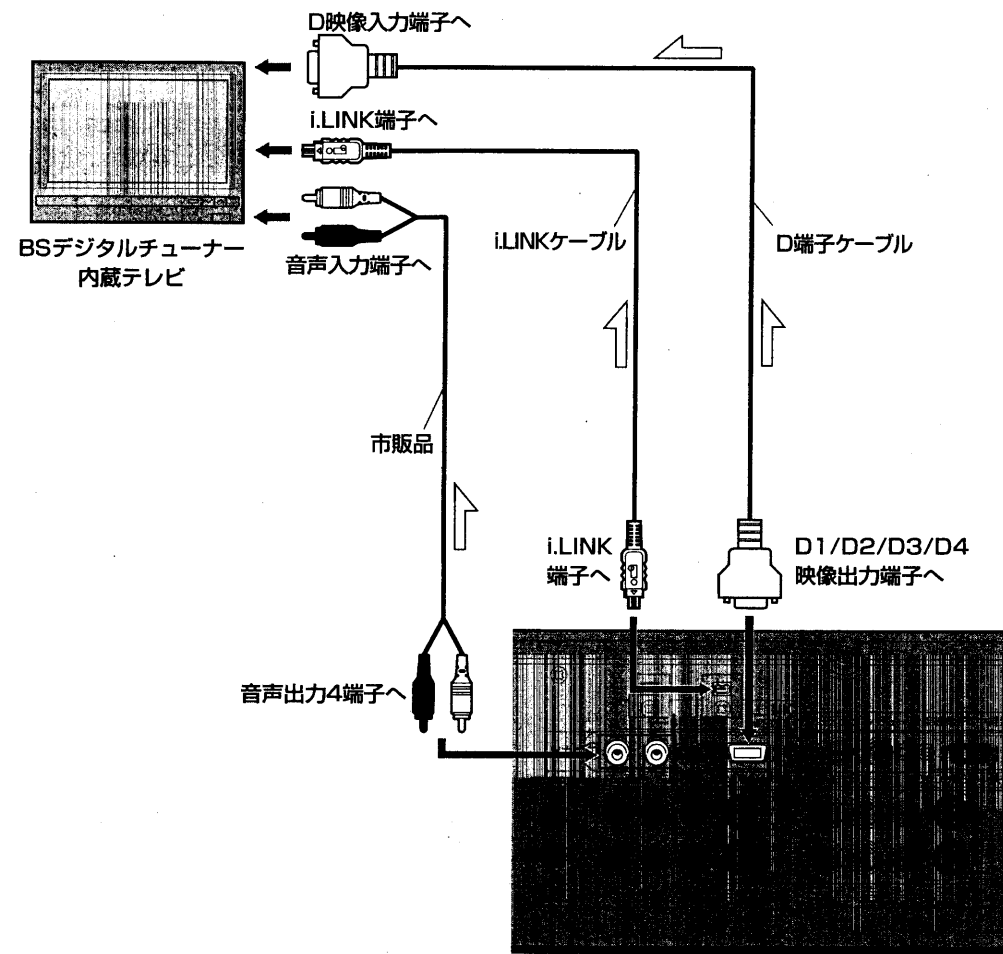
BSデジタル放送をアナログ入力で録画するための接続

は信号の流れを表します

＊テレビのモニター出力端子またはBS録画出力端子に接続してください（テレビの取扱説明書をご覧ください）。

おしらせ

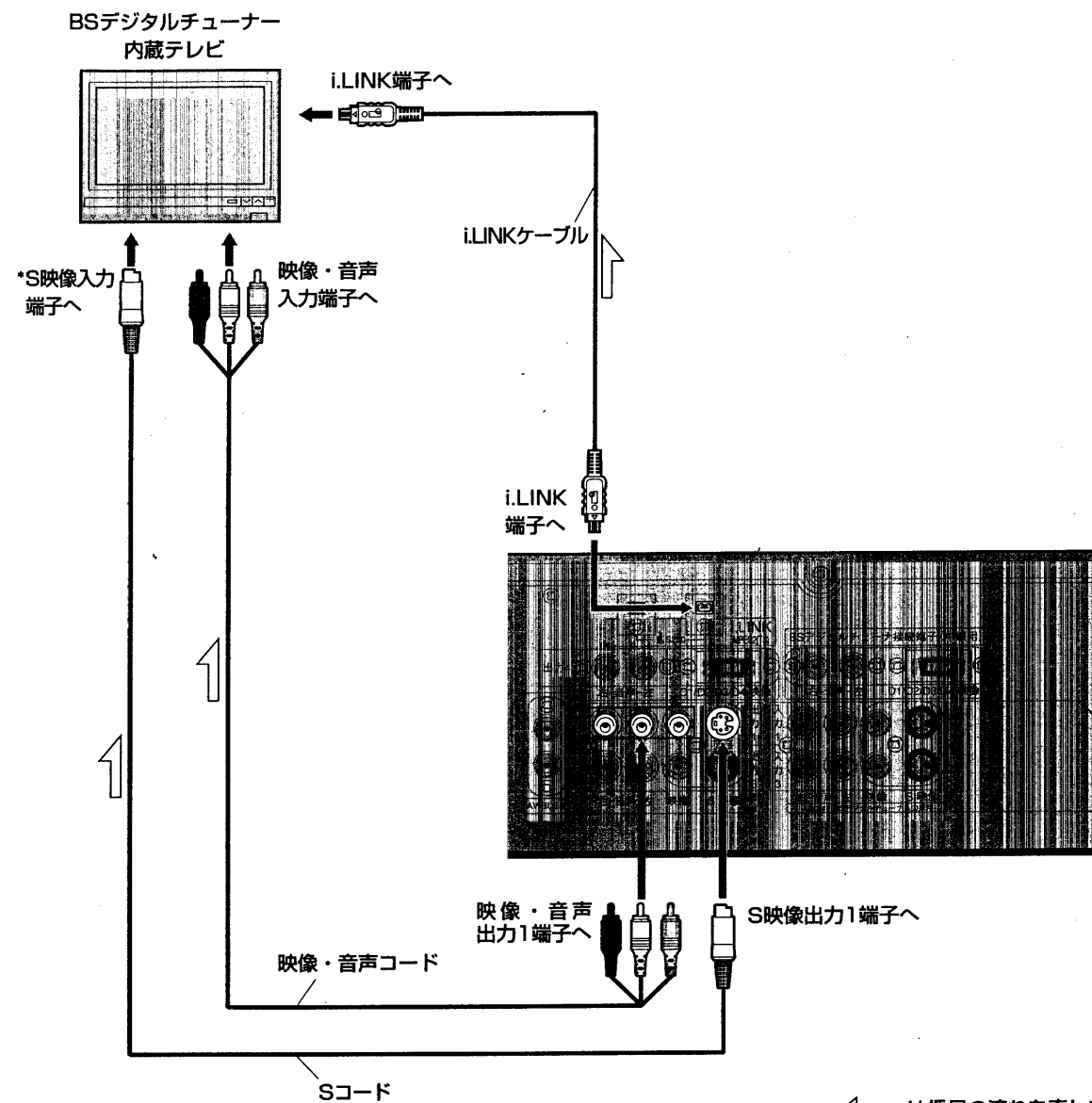
- BSデジタル連動設定を「入り」にして、i.LINKケーブルで接続していないときは、リモコンのワープボタンを押すとビデオの受信チャンネルは「L3」になります（取扱説明書57、58ページ参照）。
- BSデジタル連動設定を「切り」にしているときは、入力3設定で「外部入力」を選び、ビデオの受信チャンネルを「L3」にしてください（取扱説明書56、57ページ参照）。または、S映像入力1端子と音声入力1端子へ接続して、ビデオの受信チャンネルを「L1」にしてください。
- BSデジタル連動設定を「入り」にしてi.LINKケーブルを接続しているときは、リモコンのワープボタンでテレビで受信しているBSデジタル放送の番組を受信できますが、VHSテープを入れて録画ボタンを押すとビデオの受信チャンネルは自動的に「L3」に切り換わり、アナログスピード（標準/3倍）で録画されます（取扱説明書57、58ページ参照）。

D-VHS方式で録画したテープを再生するための接続（方法1）

テレビのD端子入力が使用できない場合は、方法2を参照してください（⑮ページ）。

は信号の流れを表します

おしらせ

- D-VHS方式でBSデジタル放送を録画する方法については、⑫ページをご覧ください。
- テープを再生するときは、あらかじめテレビから本機にLINCするか、または本機からテレビにLINCしてください。
- 本機のメニュー画面やテープナビ画面、i.LINK設定画面などを見たいときは、テレビの入力を本機の接続をしてあるD映像入力に切り換えてください。
- 録画中や再生中のテープの映像と音声は、D1/D2/D3/D4映像出力端子と音声出力4端子からは出力されません。

D-VHS方式で録画したテープを再生するための接続（方法2）

は信号の流れを表します

＊テレビにS映像入力端子があるときにつなぎます。

おしらせ

- D-VHS方式でBSデジタル放送を録画する方法については、⑫ページをご覧ください。
- テープを再生するときは、あらかじめテレビから本機にLINCするか、または本機からテレビにLINCしてください。
- 本機のメニュー画面やテープナビ画面、i.LINK設定画面などを見たいときは、テレビの入力を本機の接続をしてあるS映像入力または映像・音声入力に切り換えてください。
- 録画中や再生中のテープの映像と音声は、出力1（または出力2、または出力3）端子からは出力されません。

デジタルハイビジョンビデオDT－DR２００００の接続（1）（日立タイプチューナーとの接続）

この接続説明は、平成13年1月までに発売されているBSデジタルチューナーを対象にしています。接続するBSデジタルチューナーの取扱説明書もよくお読みください。

BSデジタル放送を録画・再生するための基本的な接続

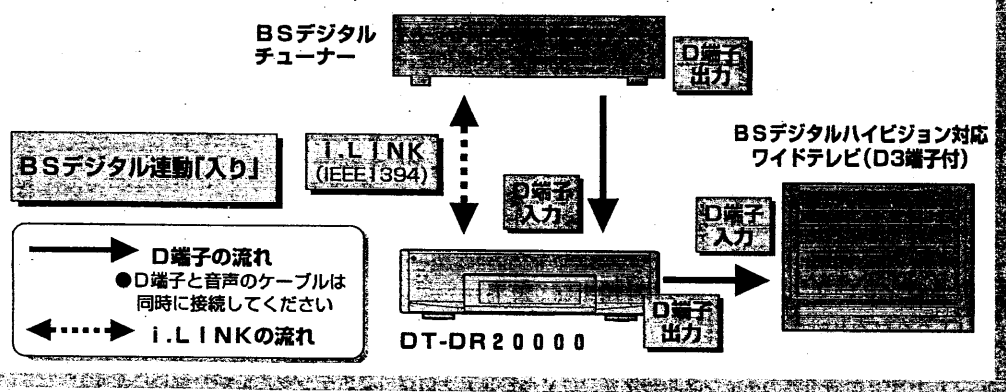
ＢＳデジタルチューナー　D端子出力　
ＢＳデジタル連動「入り」　i.LINK（IEEE1394）　D端子入力　BSデジタルハイビジョン対応ワイドテレビ（D3端子付）　D端子入力　D端子出力　DT-DR２００００

D端子の流れ
●D端子と音声のケーブルは同時に接続してください
i.LINKの流れ

1 i.LINKケーブルを接続します

・ BSデジタルチューナーのi.LINK端子と、ビデオのi.LINK端子を、i.LINKケーブルで接続します。これにより、録画／再生のデータをやり取りすることが可能になります。

チューナー背面

DR２００００（本機）背面

2 D端子ケーブルを接続します　－使い勝手を良くする接続－

1. BSデジタルチューナーのD端子出力をビデオのBSデジタルチューナー接続端子（中継用）に接続します。
2. ビデオのD端子出力をテレビのD端子入力に接続します。
3. BSデジタルチューナーのS端子出力を、ビデオのL３入力に接続します。
   BSデジタル放送をアナログスピード（標準または３倍モード）で録画するときに必要です。

※ 上記接続の際は、音声ケーブルの接続も行ってください。（取扱説明書㊽ページ参照）

3 BSデジタルチューナーおよびビデオの電源を入れて、テレビの入力をD端子入力にします

4 ビデオのチャンネルをBSデジタルチューナーの番組に切り換えます

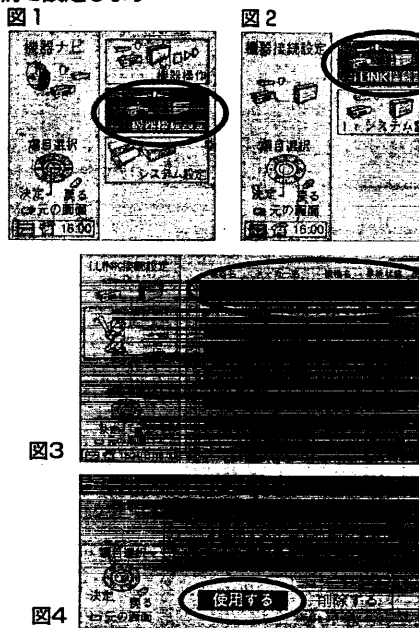
－BSデジタルチューナーの入力に設定してから、テレビにBSデジタル放送を出力します－

1. リモコンのワープボタンを２回押して、ビデオの入力をi.LINK入力にします。
・ ビデオの表示窓のチャンネル表示が、UV→BSアナログ→BSデジタルに切り換わります。
・ BSデジタルになるとBS「０００」CH表示になり、数秒後にBSデジタルチューナーと同じチャンネルを表示します。（取扱説明書㊾ページ参照）

5 BSデジタルチューナーのi.LINK設定を行います

－i.LINKで接続されている機器（D-VHS）の接続を設定します－

1. リモコンの機器ナビボタンを押します。
・ メニューが表示されます。
2. ▲▼ボタンで「機器接続設定」を選び、決定ボタンを押します。（図1）
3. メニュー内の「i.LINK接続設定」を選び、決定ボタンを押します。（図2）
・ i.LINK接続機器の一覧が表示されます。（図3）
4. 「DR２００００」が使用「する」になっていることを確認します。（図3）
・ 「しない」になっているときは「DR２００００」を選んで決定ボタンを押し、「使用する」に変更してください。（図4）
・ 接続状態が、「不明」から「オン」または「オフ」と表示されます。
（「オン」「オフ」はビデオの電源状態を表しています。）
5. メニューを終了します。

図1　図2　図3　図4

6 BSデジタル放送を録画します

1. BSデジタルチューナーのチャンネルを録画したいチャンネルに設定します。
2. ビデオの表示窓のチャンネル表示が、BSデジタルチューナーと同じチャンネルになっているか確認します。
（ 4 を参照してください。または、あらかじめBSデジタルチューナーにLINCしてからビデオの入力を「d」にして、BSデジタルチューナーの番組に切り換えることもできます。（取扱説明書㊾ページ参照））
※表示しない場合は再度 4 の操作を行い、それでも表示しない場合には、 5 の設定を確認し直してください。
3. ビデオにD-VHSテープを入れます。
4. ビデオ本体またはリモコンの録画ボタンを押します。
・ ハイビジョン放送を録画するとき、テープスピードは自動的に「HS」モードに切り換わります。

7 録画したテープを再生します

※テレビとBSデジタルチューナーの設定は変更しないでください。

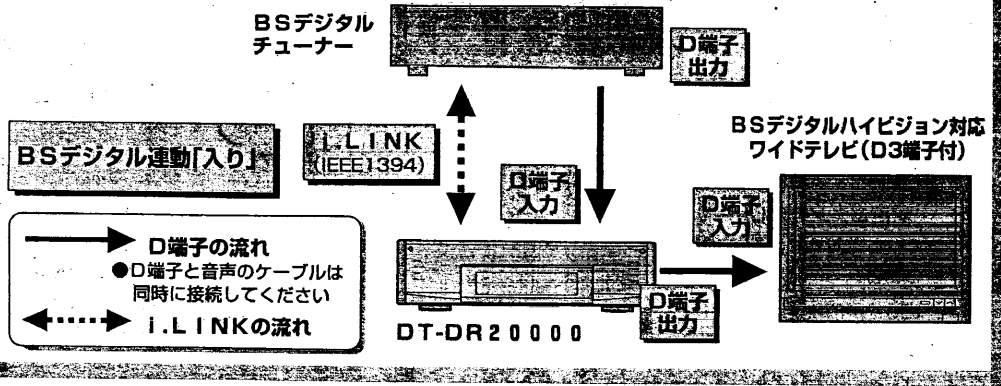
1. 再生ボタンを押します。
・ BSデジタルチューナーのチャンネル表示が「－－－」（i.LINK入力）になります。
2. 数秒後に再生画が出ます。
※ １回のみデジタルコピーが可能な番組（ アイコンの表示される番組）を録画した場合、BSデジタルチューナーを使って再生してもハイビジョン画質で見ることはできません。

デジタルハイビジョンビデオDT－DR２００００の接続（2）（東芝タイプチューナーとの接続）

この接続説明は、平成13年1月までに発売されているBSデジタルチューナーを対象にしています。接続するBSデジタルチューナーの取扱説明書もよくお読みください。

BSデジタル放送を録画・再生するための基本的な接続

ＢＳデジタルチューナー　D端子出力　
ＢＳデジタル連動「入り」　i.LINK（IEEE1394）　D端子入力　BSデジタルハイビジョン対応ワイドテレビ（D3端子付）　D端子入力　D端子出力　DT-DR２００００

D端子の流れ
●D端子と音声のケーブルは同時に接続してください
i.LINKの流れ

はじめにBSデジタルチューナーの出力をテレビに接続して、BSデジタルチューナーの設定を変更します。このときi.LINKケーブルは接続しないでください。

1 BSデジタルチューナーの電源を入れて、テレビの入力をチューナーを接続した入力に切り換えます

2 BSデジタルチューナーの設定を変更します

1. リモコンのホームメニューボタンを押します。（図1）
2. ▲▼◀▶ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押します。（図2）
3. ◀▶ボタンで「初期設定」を選択します。（図3）
4. ▲▼ボタンで「外部機器設定へ」を選び、決定ボタンを押します。（図4）

図1

図2

図3

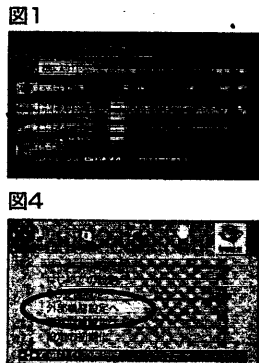
図4

5. ▲▼ボタンで「i.LINK設定へ」を選び、決定ボタンを押します。（図5）
6. ▲▼ボタンで「その他のi.LINK設定」を選び、決定ボタンを押します。（図6）
7. ◀▶ボタンで外部機器からの制御を「モード１」から「モード２」に変更します。（図7）
8. メニューを終了します。

※「モード１」では、ビデオのBSデジタル連動機能が働きません。

図5

図6

図7

3 i.LINKケーブルを接続します

BSデジタルチューナーのi.LINK端子とビデオのi.LINK端子をi.LINKケーブルで接続します。これにより、録画／再生のデータをやり取りすることが可能になります。
i.LINKケーブル接続後に「モード２」へ変更した場合は、チューナーおよびビデオの電源を入れたままにしてi.LINKケーブルの抜き差しを一度行ってください。

4 D端子ケーブルを接続します　－使い勝手を良くする接続－

1. BSデジタルチューナーのD端子出力をビデオのBSデジタルチューナー接続端子（中継用）に接続します。
2. ビデオのD端子出力をテレビのD端子入力に接続します。
3. BSデジタルチューナーのS端子出力をビデオのL３入力に接続します。

※ 上記接続の際は、音声ケーブルの接続も行ってください。（取扱説明書㊽ページ参照）

5 本機のi.LINK入力を設定します

－BSデジタルチューナーの入力に設定してから、TVにBSデジタル放送を出力します－

・ リモコンのワープボタンを２回押して、ビデオの入力をi.LINK入力にします。
・ ビデオの表示窓のチャンネル表示が、UV→BSアナログ→BSデジタルに切り換わります。
・ BSデジタルになるとBS「０００」CH表示になり、数秒後にBSデジタルチューナーと同じチャンネルを表示します。（取扱説明書㊾ページ参照）

6 BSデジタルチューナーのi.LINK設定を行います

－i.LINKで接続されている機器（D-VHS）を登録します－

1. リモコンのホームメニューボタンを押します。
2. ▲▼◀▶ボタンで「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押します。
3. ◀▶ボタンで「初期設定」を選択します。
4. ▲▼ボタンで「外部機器設定へ」を選び、決定ボタンを押します。
5. ▲▼ボタンで「i.LINK設定へ」を選び、決定ボタンを押します。
6. ▲▼ボタンで「i.LINK機器の登録」を選び、決定ボタンを押します。（図13）
   ※D-VHSのモデル名が表示されます。i.LINKケーブルが接続されていない場合は表示されません。
7. 「このまま登録する」を選んで決定ボタンを押してください。（図14）

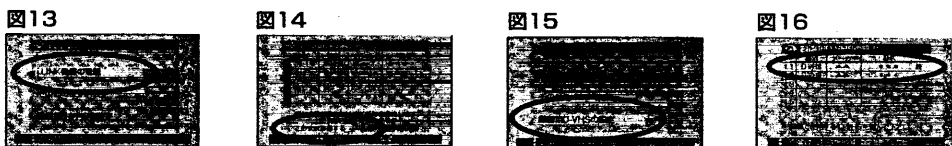
－録画に使用する機器（D-VHS）を登録します－

8. ▲▼ボタンで「録画用D-VHSの設定」を選び、決定ボタンを押します。（図15）
9. ▲▼ボタンでデジタル録画に使用するD-VHSビデオを選び、決定ボタンを押します。（図16）

図13

図14

図15

図16

7 BSデジタル放送を録画します

8 記録したテープを再生します

※ 7 、 8 の操作に関しては、裏面「デジタルハイビジョンビデオDT－DR２００００の接続（1）（日立タイプチューナーとの接続）」を参照してください。
※１回のみデジタルコピーが可能な番組を録画した場合、BSデジタルチューナーを使って再生してもハイビジョン画質で見ることはできません。